

朝倉伊勢西 No.2 遺跡

(都) 江田天川大島線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2012.3

朝倉伊勢西 No.2 遺跡

(都) 江田天川大島線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2012. 3

前橋市教育委員会



朝倉伊勢西 No.2 遺跡 1 区全景 上が北

卷頭図版 2



朝倉伊勢西 No.2 遺跡 遠景 南西から



朝倉伊勢西 No.2 遺跡 2区全景 西から

はじめに

前橋市は関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感じることのできる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において、広大に分布する穀倉地帯を控えた前橋台地には、八幡山古墳や前橋天神山古墳をはじめ、総社二子山古墳、天川二子山古墳といった大型古墳が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野國の中核をなす施設が次々に造されました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する朝倉伊勢西 No.2 遺跡は市の南東部に位置し、江田天川大島線道路改良工事に伴う発掘調査です。調査の結果、平安時代の集落をはじめ、溝や堰跡などの水利遺構、粘土採掘坑など多数の遺構が発見されました。

残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、道路建設課をはじめ調査受注者の株式会社シン技術コンサルおよび各方面のご配慮の結果といえます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成24年3月

前橋市教育委員会
教育長 佐藤博之

例　言

- 1 本書は、(都) 江田天川大島線道路改良工事に伴い実施された「朝倉伊勢西 No.2 遺跡」(前橋市遺跡コマ番号:23G71) の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 本遺跡の所在は、群馬県前橋市朝倉町 143-1、144、145、146-1~4、148-1・5、163-1・2・4 である。
- 3 発掘調査は、平成 23 年 10 月 21 日から平成 24 年 1 月 23 日まで実施した。
- 4 発掘調査及び整理作業は前橋市教育委員会の指導・助言及び監督のもと、前橋市から依託された株式会社シン技術コンサルが実施した。
- 5 調査体制は以下のとおりである。

【前橋市教育委員会】 前原 豊・福田貫之

【調査担当】 小林朋恵・小林一弘 (株式会社シン技術コンサル)

【測量担当】 成田嚴人 (株式会社シン技術コンサル)

荻原人志・大澤啓介・早川健一・岸 栄吾 (株式会社栗原総合測量)

- 6 本書の編集は小林朋恵が行い、執筆は第 1 章を福田、第 VI 章を株式会社パレオ・ラボ、それ以外を小林朋恵が行った。
- 7 本書に掲載された遺構図版作成は小山内良一・金子堅二・川村 浩・須藤貴子・千葉清貴・成田典信・松田秀貴 (株式会社シン技術コンサル) が作成した。
- 8 出土遺物の整理作業及び観察表作成は安生素明・小川長導・倉石広太・小林朋恵・福井流星 (株式会社シン技術コンサル) が担当し、石材の鑑定は倉石が行った。自然科学分析については株式会社パレオ・ラボに依頼した。
- 9 本書に使用した遺構写真は安生・小林一弘・小林朋恵が撮影し、坂本勝一 (株式会社シン技術コンサル) がデジタル処理した。遺物写真は土器を山際哲章、その他を小池雄利亞 (株式会社シン技術コンサル) が撮影し、新井かをり (同社)・山際がデジタル処理した。
- 10 本書のデジタル編集は馬淵恵美子 (株式会社シン技術コンサル) が行った。
- 11 本調査における図面・写真・遺物は、前橋市教育委員会で保管してある。
- 12 発掘調査の実施、および報告書刊行に至るまで、下記の機関・諸氏の御指導・御協力を賜りました。
記して感謝の意を表します。(敬称略、五十音順)
株式会社栗原総合測量 株式会社パレオ・ラボ 細谷印刷有限会社 山下工業株式会社
伊藤順一 笠原仁史 坂口一 坂爪久純 佐藤明人 高橋清文 中島直樹 申隆之 日沖剛史
前田和昭 三浦京子 山田誠司
- 13 発掘調査・整理作業参加者 については次のとおりである。
【発掘調査】 青山真佐子 五十嵐久也 池谷厚子 伊藤希和子 及川光夫 大島英夫 大竹節
大谷正芳 大村美枝子 岡田広志 岡田勝 角谷勇 川田ふじ子 川端貞雄
串渕春江 木暮シズイ 齋藤昭夫 齋藤千恵子 齋藤文子 佐々木新平 佐藤貞夫
野村猛 橋本芳男 星野芳彦 矢島巖
【整理作業】 石井幸子 伊東恵美子 大島美樹 木村美香 佐藤久美子 鈴木澄江 鈴木峰子
関口裕子 関口由紀子 高橋敦子 千葉恭彦 町山さがみ 山田千鶴子 六反田達子

凡 例

- 本書挿図には国土地理院発行 1/25,000 地形図『前橋』、第1図は前橋市発行 1/2,500 都市計画図をそれぞれ使用した。
- 遺構平面図に示した方位は座標北であり、水準線は標高を示す。座標については、日本測地系に基づく平面直角座標第IX系を使用した。
- 土層及び遺物の色調は、『標準土色帖』(農林水産技術会議事務局・(財)日本色彩研究所色票監修 2002版)に掲るが、担当者の主観による識別である。
- 本書における遺構種類の略号を以下に記す。
H—堅穴住居跡 B—掘立柱建物跡 D—土坑 P—ピット I—井戸跡 W—溝跡
- 本文・図面に示す火山灰名を以下に記す。
As-B = 浅間 B テフラ、天仁元年 (1108) 降下 Hr-FP = 棚名 - 二ツ岳伊香保テフラ
Hr-FA = 棚名 - 二ツ岳渋川テフラ As-C = 浅間 C 軽石 As-YP = 浅間 - 板鼻黄色軽石
- 遺物番号は、遺構図・遺物実測図・観察表・写真図版とともに統一してある。
- 遺物実測図・写真的縮尺は 1/3 を基本とし、1/2・1/4・1/8 の場合は実測図中に縮尺を記載した。
- 遺物実測図の断面において使用しているトーンの凡例は以下のとおりである。

[■] 還元焰焼成 [■] 灰釉陶器 [■] 緑釉陶器

- 土坑、ピットの平面・断面形状の分類を以下に示す。

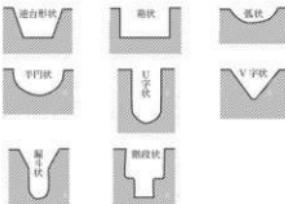
平面形状

| | |
|------|------------------------------------|
| 円形 | 円形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍未満のもの。 |
| 椭円形 | 円形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍以上 1.5 倍未満のもの。 |
| 長椭円形 | 円形を基調とし、長軸が短軸の 1.5 倍以上のもの。 |
| 方形 | 方形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍未満のもの。 |
| 長方形 | 方形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍以上のもの。 |



断面形状

| | |
|------|--------------------------------------|
| 逆台形状 | 底面に平坦面を持ち、緩やか～急斜度に立ち上がるもの。 |
| 箱状 | 底面に平坦面を持ち、ほぼ垂直に立ち上がるものの。 |
| 弧状 | 底面に平坦面を持たない弧状で、緩やかに立ち上がるものの。 |
| 半円状 | 底面に平坦面を持たない楕状で、急斜度に立ち上がるものの。 |
| U字状 | 確認面の長軸よりも深さの幅が大きい。ほぼ垂直に立ち上がるものの。 |
| V字状 | 点的な底面を持ち、急斜傾に立ち上がるものの。 |
| 漏斗状 | 下部がU字状、上部がV字状の二段構造からなるもの。 |
| 階段状 | 階段状の立ち上がりを持つもの。広い一段 (テラス) を持つものも含める。 |



(尾川・加藤 1999 から転載、一部改変)

目 次

巻頭図版 I・2

はじめに

例言・凡例

目次

| | |
|----------------------------|-----|
| 第Ⅰ章 調査に至る経緯 | 1 |
| 第Ⅱ章 遺跡の位置と環境 | 1 |
| 第1節 遺跡の位置 | 1 |
| 第2節 歴史的環境 | 2 |
| 第Ⅲ章 調査方針と経過 | 3 |
| 第Ⅳ章 基本層序 | 8 |
| 第Ⅴ章 遺構と遺物 | 10 |
| 第1節 1区 | 10 |
| (1) 竪穴住居跡 | 10 |
| (2) その他の遺構 | 10 |
| 第2節 2区 | 11 |
| (1) 竪穴住居跡 | 11 |
| (2) その他の遺構 | 11 |
| 第3節 3区 | 12 |
| (1) 竪穴住居跡 | 12 |
| (2) その他の遺構 | 12 |
| 第VI章 自然科学分析 | 104 |
| 第1節 放射性炭素年代測定 | 104 |
| (1) はじめに | 104 |
| (2) 試料と方法 | 104 |
| (3) 結果 | 104 |
| (4) 考察 | 107 |
| 第2節 朝倉伊勢西 No.2 遺跡出土木材の樹種同定 | 108 |
| (1) はじめに | 108 |
| (2) 試料と方法 | 108 |
| (3) 結果 | 108 |
| (4) まとめ | 110 |
| 第VII章 まとめ | 111 |
| 写真図版 | |
| 報告書抄録 | |

挿図目次

| | |
|--|----|
| 第 1 図 調査区位置図 | 1 |
| 第 2 図 道路の位置と周辺の遺跡 | 2 |
| 第 3 図 グリッド設定図 | 4 |
| 第 4 図 1 区全体図 | 5 |
| 第 5 図 2 区全体図 | 6 |
| 第 6 図 3 区全体図 | 7 |
| 第 7 図 基本上層取得位置図 | 8 |
| 第 8 図 基本上層柱状図 | 9 |
| 第 9 図 分割図 1 (1 区) | 28 |
| 第 10 図 分割図 2 (1 区) | 29 |
| 第 11 図 分割図 3 (1 区) | 30 |
| 第 12 図 分割図 4・5 (3 区) | 31 |
| 第 13 図 分割図 6 (2 区) | 32 |
| 第 14 図 分割図 7 (2 区) | 33 |
| 第 15 図 分割図 1 ~ 3 セクション (溝跡) | 34 |
| 第 16 図 分割図 3 セクション (凸跡) | 35 |
| 第 17 図 分割図 4・5 セクション (溝跡・低地) | 36 |
| 第 18 図 分割図 6・7 セクション (溝跡・低地) | 37 |
| 第 19 図 1 区 H-1 ~ 3・62・66 号住居跡 | 38 |
| 第 20 図 1 区 H-4 ~ 6・70 号住居跡 | 39 |
| 第 21 図 1 区 H-7 ~ 10 号住居跡 | 40 |
| 第 22 図 1 区 H-11 ~ 13 号住居跡 | 41 |
| 第 23 図 1 区 H-14 ~ 16・53 号住居跡 | 42 |
| 第 24 図 1 区 H-17 ~ 19 号住居跡 | 43 |
| 第 25 図 1 区 H-20 ~ 22 号住居跡 | 44 |
| 第 26 図 1 区 H-23 ~ 25 号住居跡 | 45 |
| 第 27 図 1 区 H-26・27・42 号住居跡 | 46 |
| 第 28 図 1 区 H-28 ~ 30 号住居跡 | 47 |
| 第 29 図 1 区 H-31・32・35・37 号住居跡 | 48 |
| 第 30 図 1 区 H-33・34・36 号住居跡 | 49 |
| 第 31 図 1 区 H-38 ~ 41・43 号住居跡 | 50 |
| 第 32 図 1 区 H-44 ~ 47 号住居跡 | 51 |
| 第 33 図 1 区 H-48 ~ 50 号住居跡 | 52 |
| 第 34 図 1 区 H-51・52・54・55 号住居跡 | 53 |
| 第 35 図 1 区 H-56 ~ 60 号住居跡 | 54 |
| 第 36 図 1 区 H-61・63 ~ 65 号住居跡 | 55 |
| 第 37 図 1 区 H-67 ~ 69・71・72 号住居跡 | 56 |
| 第 38 図 1 区 B-1・2 号掘立柱建物跡 | 57 |
| 第 39 図 1 区 D-20 号土坑、I-1 ~ 3 号井戸跡 | 58 |
| 第 40 図 1 区 I-4 ~ 6 号井戸跡、2 区 H-1・2 号住居跡 | 59 |
| 第 41 図 2 区 H-3・4 号住居跡 | 60 |
| 第 42 図 2 区 H-5・6 号住居跡 | 61 |
| 第 43 図 2 区 H-7 ~ 9 号住居跡 | 62 |
| 第 44 図 2 区 H-10・11 号住居跡 | 63 |
| 第 45 図 2 区 H-12・13 号住居跡 | 64 |
| 第 46 図 2 区 H-14・15 号住居跡 | 65 |
| 第 47 図 2 区 H-16 ~ 18 号住居跡 | 66 |
| 第 48 図 2 区 H-19・21 号住居跡 | 67 |
| 第 49 図 2 区 H-20 号住居跡 | 68 |
| 第 50 図 2 区 H-22・23 号住居跡 | 69 |
| 第 51 図 2 区 H-24 ~ 26 号住居跡 | 70 |
| 第 52 図 2 区 H-27 ~ 30 号住居跡 | 71 |
| 第 53 図 2 区 H-31 ~ 33・40 号住居跡 | 72 |
| 第 54 図 2 区 H-34 ~ 36・47 ~ 49 号住居跡 | 73 |
| 第 55 図 2 区 H-37 ~ 39・41 号住居跡 | 74 |

| | | |
|--------|---|-----|
| 第 56 図 | 2 区 H-42~46 号住居跡 | 75 |
| 第 57 図 | 2 区 H-50~52 号住居跡、I-1 号井戸跡 | 76 |
| 第 58 図 | 3 区 H-1~4 号住居跡 | 77 |
| 第 59 図 | 3 区 H-5~7 号住居跡 | 78 |
| 第 60 図 | 3 区 H-8~12 号住居跡 | 79 |
| 第 61 図 | I 区 H-3~5・7・8 号住居跡出土遺物 | 80 |
| 第 62 図 | I 区 H-11~14 号住居跡出土遺物 | 81 |
| 第 63 図 | I 区 H-15~18・20 号住居跡出土遺物 | 82 |
| 第 64 図 | I 区 H-21~24・27 号住居跡出土遺物 | 83 |
| 第 65 図 | I 区 H-28~30 号住居跡出土遺物 | 84 |
| 第 66 図 | I 区 H-33~36・40~42 号住居跡出土遺物 | 85 |
| 第 67 図 | I 区 H-43・47・48・50 号住居跡出土遺物 | 86 |
| 第 68 図 | I 区 H-52・54・55・60・63 号住居跡出土遺物 | 87 |
| 第 69 図 | I 区 H-64&65・71・72 号住居跡、D-20・27 号土坑、P-24 号ビット、I-1 号井戸跡出土遺物 | 88 |
| 第 70 図 | I 区 I-3 号井戸跡出土遺物 | 89 |
| 第 71 図 | I 区 I-4・6 号井戸跡、W-1・2 号溝跡出土遺物 | 90 |
| 第 72 図 | I 区その他 2 区 H-1 号住居跡出土遺物 | 91 |
| 第 73 図 | 2 区 H-2・4・5 号住居跡出土遺物 | 92 |
| 第 74 図 | 2 区 H-6 号住居跡出土遺物 | 93 |
| 第 75 図 | 2 区 H-7・10 号住居跡出土遺物 | 94 |
| 第 76 図 | 2 区 H-11~13・15 号住居跡出土遺物 | 95 |
| 第 77 図 | 2 区 H-16・18・19 号住居跡出土遺物 | 96 |
| 第 78 図 | 2 区 H-20 号住居跡出土遺物 | 97 |
| 第 79 図 | 2 区 H-21・22 号住居跡出土遺物 | 98 |
| 第 80 図 | 2 区 H-23・25~27 号住居跡出土遺物 | 99 |
| 第 81 図 | 2 区 H-29・32・33 号住居跡出土遺物 | 100 |
| 第 82 図 | 2 区 H-34~36・40 号住居跡出土遺物 | 101 |
| 第 83 図 | 2 区 H-48・51・52 号住居跡、D-7 号土坑、P-16・29・34 号ビット出土遺物 | 102 |
| 第 84 図 | 2 区低地、その他 3 区 H-1・3・6・8 号住居跡出土遺物 | 103 |
| 第 85 図 | ウィグルマッチング試料の年輪計測結果と各試料の累年較正図 | 106 |
| 第 86 図 | 朝倉伊勢西 No.2 道路出土木材の光学顕微鏡写真 | 109 |
| 第 87 図 | 朝倉伊勢西道路全体図（1） | 112 |
| 第 88 図 | 朝倉伊勢西道路全体図（2） | 113 |
| 第 89 図 | I 区住居跡時期別分布図（8世紀） | 114 |
| 第 90 図 | I 区住居跡時期別分布図（9世紀） | 115 |
| 第 91 図 | I 区住居跡時期別分布図（10世紀） | 116 |
| 第 92 図 | 3 区住居跡時期別分布図（9~11世紀） | 117 |
| 第 93 図 | 2 区住居跡時期別分布図（7・8世紀） | 118 |
| 第 94 図 | 2 区住居跡時期別分布図（9・10世紀） | 119 |
| 第 95 図 | 2 区住居跡時期別分布図（11世紀） | 120 |

表 目 次

| | | | | | |
|--------|----------------------|----|--------|--------------------|-----|
| 第 1 表 | I 区竪穴住居跡 (H) 観察表 (1) | 13 | 第 15 表 | 遺物観察表 (2) | 21 |
| 第 2 表 | I 区竪穴住居跡 (H) 観察表 (2) | 14 | 第 16 表 | 遺物観察表 (3) | 22 |
| 第 3 表 | I 区竪穴住居跡 (H) 観察表 (3) | 15 | 第 17 表 | 遺物観察表 (4) | 23 |
| 第 4 表 | 2 区竪穴住居跡 (H) 観察表 (1) | 15 | 第 18 表 | 遺物観察表 (5) | 24 |
| 第 5 表 | 2 区竪穴住居跡 (H) 観察表 (2) | 16 | 第 19 表 | 遺物観察表 (6) | 25 |
| 第 6 表 | 2 区竪穴住居跡 (H) 観察表 (3) | 17 | 第 20 表 | 遺物観察表 (7) | 26 |
| 第 7 表 | 3 区竪穴住居跡 (H) 観察表 | 17 | 第 21 表 | 遺物観察表 (8) | 27 |
| 第 8 表 | I 区掘立柱建物跡 (B) 観察表 | 17 | 第 22 表 | ウィグルマッチング測定試料および処理 | 104 |
| 第 9 表 | 土坑 (D) 観察表 | 18 | 第 23 表 | 単体測定試料および処理 | 104 |
| 第 10 表 | ビット (P) 観察表 (1) | 18 | 第 24 表 | 遺物取上 No.3 の分析結果 | 105 |
| 第 11 表 | ビット (P) 観察表 (2) | 19 | 第 25 表 | 遺物取上 No.9 の分析結果 | 105 |
| 第 12 表 | 井戸跡 (I) 観察表 | 19 | 第 26 表 | 単体試料の分析結果 | 105 |
| 第 13 表 | 溝跡 (W) 観察表 | 19 | 第 27 表 | 樹種同定結果 | 108 |
| 第 14 表 | 遺物観察表 (1) | 20 | | | |

写真図版目次

| | | |
|-------|--|--|
| PL. 1 | 1区北西部全景 1区北東部全景 1区南部 1区南部 1区H-3号住居跡 1区H-4号住居跡 1区H-5・6号住居跡 1区H-7号住居跡 | 2区H-4号住居跡 2区H-6号住居跡 2区H-7・8号住居跡 2区H-9号住居跡 2区H-10号住居跡 2区H-11号住居跡 2区H-12号住居跡 2区H-13号住居跡 |
| PL. 2 | 1区H-8号住居跡 1区H-11号住居跡 1区H-12号住居跡 1区H-13号住居跡 1区H-14号住居跡 1区H-15号住居跡 1区H-16号住居跡 1区H-18号住居跡 | 2区H-14号住居跡 2区H-15号住居跡 2区H-17号住居跡 2区H-18号住居跡 2区H-19号住居跡 2区H-20号住居跡 2区H-22号住居跡 2区H-23号住居跡 |
| PL. 3 | 1区H-19号住居跡 1区H-21号住居跡 1区H-22号住居跡 1区H-24号住居跡 1区H-27・42号住居跡 1区H-28・52号住居跡 1区H-29号住居跡 1区H-33号住居跡 | 2区H-24号住居跡 2区H-25号住居跡 2区H-26号住居跡 2区H-27号住居跡 2区H-28号住居跡 2区H-29号住居跡 2区H-32・40号住居跡 2区H-33号住居跡 |
| PL. 4 | 1区H-47号住居跡 1区H-48号住居跡 1区H-50号住居跡 1区H-52・54号住居跡 1区H-63号住居跡 1区H-67・71号住居跡 1区B-1号掘立柱建物跡 1区B-2号掘立柱建物跡 | 2区H-38号住居跡 2区H-42号住居跡 2区I-1号井戸跡セクション 2区粘土探掘坑 2区低地 2区調査風景 3区全景 3区H-6号住居跡 |
| PL. 5 | 1区D-20号土坑セクション 1区I-3号井戸跡 1区I-3号井戸跡断削り 1区I-3号井戸跡木枠検出状況 1区I-4号井戸跡 1区I-4号井戸跡断削り 1区W-1・6号満跡 1区W-2号満跡 | 3区W-4号満跡 3区低地セクション PL.11 出土遺物（1） PL.12 出土遺物（2） PL.13 出土遺物（3） PL.14 出土遺物（4） PL.15 出土遺物（5） PL.16 出土遺物（6） PL.17 出土遺物（7） PL.18 出土遺物（8） PL.19 出土遺物（9） PL.20 出土遺物（10） PL.21 出土遺物（11） PL.22 出土遺物（12） |
| PL. 6 | 1区W-3・4号満跡 1区W-5号満跡 1区南部調査区西壁セクション 2区H-1号住居跡 2区H-2号住居跡 2区H-3号住居跡 | |

第Ⅰ章 調査に至る経緯

平成23年9月21日付けで前橋市長 高木政夫（道路建設課）より（都）江田天川大島線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務依頼書が前橋市教育委員会に提出されたが、既に直管による発掘調査を実施しているため、市教委の作成する調査仕様書に基づく監理、指導の下、民間調査組織を導入して発掘調査を実施することとなった。その後、平成23年10月12日付けで前橋市と株式会社シン技術コンサル前橋営業所長 権原悟との間で業務委託契約が締結され同年10月21日より調査が開始された。

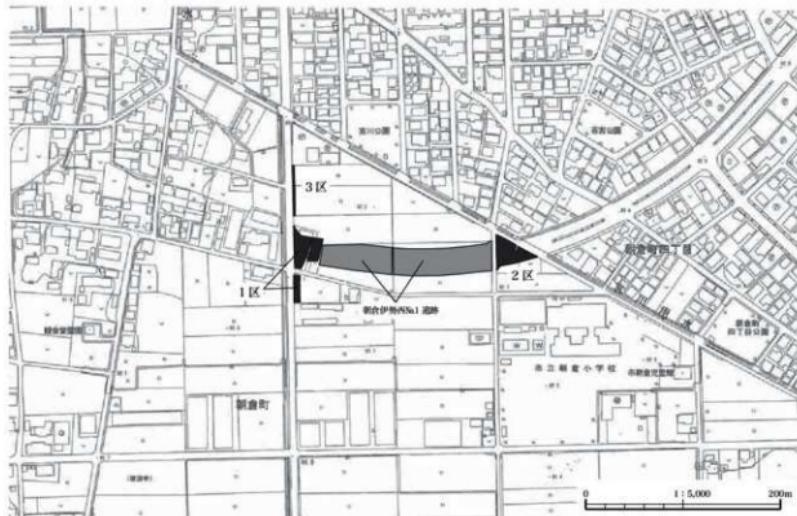
なお、遺跡名称「朝倉伊勢西No.2遺跡」（遺跡コード:23G71）の「朝倉」は町名、「伊勢西」は小字名、「No.2」は前年度に実施された調査と区別するために付したものである。

第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

第1節 遺跡の位置

前橋市は、群馬県の中央部や南に位置する中核市である。地勢を概観すると市域の北部には上毛三山の一つである赤城山の南麓が広がり、南部は関東平野の北西端部の一角を占めている。市域の北東端部には、複成火山である赤城山の最高峰となる外輪山の黒檜山（1,828m）がある。市域北部は北から南に緩斜し、市街地の広がる平野部は海拔100メートル前後となる。市域や西部に南流する利根川は、中世までは前橋市市街地の北東に帯状に延びる旧流路を流れながら、近世初頭には現在の流路に移動したとされる。

朝倉伊勢西遺跡は、前橋市役所や前橋駅が所在する前橋の中心地から約3km南東に位置し、南方には水田地



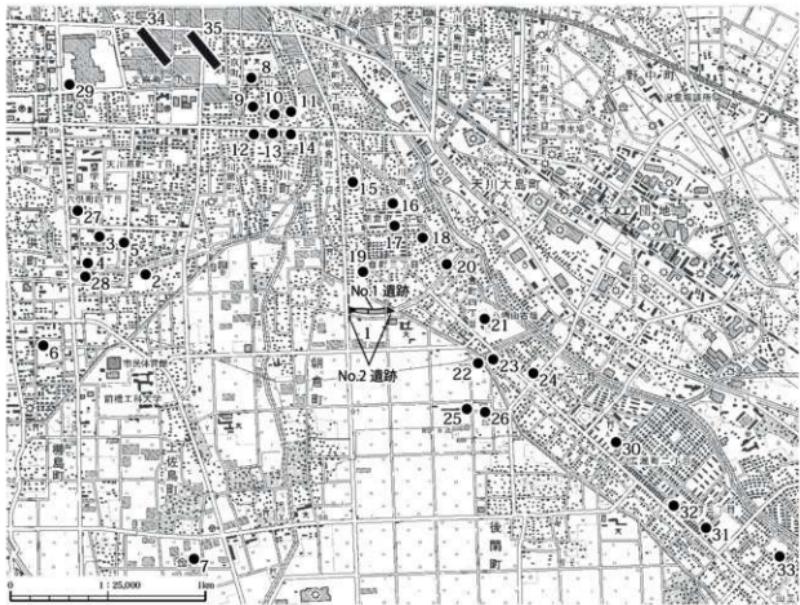
第1図 調査区位置図

帶が広がり、その他は市街地に囲まれている。地形は利根川左岸の前橋台地上に立地しており、北西から南東方向に広がる後背湿地を挟み東西に微高地が広がっている。遺跡東端部の微高地は、広瀬川右岸の自然堤防にあたり。朝倉伊勢西遺跡は、調査年度によってNo.1遺跡とNo.2遺跡に区別されており、前者は2011年に報告書が刊行されている。

第2節 歴史的環境

本遺跡の周辺において旧石器時代の遺跡の調査例はなく、続く縄文・弥生時代においても確認されている遺跡は少数である。櫛島川端遺跡では縄文時代草創期後半の撚糸式土器が出土しているほか、弥生時代中期の再葬墓と後期の集落が調査されている。

古墳時代以降は遺跡数が飛躍的に増加しており、基本的には微高地上に集落や墓域が展開され、低地に水田が広がっていたと考えられる。墓域としては、前橋市朝倉・広瀬・山王町にあたる広瀬川右岸の自然堤防上は県内有数の古墳密集地帯であり、古墳時代前期と後期を中心に形成された広瀬・朝倉古墳群として知られている。戦後の開発によって多くの古墳が削平され失われているが、代表的な古墳として、前橋台地上における古墳初現期の地域首長墓である八幡山古墳（21、前方後方墳、全長約130m）と前橋天神山古墳（24、前方後円墳、全長約



- | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|--------------|------------|
| 1 朝倉伊勢西遺跡 | 2 六供遺跡群 | 3 六供下堂木II遺跡 | 4 六供下堂木III遺跡 | 5 六供下堂木遺跡 |
| 6 東京安寺遺跡 | 7 上佐島中原前遺跡 | 8 寄居遺跡 | 9 県立文書館遺跡 | 10 前橋二子山古墳 |
| 11 二子山前IV遺跡 | 12 二子山前遺跡 | 13 二子山前II遺跡 | 14 二子山前III遺跡 | 15 小旦那遺跡 |
| 16 朝倉2号墳 | 17 長山遺跡 | 18 朝倉1号墳 | 19 鎮守廻り遺跡 | 20 朝倉3号墳 |
| 21 八幡山古墳 | 22 後園閉地遺跡 | 23 坊山遺跡 | 24 前橋天神山古墳 | 25 後園遺跡 |
| 26 後園II遺跡 | 27 六供东京安寺遺跡 | 28 六供下堂木IV遺跡 | 29 文京町No.1遺跡 | 30 飯玉神社前古墳 |
| 31 広瀬本ノ宮遺跡 | 32 上川開闢遺跡 | 33 亀塚山古墳 | 34 1号女満 | 35 2号女満 |

第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡

129m)、6世紀前半の龜塚山古墳(33、帆立貝式古墳)、前橋二子山古墳(10、前方後円墳、全長104m)、6世紀後半の金冠塚古墳(前方後円墳)が挙げられる。集落跡は、戦後早い段階で宅地化が進んだ地域のため遺跡の実態把握は困難だが、近年開発が進む地域では調査例が増加している。生産関連としては、公田池尻遺跡、公田東遺跡でAs-C混土を耕作する古墳時代の水田跡が確認されているほか、上野国が甚大な被害を受けた天仁元年(1108)の浅間山噴火時に降灰したAs-Bで埋没した平安時代末期の水田跡が多数調査されており、宮地中田遺跡などで条里地割が確認されている。また「女溝」と呼ばれる2本の灌漑用水道構が平行して北西から南東方向に走行しており、調査成果から溝の掘削は1号女溝(34)がAs-B降灰以前、2号女溝(35)が中世以前に遡ることが判明している。中世については、本遺跡から南に広がる微高地上に環濠遺跡群が多く確認されており、城館跡としては、宿阿内城、阿内古城等が知られる。

第三章 調査方針と経過

朝倉伊勢西No.2遺跡において、(都)江田天川大島線道路改良工事に伴い調査対象となった総面積は1,684m²であり、平成23年10月21日から平成24年1月23日まで発掘調査を実施した。

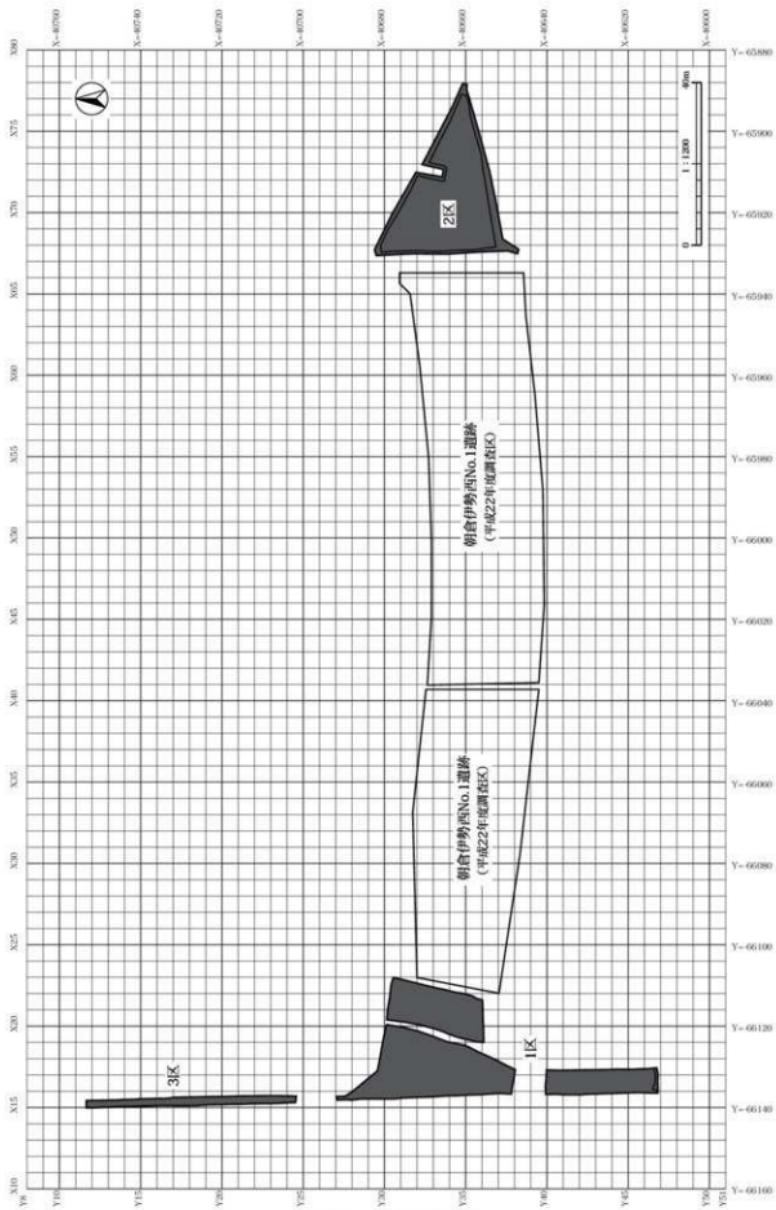
調査は0.45・0.7mのバックホウを使用して表土を掘削した後、ジョレン・移植ゴテなどを用いて人力で遺構確認・掘削を行った。調査区内の遺構は重複が激しいことから確認が困難であり、トレチングによる断面確認を多用した。それでも確認が難しい場合はベルトを残し平面的に掘り下げて遺構の把握に努めた。

写真記録は、35mmカラーリバーサルフィルム・同モノクロネガフィルムの2種類を使用し、デジタルカメラによる補足撮影も行った。全体撮影では、6×7版モノクロネガフィルム、同カラーリバーサルフィルムも使用した。遺構の作図作業は、基本的に平面をトータルステーション・電子平板を用いた器械測量、断面を手実測でを行い、隨時写真測量を併用した。

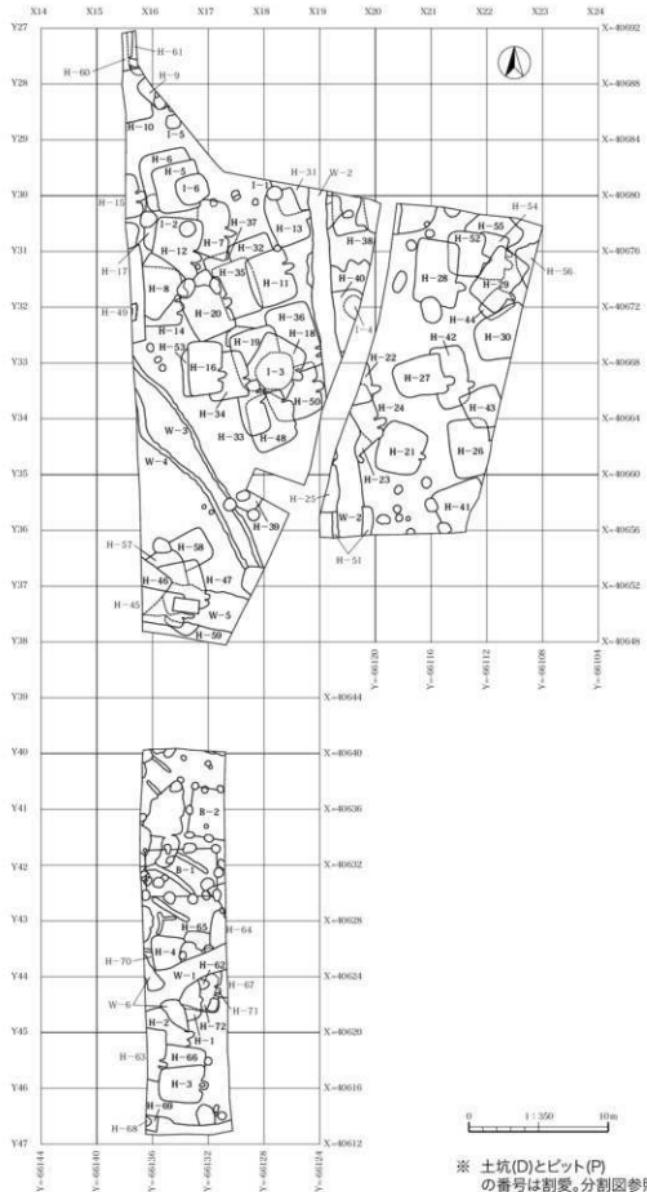
グリッドは、2010年に発掘調査が実施された朝倉伊勢西No.1遺跡(福田・山田2011)に合わせて設定した(第3図)。このグリッドは日本測地系に基づく平面直角座標第IX系の座標軸を用い、X=40,800.0m・Y=-66,200.0mを基点Y0・X0として4m方眼を組んで設定されている。グリッドの基点は北西角であり、Yは北から南へ、Xは西から東へアラビア数字が序列されている。

調査の経過は以下に記す。

- 10月21日 プレハブ・機材搬入。フェンス設置。
- 10月27日 2区表土掘削開始。
- 11月1日 2区遺構調査開始。
- 12月2日 2区全景写真撮影。
- 12月6日 2区埋め戻し開始。
- 12月10日 1区表土掘削開始。
- 12月27日 空中写真撮影。
- 1月4日 1区北部埋め戻し開始。
- 1月10日 3区表土掘削開始。
- 1月18日 3区全景写真撮影。
- 1月19日 1区南部全景写真撮影。3区埋め戻し開始。機材撤収。
- 1月20日 3区埋め戻し終了。
- 1月23日 フェンス撤去。現場引渡し。



第3図 グリッド設定図



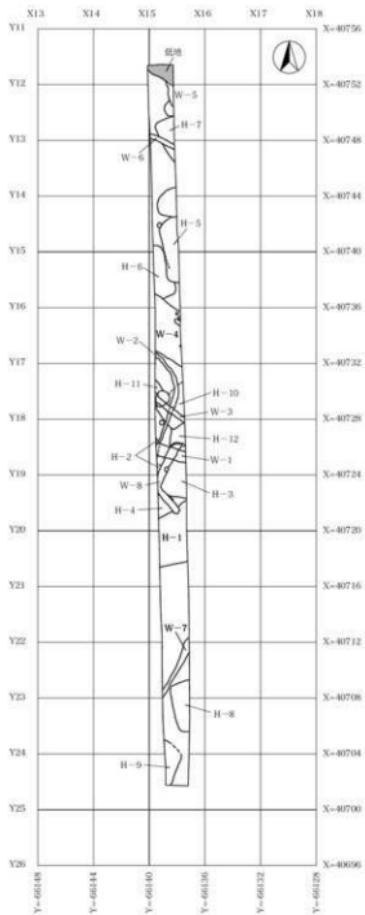
第4図 1区全体図

※ 土坑(D)とピット(P)
の番号は割愛。分割図参照。



※ 土坑(D)とピット(P)
の番号は割愛。分割図参照。

第5図 2区全体図



※ 土坑(D)とピット(P)
の番号は割愛。分割図参照。

第6図 3区全体図

第IV章 基本層序

本遺跡ではI～3区において、I～XV層の基本土層を確認した^{II}。

I層は現代の碎石盛土層及び耕作土、II層は近世・近代の耕作土、III層はAs-Bが混入した耕作土、いわゆるAs-B混土であり、I～3区全てで堆積が確認されている。

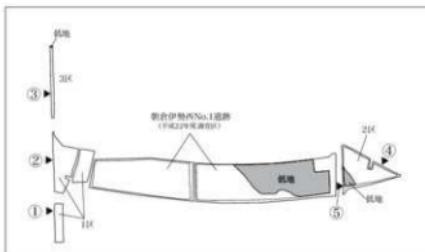
IV層はAs-B層である。I・3区の低地において純層が堆積しており、上部には桃色細粒火山灰が堆積している。なお基本層序は付さなかつたが、低地ではAs-Bの上部に間層を挟んでAs-Kkが堆積している。I区南部で確認されたAs-Bは、耕作によって攪拌された状態であった。V層は古代の耕作土と考えられる褐灰色土層であり、前述した1区南部のAs-B下に堆積している。VI層はAs-C及びHr-FA・FPと考えられる軽石が混入している黒褐色土であり、1～3区の低地以外で堆積している。古墳時代及び古代の遺物包含層であり、場所によって遺物の包含量が異なる。古代の遺構は本層中から掘り込まれているものが多いと考えられるが、遺構覆土と色調・土質が近似していることから、VII・VIII層上面を遺構確認面とした。VIII層はAs-C凝縮層であり、1区の南西部に堆積している。VIII層はAs-Cと考えられる軽石が混入している黒色土、いわゆるAs-C混土である。

IX層以降は、低地を挟んで位置する1・3区と2区において層序の様相が大きく異なっている。IX～X・I層はI・3区に堆積する。IX層は黒褐色土層であり、X層にはぶい黄褐色粘質土で、大量の小礫を含む。X・I層は浅黄色または黄褐色の粘質土層で1m程度堆積しており、中位に礫層が互層している。X・X・I層は朝倉伊勢西No.1遺跡では前橋泥流漸移層と報告されているが、今回個別的に異なる調査成果を得られたため詳述する。I・3号井戸跡を断ち割る際に標高90.00～90.50mにかけて上部火山灰、下部軽石というテフラ層が確認され、その下位に黒色粘質土層（泥炭層）が堆積していた。この泥炭層内の標高89.99m地点で出土した材から得られた自然科学分析の結果により（第VI章参照）、テフラ層はAs-YP層、泥炭層は前橋泥炭層であることが判明したことから^{II}、X・X・I層は前橋泥流漸移層ではなく、As-YP降下後に形成された泥流層であると考えられる。

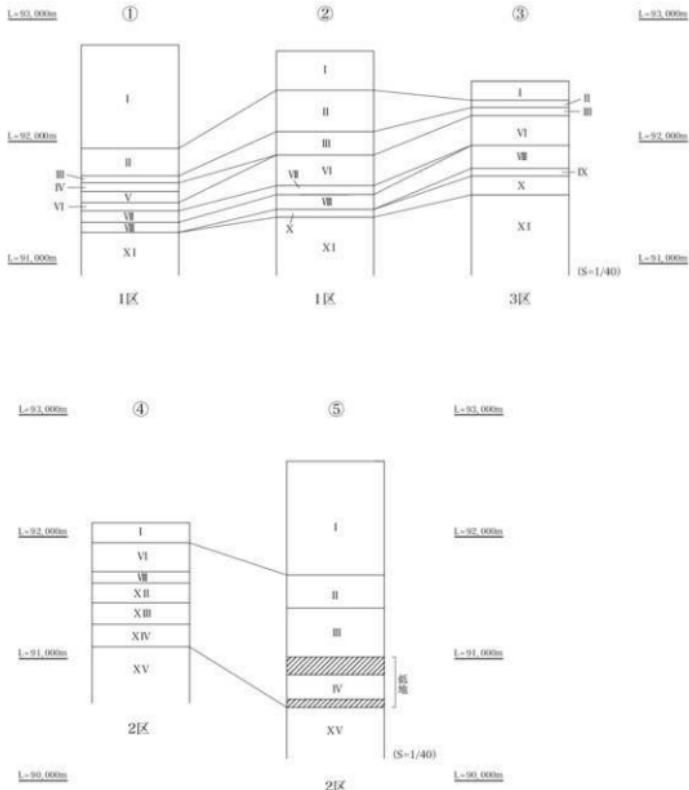
XII～XIV層は2区に堆積する。XII層は黒ボク土と考えられる黒色土層、XIII層は漸移層、XIV層は黄褐色土層（ローム層）であり、XIII・XIV層にはAs-YPと考えられる軽石が含まれている。XV層は浅黄色粘質土層であり、前橋泥流漸移層の可能性が考えられる。なお基本土層には含まなかつたが2区中央部において、南北方向の範囲でXIII層の下部にラミナ状に堆積する砂層が確認されており、旧河道が存在した可能性がある。

註1：本書では遺跡全体での層位的な理解を容易にするため、全区で基本土層を統一した。なお基本土層の細分が必要な場合は、各遺構図に細分した土層注記を記入して報告している。

註2：肉眼観察においても、2011年に前橋市大手町に所在する前橋城の発掘調査（福田・小林2011）の際、早田勉氏に観察して頂いたAs-YP層及び前橋泥炭層に近似している。



第7図 基本土層取得位置図



1~3区
 I 朝代の砂岩・風化層及び耕作土。砂岩層は元瓦礫や瓦類堆場の範囲に確認される。風土層及び耕作土は黒褐色やにごい黄褐色であり。耕者には多量のゴミが混入している。
 II 遺代・近代の耕作土。黒褐色又はにごい黄褐色土。
 III Aa-Bt 層上。初期地盤。
 IV Aa-Bt 層。
 V 古代の耕作土。黒褐色和質土。
 VI Aa-C: Hg-Fa+Hgと考えられる粗石を少量含む黒褐色又は黒褐色土。古墳時代及び古代の遺物含む層。
 VII Aa-C: 錆斑層、遺物確認層。
 VIII Aa-C 層上。遺物確認層。

4~5区
 IX 黒褐色土層。
 X にごい黄褐色和質土。多量の小礫を含む。
 XI 洗浄色又は黄褐色和質土層。1m程度堆積しており、中間に粗礫が互層している。下部にAe-YP層。前標記地盤が堆積している。

6区
 XII 黒褐色又は黒褐色土 (黒ゴマ土)。
 XIII にごい黄褐色土 (無保肥性)、黒化土、黒褐色土を幾つ。Ae-YPと考えられる粗石を微量含む。
 XIV 黒褐色土 (ローム層)、Ae-YPと考えられる粗石を含む。
 XV 洗浄色和質土。前標記地盤堆積の可能性が考えられる。

第8図 基本土層柱状図

第V章 遺構と遺物

第1節 1区

(1) 壇穴住居跡 (第19~37・61~69図 第1~3・14~17表 PL.1~4・11~15)

壇穴住居跡は72軒(H-1~72)検出された。北部及び南部において密集して分布しており、中央部は希薄である。時期は7世紀後半期~8世紀初頭のH-40が最も古く、8世紀代が16軒、8・9世紀代が3軒、9世紀代が44軒、10世紀代が8軒検出されている。8世紀代においては、過半数である9軒が第4四半期であり、この時期に集落の規模が拡張したことが推定される。9世紀代は安定的に集落が展開されており、13軒に達する第4四半期が最も盛んとする時期といえる。10世紀代は、9世紀代と比較して住居数が大幅に減少している。

主軸は、東を基調としてN-67.5°~112.5°-Eの範囲、概ね東西又は南北を指向するものが51軒と多い。時代毎の顕著な主軸方位の指向性はみられないが、8世紀代には調査区北部においてやや北東(N-64~75°-E程度)を、南部において東からやや南東(N-95~119°-E程度)を指向する傾向がある。40軒の住居跡において東カマドが検出されており、29軒が東壁、5軒が北東壁、6軒が南東壁に構築されていた。比較的長い煙道を伴う形態のカマドが、H-45(10世紀前半)で検出されている。

(2) その他の遺構

掘立柱建物跡 (第38図 第8表 PL.4)

掘立柱建物跡は2棟(B-1・2)検出された。掘立柱建物跡を構成するピットは全て個別のピット番号が付されており、第8表に形状・規模を記載している。

B-1・2は、X 15~17, Y 40~42グリッドに位置する東西棟の側柱建物である。B-1は桁行3間(4.90m)、梁行2間(3.30m)、棟方向N-87°-E、総面積16.17m²であり、B-2は桁行2間(2.55m)以上、梁行2間(3.52m)、棟方向N-96°-E、総面積8.98m²以上である。時期は、出土土器からB-1が8世紀末~9世紀初頭、B-2が9世紀初頭と考えられる。

土坑・ピット (第9~11・39・69図 第9・10・17表 PL.5・15)

土坑は39基(D-1~29・31~40)、ピットは40基(P-1~57)、掘立柱建物跡のピットとした16基及び欠番1基を除く)検出された。土坑・ピットは壇穴住居跡の集中部以外に位置する傾向があり、特に掘立柱建物跡付近に比較的多く分布する。D-20の下層にはAs-Cと考えられる軽石が約10cmレンズ状に堆積していたが、上層から8世紀後半の須恵器が出土している。

井戸跡 (第39・40・69~71図 第12・17表 PL.5・15・16)

井戸は6基(I-1~6)検出された。調査区北東部、X16~19,Y28~33グリッド内に集中して分布する。構造は素掘りが4基(I-1・2・5・6)、他が2基(I-3・4)である。素掘りの断面形状はI-1が円筒状、I-2・5がY字状、I-6は上部にテラス状の掘り込みをもつ階段状である。他の2基はともに上部が石組であり、下部はI-3が木組(相欠き仕口横板組、第VII章註1参照)、I-4が素掘りである。出土遺物はI-1から内耳土器の焙烙(98)、近世瓦(丸瓦)や砥石破片など近世遺物、I-3から瓢箪の破片、I-6から須恵器の壺G(105)、I-1~4・6から土師器・須恵器小片が出土している。

時期はI-1が近世(18世紀代)であり、他は古代(As-B降下以前)である。重複関係及び出土遺物から、I-2・3は9世紀後半以後、I-4は8世紀前半以後、I-6は9世紀前半に埋没したと考えられる。

溝跡（第9～11・15・71図 第13・17表 PL.5・6・16）

溝跡は6条（W-1～6）検出された。W-1は水成堆積であり、用水路の可能性がある。W-2は底面の標高差がなく、覆土に流水の痕跡がないことから区画溝の可能性がある。W-3・4は水成堆積の可能性があり、概ね平行して北西から南東に走行する。W-5は、W-2同様覆土に流水の痕跡がないことから区画溝等の可能性がある。W-6は覆土が水成堆積であり、W-1にはほぼ直交して位置する。底面からはピットが11基検出され、下部に非常にしまりの強い細砂主体の層が堆積していた。VII章で後述するが、W-6は堰である可能性がある。

時期は全て古代（As-B降下以前）であり、重複関係からW-1・6が9世紀後半以後、W-2が10世紀後半以後、W-5が9世紀第4四半期、土層観察からW-3・4がAs-C降下以後As-B降下以前である。

畠跡（第11・16図 PL.6）

調査の都合上、断面調査のみを実施した。畠跡は1区南部、X 15～17, Y 39～46グリッド、標高91.50m前後に位置し、確認された面積は160.23m²である。断面からは、明瞭な歴は確認できなかった。As-Bは堆積しているが、攪拌されユニットは乱れていた。おそらくAs-B降下以前、以後ともに畠跡として土地利用されていたと考えられる。

第2節 2区

（1）竪穴住居跡（第40～57・72～83図 第4～6・17～21表 PL.6～9・17～22）

竪穴住居跡は52軒（H-1～52）検出され、微高地上から低地との境界部まで濃密に分布する。北西部は比較的希薄であるが、その他は激しく重複している。低地と接する住居跡は、西部分を低地に削平されている。時期は、最も古い7世紀第3四半期のH-16を含め7世紀後半が3軒、7世紀後半～8世紀代が1軒、8世紀代が3軒、8世紀後半～9世紀前半が1軒、8・9世紀代が1軒、9世紀代が16軒、10世紀代が22軒、10世紀後半～11世紀前半が1軒、11世紀が4軒調査されている。7世紀後半に營まれ始めた集落は、8世紀代において小規模に存続し、9世紀代になると若干規模を拡張して安定的に集落を展開する。10世紀前半においてもその規模を継続させ、10世紀後半に14軒に達し最も盛行した後、11世紀前半まで縮小しながらも継続する。

主軸は、東を基調としてN-67.5°～112.5°Eの範囲、概ね東西又は南北を指向するものが39軒と多い。時代毎の顕著な主軸方位の指向性はみられないが、10・11世紀代にはN-90°E以上の南東及びやや南東を指向する割合が若干高くなる。28軒の住居跡において東カマドが検出されており、23軒が東壁、1軒が北東壁、4軒が南東壁に構築されている。この他焼土や灰、カマド構築材の出土状況から3軒が東壁にカマドを伴ったと推定される。また、11世紀前半の住居跡であるH-15からは、床面中央部から柱跡が検出されている。長い煙道を伴う形態のカマドが、H-52(8世紀第1四半期)、H-2・18・19(10世紀後半)、H-13(11世紀第1四半期)、H-29(11世紀前半)の6軒で検出された。

（2）その他の遺構

土坑・ピット（第13・14・83図 第9～11・21表 PL.22）

土坑は28基（D-1～12・15～30）、ピットは51基（P-1～21・23～52）検出された。D-7からは10世紀第4四半期の遺物がまとまって出土している（221～223）。

井戸跡（第57図 第12表 PL.10）

井戸は1基（I-1）検出された。平面円形の素掘りであり、断面形状はV字状である。覆土上部にAs-Bが堆積していた。時期は、出土遺物と土層観察から9世紀前半以後、As-B降下以前である。

溝跡（第14・18図 第13表）

溝跡は2条（W-1・2）検出された。覆土に流水の痕跡がないことから、区画溝等の可能性がある。時期は、重複関係から7世紀後半以前と考えられる。

粘土探掘坑（第13・18図 PL.10）

低地との境界付近に位置する平面円形及び不整形の土坑群を、粘土探掘坑として報告する。平面形状は1.5m程度の円形と、それが複数連続して掘り込まれるような不整形のものがある。深さは30～50cm程度であり、基本土層XV層を探掘していると考えられる。H-20より新しいことや、H-4・13のカマド天井部の構築材に近似した粘質土が使用されていることから、時期は9世紀第2四半期以降、10世紀中葉～11世紀第1四半期頃と考えられる。

低地（第13・18・84図 第21表 PL.10・22）

2区南東部において、低地が検出されている。面積60m²程度、底面標高は90.48mである。覆土は最上位に浅黄橙色粘質シルトと黒色粘質土が3～10cm程度の層厚で堆積し、その下位に二次堆積のAs-B軽石及びAs-B混土が数層確認できる。中層には柏川テフラ、As-Bテフラの純層が堆積しており、その層間には層厚1cm程度で僅かに浅黄橙色粘質シルト層が確認できる。下層には褐灰色砂質シルト、最下層に黒褐色粘質土が堆積している。As-B直下の褐灰色砂質シルト層に若干As-Bが含まれていることから、As-B降下時には湿地の状態であったと推測される。

第3節 3区

（1）竪穴住居跡（第58～60・84図 第7・21表 PL.10・22）

竪穴住居跡が12軒（H-1～12）検出された。調査区の東西幅が狭いことから、全体を調査できた住居跡はない。時期は、H-6が9世紀第2四半期、H-5が9世紀第3四半期、H-8が9世紀後半、H-9・10が10世紀前半、H-4が10・11世紀以前、H-3が10世紀後半～11世紀、H-1が11世紀前半、H-2・7・11・12が古代（As-B降下以前）に構築された。主軸は概ね東西又は南北を指向するものが7軒（東を基調としてN-67.5°～112.5°Eの範囲）、それ以外が5軒である。カマドはH-2東壁で検出されたほか、H-6でも炭化物範囲と貯藏穴の位置から東壁にカマドが構築されていたと推定される。H-2は長い形状の縦道をもつ可能性があるが、住居自体の遺存状態が悪く不明瞭である。

（2）他の遺構

土坑・ピット（第12図 第9・11表）

土坑は3基（D-1～3）、ピットは2基（P-1・2）検出された。

溝跡（第12・17図 第13表 PL.10）

溝跡は8条（W-1～8）検出された。W-1～4・6は水成堆積で用水路の可能性があり、W-2以外は北西又は西から南東又は東に走行する。時期はW-1・2・5～8が古代（As-B降下以前）、W-3・4が近世、近代である。重複関係からW-8は10・11世紀以前である。

低地（第12・17図）

3区北端部において、低地が検出されている。面積1.8m²程度、底面標高は91.31mであり、覆土中に2区の低地同様As-KK及びAs-Bテフラ純層が堆積している。

第1表 1区堅穴住跡(H)観察表(1)

()は推定値・既存値

| 番号 | グリッド | 平面形状 | 主輪方向 | 規範(m) | | | カマド(m) | | 時期 | | 重複開拓・参考 | |
|----|------------------|------------|---------|--------|--------|------|---------|--------------|------------------|----|------------|---|
| | | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | 位置 | 通行焚(1m) | 煙道長 | 時間 | | |
| 1 | X16 Y44 | 方形か 長方形 | N-86°E | (2.85) | (1.48) | 不明 | (4.22) | 東壁 | (0.48) (0.51) | — | 9C Z/4後 | H-62・71・72より新しく、W-1-6より古い。9世紀前半の土器が少數出土している。 |
| 2 | X15,16 Y44,45 | 方形か 長方形 | N-74°E | (1.64) | (1.50) | 不明 | (2.46) | 東壁 | 0.65 0.46 | — | 8C 4/4 | 出土土器 重複開拓 |
| 3 | X16 Y45,46 | 長方形 | N-89°E | 3.24 | 2.66 | 0.15 | 8.62 | 東壁 | 0.81 0.46 | — | 9C 1/4 | 出土土器 H-63・66・W-6より古い。 |
| 4 | X15,16 Y43 | 方形 | N-95°E | 2.66 | (2.00) | 0.17 | 6.92 | — | — | — | 8C 中葉 | 出土土器 H-65・70・D-4より新しく、W-1より古い。 |
| 5 | X16 Y29,30 | 方形 | N-75°E | 3.46 | 3.28 | 0.16 | 11.35 | 東壁 N-91°E | 0.75 0.40 | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-6・7-17・J-6より新しく、カマドは昇降口の直上に構築されていた。 |
| 6 | X15,16 Y29,30 | 方形か 長方形 | N-75°E | (4.07) | 3.73 | 0.20 | (15.18) | — | — | — | 9C 中葉 | H-5・15との 重複開拓 H-15・17より新しく、H-5より古い。9世紀代の 土器少しが出土している。 |
| 7 | X16,17 Y30,31 | 方形か 長方形 | N-63°E | 4.05 | (2.40) | 0.21 | (9.72) | 東壁 | 1.02 0.47 | — | 9C 2/4 | 出土土器 H-17-37より新しく、H-5・12より古い。 |
| 8 | X15,16 Y31,32 | 長方形 | N-118°E | 3.96 | 3.27 | 0.17 | 12.95 | 南東壁 | 0.78 0.55 | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-12・14・20・D-21より新しく。光ヶ丘段階と考えられる灰陶陶器群(10)が出土している。 |
| 9 | X15,16 Y27,28 | 方形か 長方形 | N-40°E | 2.62 | (1.00) | 0.41 | 6.62 | — | — | — | 9C 前半 | 出土土器 H-10より新しく、D-23より古い。 |
| 10 | X15 Y27,28 | 方形か 長方形 | N-75°E | 3.69 | (2.00) | 0.35 | 7.38 | — | — | — | 9C 前半 | 出土土器 H-60・61より新しく、H-9より古い。 |
| 11 | X17,18 Y30,31 | 長方形 | N-64°E | 3.80 | 3.13 | 0.11 | 11.89 | 北東壁 | 0.89 0.45 | — | 8C 4/4 | 出土土器 H-32・J-15より新しく、H-35より古い。8世紀末 ～9世紀初頭の土器が出土しており。カマドから 裏窓型の輪付盤(14)が出土した。 |
| 12 | X16 Y30,31 | 長方形 | N-96°E | 4.41 | 3.29 | 0.20 | 14.95 | 東壁 | 0.80 0.78 | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-7・17・D-21・22より新しく、H-8・J-2より古い。 |
| 13 | X18 Y29,30 | 長方形 | N-69°E | 3.91 | 2.44 | 0.19 | 9.54 | 東壁 | (0.89) 0.70 | — | 8C 4/4 | 出土土器 H-31より新しく、I-LW-2より古い。 |
| 14 | X15,16 Y31,32 | 方形か 長方形 | N-89°E | 4.20 | (2.68) | 0.22 | (11.26) | 東壁 | 0.68 0.60 | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-20・D-21より新しく、H-8より古い。位相的に 重複するH-12との新旧関係はH-8に被覆され不 明である。 |
| 15 | X15 Y29,30 | 方形か 長方形 | N-72°E | 3.13 | (1.30) | 0.26 | (4.07) | 東壁 | 0.84 0.47 | — | 9C 1/4 | 出土土器 H-6より古い。 |
| 16 | X16,17 Y32,33 | 長方形 | N-86°E | 3.89 | 2.45 | 0.20 | 9.53 | 東壁 | 0.67 (0.40) | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-20・34・33より新しく、H-33・34は出土土器で は時期差がない。 |
| 17 | X15,16 Y29,30 | 方形か 長方形 | N-86°E | (4.02) | (3.77) | 0.20 | (15.16) | — | — | — | 9C 1/4 | 出土土器 D-19より新しく、H-5-6-7-12-J-2より古い。I-6 との新旧関係は不明。 |
| 18 | X17,18 Y32,33 | 方形 | N-114°E | (3.98) | 3.42 | 0.25 | (13.61) | 南東壁 | 0.74 (0.48) | — | 9C 2/4 | 出土土器 H-19-36-50より新しく、H-33-34-J-3より古 い。H-19-48は出土土器では時期差がない。 |
| 19 | X17,18 Y32 | 長方形 | N-72°E | 4.37 | 3.40 | 0.37 | 14.86 | — | — | — | 9C 2/4 | 出土土器 H-36-50より新しく、H-18-33-34-J-3より古 い。H-18-48は出土土器では時期差がない。 |
| 20 | X16,17 Y31,32 | 長方形 | N-65°E | 4.00 | 3.29 | 0.31 | 13.16 | 北東壁 | 0.56 0.58 | — | 9C 1/4 | 出土土器 H-14-37-D-1-22より新しく、H-8-16-35より 古い。 |
| 21 | X20 Y54 | 方形 | N-104°E | 3.66 | 3.28 | 0.10 | 12.00 | 東壁 | 0.48 | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-24より古い。光ヶ丘段階と考えられる灰陶陶器 群が出土している。 |
| 22 | X19,20 Y33 | 方形か 長方形 | N-72°E | (2.70) | (1.50) | 0.23 | (4.05) | 東壁 | 0.80 0.48 | — | 10C 後半 | 出土土器 H-24より新しい。 |
| 23 | X19,20 Y34 | 方形か 長方形 | N-130°E | (2.70) | (1.50) | 0.35 | (4.14) | 南東壁 | (0.51) (0.22) | — | 9C 2/4 | 出土土器 H-24より新しく、W-2より古い。 |
| 24 | X19,20 Y33,34 | 方形か 長方形 | N-65°E | (4.17) | (1.94) | 0.27 | 8.09 | 北東壁 | 0.91 0.44 | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-22-23,W-2より古い。 |
| 25 | X19 Y34,35 | 方形か 長方形 | N-85°E | 3.45 | (1.14) | 0.42 | (3.93) | — | — | — | 9C 4/4 | 出土土器 W-2より古い。 |
| 26 | X21,22 Y34,35 | 長方形 | N-86°E | 4.14 | 2.88 | 0.14 | 11.92 | 東壁 | (0.40) (0.60) | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-43より古い。 |
| 27 | X20,21 Y32,33 | 長方形 | N-75°E | 3.48 | 2.87 | 0.30 | 9.99 | 東壁 | 0.78 0.55 | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-42より新しい。 |
| 28 | X20,21 Y30,31 | 長方形 | N-92°E | 4.60 | 3.02 | 0.21 | 13.89 | 東壁 | 0.88 0.42 | — | 10C 4/4 | 出土土器 H-52より新しく、D-2より古い。奥山浜段階と考 えられる灰釉陶器群(41)が出土している。 |
| 29 | X21,22 Y30-32 | 長方形 | N-119°E | (4.25) | 2.69 | 0.07 | (11.43) | 南東壁 | 0.69 0.45 | — | 10C 2/4 | 出土土器 H-44-52-54～56より新しい。 |
| 30 | X21,22 Y31,32 | 長方形 | N-74°E | (4.00) | (3.44) | 0.42 | (13.76) | — | — | — | 10C 3/4 | 出土土器 H-44より新しい。 |

第2表 1区竪穴住居跡(H)観察表(2)

| 番号 | グリッド X・Y | 平面 形状 | 主輪 方向 | 規格(m) | | | カマド(m) | | | 時期 | 判別基準 | ()は推定値・残存 痕跡関係・備考 | |
|----|------------------|------------|----------|--------|--------|------|--------------------------|--------------|-----------------|--------------|----------------------|---|----------------|
| | | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | 正面積 (m ²) | 位置 | 通行窓口 幅 | | | | |
| 31 | X18 Y29.30 | 長方形 | N-68°E | (3.98) | (2.75) | 0.24 | (10.05) | — | — | — | 8C 4/4以前 | H-13・38J-L,W-2より古い。 | |
| 32 | X17,18 Y30.31 | 方形か 長方形 | N-67°E | 3.13 | (1.35) | 0.16 | (4.23) | — | — | — | 8C 4/4 | H-11との 重複関係 | |
| 33 | X17,18 Y33.34 | 長方形 | N-68°E | 3.83 | 1.90 | 0.14 | 7.28 | 東壁 | 0.64 0.57 | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-18・19・48新しく、H-34より古い。H-16・34は 出土土器には時期がない。この予想(54)は新し い標識をもつたものはない可能性がある。 | |
| 34 | X17 Y32.33 | 方形 | N-75°E | 3.35 | 2.94 | 0.19 | 9.85 | 東壁 | 0.45 0.45 | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-19・33より新しく、H-16より古い。H-16・33 は出土土器では時期差がない。 | |
| 35 | X17 Y31.32 | (長方形) | N-69°E | (3.94) | (2.86) | 0.18 | (11.03) | — | — | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-11・20・32・37より新しく。カマドは焼出されな かった。 | |
| 36 | X18 Y31.32 | 長方形 | N-67°E | 4.84 | 3.21 | 0.19 | 15.54 | 北東壁 | 0.50 0.47 | — | 8C 4/4 | 出土土器 H-50より新しく。H-18・19・3・W-2より古い。 | |
| 37 | X16,17 Y31 | 方形か 長方形 | N-70°E | (1.89) | (1.55) | 0.14 | (2.93) | — | — | — | 8C 4/4以前 | H-32との 重複関係 D-22より新しく。H-32・35より古い。 | |
| 38 | X19 Y30 | 長方形 | N-75°E | (3.16) | (2.45) | 0.15 | (7.74) | — | — | — | 8C 4/4 | 出土土器 H-31より新しく。W-2,D-6より古い。 | |
| 39 | X17 Y35 | 方形か 長方形 | N-114°E | (1.40) | (1.35) | 不明 | (1.89) | 南東壁 | 0.45 0.52 | — | 9C 後半 | 出土土器 D-3・4・5より古い。 | |
| 40 | X19 Y31.32 | 確定 長方形 | N-80°E | 4.33 | (2.33) | 0.48 | (10.09) | — | — | — | TC4/4～ 8C1/4 | 出土土器 W-2,I-4より古い。 | |
| 41 | X21 Y35.36 | 方形か 長方形 | N-63°E | (3.75) | (3.42) | 0.08 | (12.83) | — | — | — | 8C4/4～ 9C1/4 | 出土土器 D-13・15より新しく。 | |
| 42 | X20,21 Y32.33 | 長方形 | N-75°E | 4.32 | 2.34 | 0.23 | 10.11 | 東壁 | 0.73 (0.20) | — | 8C 2/4 | 出土土器 H-27・43より古い。内面に「井申」という刻書が ある土器罐(62)が出土している。 | |
| 43 | X21,22 Y33.34 | 方形 | N-66°E | 2.94 | (2.75) | 0.27 | (8.09) | — | — | — | 10C | 出土土器 H-26・42より新しく。 | |
| 44 | X21,22 Y31.32 | 方形か 長方形 | N-40°E | 2.35 | (1.80) | 0.30 | (4.23) | — | — | — | 10C 2/4以前 | H-29・30より古い。遺物は出土していない。 | |
| 45 | X15,16 Y37 | 長方形 | N-97°E | (3.10) | (2.47) | 0.10 | (7.66) | 東壁 | 0.61 0.35 | 0.40 0.25 | 10C 前半 | 出土土器 H-47・46・59,W-5より新しく。 | |
| 46 | X15,16 Y36.37 | 方形か 長方形 | N-34°E | (3.28) | (2.93) | 0.51 | (9.61) | — | — | — | 9C 4/4 | H-47・57,W-5より新しく。H-45より古い。9枚 紀の土器が出土している。 | |
| 47 | X16 Y36.37 | 方形 | N-74°E | 3.55 | 3.12 | 0.17 | 11.08 | 東壁 N-93°E | 0.51 0.33 | — | 9C 出土土器 4/4 | H-45より新しく。H-46・57～59,W-5より古い。 光ヶ丘段階と考えられる灰陶陶器群(67)が出土 している。 | |
| 48 | X17,18 Y33.34 | 方形 | N-63°E | 3.88 | 3.26 | 0.12 | 12.65 | 北東壁 | 0.78 (0.70) | — | 9C 出土土器 2/4 | H-18・50より新しく。H-33より古い。H-18・19 は出土土器では時期差がない。カマド、床面が複 数確認できたことから内面で示していると考えられ る。 | |
| 49 | X15 Y32 | 不明 | N-65°E | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 東壁 | 0.080 (0.50) | — | 不明 | — | カマドの先端のみ露出された。 |
| 50 | X18,19 Y33.34 | 方形 | N-69°E | 3.99 | 3.69 | 0.42 | 14.72 | 東壁 | 0.76 0.51 | — | 8C 1/4 | 出土土器 H-18・19・33・36・48J-L,W-2より古い。76は過位 で内部の壁に覆い被せられた状態で、75は軽蔑(61) に正位の状態で埋め込まれて出土した。 | |
| 51 | X19 Y35.36 | 方形か 長方形 | N-85°E | 2.93 | (2.06) | 0.39 | (6.04) | — | — | — | 9C H-25との 重複関係 | H-25,W-5より古い。遺物は出土していない。 | |
| 52 | X21,22 Y30.31 | 長方形 | N-90°E | 3.16 | 2.64 | 0.27 | 8.34 | 東壁 | 0.90 0.60 | — | 10C 1/4 | 出土土器 H-54・55より新しく。H-28・29より古い。移動陶 器と小鏡片(78)が出土している。 | |
| 53 | X16,17 Y32.33 | 方形か 長方形 | N-81°E | 3.41 | (0.52) | 0.11 | (1.77) | — | — | — | 9C 3/4以前 | H-16との 重複関係 | |
| 54 | X21,22 Y30.31 | 長方形 | N-97°E | 3.29 | (1.95) | 0.20 | (6.42) | 東壁 | 0.63 0.48 | — | 9C 出土土器 4/4 | H-55より新しく。H-29・52より古い。H-54・55 は重複しているが、出土土器からみると時期差が ない。 | |
| 55 | X21,22 Y30.31 | 方形 | N-131°E | 3.32 | (3.03) | 0.20 | (10.06) | 南東壁 | 0.70 0.47 | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-29・52より古い。H-45・55は複数しているが、 出土土器からみると時期差がない。 | |
| 56 | X22 Y30.31 | 方形か 長方形 | N-66°E | (2.80) | (2.16) | 0.36 | (6.05) | — | — | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-29より古い。 | |
| 57 | X15,16 Y36 | 方形か 長方形 | N-75°E | (2.75) | (2.73) | 0.30 | (7.51) | — | — | — | 9C 後半 | 出土土器 H-58より新しく。H-46・47,W-5,D-8より古い。 | |
| 58 | X16,17 Y35.36 | 長方形 | N-60°E | (2.60) | 2.45 | 0.14 | (6.37) | — | — | — | 9C 後半 | 出土土器 H-47・57,D-8より古い。 | |
| 59 | X16 Y37 | 方形か 長方形 | N-35°E | (2.30) | (1.30) | 0.11 | (2.90) | — | — | — | 9C 後半 | 出土土器 H-45,W-5より古い。遺物は出土していない。 | |
| 60 | X15 Y27 | 方形か 長方形 | N-91°E | (2.87) | (0.79) | 0.25 | (2.27) | 東壁 | 0.73 0.48 | — | 9C 前半 | 出土土器 H-61より新しく。H-10より古い。 | |

第3表 1区堅穴住居跡(H)観察表(3)

| 番号 | ダリヤF X-Y | 平面形状 | 主軸方向 | 規模(m) | | 床面積 (m ²) | 位置 | カマド(m) | | 時期 | 判別基準 | 重複開闢・備考 |
|----|------------------|------------|-------------------|--------|------|--------------------------|----|------------------|-----|-------------|----------------|---|
| | | | | 長軸 | 短軸 | | | 通行焚口幅 | 煙道長 | | | |
| 61 | X15 Y27 | 方形か 長方形 | N-83°E (3.22) | (1.03) | 0.44 | (3.32) | — | — | — | 9C 前半 | H-60との 重複開闢 | H-10-60より古い。 9世紀代の土器が出土している。 |
| 62 | X16 Y44 | 不明 | N-86°E | 不明 | 不明 | 不明 | 東壁 | (0.70) (0.67) | — | 9C 2/4後 | H-71との 重複開闢 | H-71-72より新しく、H-1-W-1より古い。カマド のみ残存。 |
| 63 | X15,16 Y44,45 | 方形か 長方形 | N-95°E (3.62) | (1.72) | 0.19 | (6.23) | 東壁 | 0.68 0.28 | — | 9C 1/4 | 出土土器 | H-66より新しく、H-3より古い。 |
| 64 | X17 Y42,43 | 方形か 長方形 | N-92°E (3.00) | (1.17) | 0.20 | (3.51) | — | — | — | 8-9C | 出土土器 | H-65,D-40,P-57より新しく、D-27-P-29-56,W-1 より古い。 |
| 65 | X16,17 Y43 | 方形か 長方形 | N-93°E (2.18) | (1.88) | 0.11 | (4.10) | — | — | — | 8C 2/4以前 | H-4との 重複開闢 | D-40-41より新しく、H-4-64,P-1-29,W-1より古 い。 |
| 66 | X16 Y45 | 方形か 長方形 | N-95°E (2.91) | (1.72) | 0.14 | (5.01) | — | — | — | 8C 4/4 | 出土土器 | H-2より新しく、H-3-63,P-26より古い。 |
| 67 | X17 Y43,44 | 方形か 長方形 | N-89°E (2.41) | (0.67) | 0.26 | (1.61) | — | — | — | 9C 2/4以前 | — | H-71, W-1より古い。 時期の判断できる遺物は出土していない。 |
| 68 | X15 Y46 | 不明 | N-96°E | 不明 | 不明 | 不明 | 東壁 | (0.40) (0.58) | — | 8-9C | 出土土器 | H-69より新しく。カマド先端のみ検出された。 |
| 69 | X15,16 Y46 | 方形か 長方形 | N-96°E (1.05) | (0.88) | 0.19 | (0.92) | — | — | — | 8-9C | 出土土器 | H-68より古い。 |
| 70 | X15,16 Y43,44 | 方形か 長方形 | N-95°E (1.54) | (0.82) | 0.17 | (1.26) | — | — | — | 8C 2/4以前 | H-4との 重複開闢 | H-4,W-1-6より古い。 遺物は出土していない。 |
| 71 | X16,17 Y43,44 | 方形 | N-91°E (0.26) | 3.22 | 0.29 | (10.50) | 東壁 | 0.53 (0.30) | — | 9C 2/4 | 出土土器 | H-67-72より新しく、H-1-62,W-1-6より古い。 |
| 72 | X16,17 Y43,44 | 方形 | N-119°E (2.88) | (2.65) | 0.1 | (7.63) | — | — | — | 8C 4/4 | 出土土器 | H-62-T1W-1より古い。 |

第4表 2区堅穴住居跡(H)観察表(1)

| 番号 | ダリヤF X-Y | 平面形状 | 主軸方向 | 規模(m) | | 床面積 (m ²) | 位置 | カマド(m) | | 時期 | 判別基準 | 重複開闢・備考 | |
|----|------------------|------------|-------------------|--------|------|--------------------------|----------|--------|-----|------------|------|--|--|
| | | | | 長軸 | 短軸 | | | 通行焚口幅 | 煙道長 | | | | |
| 1 | X75,76 Y34,35 | 長方形 | N-110°E (2.82) | 2.19 | 0.14 | (6.18) | 東壁 | — | — | 11C 前半 | 出土土器 | H-2-37-36より新しく、D-1-P-1-25より古い。 | |
| 2 | X76,77 Y34,35 | 方形か 長方形 | N-135°E (2.19) | (1.80) | 0.21 | (3.94) | 南東壁 | — | — | 10C 後半 | 出土土器 | H-1-26より古い。 カマドの主軸と住居跡と主軸が 異なる可能性がある。 | |
| 3 | X69,70 Y31,32 | 方形 | N-84°E (3.54) | 3.14 | 0.19 | (11.12) | 東壁 | — | — | 10C 後半 | 出土土器 | H-16-19より新しく。 | |
| 4 | X69-70 Y34,35 | 長方形 | N-95°E (5.32) | 3.60 | 0.28 | (19.15) | 東壁 | — | — | 10C 中盤 | 出土土器 | H-5-10-11-20より新しく、H-13,D-5より古い。 | |
| 5 | X69,70 Y34,35 | 方形 | N-89°E (4.55) | (4.25) | 0.20 | (19.34) | 東壁 | — | — | 10C 1/4 | 出土土器 | H-10-20-46より新しく、H-4-13,D-5より古い。 | |
| 6 | X72-74 Y33-35 | 方形 | N-121°E (4.61) | (4.91) | 0.15 | (22.64) | 東壁 | — | — | 10C 4/4 | 出土土器 | H-9-14-17-21-27-31-35,P-23-39-35,W-1より 古い。 | |
| 7 | X26,71 Y31 | 方形か 長方形 | N-82°E (3.07) | (2.62) | 0.26 | (8.04) | 東壁 | — | — | 10C 後半 | 出土土器 | H-8,D-9,P-2より新しく。 D-7より古い。 | |
| 8 | X69,70 Y30,31 | 方形か 長方形 | N-78°E (2.35) | 2.24 | 0.20 | (5.26) | 確定 東壁 | — | — | 10C 前半 | 出土土器 | D-10より新しく。 H-7より古い。 | |
| 9 | X74,75 Y33,34 | 長方形 | N-126°E (4.80) | 3.35 | 0.10 | (16.08) | 南東壁 | — | — | 10C 後半 | 出土土器 | H-14-23-40-52,D-26,P-10-34,W-1より新しく。 H-6より古い。 | |
| 10 | X69-71 Y35,36 | 方形 | N-89°E (5.15) | 5.12 | 0.26 | (26.37) | 東壁 | — | — | 9C 1/4 | 出土土器 | H-51より新しく。 H-4-5-20-46,J-1より古い。 | |
| 11 | X68,69 Y33,34 | 長方形 | N-82°E (4.15) | 2.75 | 0.25 | (11.41) | 東壁 | — | — | 10C 2/4 | 出土土器 | H-30,D-6-12-28より新しく。 H-4,D-5より古い。 | |
| 12 | X72,73 Y34,35 | 方形か 長方形 | N-76°E (3.29) | (3.10) | 0.26 | (10.20) | 東壁 | — | — | 9C 1/4 | 出土土器 | H-34より新しく。 H-27-35-51より古い。 | |
| 13 | X69,70 Y33,34 | 長方形 | N-105°E (3.75) | 2.83 | 0.27 | (10.61) | 東壁 | — | — | 11C 1/4 | 出土土器 | H-4-5-20-30より新しく。 | |
| 14 | X73-75 Y34,35 | 確定 方形 | N-72°E (5.16) | (5.37) | 0.28 | (27.71) | 東壁 | — | — | 7C 後半以前 | — | H-23との 重複開闢 | W-1より新しく。 H-6-9-17-23より古い。 9-10 世紀の土器が多量に出土しており 罐の中には遺物があった可能性がある。 |

第5表 2区堅穴住居跡(H)観察表(2)

()は推定値・残存値

| 番号 | グリッド X・Y | 平面 形状 | 主軸 方向 | 規格 (m) | | | 位置 | カマド (m) 焼成窓口 理道長 幅 | 時期 | 判斷基準 | 重複関係・備考 | |
|----|------------------|------------|----------|--------|--------|------|---------|-----------------------------|----|-----------|--|--|
| | | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | | |
| 15 | X11,72 Y33,34 | 長方形 | N-76°E | 3.50 | (2.85) | 0.24 | (0.98) | 炉跡 N-55°E | — | — | 11C 前半 | 出土土器 H-24-26-27-29-33-35-44-47より新しく、 D-16-17より古い。 |
| 16 | X69 Y31,36 | 方形か 長方形 | N-50°E | (2.88) | (2.35) | 0.11 | (0.77) | — | — | — | 7C 3/4 | 出土土器 H-3より古い。床面から遺物の状態で、遺物器 件(G156)が出土している。 |
| 17 | X73 Y34,35 | 長方形 | N-78°E | 3.31 | 2.48 | 0.26 | 8.21 | 東壁 | — | — | 10C 4/4 | H-21と の重複関係 H-14-21,P-23,W-1より新しく、H-6より古い。 10世紀後半の手器が出土している。 |
| 18 | X70,71 Y31,32 | 長方形 | N-59°E | 4.40 | 3.24 | 0.30 | 14.26 | 北東壁 N-89°E | — | — | 10C 後半 | 出土土器 H-45,D-15より新しく、H-7より古い。カマドから 3層調査、刷毛、匕筆が一起して出土した。 |
| 19 | X69,70 Y32,33 | 長方形 | N-83°E | 4.13 | 3.57 | 0.24 | 14.74 | 東壁 N-92°E | — | — | 10C 後半 | 出土土器 H-22-50,D-11より新しく、H-3より古い。虎頭山 段階と考えられる灰陶胸器部(H65)が出土してい る。 |
| 20 | X69,70 Y34-36 | 方形 | N-85°E | 6.30 | (5.92) | 0.33 | (37.30) | 東壁 | — | — | 9C 2/4 | 出土土器 H-10-51より新しく、H-4-5+13,L-1,粘土採集瓶 より古い。 |
| 21 | X72,73 Y32,34 | 方形か 長方形 | N-80°E | 4.46 | (3.00) | 0.10 | (13.38) | 東壁 | — | — | 10C 4/4 | 出土土器 H-31-35より新しく、H-6-17-27-28より古い。 |
| 22 | X70,71 Y32,33 | 長方形 | N-78°E | (4.15) | 3.03 | 0.28 | (12.57) | 東壁 | — | — | 10C 前半 | 出土土器 H-24-42～44-50より新しく、H-18-19より古い。 大型段階と考えられる灰陶胸器部(185)等が出土 している。 |
| 23 | X73,74 Y34,35 | 長方形 | N-135°E | 3.76 | 3.22 | 0.28 | 12.11 | 南東壁 | — | — | 7C 後半 | 出土土器 H-14,W-2より新しく。 |
| 24 | X70,71 Y33,34 | 長方形 | N-83°E | (3.93) | (3.27) | 0.20 | (12.85) | 東壁 | — | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-26-44より新しく、H-15-22-29-42,D-19より 古い。PSとは新旧関係が不明。 |
| 25 | X70,71 Y35 | 長方形 | N-70°E | 2.80 | 2.32 | 0.19 | 6.50 | 東壁 N-92°E | — | — | 10C 前半 | 出土土器 H-48-49-51より新しく。 |
| 26 | X70,71 Y34,35 | 方形 | N-75°E | (2.90) | 2.87 | 0.20 | (8.32) | — | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-44より新しく、H-15-24,D-19より古い。P-5 とは新旧関係が不明。 | |
| 27 | X72,73 Y34,35 | 長方形 | N-80°E | (3.52) | 2.68 | 0.27 | (9.43) | 東壁 | — | — | 10C 4/4 | 出土土器 H-12-21-31-35-47-51より新しく。H-6-15-29 より古い。 |
| 28 | X72 Y33,34 | 方形か 長方形 | N-77°E | (1.31) | (1.35) | 0.25 | (1.77) | 東壁 | — | — | 10C 4/4 | H-21-29との 重複関係 H-21-31-33より新しく、H-29より古い。10世 紀代の上部が出土している。 |
| 29 | X71,72 Y33,34 | 長方形 | N-105°E | 3.10 | (2.65) | 0.42 | (8.22) | 東壁 | — | — | 11C 前半 | 出土土器 H-27-28-33-42+44より新しく、H-15,D-16より 古い。 |
| 30 | X69 Y35,34 | 概定 正方形 | N-80°E | 2.50 | (2.44) | 0.15 | (6.10) | — | — | — | 9C | 出土土器 H-11-13,D-6より古い。 |
| 31 | X72,73 Y33,34 | 方形か 長方形 | N-83°E | (3.45) | (1.86) | 0.08 | (6.42) | — | — | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-6-21-27-31-35より古い。 |
| 32 | X74,75 Y33,34 | 方形 | N-65°E | (4.23) | (3.92) | 0.19 | (16.58) | — | — | — | 8C 1/4 | 出土土器 W-2より新しく、H-9-40-52より古い。 |
| 33 | X71,72 Y33,34 | 長方形 | N-80°E | 3.85 | (2.93) | 0.18 | (11.26) | 東壁 | — | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-15-27-28-29-42より古い。カマドZの主軸は N-70°E。 |
| 34 | X71,72 Y35 | 方形か 長方形 | N-75°E | (3.10) | (1.04) | 0.24 | (3.22) | — | — | — | 9C 1/4 | 出土土器 H-49より新しく、H-12-51より古い。H-47との 新旧関係が不明である。 |
| 35 | X72,73 Y34,35 | 方形か 長方形 | N-82°E | (2.85) | (2.03) | 0.09 | (5.79) | 東壁 | — | — | 10C 3/4 | 出土土器 H-2-47より新しく、H-15-21-27より古い。 |
| 36 | X75,76 Y34 | 方形か 長方形 | N-44°E | (3.85) | (2.05) | 0.25 | (7.89) | — | — | — | 10C 後半 ～ 11C 前半 | H-2-30-37より新しく、H-1より古い。時期の異 なる上部が混在して多層に出土している。 |
| 37 | X75 Y34,35 | 方形 | N-78°E | (4.27) | (4.03) | 0.28 | (17.21) | — | — | — | 8-9C | 出土土器 H-32より新しく、H-1-2-36より古い。 |
| 38 | X68,69 Y29,30 | 方形か 長方形 | N-78°E | (3.05) | (2.05) | 0.27 | (6.25) | — | — | — | 10C 後半 | 出土土器 D-30より新しく。虎頭山段階と考えられる灰陶胸 器小破片が出土している。 |
| 39 | X67 Y29,30 | 方形か 長方形 | N-82°E | (1.77) | (0.55) | 0.20 | (0.97) | 確定 東壁 | — | — | 10C 前半 | 出土土器 |
| 40 | X74,75 Y33,34 | 長方形 | N-80°E | (2.80) | (1.90) | 0.38 | (5.32) | — | — | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-9-32,W-2より新しく。 |
| 41 | X70,71 Y35,36 | 方形か 長方形 | N-42°E | (2.50) | (1.90) | 0.11 | (4.75) | — | — | — | 7C 後半～ 8C | 出土土器 H-10-25より古い。 |
| 42 | X71,72 Y33 | 長方形 | N-80°E | (2.60) | (2.24) | 0.40 | (5.82) | — | — | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-24-43より新しく、H-22-29-33より古い。 |
| 43 | X71,72 Y33 | 方形か 長方形 | N-80°E | (1.55) | (0.37) | 0.26 | (0.57) | — | — | — | 9C | 出土土器 H-22-42より古い。 |
| 44 | X71 Y33,34 | 方形か 長方形 | N-56°E | (2.45) | (2.00) | 平明 | (4.90) | — | — | — | 8C 後半～ 9C 前半 | 出土土器 H-15-22-24-26-29-42,D-19より古い。 |

第6表 2区堅穴住居跡(H)観察表(3)

| 番号 | グリッド | 平面形状 | 主軸方向 | 規模(m) | | | カマド(m) | 時間 | 判明基準 | 重複関係・備考 | | |
|----|------------------|--------|-------------------|--------|--------|---------|--------|-----|------|--------------|--|-------------------------|
| | | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | | |
| 45 | X71.72 Y32 | 長方形 | N-75-E | 3.27 | (2.35) | 0.11 | (7.68) | 東壁 | — | — | 9C 4/4 | 出土土器 H-18,D-8より古い。 |
| 46 | X70 Y34,35 | 方形か長方形 | N-117-E (2.46) | (1.41) | 0.07 | (3.47) | — | — | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-10-20より新しく、H-5-13より古い。H-10-20周辺を検出した。遺存状態が悪くカマドは確認できなかった。 | |
| 47 | X71.72 Y34,35 | 方形か長方形 | N-84-E (2.22) | (1.41) | 0.14 | (3.13) | — | — | — | 9C 1/4 | 出土土器 H-49より新しく、H-12-15-48-35-51より古い。H-34との重複関係は不明である。 | |
| 48 | X70.71 Y34,35 | 長方形 | N-55-E (2.60) | (2.26) | 0.05 | (5.88) | — | — | — | 9C 2/4 | 出土土器 H-47-49より新しく、H-25-26より古い。 | |
| 49 | X71.72 Y35 | 方形か長方形 | N-68-E (3.40) | (1.82) | 0.12 | (6.19) | — | — | — | 8C 後半 | 出土土器 H-25-34-47-48より古い。 | |
| 50 | X70 Y32,23 | 方形か長方形 | N-71-E (3.90) | (2.60) | 0.17 | (10.14) | — | — | — | 10C 前半以降 | H-22との重複関係 H-18-19-22,D-15より古い。遺物は出土していない。 | |
| 51 | X71 Y34,35 | 長方形 | N-77-E (3.40) | (2.80) | 0.33 | (9.52) | — | — | — | 10C 3/4以前 | H-35との重複関係 H-15-27-35より古い。10世紀の土器が出土している。 | |
| 52 | X74.75 Y34 | 不明 | N-125-E | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 南東壁 | — | — | 8C 1/4 | 出土土器 H-32より新しく、H-9より古い。 |

第7表 3区堅穴住居跡(H)観察表

| 番号 | グリッド | 平面形状 | 主軸方向 | 規模(m) | | | カマド(m) | 時間 | 判明基準 | 重複関係・備考 | |
|----|------------------|--------|-------------------|--------|------|--------|----------|----|------|--------------------------|--|
| | | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | |
| 1 | X75.76 Y34,35 | 方形か長方形 | N-75-E (4.25) | (2.04) | 0.45 | (8.67) | — | — | — | 11C 前半 | 出土土器 H-4,W-8より新しく。 |
| 2 | X76.77 Y34,35 | 方形か長方形 | N-125-E (1.90) | (0.80) | 0.27 | (1.52) | 東壁 | — | — | 10C 60.69 40.55 | 1108年以前 — W-1-2-8より新しく。遺物は出土していない。 |
| 3 | X69.70 Y31,32 | 方形か長方形 | N-100-E (3.83) | (2.10) | 0.50 | (8.04) | — | — | — | 10C 後半 ~11C | 出土土器 H-1-12,W-8より新しく。W-1より古い。 |
| 4 | X68-70 Y34,35 | 方形か長方形 | N-91-E (1.84) | (1.08) | 0.37 | (1.99) | — | — | — | 10-11C 以前 | H-1-3との重複関係 W-6より新しく、H-1-3より古い。遺物は出土していない。 |
| 5 | X69.70 Y34,35 | 方形か長方形 | N-80-E (4.75) | (1.45) | 0.45 | (6.89) | — | — | — | 9C 3/4 | 出土土器 H-6より新しく、D-1より古い。 |
| 6 | X72-74 Y33-35 | 方形か長方形 | N-65-E (3.79) | (1.70) | 0.65 | (6.44) | 確定 東壁 | — | — | 9C 2/4 | 出土土器 H-5,W-4より古い。 |
| 7 | X70.71 Y31 | 方形か長方形 | N-59-E (3.12) | (1.60) | 0.46 | (4.99) | — | — | — | 不明 | — D-2,W-6より古い。遺物は出土していない。 |
| 8 | X69.70 Y30,31 | 方形か長方形 | N-75-E (3.62) | (1.58) | 0.52 | (5.72) | — | — | — | 9C 後半 | 出土土器 |
| 9 | X74.75 Y33,34 | 方形か長方形 | N-105-E (2.90) | (1.62) | 0.49 | (4.69) | — | — | — | 10C 前半 | 出土土器 |
| 10 | X69-71 Y35,36 | 方形か長方形 | N-48-E (2.72) | (2.43) | 0.41 | (6.33) | — | — | — | 10C 前半 | 出土土器 H-12より新しく、D-3,W-2-3より古い。 |
| 11 | X68-69 Y35,34 | 方形か長方形 | N-53-E (1.60) | (1.10) | 0.32 | (1.76) | — | — | — | 不明 | — D-3,W-3より古い。遺物は出土していない。 |
| 12 | X72.73 Y34,35 | 方形か長方形 | N-86-E (3.01) | (1.12) | 0.51 | (3.37) | — | — | — | W-6より新しく、H-3-10,W-3より古い。 | |

第8表 1区掘立柱建物(B)観察表

| 番号 | グリッド | 構成ピット | | 形状 棟方向 | 規模 | 桁行 柱間寸法 | 梁行 柱間寸法 | 底面積 (m ²) | 時期 | | 備考 |
|----|------------------|-------|---|---------------------|---|--|------------|--------------------------|------|------|---|
| | | 数 | 構成ピット | | | | | | 時期 | 判明基準 | |
| 1 | X15-17 Y41,42 | 11基 | P-2-22-23-27 -28-31-33-36 -37-51-54 | 楕円柱建物 東西棟 N-67-E | 桁行3間 (4.90 m) 東西棟 延長2間 (3.30 m) | 1.63 m | 1.65 m | 8C末～ 9C初頭 | 出土土器 | | P-31以外のピットには底面又は断面に柱跡が確認できた。P-2-22-23から土器小片が出土している。 |
| 2 | X16,17 Y40,41 | 5基 | P-24-41- 43-46-48 | 楕円柱建物 東西棟 N-96-E | 桁行2間以上; (2.55 m) 東西棟 延長2間 (3.32 m) | P-24-41間 1.55 m P-26-48間 1.84 m | 1.76 m | 8.98 以上 | 9C初頭 | 出土土器 | P-24-41-43には底面又は断面に柱跡が確認できた。P-24-43から土器小片が出土している。 |

第9表 土坑(D)観察表

| 区 番 号 | グリッド | | 平面 形状 | 断面 形状 | 規範(m) | | | 底面 標高 (m) | 番 号 | グリッド | | 平面 形状 | 断面 形状 | 規範(m) | | | 底面 標高 (m) | |
|-------------|-------|-------|----------|----------|--------|--------|------|-----------------|--------|-------|-------|----------|----------|--------|--------|------|-----------------|-------|
| | X | Y | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | X | Y | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | |
| 1 | 16 | 42 | 円形 | 台形状 | 0.82 | 0.76 | 0.20 | 91.24 | 21 | 16 | 31 | 梢円形 | (楕状) | 1.48 | 1.06 | 0.11 | 91.25 | |
| 2 | 20,21 | 31,42 | (楕丸形) | 楕状 | 1.89 | 1.36 | 0.39 | 91.35 | 22 | 16,17 | 31 | 不整形 | 楕状 | — | 0.96 | 0.18 | 91.18 | |
| 3 | 17 | 35 | 円形 | 楕状 | 0.84 | 0.84 | 0.29 | 91.23 | 23 | 16 | 28 | 不明 | 楕状 | — | 0.86 | 0.23 | 91.23 | |
| 4 | 17 | 35 | (方形) | 楕状 | 0.98 | 0.64 | 0.15 | 91.36 | 24 | 16,17 | 46 | 不明 | 楕状 | — | (1.24) | 0.35 | 90.99 | |
| 5 | 17 | 35 | 円形 | 楕状 | 0.92 | 0.90 | 0.18 | 91.35 | 25 | 16 | 41,42 | 梢円形 | (楕状) | 2.48 | 1.08 | 0.28 | 91.16 | |
| 6 | 19 | 30 | 梢円形 | 楕状 | 0.80 | 0.50 | 0.37 | 91.27 | 26 | 16 | 41 | 梢円形 | (台形状) | 1.56 | 0.86 | 0.43 | 91.01 | |
| 7 | 20 | 31 | 梢円形 | 楕状 | 1.60 | 0.81 | 0.21 | 91.56 | 27 | 17 | 42 | 不整形 | 楕斗状 | — | 2.14 | 0.36 | 91.07 | |
| 8 | 16 | 36 | (梢円形) | 楕状 | 1.36 | 1.02 | 0.32 | 91.00 | 28 | 15,16 | 40,41 | 不整形 | 楕状 | 41.6 | 22.0 | 0.47 | 90.96 | |
| 9 | 15 | 30 | 不明 | 楕状 | — | — | 0.16 | 91.44 | 29 | 16,17 | 42 | (円形) | 楕状 | 0.95 | 0.88 | 0.33 | 91.10 | |
| 10 | 20 | 35 | (梢円形) | 楕状 | 0.98 | 0.66 | 0.18 | 91.40 | 30 | 矢差 | — | — | — | — | — | — | — | |
| 11 | 20 | 35,36 | 不明 | 不明 | — | 0.58 | 0.12 | 91.46 | 31 | 15 | 49 | 不明 | 楕状 | (1.17) | — | 0.36 | 91.07 | |
| 12 | 20 | 35 | 円形 | 楕状 | 0.78 | 0.66 | 0.25 | 91.25 | 32 | 15 | 39,40 | 不明 | (楕状) | — | 0.39 | 0.12 | 91.02 | |
| 13 | 20,21 | 35 | (方形) | 楕状 | 1.02 | 0.80 | 0.60 | 90.98 | 33 | 16 | 39 | 不明 | 楕状 | (1.03) | — | 0.49 | 90.90 | |
| 14 | 17 | 36,37 | 不明 | 楕状 | — | (2.14) | 0.19 | 91.27 | 34 | 16 | 39,40 | 不明 | (楕状) | — | — | 0.57 | 90.87 | |
| 15 | 21 | 35,36 | 円形 | 楕状 | 0.96 | 0.86 | 0.70 | 90.88 | 35 | 16 | 40 | (円形) | 楕状 | 0.92 | 0.74 | 0.37 | 91.02 | |
| 16 | 20 | 30 | 円形 | 楕状 | 0.72 | 0.70 | 0.17 | 91.60 | 36 | 15 | 42,43 | 不明 | (梢段状) | (2.60) | — | 0.53 | 90.87 | |
| 17 | 20,21 | 30 | 円形 | 楕状 | 0.64 | 0.58 | 0.19 | 91.54 | 37 | 15 | 41,42 | 不明 | 楕状 | 0.99 | — | 0.34 | 91.03 | |
| 18 | 21 | 30 | 不明 | 楕状 | (1.14) | — | 0.58 | 91.13 | 38 | 15 | 41 | 不明 | (梢段状) | (2.10) | — | 0.51 | 90.90 | |
| 19 | 15,16 | 30 | (円形) | 楕状 | 1.28 | 1.08 | 0.31 | 91.31 | 39 | 17 | 39,40 | 不明 | (楕状) | — | — | 0.48 | 90.98 | |
| 20 | 20,21 | 30 | 不明 | (円形) | — | — | 0.50 | 91.24 | 40 | 16,17 | 43 | 不整形 | 楕状 | — | (0.64) | 0.15 | 90.96 | |
| 1 | 75 | 35 | 楕丸形 | 台形状 | 1.38 | 0.88 | 0.67 | 90.91 | 41 | 71 | 33,34 | 梢円形 | U字状 | 1.12 | 0.68 | 0.57 | 90.91 | |
| 2 | 70 | 31 | 梢円形 | 梢段状 | 1.02 | 0.86 | 0.44 | 91.06 | 42 | 71 | 72 | 34 | 楕丸形 | 楕状 | 2.14 | 1.16 | 0.26 | 91.29 |
| 3 | 69 | 31 | 楕丸形 | 梢段状 | 1.00 | 0.82 | 0.31 | 91.51 | 43 | 73 | 33 | 円形 | 楕状 | 0.90 | 0.84 | 0.32 | 91.33 | |
| 4 | 70 | 32 | 梢円形 | 楕状 | 0.90 | 0.66 | 0.30 | 91.22 | 44 | 71 | 34 | (楕丸形) | (楕状) | 1.16 | — | 0.29 | 90.96 | |
| 5 | 69 | 34 | 長方形 | 楕状 | 0.74 | 0.58 | 0.19 | 91.05 | 45 | 71 | 33,23 | 円形 | 台形状 | 0.76 | 0.76 | 0.50 | 91.10 | |
| 6 | 69 | 33 | (円形) | 台形状 | 1.02 | — | 0.41 | 91.04 | 46 | 69 | 31 | 不明 | 不明 | 0.88 | — | 0.49 | 91.05 | |
| 7 | 71 | 31 | (梢円形) | 楕状 | 2.04 | — | 0.45 | 91.20 | 47 | 69 | 31 | 梢丸形 | (楕状) | 1.14 | 0.76 | 0.60 | 90.95 | |
| 8 | 71,72 | 32 | (円形) | 不明 | 1.00 | — | 0.26 | 91.30 | 48 | 68 | 30 | 梢丸形 | 楕状 | 1.02 | 0.76 | 0.45 | 90.30 | |
| 9 | 70 | 31 | (円形) | 梢段状 | 0.98 | 0.84 | 0.36 | 91.17 | 49 | 67 | 30 | 梢丸形 | 楕状 | 1.10 | 0.90 | 0.59 | 91.03 | |
| 10 | 69,70 | 31 | 円形 | 楕状 | 1.32 | 1.10 | 0.34 | 91.16 | 50 | 67 | 30 | 不明 | 不明 | 0.82 | — | 0.64 | 90.92 | |
| 11 | 69 | 32,33 | (楕丸形) | 梢段状 | 0.84 | 0.76 | 0.43 | 91.06 | 51 | 66 | 27,25 | 33,34 | 梢丸形 | 楕状 | 1.60 | 1.34 | 0.55 | 90.95 |
| 12 | 68 | 33,34 | (楕丸形) | 梢段状 | 0.84 | 0.76 | 0.43 | 91.15 | 52 | 74 | 33,34 | 円形 | 楕状 | 0.74 | 0.64 | 0.46 | 91.12 | |
| 13 | 矢差 | — | — | — | — | — | — | — | 53 | 68 | 33 | 円形 | 楕状 | 0.66 | 0.66 | 0.30 | 91.15 | |
| 14 | 矢差 | — | — | — | — | — | — | — | 54 | 68 | 33 | 梢円形 | 楕状 | 0.84 | 0.64 | 0.37 | 91.14 | |
| 15 | 70,71 | 32 | 円形 | 梢段状 | 0.96 | 0.84 | 0.33 | 91.01 | 55 | 68 | 30 | (梢円形) | U字状 | (0.50) | — | 0.29 | 91.10 | |
| 3 | 1 | 15 | 13,14 | 不明 | (楕状) | (2.10) | — | 0.50 | 91.57 | 56 | 15 | 17 | (円形) | 不明 | 1.20 | 0.90 | 0.14 | 91.08 |
| 4 | 2 | 15 | 12 | 不明 | (楕状) | (1.16) | — | 0.56 | 91.57 | 57 | 17 | 42 | 梢円形 | U字状 | 0.42 | 0.32 | 0.24 | 90.88 |

第10表 ピット(P)観察表(1)

| 区 番 号 | グリッド | | 平面 形状 | 断面 形状 | 規範(m) | | | 底面 標高 (m) | 番 号 | グリッド | | 平面 形状 | 断面 形状 | 規範(m) | | | 底面 標高 (m) | |
|-------------|-------|-------|----------|----------|-------|------|------|-----------------|--------|-------|-------|----------|----------|--------|------|------|-----------------|-------|
| | X | Y | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | X | Y | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | |
| 1 | 16 | 42 | 梢円形 | (楕状) | — | 0.44 | 0.14 | 91.33 | 30 | 17 | 41,42 | (楕丸形) | 楕状 | — | 0.50 | 0.43 | 90.86 | |
| 2 | 16 | 42 | 円形 | U字状 | 0.70 | 0.68 | 0.58 | 90.83 | 31 | 17 | 42 | 円形 | 楕状 | 0.70 | 0.67 | 0.43 | 90.94 | |
| 3 | 17 | 46 | 円形 | (U字状) | 0.58 | 0.54 | 0.32 | 91.08 | 32 | 15 | 42 | 梢円形 | 台形状 | 0.62 | 0.56 | 0.28 | 91.19 | |
| 4 | 16 | 31 | 円形 | (U字状) | 0.36 | 0.32 | 0.27 | 91.35 | 33 | 15 | 42 | 梢円形 | (楕斗状) | (0.60) | 0.38 | 0.49 | 90.86 | |
| 5 | 16 | 32 | 梢円形 | 楕状 | 0.50 | 0.48 | 0.13 | 91.33 | 34 | 15 | 42 | (円形) | (楕状) | — | 0.64 | 0.25 | 90.91 | |
| 6 | 16 | 33 | 円形 | V字状 | 0.46 | 0.49 | 0.19 | 91.32 | 35 | 16 | 45 | 梢円形 | 楕斗状 | 0.38 | 0.24 | 0.46 | 91.05 | |
| 7 | 20 | 35 | 梢円形 | (楕斗状) | 0.54 | 0.48 | 0.16 | 91.34 | 36 | 17 | 42 | 梢円形 | 梢段状 | 0.86 | 0.67 | 0.45 | 90.82 | |
| 8 | 20 | 35 | 円形 | 楕斗状 | 0.58 | 0.54 | 0.26 | 91.32 | 37 | 15 | 42 | 円形 | U字状 | 0.74 | 0.55 | 0.50 | 90.82 | |
| 9 | 20 | 35 | 円形 | 楕状 | 0.30 | 0.20 | 0.08 | 91.54 | 38 | 16 | 41 | 円形 | U字状 | 0.30 | 0.26 | 0.16 | 91.19 | |
| 10 | 20 | 35 | 梢円形 | 台形状 | 0.68 | 0.48 | 0.27 | 91.32 | 39 | 17 | 46 | 円形 | 楕状 | 0.24 | 0.20 | 0.05 | 91.27 | |
| 11 | 15,16 | 32 | 梢円形 | 梢段状 | 0.60 | 0.48 | 0.43 | 91.11 | 40 | 17 | 46 | 梢円形 | 楕斗状 | 0.56 | 0.28 | 0.29 | 91.03 | |
| 12 | 17 | 30 | 円形 | 台形状 | 0.48 | 0.40 | 0.44 | 91.10 | 41 | 16 | 41 | 長梢円形 | 台形状 | 0.70 | 0.45 | 0.30 | 91.13 | |
| 13 | 17 | 29,30 | 梢円形 | 楕状 | 0.55 | 0.26 | 0.36 | 91.21 | 42 | 16 | 41 | 梢円形 | (U字状) | 2.48 | 1.06 | 0.41 | 91.06 | |
| 14 | 17 | 29,30 | 梢円形 | 平円形 | 0.62 | — | 0.23 | 91.36 | 43 | 16 | 40,41 | 梢円形 | 楕斗状 | 0.64 | 0.50 | 0.50 | 91.91 | |
| 15 | 18 | 30 | 円形 | (U字状) | 0.46 | 0.40 | 0.41 | 91.05 | 44 | 16 | 40 | 梢円形 | 梢状 | 0.40 | 0.32 | 0.23 | 91.13 | |
| 16 | 矢差 | — | — | — | — | — | — | — | 45 | 15 | 41 | (円形) | U字状 | 0.60 | — | 0.21 | 91.02 | |
| 17 | 20 | 36 | 梢円形 | 楕状 | 0.36 | 0.32 | 0.09 | 91.62 | 46 | 16 | 40 | 梢円形 | U字状 | 0.49 | 0.52 | 0.32 | 91.11 | |
| 18 | 17 | 35 | 円形 | 梢段状 | 0.32 | 0.30 | 0.11 | 91.30 | 47 | 16 | 40 | 円形 | 楕斗状 | 0.52 | 0.46 | 0.45 | 90.94 | |
| 19 | 16 | 35 | 円形 | V字状 | 0.30 | 0.26 | 0.10 | 91.32 | 48 | 17 | 40 | 梢円形 | U字状 | 0.47 | 0.55 | 0.31 | 91.10 | |
| 20 | 17 | 30 | 円形 | 梢段状 | 0.50 | 0.48 | 0.40 | 91.08 | 49 | 17 | 40 | 円形 | 梢状 | 0.28 | 0.26 | 0.08 | 91.21 | |
| 21 | 16 | 28 | (梢円形) | V字状 | 0.46 | — | 0.52 | 91.43 | 50 | 16,17 | 40 | 円形 | 梢状 | (0.40) | 0.40 | 0.10 | 91.25 | |
| 22 | 16 | 42 | 梢丸形 | 楕斗状 | 0.90 | 0.82 | 0.56 | 90.86 | 51 | 15 | 41 | 円形 | (U字状) | 0.25 | 0.22 | 0.43 | 90.97 | |
| 23 | 17 | 41 | 円形 | V字状 | 0.64 | 0.59 | 0.46 | 90.95 | 52 | 17 | 39 | (梢円形) | (楕状) | — | — | 0.20 | 91.21 | |
| 24 | 16,17 | 41 | 梢円形 | 楕状 | 0.65 | 0.53 | 0.32 | 91.14 | 53 | 16 | 39 | (円形) | (楕状) | — | — | 0.16 | 91.26 | |
| 25 | 16,17 | 42 | 梢円形 | 楕状 | 0.60 | 0.54 | 0.06 | 91.36 | 54 | 16 | 41 | 梢丸形 | 不明 | 0.70 | 0.40 | 0.48 | 90.93 | |
| 26 | 16,17 | 45 | 円形 | 楕斗状 | 0.54 | 0.52 | 0.43 | 90.90 | 55 | 16 | 40 | (円形) | 台形状 | 0.46 | — | 0.42 | 91.02 | |
| 27 | 16 | 41 | (梢円形) | 梢段状 | — | 0.68 | — | 91.00 | 56 | 17 | 42 | (梢円形) | U字状 | 0.40 | — | 0.39 | 91.00 | |
| 28 | 16 | 41 | (円形) | U字状 | — | — | 0.34 | 91.01 | 57 | 17 | 42 | 梢円形 | U字状 | 0.42 | 0.32 | 0.24 | 90.88 | |
| 2 | 16 | 35 | 円形 | 楕状 | 0.46 | 0.44 | 1.06 | 90.54 | 4 | 16 | 70 | 33 | 梢円形 | 楕斗状 | 0.32 | 0.30 | 0.20 | 91.15 |
| 3 | 20 | 31 | 梢丸形 | U字状 | 0.46 | 0.40 | 0.43 | 91.13 | 5 | 71 | 34 | 梢円形 | 梢段状 | 0.44 | 0.36 | 0.35 | 90.72 | |
| 3 | 69 | 33 | 円形 | 台形状 | 0.36 | 0.34 | 0.36 | 91.10 | 6 | 72 | 34 | 円形 | V字状 | 0.30 | 0.26 | 0.23 | 91.01 | |

第11表 ピット(P)観察表(2)

| 区 番 号 | グリッド | | 平面 形状 | 規格(m) | | | 底面 標高 (m) | 番 号 | グリッド | | 平面 形状 | 断面 形状 | 規格(m) | | | 底面 標高 (m) | | | |
|-------------|------|----|----------|-------|-----|-------|-----------------|--------|-------|-------|----------|----------|--------|-------|------|-----------------|------|-------|-------|
| | X | Y | | 長幅 | 短幅 | 深さ | | | X | Y | | | 長幅 | 短幅 | 深さ | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Z 区 | 7 | 72 | 34 | 円形 | 孤状 | 0.26 | 0.24 | 0.11 | 90.94 | 30 | 75 | 34 | (側丸方形) | 階段状 | 0.74 | 0.70 | 0.65 | 91.00 | |
| | 8 | 71 | 32.33 | 円形 | U字状 | 0.30 | 0.28 | 0.71 | 91.15 | 31 | 68 | 33 | 梢円形 | U字状 | 0.42 | 0.34 | 0.37 | 91.09 | |
| | 9 | 68 | 31 | (円形) | U字状 | 0.068 | 0.054 | 0.30 | 91.24 | 32 | 72 | 35 | 梢円形 | U字状 | 0.13 | 0.10 | 0.17 | 91.07 | |
| | 10 | 74 | 34 | 円形 | 孤状 | 0.62 | 0.58 | 0.60 | 91.03 | 33 | 73 | 34 | 円形 | 台形状 | 0.48 | 0.44 | 0.15 | 91.30 | |
| | 11 | 68 | 31 | 梢円形 | V字状 | 0.28 | 0.20 | 0.13 | 91.18 | 34 | 74 | 33 | 梢円形 | U字状 | 0.70 | 0.52 | 0.59 | 90.88 | |
| | 12 | 68 | 31 | 円形 | U字状 | 0.64 | 0.56 | 0.44 | 91.08 | 35 | 73 | 34 | 梢円形 | 不明 | 0.44 | 0.36 | — | 90.53 | |
| | 13 | 68 | 30 | 円形 | V字状 | 0.62 | 0.59 | 0.27 | 91.38 | 36 | 72.73 | 34 | 円形 | 不明 | 0.54 | 0.48 | — | 90.62 | |
| | 14 | 68 | 31 | 梢円形 | U字状 | 0.74 | 0.56 | 0.28 | 91.27 | 37 | 68 | 32 | 梢円形 | 台形状 | 0.36 | 0.28 | 0.20 | 91.30 | |
| | 15 | 68 | 32 | 梢円形 | U字状 | 0.44 | 0.36 | 0.29 | 91.14 | 38 | 71 | 34 | 円形 | U字状 | 0.44 | 0.44 | 0.29 | 90.98 | |
| | 16 | 67 | 32 | 不明 | 椭圆 | 0.54 | — | 0.29 | 91.20 | 39 | 68 | 34 | (側丸方形) | 椭圆状 | 0.62 | 0.56 | 0.28 | 91.32 | |
| | 17 | 69 | 31 | 梢円形 | 台形状 | 0.62 | 0.46 | 0.56 | 90.94 | 40 | 72 | 35 | 梢円形 | U字状 | 0.46 | 0.30 | 0.34 | 90.87 | |
| | 18 | 69 | 31 | (梢円形) | 孤状 | 0.68 | 0.62 | 0.47 | 91.05 | 41 | 72 | 36 | 椭丸坂形 | 台形状 | 0.42 | 0.28 | 0.32 | 90.90 | |
| | 19 | 69 | 31 | (円形) | 台形状 | 0.56 | 0.49 | 0.35 | 91.13 | 42 | 71.72 | 35 | 円形 | U字状 | 0.28 | 0.26 | 0.24 | 90.99 | |
| | 20 | 68 | 32 | 梢円形 | U字状 | 0.50 | 0.42 | 0.33 | 91.23 | 43 | 71 | 35 | 円形 | 台形状 | 0.36 | 0.34 | 0.23 | 90.95 | |
| | 21 | 68 | 32 | (円形) | U字状 | 0.52 | — | 0.35 | 91.17 | 44 | 71 | 34 | 円形 | V字状 | 0.28 | 0.28 | 0.26 | 90.91 | |
| | 22 | 欠番 | — | — | — | — | — | — | — | 45 | 71 | 34 | 円形 | U字状 | 0.24 | 0.24 | 0.19 | 91.01 | |
| | 23 | 73 | 34 | 梢円形 | U字状 | 0.50 | 0.42 | 0.44 | 91.08 | 46 | 71 | 34 | (円形) | U字状 | 0.44 | 0.32 | 0.22 | 90.88 | |
| | 24 | 68 | 30 | (円形) | 台形状 | 0.46 | — | 0.31 | 91.29 | 47 | 71 | 34 | 円形 | 台形状 | 0.22 | 0.20 | 0.20 | 91.00 | |
| | 25 | 76 | 35 | 梢円形 | 孤状 | 0.48 | 0.40 | 0.70 | 90.64 | 48 | 71 | 34 | 円形 | V字状 | 0.22 | 0.20 | 0.16 | 91.01 | |
| | 26 | 69 | 33 | 梢円形 | 台形状 | 0.32 | 0.24 | 0.12 | 91.31 | 49 | 72 | 34 | 円形 | 台形状 | 0.24 | 0.24 | 0.06 | 91.08 | |
| | 27 | 69 | 32 | 円形 | 孤状 | 0.38 | 0.36 | 0.18 | 91.31 | 50 | 71.72 | 34 | 円形 | 台形状 | 0.20 | 0.20 | 0.12 | 90.86 | |
| | 28 | 69 | 33 | 円形 | U字状 | 0.36 | 0.36 | 0.22 | 91.26 | 51 | 71 | 34 | (円形) | (U字状) | 0.22 | — | 0.09 | 91.11 | |
| | 29 | 75 | 34.35 | 梢円形 | U字状 | 0.46 | 0.28 | 0.51 | 91.09 | 52 | 71 | 34 | 梢円形 | 台形状 | 0.32 | 0.28 | 0.18 | 91.05 | |
| 31E | 1 | 69 | 15 | 18 | 梢円形 | 不明 | 0.55 | 0.45 | 0.23 | 91.72 | 2 | 15 | 14 | 不明 | 不明 | 0.32 | 0.30 | 0.14 | 91.93 |

第12表 井戸跡(I)観察表

| 区 番 号 | グリッド | | 構造 (平面形状) | 規格(m) | | | 底面 標高 (m) | 時期 | | | 判断基準 | 重複箇所・備考 | | | |
|-------------|-------|-------|----------------|-----------------|---------|---------|-----------------|-------|---------------------|--------------------|---|--|--|--|--|
| | X | Y | | 長幅 | 短幅 | 深さ | | 時期 | 判断基準 | 重複箇所・備考 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 18 | 29.30 | 素振り (円形) | 円形 | 1.13 | 0.98 | 2.23 | 89.50 | 8C代 | 出土:土器 | H-13-31より新しい。内耳上器始始(98)。逆世瓦(丸瓦)、砥石器、漁器器、土師器小片が出土している。 | | | | |
| 2 | 16 | 30 | 素振り (Y字状) | 円形 | 11.8 | 11.2 | 1.37 | 90.30 | 9C2/4以前 As-B降下以前 | 重複箇所 土器 | H-7-12-17より新しい。土師器小片が出土している。 | | | | |
| 3 | 17,18 | 32.33 | 上部:石組 下部:木組 | 上部:円形 下部:方形容 | 上部:1.10 | 上部:1.05 | 1.73 | 89.77 | 9C2/4以後 10C以前 | 重複箇所 自然科學分析 | H-18-19-30-50より新しい。下部の本組は灰瓦仕上げの磚組である。須恵器、土師器小片が出土している。 | | | | |
| 4 | 19 | 31.32 | 上部:石組 下部:木組 | 円形 | 0.66 | 0.60 | 1.61 | 90.30 | As-B降下以前 | 土師器 | H-40より新しい。須恵器破片、土師器小片が出土している。As-B混土に被覆されていた。 | | | | |
| 5 | 16 | 28 | 素振り (Y字状) | 方形 | 1.13 | 1.00 | 2.38 | 89.26 | As-B降下以前 | 土師器 | As-B混土に被覆されていた。 | | | | |
| 6 | 16 | 29.30 | 素振り (楕円形) | 上部:方形容 下部:円形 | 上部:2.31 | 上部:2.12 | 1.32 | 88.63 | 9C未~ 9C初頭 | 重複箇所 出土:土器 | H-5-7より古い。H-17との新旧関係は不明。限られた土器破片G(105)が出土している。須恵器破片が出土している。 | | | | |
| 21E | 1 | 69 | 35.36 | 素振り (Y字状) | 円形 | 1.53 | 1.48 | 1.04 | 90.39 | 9C前半以後 As-B降下以前 | 土師器 | H-10-20より新しい。須恵器、土師器小片、練瓦器が出土している。出土:土器にAs-Bが堆積していた。 | | | |

第13表 溝跡(W)観察表

| 区 番 号 | グリッド | | 断面 形状 | 走行方向 | | | 規格(m) | 底面 標高 (m) | 時期 | | | 判断基準 | | |
|-------------|-------|-------|----------|----------------|----------------|-------------|-------------|-----------------|----------------------|--------|----|------|--|--|
| | X | Y | | 長幅 | 短幅 | 深さ | | | 時期 | 判断基準 | 時期 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 15-17 | 43.44 | 断続状 | 北東-南西(N-60°-E) | 6.74 | 1.54 ~ 2.80 | 0.50 ~ 0.60 | 90.73 ~ 90.98 | 9C2/4以後 As-B降下以前 | | | | | |
| 2 | 18,19 | 29-36 | 台形状 | 北-南(N-6°-W) | 25.00 | 1.04 ~ 1.92 | 0.90 ~ 1.00 | 90.93 ~ 91.15 | 10C後半以後 | | | | | |
| 3 | 15-17 | 33-36 | 孤状 | 北西-南東(N-34°-W) | 16.75 | 0.18 ~ 0.40 | 0.20 ~ 0.25 | 91.40 ~ 91.50 | As-C降下以後 As-B降下以前 | | | | | |
| 4 | 15-17 | 33-36 | 孤状 | 北西-南東(N-34°-W) | 14.45 | 0.16 ~ 0.52 | 0.15 ~ 0.20 | 91.45 ~ 91.50 | As-C降下以後 As-B降下以前 | | | | | |
| 5 | 15-17 | 36.37 | 台形状 | 西-東(N-80°-W) | 6.72 | 2.40 ~ 2.80 | 0.50 ~ 0.60 | 90.14 ~ 91.28 | 9C4/4 | | | | | |
| 6 | 15,16 | 43.44 | 台形状 | 北西-南東(N-32°-W) | 5.95 | 0.80 ~ 2.22 | 0.30 ~ 0.20 | 91.04 ~ 91.18 | 9C2/4以後 As-B降下以前 | | | | | |
| 7 | 1 | 73.74 | 33-35 | 孤状 | 北東-南西(N-27°-E) | 12.18 | 0.28 ~ 0.66 | 0.35 ~ 0.40 | 91.19 ~ 91.29 | 7C後半以前 | | | | |
| 8 | 24.75 | 34.35 | V字状 | 北-南(N-25°-E) | 3.72 | 0.30 ~ 0.68 | 0.25 ~ 0.30 | 91.30 ~ 91.52 | 7C後半以前 | | | | | |
| 1 | 15 | 18 | 台形状 | 西-東(N-72°-W) | 2.20 | 0.76 ~ 0.86 | 0.25 ~ 0.30 | 91.83 ~ 91.96 | As-B降下以前 | | | | | |
| 2 | 15 | 16-18 | 台形状 | 北西-南東(N-40°-W) | 7.47 | 0.16 ~ 0.41 | 0.25 ~ 0.30 | 91.88 ~ 91.93 | As-B降下以前 | | | | | |
| 3 | 15 | 17,18 | U字状 | 北-南(N-55°-W) | 2.68 | 0.34 ~ 0.65 | 0.40 ~ 0.50 | 91.03 ~ 91.97 | 逆世-近代 | | | | | |
| 4 | 15 | 15-17 | 台形状 | 北西-南東(N-58°-W) | 2.10 | 3.36 ~ 3.46 | 0.80 ~ 1.00 | 91.51 ~ 91.56 | 逆世-近代 | | | | | |
| 5 | 14-15 | 15-17 | 台形状 | 北-南(N-15°-W) | 2.12 | 0.50以上 | 0.50 ~ 0.60 | 91.62 ~ 91.68 | As-B降下以前 | | | | | |
| 6 | 15 | 12,13 | 孤状 | 北西-南東(N-65°-W) | 1.88 | 0.32 ~ 0.38 | 0.20 ~ 0.25 | 92.06 ~ 92.09 | As-B降下以前 | | | | | |
| 7 | 15 | 21,22 | 孤状 | 北東-南西(N-30°-E) | 4.30 | 0.18 ~ 0.56 | 0.10 ~ 0.15 | 91.67 ~ 91.71 | As-B降下以前 | | | | | |
| 8 | 15 | 18,19 | 台形状 | 北東-南西(N-25°-E) | 5.80 | 0.38 ~ 0.64 | 0.70 ~ 0.75 | 91.46 ~ 91.55 | 10 ~ 11C以前 | | | | | |

第14表 遺物観察表(1)

| 指標番号 | 出土遺物 種類 採取No. | 種類 器種 | 法量(cm) | | | | 残存 | 色調 範囲 | 胎土 (胎土/含物) | 特徴・調整・文様等 |
|------|---------------------|------------|-------------|------------|----------|--------------|--------------|-------------------|---------------|--|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | 最大径 | | | | |
| 1 | 100H-3 No.1 | 土器器 甕 | (13.0) | — | 2.9 | — | 1/3 | 褐色 良好 | 石英 長石 雲母 | 外:口縁部ヨコナデ。体~底部ヘラケズリ。 内:ナデ。 |
| 2 | 100H-3 No.1 | 石製品 甕 | 長 4.1 | 幅 4.2 | 厚 2.4 | 重(g) 66.3 | 完形 | — | — | 材質流紋岩。 |
| 3 | 100H-4 P1 | 土器器 甕 | 15.2 | — | 5.1 | 12.2 | 2/5 | 褐色 やや不良 | 砂粒 石英 角閃石 | 外:口縁部ヨコナデ。体~底部ヘラケズリ。 内:口縁部ヨコナデ。体~底部ナデ。 |
| 4 | 100H-5 甕上 | 土器器 甕 | (13.8) | (5.8) | 5.1 | — | 1/3 | 灰白色 やや不良 | 砂粒 小礫 | クロロ成形(右)。 外:口縁部削り後高台貼り付け。 |
| 5 | 100H-5 No.1 | 土器器 甕 | (19.9) | — | (18.5) | (21.6) | 口縁~ 体部上位 | 褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 外:口縁部ヨコナデ。口縁部外面削面直角。体部ヘラケズリ (上位横方)、下位扇形方向。内:ナデ。 |
| 6 | 100H-5 振り方 刀子 | 金属製品 刀子 | 長 (2.6) | 幅 0.7 | 厚 0.3 | 重(g) 2.4 | 某部破片 | — | — | 圓食有し。 |
| 7 | 100H-7 甕上 | 土器器 甕 | 11.8 | — | 3.6 | 12.0 | 口ぼ完形 | 褐色 良好 | 石英 長石 雲母 | 外:口縁部ヨコナデ。体~底部ヘラケズリ。削面直角。 内:ナデ。 |
| 8 | 100H-7 甕上 | 土器器 甕 | (13.0) | 5.8 | 4.7 | — | 1/2 | にぶい褐色 良好 | 石英 長石 雲母 | 外:口縁部ヨコナデ。底~体部ヘラケズリ。 内:体~底部ヘラナデ+ハケ後ハミガキ。 |
| 9 | 100H-7 甕上 | 土器器 甕 | (15.4) | — | (7.5) | — | 口縁~ 体部1/4 | にぶい赤褐色 良好 | 石英 長石 雲母 | 外:口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ(擦方向)。 内:口縁部ヨコナデ。頭部削面直角。体部ハケメ。 |
| 10 | 推定 100H-8 | 灰釉陶器 甕 | (17.8) | 8.1 | 3.8 | — | 1/2 | 灰白色 良好 | 灰白色 型抜 | 10C-7-8-14甕上出。クロロ成形。内外凹縁+体部巾位に 施釉。磁毛旋り。外:高台貼り付け。 |
| 11 | 100H-35 甕上 | 土器器 甕 | 13.1 | 説み往 3.3 | 3.0 | — | 1/2 | 灰色 良好 | 砂粒 小礫 | クロロ成形(右)。 外:天井削り軸ヘラケズリ(左)。 |
| 12 | 100H-11 床面 | 土器器 甕 | — | 説み往 5.0 | (2.6) | — | 天井部 1/5 | 灰白色 不良 | 砂粒 石英 | クロロ成形。 外:天井削り軸ヘラケズリ(右)。 |
| 13 | 100H-35 甕上 | 土器器 甕 | (12.9) | (8.0) | 5.8 | — | 1/4 | 灰色 良好 | 砂粒 小礫 | クロロ成形。 外:高台貼り付け。 |
| 14 | 100H-11 No.1 | 土器器 甕 | (25.9) | — | (2.5) | — | 口縁~ 体部1/4 | 灰色 良好 | 砂粒 | クロロ成形(右)。 |
| 15 | 100H-12 甕上 | 土器器 甕 | (13.8) | — | 2.9 | — | 1/4 | 褐色 やや良 | 角閃石 雲母 長石 | 外:口縁~体部ヨコナデ。体~底部ヘラケズリ。 内:ナデ。 |
| 16 | 100H-12 甕上 | 土器器 甕 | (13.0) | 5.8 | 2.9 | — | 1/2 | にぶい褐色 やや不良 | 石英 長石 雲母 | クロロ成形。 外:高台貼り付け。内:ナデ。 |
| 17 | 100H-12 甕上No.1 | 土器器 甕 | (11.8) | — | 3.4 | 12.0 | 1/3 | 褐色 良好 | 砂粒 角閃石 白色 | 外:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。底部ヘラケズリ。 内:口縁~体部ヨコナデ。ナデ。底部ナデ。 |
| 18 | 100H-13 カマド | 土器器 甕 | (13.0) | — | 2.9 | 13.2 | 1/4 | 明黄褐色 良好 | 砂粒 雲母 角閃石 | 外:口縁部ヨコナデ。体~底部ヘラケズリ。削面直角。 内:ナデ。指痕直角。 |
| 19 | 100H-14 甕上 | 土器器 甕 | (13.3) | 6.4 | 4.5 | 13.5 | 1/2 | 灰白色 良好 | 石英 長石 | クロロ成形左。 外:甚詰削りあり未調整。 |
| 20 | 100H-14 No.2 | 土器器 甕 | (13.4) | 6.4 | 3.5 | 12.7 | 1/2 | 褐色 良好 | 石英 長石 雲母 | クロロ成形右。 外:底面削込みあり未調整。 |
| 21 | 100H-14 P2 | 土器器 甕 | (17.9) | — | (5.5) | — | 口縁~ 体部1/6 | 灰白色 良好 | 砂粒 石英 | クロロ成形。 |
| 22 | 100H-14 No.3 | 土器器 甕 | (12.1) | 8.3 | 3.4 | 12.2 | 口ぼ完形 | 褐色 良好 | 長石 石英 雲母 | 外:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。底部ヘラケズリ。削面直角。 内:口縁~体部ヨコナデ。体部下端削面直角。底部ナデ。 |
| 23 | 100H-14 カマド | 土器器 甕 | (18.0) | — | (7.2) | (20.0) | 口縁~ 体部破片 | 褐色 良好 | 砂粒 石英 白色 | 外:口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ(斜方向)。 内:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。 |
| 24 | 推定 100H-14 | 金属製品 刀子 | 長 (10.6) | 幅 (1.2) | 厚 0.2 | 重(g) 34.1 | 刀部 4/5 | — | — | 100H-8-14甕上出。 基部ノ刀刃の先端を欠損。裏食が著しい。 |
| 25 | 100H-15 P2 | 土器器 甕 | — | 4.8 | (15.3) | (19.4) | 1/2 | 外 黑褐色 内 赤褐色 良好 | 砂粒 雲母 長石 | 外:体部ヘラケズリ(黒褐色)。 内:ナデ。 |
| 26 | 100H-16 甕上 | 土器器 甕 | (13.3) | 7.1 | 3.1 | 13.0 | 1/2 | 褐褐色 良好 | 石英 長石 雲母 | 外:クロロ成形右。 内:底面削りあり未調整。 |
| 27 | 100H-16 No.1 | 土器器 甕 | 12.2 | 6.4 | 3.6 | — | 4/5 | 褐褐色 良好 | 石英 長石 | クロロ成形右。 外:底面削りあり未調整。 |
| 28 | 100H-16 甕上 | 土器器 甕 | (11.2) | (6.9) | 3.2 | 11.4 | 1/4 | にぶい褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 外:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。底部ヘラケズリ。 内:ナデ。 |
| 29 | 推定 100H-17 | 土器器 甕 | (12.2) | (7.9) | 4.8 | — | 1/5 | 灰白色 良好 | 砂粒 | 100H-12甕上出。クロロ成形。高台内面自然剥付。 |
| 30 | 100H-18 P1 | 土器器 甕 | 11.4 | 7.0 | 3.6 | — | 口ぼ完形 | 褐褐色 良好 | 石英 長石 砂粒 | クロロ成形。 外:底面削りあり(右)。 |

第15表 遺物觀察表(2)

()は推定値、()は既存値

| 南載番号 | 出土遺物 区分 No. | 種類 器種 | 法面(cm) | | | | 残存 状況 | 色調 地成 | 胎土 (素土色)含有物 | 特徴 調整 標記等 | |
|------|-------------------|------------|---------|-------|--------|--------|-------------|---------------|-----------------|---|-----|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | 最大径 | | | | | |
| 31 | 11OH-18 盤上 | 土器器 皿 | 20.4 | — | (11.8) | (22.9) | 口縁～ 底部上位 | に赤い橙色 良好 | 砂粒 石英 石英 | 外：口縁部ヨコナダ。体部ヘラケズリ(斜方向)。 内：口縁部ヨコナダ。体部ナダ。 | |
| 32 | 11OH-20 No.1 | 土器器 皿 | 21.4 | 5.0 | 27.4 | 21.5 | 4/5 | 赤褐色 良好 | 砂粒 石英 石英 角閃石 | 外：口縁部ヨコナダ。体部ヘラケズリ(上位斜・斜 方向)。内：ヨコナダ。体部ナダ。 | |
| 33 | 11OH-21 P2 | 灰陶器 皿 | (14.3) | (7.0) | 2.8 | — | 1/5 | 灰黄色 良好 | 灰白色 | ロクロ成形(右)。体部内面～口縁部外面に施釉。網毛塗り。 外：施釉部ヘラケズリ(左)。 | |
| 34 | 11OH-21 盤上 | 土器器 皿 | (14.4) | (6.4) | 6.0 | — | 1/3 | 灰白色 良好 | 石英 石英 石英 | ロクロ成形(右)。 外：施釉部糸切り後高台貼り付け。 | |
| 35 | 11OH-21 盤上 | 土器器 皿 | (13.3) | 5.9 | 4.8 | 13.6 | 1/2 | に赤い褐色 良好 | 石英 石英 石英 | ロクロ成形(右)。酸化焰焼成。 外：施釉部糸切り後高台貼り付け。 | |
| 36 | 11OH-22 No.1 | 土器器 皿 | 12.3 | 6.3 | 3.8 | 12.5 | 完形 | 淡黃褐色 良好 | 石英 石英 石英 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：施釉部糸切り未調整。 | |
| 37 | 11OH-22 盤上 | 羽釜 | (21.0) | (6.3) | 24.2 | (26.0) | 1/2 | 灰黃褐色 良好 | 砂粒 石英 石英 角閃石 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：口縁部下位ヘラケズリ(横・斜方向)。 | |
| 38 | 推定 | 土器器 皿 | (19.4) | — | (16.8) | (20.5) | 1/6 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 宝母 石英 角閃石 | 11OH-24推定上位。外：口縁部ヨコナダ。底部ヘラケズリ(上 位横・中位斜。下位豊方向)。内：口縁部ヨコナダ。体部ヘラ ケズリ。 | |
| 39 | 11OH-24 No.1 | 土器器 皿 | 13.0 | 7.9 | 3.5 | 13.1 | 4/5 | 灰白色 良好 | 石英 石英 石英 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：施釉部糸切り未調整。 | |
| 40 | 11OH-27 カマフ | 黑漆器 耳杯 | (11.6) | 6.2 | 3.9 | — | 1/3 | 暗色 良好 | 石黄 石黄 石黄 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：施釉部糸切り未調整。 | |
| 41 | 11OH-28 No.1 | 灰陶器 長頭盤 | 8.0 | — | (14.2) | (17.0) | 1/4 | 灰黄色 良好 | 灰白色 堅膜 | ロクロ成形。 外：体部糊地ヘラケズリ。 | |
| 42 | 11OH-28 カマフ | 黑漆器 耳杯 | (17.2) | — | (3.7) | — | 1/3 | 粉色 良好 | 砂粒 宝母 角閃石 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：施釉部糸切り後高台貼り付け。 | |
| 43 | 11OH-28 カマフ | 黑漆器 耳杯 | (11.1) | (5.6) | 2.8 | — | 1/4 | 暗色 良好 | 砂粒 宝母 角閃石 | ロクロ成形(左)。酸化焰燒成。 外：底部ナダ。底部内輪糸切り後一部ナダ。 | |
| 44 | 11OH-28 盤上 | 羽釜 | (20.0) | — | (20.4) | — | 1/6 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 小穢 角閃石 | ロクロ成形(右)。ナダ。酸化焰燒成。 | |
| 45 | 11OH-28 盤上 | 土製品 | 長 土罐 | 3.6 | 1.4 | 0.4 | 6.5 | 完形 | 暗灰褐色 良好 | 砂粒 | 圓形。 |
| 46 | 11OH-29 盤上 | 土器器 皿 | (13.0) | — | (4.9) | 14.0 | 1/3 | に赤い褐色 良好 | 石英 石英 石英 | ロクロ成形。酸化焰燒成氣味。 外：高台貼り付け。工具痕。 | |
| 47 | 11OH-29 盤上 | 土製品 | 長 土罐 | 3.5 | 1.0 | 0.2 | 3.7 | 完形 | 黃褐色 良好 | 砂粒 宝母 角閃石 | 圓形。 |
| 48 | 11OH-30 No.2 | 土器器 皿 | 13.7 | 8.0 | 6.5 | 13.9 | 出H完形 | に赤い褐色 やや不良 | 石英 石英 石英 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：施釉部糸切り後高台貼り付け。 | |
| 49 | 11OH-30 No.1 | 土器器 皿 | 9.9 | 4.6 | 3.6 | — | 完形 | 淡黃褐色 良好 | 石英 石英 石英 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：施釉部糸切り未調整。 | |
| 50 | 11OH-30 盤上 | 羽釜 | (22.4) | — | (21.0) | — | 1/2 | 灰黄色 良好 | 砂粒 角閃石 | ロクロ成形(右)。酸化焰燒成。 外：底部下位ヘラケズリ(斜方向)。 | |
| 51 | 11OH-30 盤上 | 土製品 | 長 土罐 | 4.2 | 3.0 | 0.8 | 28.0 | 3/4 | 黑褐色 良好 | 砂粒 角閃石 | 圓形。 |
| 52 | 11OH-33 盤上 | 土器器 皿 | (10.8) | (6.0) | 3.3 | — | 1/4 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 外：口縁部ヨコナダ。体部ナダ。底部ヘラケズリ。 内：ナダ。 | |
| 53 | 推定 11OH-33 | 土器器 皿 | (11.5) | 8.8 | 3.0 | 11.6 | 3/4 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 宝母 角閃石 | 11OH-19推定上位。外：口縁部ヨコナダ。体部ナダ。底部ヘ ラケズリ。内：ヨコナダ。ナダ。無頭丘。 | |
| 54 | 推定 11OH-33 | 土器器 皿 | (10.7) | — | (12.6) | 20.5 | 口縁～ 底部破片 | 明褐色 良好 | 砂粒 宝母 角閃石 | 11OH-48推定上位。外：口縁部ヨコナダ。体部ヘラケズリ(上 位横・斜。中位豊・斜方向)。内：ヨコナダ。体部ナダ。 | |
| 55 | 推定 11OH-33-34 | 土器器 皿 | — | 5.5 | (3.2) | — | 1/2 | 暗灰色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 11OH-19推定上位。ロクロ成形(右)。底部内面に縦條紋。 外：施釉部糸切り未調整。 | |
| 56 | 11OH-35 盤上 | 土器器 皿 | (22.0) | — | (11.8) | (23.0) | 口縁～ 底部破片 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 宝母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナダ。体部ヘラケズリ(横・斜方向)。 内：口縁部ヨコナダ。体部ケメ。 | |
| 57 | 11OH-35 盤上 | 土器器 皿 | 19.6 | — | (8.0) | (22.1) | 1/5 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 宝母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナダ。体部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナダ。体部ナダ。ハケメ。 | |
| 58 | 11OH-36 盤上 | 土器器 皿 | (9.0) | (6.9) | 4.5 | — | 1/3 | 鐵灰色 良好 | 砂粒 | ロクロ成形右。 外：施釉部糸切り後高台貼り付け。 | |
| 59 | 11OH-40 盤上 | 土器器 皿 | (13.7) | — | 3.7 | — | 1/5 | 暗色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 外：口縁部ヨコナダ。体部ヘラケズリ。 内：ナダ。 | |
| 60 | 11OH-41 盤上 | 土器器 皿 | (11.6) | 7.6 | 4.4 | — | 1/3 | 灰白色 良好 | 石英 石英 | ロクロ成形右。 外：施釉部糸切り後高台貼り付け。 | |

第16表 遺物観察表(3)

| 指紋 番号 | 出土遺物 層位 採取No. | 種類 器種 | 法量(cm) | | | 残存 | 色調 範囲 | 胎土 (胎土色/含物) | 特徴 調整 文様等 | |
|----------|---------------------------------|------------|--------|--------|------------|--------|-------------|----------------|------------------|--|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | | | |
| 61 | IIGH-41 鐵土 坪 | 土師器 坪 | (16.9) | — | 3.5 | — | 1/4 | 褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 白色粒 | 外:口縁部ココナヂ。底部へラケズリ。側面压痕。 内:口縁部ココナヂ。 |
| 62 | IIGH-42 No.1 | 土師器 坪 | 16.2 | — | 3.9 | — | 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 石英 雲母 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。底部へラケズリ。 内:ナヂ、擦削・丸・「申」。 |
| 63 | IIGH-42 上師器 鐵土 坪 | 土師器 坪 | 12.1 | — | 3.6 | — | 口縁部定形 | 明赤褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 白色粒 | 外:口縁部ココナヂ。体~底部へラケズリ。側面压痕。 内:ナヂ。 |
| 64 | IIGH-42 鐵土 坪 | 土師器 坪 | (13.7) | — | (3.8) | — | 1/3 | 明赤褐色 やや不均 | 砂粒 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。体~底部へラケズリ。 内:ナヂ。 |
| 65 | 推定 IIGH-42 鐵土 坪 | 土師器 坪 | (11.2) | — | 3.1 | — | 1/4 | 褐色 良好 | 砂粒 角閃石 | IIGH-27カマド出土。 外:口縁部ココナヂ。底部へラケズリ。内:ナヂ。 |
| 66 | IIGH-43 刷毛り方 七瓣 | 土製品 七瓣 | 3.7 | 1.4 | 孔径 重(g) | 6.6 | 4/5 | 褐色 良好 | 砂粒 角閃石 | 圓形。 |
| 67 | IIGH-47 灰釉陶器 段皿 No.1 | 灰釉陶器 段皿 | (13.7) | (6.4) | 2.9 | — | 1/3 | 灰黃色 良好 | 灰白色 堅致 | ロクロ成型。体部・口縁部内外面に施釉。刷毛迹。 |
| 68 | IIGH-48 直邊器 刷毛り方No.1 | 直邊器 坪 | (12.0) | 6.2 | 3.9 | 12.2 | 1/2 | 灰白色 良好 | 石英 長石 | ロクロ成型(右)。 外:底部削除切り米調整。 |
| 69 | IIGH-48 鐵土 坪 | 土師器 坪 | (20.6) | — | (6.3) | (20.8) | 口縁部 | に云い橙色 良好 | 砂粒 黄緑 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。体部へラケズリ(横方向)。 内:口縁部ココナヂ。体部ヘラナヂ。 |
| 70 | IIGH-50 直邊器 No.1-5 | 直邊器 坪 | (17.0) | 5.5 | 3.4 | — | 1/2 | 黄褐色 良好 | 砂粒 小禮 白色粒 | ロクロ成型。 外:天部削除ヘラケズリ(右)。 |
| 71 | IIGH-50 No.3 | 土師器 坪 | 14.0 | — | 4.4 | — | 3/4 | 褐色 良好 | 砂粒 黃緑 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。底部へラケズリ。 内:口縁~体部ココナヂ。底部ナヂ。側面压痕。 |
| 72 | IIGH-50 No.8 | 土師器 坪 | 12.4 | — | 4.1 | — | 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 黃緑 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。体~底部へラケズリ。 内:ナヂ。 |
| 73 | IIGH-50 上師器 坪 No.0-P-1 | 上師器 坪 | 13.5 | — | 4.6 | — | 4/5 | 褐色 良好 | 砂粒 黃緑 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。体~底部へラケズリ。 内:ナヂ。 |
| 74 | IIGH-50 鐵土 坪 | 土師器 坪 | (16.2) | — | 3.8 | — | 1/2 | に云い橙色 良好 | 砂粒 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。体~底部へラケズリ。 内:口縁~体部ココナヂ。底付・表付ナヂ。 |
| 75 | IIGH-50 No.10 | 土師器 坪 | — | 3.5 | (27.5) | (17.1) | 1/2 | 褐灰色 良好 | 砂粒 黃緑 角閃石 | 外:体部へラケズリ(主に中柱部)。下斜斜方向。 内:ナヂ。 |
| 76 | IIGH-50 No.4-12 カマド | 土師器 坪 | — | — | 23.6 | 16.6 | 1/4 | に云い黄褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 外:体部へラケズリ(縱方向)。 内:ナヂ。 |
| 77 | IIGH-50 鐵土 坪 | 上師器 坪 | (21.2) | — | (18.9) | — | 口縁~ 体部破片 | に云い黄褐色 やや不良 | 砂粒 石英 角閃石 | 外:口縁部ナヂ。体部へラケズリ(縱方向)。 内:ナヂ。 |
| 78 | IIGH-52 絞輪陶器 鐵土 坪 | 絞輪陶器 坪 | (7.8) | — | (1.7) | — | 口縁~ 体部破片 | 灰死オーラー色 良好 | 褐灰色 氣泡 | ロクロ成型。内外面施釉。 |
| 79 | IIGH-52 直邊器 No.1 | 直邊器 坪 | 13.7 | 6.6 | 4.9 | — | 3/4 | 褐色 良好 | 石英 長石 雲母 | ロクロ成型(右)。焼化粧焼成。 外:底削除(左)あり接着面貼り付け。 |
| 80 | IIGH-52 直邊器 鐵土 坪 | 直邊器 坪 | (14.2) | 6.4 | 5.3 | — | 1/2 | 褐色 不良 | 石英 長石 雲母 粘土片岩 | ロクロ成型右。焼化粧焼成。 外:底削除(左)あり接着面貼り付け。 |
| 81 | IIGH-52 土製品 カマド | 土製品 七瓣 | 2.9 | 1.7 | 0.5 | 8.7 | 口縁部定形 | 黑褐色 良好 | 砂粒 石英 雲母 | IIGH-29-52-54窯址出土。 耳垂。耳垂欠損(剥離)。ロクロ成型。ナヂ。 |
| 82 | 推定 直邊器 卷 | 直邊器 卷 | — | (13.8) | (24.7) | (25.6) | 1/2 | 黑褐色 良好 | 砂粒 | IIGH-29-52-54窯址出土。 耳垂。耳垂欠損(剥離)。ロクロ成型。ナヂ。 |
| 83 | IIGH-54 直邊器 鐵土 坪 | 直邊器 坪 | 14.5 | 6.6 | 5.3 | — | 4/5 | 褐灰色 やや良好 | 石英 長石 | ロクロ成型右石。 外:底削除(左)あり接着面貼り付け。 |
| 84 | IIGH-55 上師器 鐵土 坪 | 上師器 坪 | (14.3) | 6.4 | 5.9 | — | 1/2 | 灰黃褐色 良好 | 石英 長石 | ロクロ成型右。焼化粧焼成。 外:底削除(左)あり接着面貼り付け。 |
| 85 | IIGH-55 土師器 カマド | 土師器 坪 | 12.3 | 5.4 | 4.0 | — | 2/3 | に云い橙色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 外:口縁部ココナヂ。体~底部へラケズリ。側面压痕。 内:口縁~体部ココナヂ。 |
| 86 | IIGH-60 石製品 防風器 No.1 | 石製品 防風器 | 4.4 | 4.6 | 1.4 | 35.4 | 完形 | — | — | 材質流石。 |
| 87 | IIGH-63 直邊器 直 | 直邊器 直 | 16.9 | 5.0 | 4.4 | — | 3/4 | 浅黄色 やや不良 | 砂粒 小禮 長石 角閃石 | ロクロ成型(右)。焼化粧焼成氣味。 外:天部削除(左)へラケズリ(右)。 |
| 88 | IIGH-63 直邊器 刷毛り方 直 | 直邊器 直 | (16.5) | — | (2.5) | — | 1/3 | 灰色 良好 | 砂粒 小禮 | ロクロ成型右。 外:天部削除(左)へラケズリ(右)。 |
| 89 | 推定I区 道邊器 坪 | 道邊器 坪 | (14.0) | (10.0) | 3.5 | — | 1/4 | 灰白色 良好 | 砂粒 | IIGH-4-64-65窯址出土。ロクロ成型。外:体部下端へラケズリ。 内:底削除(左)へラケズリ(右)。 |
| 90 | IIGH-71 No.3 | 土師器 坪 | 11.0 | 8.0 | 3.5 | 11.8 | 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 黃緑 角閃石 | 外:口縁~体部ココナヂ。底部へラケズリ。 内:ナヂ。 |

第17表 遺物観察表(4)

| 南載番号 | 出土遺物 取扱 順位No. | 種類 器種 | 法面(cm) | | | 残存 | 色調 地成 | 駆土 (土色)含物 | 特徴 調査 及様等 | |
|------|-----------------------|------------|----------|----------|-----------|----------------|-------------|--------------|---------------------|--|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | | | |
| 91 | 110H-71 No.12 | 土器 壺 | (12.7) | — | (9.9) | (15.4) | 1/4 | 明赤褐色 良好 | 砂粒 石英 長石 | 外：口縁部ヨコナデ。体部外側ヘラケズリ(土化鉄、中位斜方 向)。内：体部ヘナナデ、ナデ。 |
| 92 | 110H-72 No.9+11 | 土器 壺 | 12.1 | 7.6 | 4.1 | 12.2 | 1/2 | 褐灰色 良好 | 石英 長石 | ロクロ成形(右)。 外：底端内板ヘラ切り(左)。 |
| 93 | 110H-72 No.1+6+7+8 | 土器 壺 | 16.6 | 9.0 | 10.0 | 18.0 | 4/5 | 灰白色 良好 | 砂粒 | ロクロ成形(右)。外：全体に自然剥付着、底部内板ヘラ切り後 部分にヘラナダ。 |
| 94 | 110H-72 No.2+13 | 土器 壺 | 14.7 | — | 4.5 | — | 11.0+完形 | に赤い橙色 良好 | 砂粒 砂母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナデ。体ヘ底部ヘラケズリ。 内：全体に剥付着。 |
| 95 | 110D-20 No.1 | 土器 壺 | (12.3) | 7.8 | 3.5 | — | 1/3 | 褐灰色 良好 | 長石 売母 | ロクロ成形(右)。内外面一部自然剥付着。 外：底端内板ヘラケズリ(右)。 |
| 96 | 110D-27 覆土 | 土器 壺 | 10.2 | — | 1.9 | — | 4/5 | 灰白色 良好 | 細砂粒 角閃石 | ロクロ成形(右)。焼失火炙。 外：天井部内板ヘラケズリ(右)。 |
| 97 | 110P-24 覆土 | 土器 壺 | 長 4.4 | 幅 2.2 | 孔径 0.5 | 重(g) 11.1 | 2/3 | 黒褐色 良好 | 砂粒 角閃石 白色粒 | 柳形。駆土なし。 |
| 98 | 110I-1 No.1 | 内耳上端 鉢 | (39.3) | (36.0) | 5.5 | — | 1/2 | 黒褐色 良好 | 石英 売母 角閃石 | 瓦質。粗筋ロクロ成形。、内耳2ヶ所残存。 外：下位押付痕、復付着、底部平底。型作り跡目。 |
| 99 | 110I-3 No.5 | 木村舟戸 木杓 | 96.5 | 21.0 | 9.8 | — | — | — | — | 材質クリ。両端に粗欠き仕口残存。 |
| 100 | 110I-3 No.6 | 木村舟戸 木杓 | 103.2 | 25.3 | 11.9 | — | — | — | — | 材質クリ。両端に粗欠き仕口残存。 |
| 101 | 110I-3 No.7 | 木村舟戸 木杓 | 76.2 | 17.0 | 8.2 | — | — | — | — | 材質クリ。両端に粗欠き仕口残存。 |
| 102 | 110I-3 No.8 | 木村舟戸 木杓 | 77.8 | 14.8 | 6.7 | — | — | — | — | 材質クリ。両端に粗欠き仕口残存。 |
| 103 | 110I-3 No.10 | 木村舟戸 木杓 | 99.4 | 24.9 | 9.7 | — | — | — | — | 材質クリ。両端に粗欠き仕口残存。 |
| 104 | 110I-4 頭部 側方 | 頭部器 側方 | (14.4) | 6.6 | 4.7 | — | 1/2 | 灰白色 やや不良 | 砂粒 石英 角閃石 | ロクロ成形(右)。 外：底端内板ヘラ切り後高台頸り付け。 |
| 105 | 110I-6 頭部 蓋 | 頭部器 蓋 | 5.6 | — | (11.1) | 6.0 | 2/3 | 灰褐色 良好 | 砂粒 | 蓋G。ロクロ成形(右)。 |
| 106 | 110I-6 覆土 | 土器 壺 | (12.0) | (9.0) | 3.1 | — | 1/2 | 物色 良好 | 石英 長石 雲母 | 外：口縁部ヨコナデ。体ヘ底部ヘラケズリ。 内：口縁部内面に施釉、直掛け。 |
| 107 | 110W-1 頭部陶器 裏 | 頭部陶器 裏 | (13.3) | (6.2) | 3.7 | — | 1/4 | 淡褐色 良好 | 从白色 型 | 口縁部内外面に施釉、直掛け。 |
| 108 | 110W-1 No.1 | 土器 壺 | 長 4.8 | 幅 1.7 | 孔径 0.3 | 重(g) 11.6 | 完形 | 淡灰色 良好 | 石英 角閃石 白色粒 | 圓形。 |
| 109 | 110W-2 頭部器 裏 | 頭部器 裏 | (14.3) | 5.1 | 5.2 | — | 1/2 | 灰白色 やや不良 | 石英 其石 | ロクロ成形(右)。 外：底端内板ヘラ切り後高台頸り付け。 |
| 110 | 110W-2 No.1 | 頭部器 裏 | (13.6) | 6.0 | 4.9 | — | 1/2 | に赤い黄褐色 良好 | 石英 長石 売母 結晶品岩 小礫 | ロクロ成形(右)。焼化失焼成。 外：底端内板ヘラ切り後高台頸り付け。 |
| 111 | 110W-2 覆土 | 頭部器 裏 | (29.0) | — | (29.7) | 29.5 | 1/3 | 淡黃褐色 良好 | 砂粒 売母 | ロクロ成形(右)。焼化失焼成。底部欠損。 外：焼瓶仕付け。体部下位ヘナナデ。 |
| 112 | 110W-2 覆土 | 土器 壺 | 17.7 | — | (18.1) | 20.7 | 1/2 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 角閃石 | 外：口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ(土干傾、下下腹方)。 |
| 113 | 110一柄 羽笛 | 土器 壺 | 19.0 | — | (15.9) | 23.4 | 2/3 | に赤い黄褐色 良好 | 砂粒 | ロクロ成形。焼化失焼成。 外：口縁部ヨコナデ(瓶方)。 |
| 114 | 110一柄 土器 | 土器 壺 | 12.7 | 9.0 | 3.0 | 12.9 | 11.0+完形 | 物色 良好 | 砂粒 売母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナデ。体部擦痕斑驳。底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体へ底部ナナデ、脂油斑驳。 |
| 115 | 110一柄 土器 | 土器 壺 | 5.1 | 2.0 | 0.6 | 14.6 | 11.0+完形 | 灰褐色 良好 | 砂粒 角閃石 雲母 | 圓形。孔内面に螺旋状の条痕、孔位置が凹側に寄る。 |
| 116 | 110一柄 土器 | 土器 壺 | (4.3) | — | — | 重(g) (12.5) | 1/3 | 灰褐色 良好 | 砂粒 石英 雲母 | 圓形。 |
| 117 | 110一柄 土器 | 土器 壺 | (4.4) | — | 孔径 0.9 | 重(g) (14.0) | 1/2 | 明褐色 良好 | 砂粒 売母 角閃石 | 圓形。孔内面に螺旋状の条痕、孔位置が凹側に寄る。 |
| 118 | 110一柄 土器 | 土器 壺 | (4.1) | — | — | 重(g) (9.7) | 破片 | 墨褐色 良好 | 砂粒 売母 | やや焼化。 |
| 119 | 210H-1 羽笛 | 羽笛 | (16.5) | — | (13.6) | (19.5) | 口縁～ 内部破片 | に赤い褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 | 焼化失焼成。外：口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ(瓶方)。 内：ヘナナデ。 |
| 120 | 210H-1 羽笛 | 羽笛 | (29.2) | — | (14.4) | (32.6) | 口縁～ 外部破片 | 物色 やや不良 | 砂粒 小礫 角閃石 | 焼化失焼成。外：口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ(瓶方)。 内：ヘナナデ。 |

第18表 遺物観察表(5)

| 測量番号 採取No. | 出土遺物 種類 器種 | 法量(cm) | | | | 残存 | 色調 焼成 | 胎土 (胎土/含和物) | 特徴 調整 文様等 | | |
|---------------|----------------------------|------------|--------|--------|---------|--------|-------------|-----------------|--------------------------------------|--|-------------|
| | | 口径 | 底径 | 高さ | 最大径 | | | | | | |
| 121 | 2区H-1 No.1 | 土釜 | (26.8) | 12.2 | (25.0) | — | 1/4 | 褐色 やや不良 | 砂粒 小礫 黒隕 角閃石 | 焼化粧焼成。外:口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ(腹方向)。 内:口縁部ヨコナデ。体部ヘナダ。 | |
| 122 | 2区H-1 No.3 | 土製品 土器 | 4.05 | 1.8 | 0.5 | 11.8 | 完形 | 灰褐色 良好 | 砂粒 | 周囲 | |
| 123 | 2区H-2 No.1 | 瓦 | (11.2) | 4.0 | G-4 | — | 2/3 | オリーブ黒色 良好 | 石英 長石 黒隕 | ロクロ成形右。焼化粧焼成。 外:底面削(左)、系切り未調整。 | |
| 124 | 2区H-2 No.2 | 瓦 | (10.0) | (8.7) | 14.3 | 15.6 | 1/2 | 褐色 やや不良 | 砂粒 小礫 長石 黒隕 | ロクロ成形右。焼化粧焼成気味。 外:体部下位ヘラケズリ。 | |
| 125 | 2区H-2 No.12-18 | 羽釜 | (22.0) | — | <(10.6) | (24.5) | 1/6 | 明黃褐色 良好 | 砂粒 角閃石 白色粒 | 焼化粧焼成。 外:口縁~体部上端ヨコナデ。体部ヘラケズリ。内:ナダ。 | |
| 126 | 2区H-3 No.1 | 灰脚か 籠土 | (29.5) | 29.6 | — | 重(g) | 15.0 | 脚部 | 黒褐色 良好 | 砂粒 小礫 角閃石 石英 | 器種不明。割離痕有り。 |
| 127 | 2区H-5 No.1 | 瓦 | 12.8 | 5.8 | 4.0 | — | 完形 | 灰白色 良好 | 長石 黒隕 | ロクロ成形右。 外:底面削(左)、系切り未調整。 | |
| 128 | 2区H-5 No.1 | 瓦 | (15.0) | 6.6 | 4.8 | — | 1/4 | 褐色 良好 | 石英 長石 | ロクロ成形右。 外:底面削(左)。 | |
| 129 | 2区H-5 No.2-5+6-7 | 羽釜 | (16.8) | — | (12.4) | (21.6) | 1/6 | 灰褐色 良好 | 砂粒 黑隕 | ロクロ成形。焼化粧焼成気味。 | |
| 130 | 2区H-6 No.31 | 灰釉陶器 皿底 | (13.3) | 6.9 | 1.7 | — | 1/3 | 灰白色 良好 | 砂粒 | ロクロ成形。口縁~体部に拘泥。微掛け。 外:高台貼り付け。 | |
| 131 | 2区H-6 No.16 | 皿底 重 | 11.8 | 6.4 | 3.1 | — | ほぼ定形 | 褐色 良好 | 砂粒 小礫 石英 長石 角閃石 | ロクロ成形右。焼化粧焼成。 外:底面削(左)、系切り未調整。 | |
| 132 | 2区H-6 カマフ | 皿底 | 10.5 | 5.6 | 3.4 | — | 1/2 | 褐色 良好 | 石英 長石 黒隕 角閃石 | ロクロ成形。焼化粧焼成。 外:底面削(左)、系切り未調整。 | |
| 133 | 2区H-6 瓦 | (15.2) | (8.2) | 5.6 | — | 1/3 | 褐色 良好 | 砂粒 角閃石 | ロクロ成形右。焼化粧焼成。 外:底面削(左)、系切り未貼付。 | | |
| 134 | 2区H-6 No.26 | 黑色土器 柄 | 14.9 | 8.0 | 5.5 | — | 2/3 | 褐色 良好 | 黒隕 角閃石 黒隕 | ロクロ成形右。口縁部外側~内側黒化處理。外:口縁部ヘタミガキ。体部下端削(左)ヘラケズリ。底部未切り張貼付高台。 内:ヘタミガキ。 | |
| 135 | 2区H-6 羽釜 | (23.0) | 8.0 | 24.4 | 26.5 | 2/3 | に近い褐色 良好 | 小隕 黒隕 チャート | ロクロ成形右。焼化粧焼成。 外:体部中~下位ヘラケズリ(腹方向)。 | | |
| 136 | 2区H-6 No.21-22 | 羽釜 | (23.0) | — | (13.3) | (23.7) | 口縁~ 体部断片 | 明黃褐色 良好 | 砂粒 角閃石 白色粒 | 焼化粧焼成。外:口縁~体部上端ヨコナデ。体部中位ヘラケズリ(腹方向)。内:ナダ。 | |
| 137 | 2区H-6 No.10 | 土釜 | (15.7) | — | (10.6) | (20.9) | 1/4 | 褐色 良好 | 砂粒 小礫 黒隕 角閃石 | ロクロ成形。 外:体部中位ヘラケズリ(横方向)。 | |
| 138 | 2区H-7 No.1 | 瓦 | 9.4 | 5.0 | 2.4 | — | 完形 | 黑褐色 良好 | 石英 長石 | ロクロ成形右。焼化粧焼成。 外:底面削(左)、系切り未調整。 | |
| 139 | 2区H-7 No.3-6-9- 9-10 | 羽釜 | — | — | (12.0) | (27.1) | 体部断片 | 灰褐色 やや不良 | 砂粒 小礫 角閃石 | 外:体部ヘラケズリ(腹方向)。 内ナダ。曲面压出。 | |
| 140 | 2区H-10 No.11 | 須恵器 坪 | 11.2 | 5.9 | 3.9 | — | ほぼ定形 | 褐色 良好 | 石英 長石 | ロクロ成形右。口縁部内面カール付材。 外:底面削(左)、系切り張貼付ヘラケズリ(右)。 | |
| 141 | 2区H-10 No.11 | 土器 坪 | (11.3) | — | 3.3 | — | 4/5 | に近い褐色 良好 | 砂粒 石英 黒隕 角閃石 | 外:口縁部ヨコナデ。体部ナダ。曲面压出。底部ヘタケズリ。 内:口縁~体部ヨコナデ。底部ナダ。 | |
| 142 | 2区H-10 No.3 | 土器 坪 | 12.5 | — | 2.9 | — | 4/5 | 黄褐色 良好 | 砂粒 黄隕 角閃石 | 外:口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。曲面压出。底部ヘタケズリ。 内:口縁~体部ヨコナデ。底部ナダ。 | |
| 143 | 2区H-10 No.12 | 土器 坪 | (19.9) | (11.0) | (8.8) | (20.6) | 2/5 | に近い褐色 良好 | 砂粒 黄隕 黒隕 角閃石 | 外:口縁部ヨコナデ。体部上位指圧凹痕。底~底部ヘラケズリ。 内:口縁部ヨコナデ。体~底部ナダ。 | |
| 144 | 2区H-10 No.14 | 土器 坪 | — | 4.8 | (16.4) | 22.4 | 1/2 | 外 黒隕・内 棕色 良好 | 砂粒 角閃石 | 外:体部ヘラケズリ(腹方向)。底部ヘラケズリ。 | |
| 145 | 2区H-10 No.18 | 土器 坪 | — | (3.8) | (15.3) | 20.5 | 1/3 | 褐色 良好 | 砂粒 角閃石 | 外:体部ヘラケズリ(腹方向)。底部ヘラケズリ。 内:ナダ。 | |
| 146 | 2区H-10 No.19 | 石製品 石錐 | 2.8 | 3.5 | — | 重(g) | 31.2 | 完形 | — | 材質複合岩。 | |
| 147 | 2区H-11 No.1 | 須恵器 坪 | (11.3) | (5.2) | 3.5 | — | 3/5 | 灰褐色 良好 | 石英 黑隕 長石 | ロクロ成形左。 外:底面削(左)、系切り未調整。 | |
| 148 | 2区H-11 No.2-3-16 | 羽釜 | (20.3) | — | (20.7) | (23.7) | 1/4 | 灰褐色 良好 | 砂粒 小礫 石英 黑隕 | ロクロ成形。邊延燒焼成。 外:口縁部ヨコナデ。体部中~下位ヘラケズリ(腹・斜方向)。 | |
| 149 | 2区H-11 No.4 | 羽釜 | (21.9) | — | (11.5) | (24.0) | 口縁~ 体部断片 | に近い褐色 良好 | 砂粒 小隕 長石 黒隕 塗装片岩 | ロクロ成形。無化粧焼成。 | |
| 150 | 2区H-12 No.7 | 須恵器 蓋 | 15.5 | 3.1 | 4.5 | — | ほぼ定形 | 灰白色 良好 | 砂粒 | ロクロ成形右。 外:天井部削軋ヘラケズリ(右)。 | |

第19表 遺物観察表(6)

| 陶器番号 | 出土遺物 取扱い No. | 種類 器種 | 遺量(cm) | | | 残存 度 | 色調 地成 | 胎土 (胎土/有物) | 特徴 調整 文様等 | |
|------|--------------------------------|-----------|----------|----------|--------|--------------------|-------------|------------------|-----------------------------|--|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | | | |
| 151 | 2区H-12 No.3 | 上部器 耳 | 12.3 | — | 3.0 | 12.8 | 3/4 | 褐色 良好 | 砂粒 黄母 角閃石 | 外:口縁部ココナデ。体部ナデ、側面圧痕。底部ヘラケズリ。 内:口縁~体部ココナデ、底部ナデ。 |
| 152 | 2区H-12 No.8 | 上部器 耳 | 12.2 | — | 2.9 | — | 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 角閃石 白色粒 | 外:口縁~体部ココナデ。体部ナデ、側面圧痕。底部ヘラケズリ。 内:口縁~体部ココナデ、底部ナデ。側面圧痕。 |
| 153 | 2区H-13 No.3 | 頭部器 耳 | (9.0) | — | 1.9 | — | 3/4 | 灰白色 やや不良 | 砂粒 黄母 石英 角閃石 | ロクロ成形(右)、焼化粧地成。 |
| 154 | 2区H-13 No.1-2-4 | 上部 耳 | (24.8) | — | (9.5) | 24.6 | 口縁~ 体部破片 | 褐色 中不良 | 砂粒 小禮 長石 黄石英 | 外:口縁部指圧痕。体部ヘラケズリ。 内:ナデ。 |
| 155 | 2区H-15 腹上 | — | — | (16.0) | (24.1) | 口縁~ 体部破片 | 明赤褐色 良好 | 砂粒 小禮 具石 角閃石 | 外:腹部ヘラケズリ(縦方向)。 内:ナデ。 | |
| 156 | 2区H-16 No.1 | 頭部器 耳 | 9.6 | — | 3.7 | — | 山字形 完形 | 灰白色 良好 | 砂粒 小禮 黄石 | ロクロ成形(左)。 外:腹部手持ちヘラケズリ。 |
| 157 | 確定 | 灰釉陶器 | 頭部僅 | — | (5.8) | (15.3) | 体部破片 | 灰オリーブ色 良好 | 砂粒 | 21H-3腹上出土。ロクロ成形。 外:口縁付着。 |
| 158 | 2区H-16 直腹 | — | (6.0) | — | — | — | — | — | — | ロクロ成形(右)、焼化粧地成。 |
| 159 | 2区H-18 No.1 | 頭部器 耳 | 10.0 | 5.8 | 3.3 | — | 3/4 | 褐色 やや不良 | 砂粒 小禮 | 外:底脚印軸系切り未調整。 |
| 160 | 2区H-18 No.3 | 頭部器 耳 | 9.7 | 5.0 | 2.7 | — | 山字形 完形 | 明黄褐色 良好 | 砂粒 石英 具石 赤褐色粒 | ロクロ成形(左)、焼化粧地成、黒帯。 外:底脚印軸系切り未調整。 |
| 161 | 2区H-18 No.2 | 頭部器 耳 | 10.6 | 5.4 | 3.0 | — | 2/3 | にい・黄褐色 良好 | 砂粒 小禮 角閃石 | ロクロ成形(右)、焼化粧地成。内外面にタール付着。幻明里。 外:口縁付着軸系切り未調整。 |
| 162 | 2区H-18 No.11 | 上部器 耳 | 7.5 | — | 3.8 | — | 完形 | 灰褐色 良好 | 砂粒 黄母 角閃石 | 外:口縁~体部上端ココナデ。体部上位輪削痕。底部下段ヘラケズリ(縦方向)。 |
| 163 | 2区H-18 No.9-16 +17-22-24 | 上部 耳 | — | (10.2) | (22.9) | (24.5) | 1/3 | 浅黄色 良好 | 砂粒 石英 黄母 角閃石 赤褐色粒 | 外:口縁~体部上端ココナデ。体部下位輪削痕。底部下段ヘラケズリ(縦方向)。内:口縁部ココナデ。体部ナデ。 |
| 164 | 2区H-18 No.13-16 +19-25 | 上部器 耳 | (19.7) | — | (20.3) | (21.8) | 1/5 | 明褐色 良好 | 砂粒 石英 角閃石 赤褐色粒 | 外:口縁部ココナデ。体部ヘラケズリ(上位削)。中~下位輪削痕。内:口縁部ココナデ。体部上位ハケメ、中~下位ナデ。 |
| 165 | 2区H-19 灰釉陶器 腹 | (11.9) | (6.6) | 2.5 | — | — | 1/2 | 灰白色 良好 | 砂粒 | ロクロ成形、口縁部外表面に施釉。剥掛け。 外:底脚貼り付け。 |
| 166 | 2区H-20 頭部器 蓋 | (17.0) | 摘み付 蓋 | 3.4 | — | — | 2/3 | 灰白色 良好 | 砂粒 黄石 黃母 赤褐色粒 | ロクロ成形(右)。 外:天脚部軸系切り後に回転ヘラケズリ(右)。 |
| 167 | 2区H-4 No.6 | 頭部器 耳 | — | 摘み付 蓋 | 3.6 | — | 天井部 破片 | 灰白色 良好 | 砂粒 石英 露頂 | ロクロ成形(右)。 外:天脚部軸系切り後に回転ヘラケズリ(右)。 |
| 168 | 2区H-20 頭部器 耳 | (14.0) | 8.9 | 3.7 | — | 外:灰白/内:灰褐色 やや不良 | — | — | 砂粒 | ロクロ成形(右)。 外:底脚印軸系ヘラケズリ(右)。 |
| 169 | 2区H-20 頭部器 耳 | 12.8 | 7.5 | 3.2 | — | 5/6 | 灰白色 良好 | 砂粒 石英 鉄片 赤褐色粒 | ロクロ成形(右)。 外:口縁付着軸系切り未調整。 | |
| 170 | 2区H-20 頭部器 耳 方寸25 | 頭部器 耳 | 13.2 | 7.0 | 3.9 | — | 4/5 | 灰白色 やや不良 | 砂粒 小禮 露頂 鉄片 | ロクロ成形(右)。 外:底脚付着軸系切り未調整。 |
| 171 | 確定 | 頭部器 耳 | (12.6) | (7.8) | 3.3 | — | 2/5 | 灰白色 良好 | 石英 黄石 | 21H-4腹上出土。ロクロ成形。 外:底脚付着軸系切り未調整。 |
| 172 | 確定 | 頭部器 耳 | 20.0 | — | (6.3) | — | 体部破片 | 灰色 良好 | 砂粒 黄石 | 21H-4腹上出土。ロクロ成形。 外:各部下段ヘラケズリ。内:ナデ。 |
| 173 | 2区H-20 No.10 | 上部器 耳 | 11.8 | — | 3.1 | — | 山字形 完形 | にい・橙色 良好 | 砂粒 黄石 露頂 角閃石 | 外:口縁部ココナデ。体部ナデ、側面圧痕。底部ヘラケズリ。 内:口縁~体部ココナデ、底部ナデ。側面圧痕。 |
| 174 | 2区H-20 No.11 | 上部器 耳 | 12.0 | — | 3.1 | — | 1/2 | 赤褐色 良好 | 砂粒 黄母 角閃石 | 外:口縁部ココナデ。体部ナデ、側面圧痕。底部ヘラケズリ。 内:口縁~体部ココナデ、底部ナデ。側面圧痕。 |
| 175 | 2区H-20 No.5 | 上部器 耳 | 11.7 | — | 3.2 | — | 4/5 | にい・褐色 良好 | 砂粒 黄母 角閃石 | 外:口縁部ココナデ。体部ナデ、側面圧痕。底部ヘラケズリ。 内:口縁~体部ココナデ、底部ナデ。側面圧痕。 |
| 176 | 2区H-20 No.27 | 上部器 耳 | 12.0 | — | 3.4 | — | 山字形 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 黄母 角閃石 | 外:口縁部ココナデ。体部ナデ、側面圧痕。底部ヘラケズリ。 内:口縁~体部ココナデ、底部ナデ。側面圧痕。 |
| 177 | 確定 2区H-20 | 上部器 耳 | (11.8) | — | 3.4 | — | 1/2 | にい・橙色 良好 | 砂粒 黄母 角閃石 | 21H-5腹上出土。外:口縁部ココナデ。体部ナデ。側面圧痕。底 部ヘラケズリ。内:口縁~体部ココナデ、底部ナデ。側面圧痕。 |
| 178 | 2区H-20 No.26 | 石器品 的確 | 4.2 | 4.2 | 1.1 | 28.7 | 重合 完形 | 褐色 良好 | — | 材質不詳。 |
| 179 | 2区H-21 No.3 | 頭部器 耳 | 10.1 | 4.1 | 3.4 | — | 1/2 | 褐色 良好 | 砂粒 小禮 石英 長石 チャート | ロクロ成形、焼化粧地成。内外面磨耗。 外:底脚付着軸系切り未調整。 |
| 180 | 2区H-21 No.2 | 頭部器 耳 | 11.3 | 6.1 | 4.3 | — | 山字形 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 小禮 石英 角閃石 | ロクロ成形(右)、焼化粧地成。口部にテール付着。 外:底脚付着軸系切り後右台貼り付け。 |

第20表 遺物観察表(7)

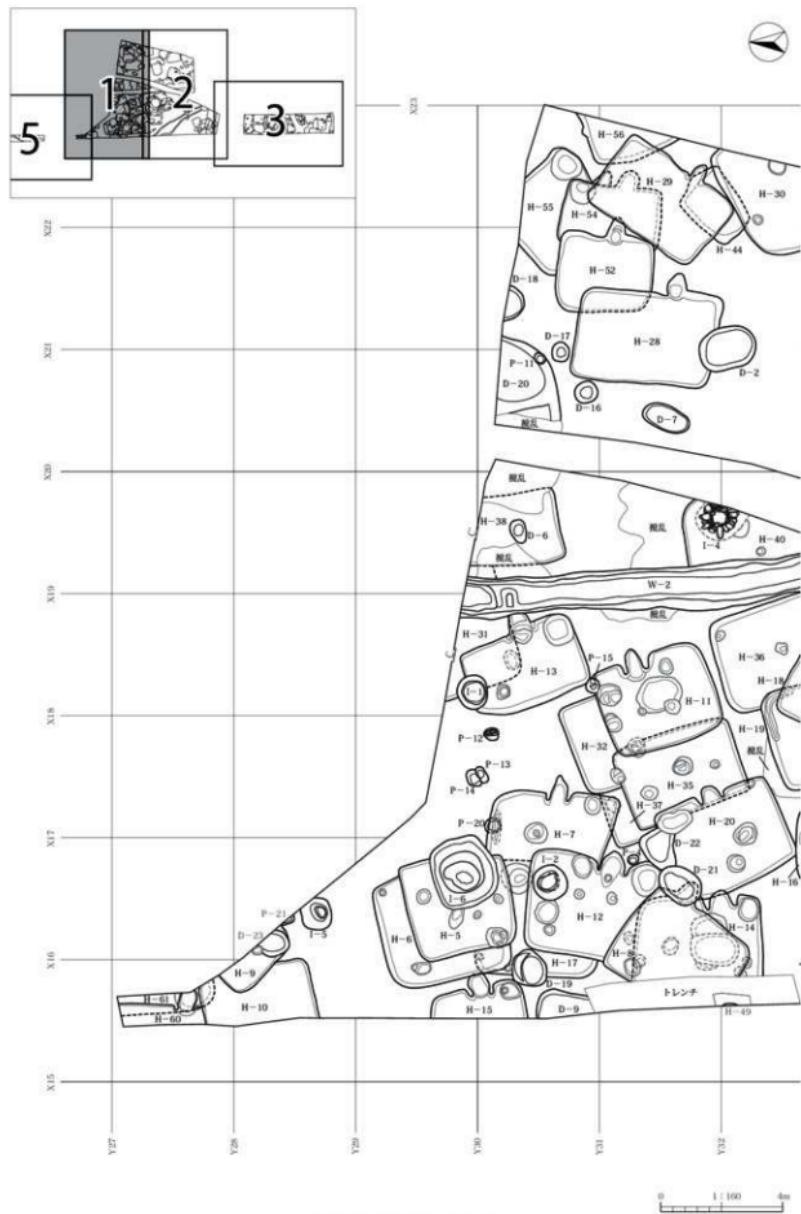
()は推定値、()は残存値

| 部類 番号 取しNo. | 出土遺物 種別 器種 | 法量(cm) | | | | 残存 | 色調 焼成 | 胎土 (胎土色/含物) | 特徴 調整 文様等 |
|-------------------|---|--------|-------|--------|--------|------|---------------|---------------------|---|
| | | 口径 | 底径 | 高さ | 最大径 | | | | |
| 181 | 2区H-21 金銀製品 No.1 | 刀子 | 13.6 | 1.2 | 0.3 | 17.0 | 3/4 | — | — |
| 182 | 2区H-22 銀器 No.22 | — | 13.1 | 5.1 | 4.7 | — | ほぼ完形 | 灰黄色 やや不良 | 砂粒 小礫 石英 長石 黄緑 |
| 183 | 2区H-22 土器 カマド焼り方 | — | 12.6 | 5.3 | 4.2 | 12.9 | ほぼ完形 | 灰褐色 良好 | 砂粒 小礫 石英 長石 黄緑 |
| 184 | 2区H-22 頭器 No.5-6 鉢 | (25.0) | — | (12.4) | (26.5) | 1/4 | にぶい黄褐色 良好 | 石英 長石 頭緑 | ロクロ成形石、焼化粧焼成。 外: 蒼御(板)あ切り後高台貼り付け。 |
| 185 | 2区H-22 鉢 No.4 | — | 9.0 | (13.2) | (18.4) | 1/4 | — | 灰白色 良好 | ロクロ成形石、焼化粧焼成。 外: 蒼御(板)あ切り未調整。 |
| 186 | 2区H-22 羽釜 No.3-6 | (20.0) | — | (19.8) | 23.7 | 1/3 | にぶい黄褐色 良好 | 砂粒 長石 黄緑 | ロクロ成形石、焼化粧焼成。 外: 体部下部へラケズリ。内: 頸付着。 |
| 187 | 2区H-22 石製品 No.1 | 石器 | 4.4 | 4.4 | 1.4 | 42.8 | 完形 | — | — |
| 188 | 2区H-23 土器 盤上 蓋 | — | 13.4 | 5.5 | 6.8 | — | 3/4 | 褐色 やや良好 | 砂粒 石英 青緑 |
| 189 | 2区H-23 土器 盤 No.1 | — | 10.2 | — | 3.9 | — | ほぼ完形 | 明赤褐色 良好 | 砂粒 石英 青緑 角閃石 |
| 190 | 2区H-25 頭器 No.1 | — | 13.3 | 5.6 | 5.4 | — | 1/2 | 明黃褐色 やや不良 | 砂粒 石英 長石 黄緑 |
| 191 | 2区H-25 頭器 No.5 | (13.7) | 6.1 | 5.0 | — | — | 1/2 | にぶい橙色 良好 | 砂粒 石英 長石 青緑 晶晶片岩 |
| 192 | 2区H-26 頭器 盤 | (14.0) | 4.6 | 4.9 | — | — | 1/2 | 灰白色 やや不良 | 砂粒 小礫 石英 青緑 長石 |
| 193 | 推定 頭器 盤 | — | 12.6 | 5.7 | 4.8 | — | 3/4 | 灰黃褐色 良好 | 砂粒 青緑 ロクロ成形石、外: 蒼御(板)あ切り未調整。 |
| 194 | 2区H-26 土器 盤 No.4 | — | 11.8 | — | 3.4 | — | 4/5 | 褐色 良好 | 砂粒 青緑 角閃石 |
| 195 | 2区H-27 頭器 盤 No.10 | — | 10.8 | 6.0 | 2.9 | — | ほぼ完形 | にぶい橙色 良好 | 砂粒 青緑 赤褐色 |
| 196 | 2区H-27 頭器 盤 No.2 | — | 10.1 | 5.0 | 3.0 | — | 3/5 | 褐色 良好 | 砂粒 青緑 赤褐色 |
| 197 | 2区H-27 頭器 盤 No.1 | (10.0) | 6.0 | 2.8 | — | 3/5 | にぶい褐色 やや不良 | 砂粒 石英 角閃石 青緑 | ロクロ成形、焼化粧焼成。内外面磨耗。 |
| 198 | 2区H-27 羽釜 No.11 | (21.0) | — | (13.8) | (22.1) | — | 口縁～ 水滴痕 | にぶい黄褐色 良好 | 砂粒 青緑 角閃石 石英 |
| 199 | 2区H-33 土器 盤 No.7 | (13.3) | — | (4.1) | — | 2/5 | — | 灰褐色 不明 | 砂粒 小礫 角閃石 |
| 200 | 推定 上製品 刷毛車 刷毛車 No.12 | — | 6.17 | 6.19 | 1.41 | — | 完形 | にぶい黄褐色 良好 | 砂粒 長石 青緑 |
| 201 | 2区H-32 土器 盤 No.9-10 | — | 18.0 | — | 4.3 | — | 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 石英 長石 青緑 角閃石 |
| 202 | 2区H-32 土器 盤 No.6 | — | 12.6 | — | 4.4 | — | 1/2 | 褐色 やや不良 | 砂粒 角閃石 |
| 203 | 2区H-33 頭器 盤 No.1 | (16.0) | 6.8 | 5.5 | — | 1/2 | 灰白色 良好 | 砂粒 石英 青緑 | ロクロ成形石。 外: 蒼御(板)あ切り後高台貼り付け。 |
| 204 | 推定 2区H-33 土器 盤 | (12.1) | (8.1) | 3.2 | — | 1/4 | にぶい橙色 良好 | 石英 青緑 長石 | 25.0-1.5匁土器。外: 口縁部ヨココナギ、体部ナヂ、底部ヘラケズリ。 内: 口縁～体部ヨココナギ、底部ナヂ、指頭圧痕。 |
| 205 | 2区H-34 頭器 盤 No.2 | (11.0) | (6.8) | 3.9 | — | 1/3 | 灰褐色 良好 | 砂粒 長石 青緑 | ロクロ成形、墨書き。 外: 蒼御(板)へラカタリ未調整。 |
| 206 | 2区H-34 土器 盤 No.3 | (12.2) | — | 3.4 | — | 2/3 | にぶい橙色 良好 | 砂粒 長石 青緑 角閃石 | 外: 口縁部ヨココナギ、体部ナヂ、指頭圧痕。底部ヘラケズリ。 内: 口縁～体部ヨココナギ、底部ナヂ、指頭圧痕。 |
| 207 | 2区H-34 土器 盤 No.1 | — | 11.8 | — | 3.0 | — | 完形 | 褐色 良好 | 砂粒 青緑 角閃石 |
| 208 | 2区H-34 頭器 盤 | (12.6) | — | 3.1 | — | 1/3 | 褐色 やや良好 | 砂粒 青緑 角閃石 | 外: 口縁部ヨココナギ、体部ナヂ、指頭圧痕。 内: 口縁～体部ヨココナギ、底部ナヂ、指頭圧痕。 |
| 209 | 2区H-42 鉢 No.4 | (16.1) | (8.5) | 6.8 | — | 1/3 | 灰白色 良好 | 砂粒 小礫 石英 青緑 晶晶片岩 | ロクロ成形石、口縁部内面に施墨、内外面及び断面の一部に 墨書き。外: 蒼御(板)あ切り後高台貼り付け、削除ナヂ。 |
| 210 | 2区H-21 頭器 盤 刷毛車 刷毛車 No.6 | (12.0) | 5.4 | 4.7 | — | 1/2 | 灰褐色 良好 | 砂粒 小礫 石英 青緑 晶晶片岩 | ロクロ成形石、焼化粧焼成。 外: 蒼御(板)あ切り後高台貼り付け。 |

第21表 遺物観察表(8)

()は推定値、()は既存値

| 測量番号 | 出土遺物 剖面 取上No. | 種類 器種 | 法量(cm) | | | | 残存 | 色調 地成 | 胎土 (胎土色/有物) | 特徴 調整 文様等 |
|------|----------------------------|-------------|--------|--------|--------|----------------|-------------|---------------|--------------------|--|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | 最大径 | | | | |
| 211 | 2区H-35 No.1-2 | 土器 | (24.0) | — | (12.5) | (24.3) 骨部破片 | 口縁～ 骨部破片 | に赤・橙色 やや良好 | 砂粒 小磯 黒母 角閃石 | 210H-27壺上出土鏡片と接合。 クロロ成形、焼化粧地成、輪郭粗。 |
| 212 | 2区H-36 上面 面上・側面 | 土器器 耳 | (17.6) | — | 3.9 | — | 2/5 | 明赤褐色 やや不良 | 砂粒 小磯 黒母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナギ、体～底部ヘラケズリ。 内：輪孔。 |
| 213 | 2区H-36 金属性品 腹の方 縫 | 貝 | (14.0) | C.08 | 0.3 | 61.0 | 4/5 | — | — | 腐食進む。 |
| 214 | 2区H-40 頭部器 耳 | 土器器 耳 | (12.0) | 5.8 | 3.6 | — | 1/2 | 灰褐色 良好 | 砂粒 小磯 長石 黒母 | クロロ成形(右)。 外：底部円板系切り未調整。 |
| 215 | 2区H-46 頭部器 耳 | 土器器 耳 | (12.8) | 7.0 | 3.8 | — | 1/2 | 灰褐色 良好 | 砂粒 長石 黒母 | クロロ成形(右)。 外：底部円板系切り未調整。 |
| 216 | 2区H-51 頭部器 耳 | 土器器 耳 | — | (12.2) | (10.7) | 20.0 | 1/5 | 灰白色 良好 | 砂粒 長石 黒母 | クロロ成形、体部に施點。 外：高台貼り付け。 |
| 217 | 鑑定 2区H-52 耳 | 土器器 耳 | 18.7 | — | 4.3 | — | 口縁完形 | 暗色 | 砂粒 石英 黒母 角閃石 | 210H-9壺上出土。外：口縁部ヨコナギ、体～底部ヘラケズリ。 内：口縁～体部ヨコナギ、底津ナギ。 |
| 218 | 鑑定 2区H-52 耳 | 土器器 耳 | (13.9) | — | 3.9 | — | 2/5 | 明赤褐色 良好 | 砂粒 長石 黒母 角閃石 | 210H-9壺上出土。外：口縁部ヨコナギ、体～底部外周ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナギ、体～底部ナギ。 |
| 219 | 2区H-52 カツアフ | 土器器 耳 | (10.9) | — | 3.8 | — | 1/4 | 暗色 良好 | 砂粒 長石 黒母 | 外：口縁部ヨコナギ、体～底部ヘラケズリ。 内：口縁～体部ヨコナギ、底津ナギ。 |
| 220 | 2区H-52 土器器 耳 | 土器器 耳 | 23.8 | — | (7.5) | — | 口縁～ 骨部破片 | 暗色 良好 | 砂粒 小磯 長石 黒母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ(横方向)。 内：口縁部ヨコナギ、体部ヘラケズリ。 |
| 221 | 2区D-7 頭部器 耳 | 土器器 耳 | 9.1 | 5.5 | 3.0 | — | 完形 | に赤・黃褐色 良好 | 砂粒 小磯 黒母 角閃石 | クロロ成形(右)。焼化粧地成。口縁部外周の一部にターゲル。 内外全体に輪付点。外：底部円板系切り未調整。 |
| 222 | 2区D-7 頭部器 耳 | 土器器 耳 | 9.8 | 6.0 | 2.7 | — | 3/4 | 暗色 良好 | 砂粒 玄母 角閃石 非海色粒 | クロロ成形(右)。焼化粧地成。 外：底部円板系切り未調整。 |
| 223 | 2区D-7 黑色土器 耳 | 土器器 耳 | 10.5 | — | 3.4 | — | 3/4 | に赤・橙色 良好 | 砂粒 角閃石 | クロロ成形、内面堅化處理。 外：口縁部切り後高台貼り付け。内：ヘラミガキ。 |
| 224 | 2区P-16 上面 | 石製品 柄の根車 | (3.6) | — | (2.3) | — | — | — | — | 材質質石。 |
| 225 | 2区P-29 頭部器 耳 | 土器器 耳 | (12.4) | 8.3 | 3.3 | — | 1/3 | 灰白色 良好 | 具石 白色粒 黒色粒 | クロロ成形(右)。 外：底部円板ヘラケズリ(右)。 |
| 226 | 2区P-34 頭部器 耳 | 土器器 耳 | (14.2) | 5.8 | 4.1 | — | 2/5 | に赤・黃褐色 良好 | 砂粒 玄母 角閃石 | クロロ成形(右)。焼化粧地成。内面タール・糊付着。 外：底部円板あ切り未調整。 |
| 227 | 2区 地下剖 上面 | 土器器 耳 | 3.9 | 1.05 | 0.4 | 3.6 | 完形 | に赤・黃褐色 良好 | 砂粒 玄母 赤褐色粒 | 鉛形。 |
| 228 | 2区一括 | 頭部器 蓋 | (10.3) | — | (1.8) | — | 1/2 | 灰褐色 良好 | 砂粒 長石 | 210H-40No.1、ロクロ成形(右)。縫み欠損。天井部外面に自然 軸付着。外：天井部削軸ヘラケズリ(右)。 |
| 229 | 3区H-1 頭部器 耳 | 土器器 耳 | 8.8 | 5.4 | 1.9 | — | 3/4 | 暗色 不良 | 砂粒 小磯 黒母 赤褐色粒 | クロロ成形、焼化粧地成、内外面擦耗。 |
| 230 | 3区H-3 石製品 上面車 | 長 輪 | 6.9 | 6.8 | 3.4 | 159.4 | 完形 | — | — | 材質質角閃石安山岩。 |
| 231 | 3区H-6 土器器 耳 | 土器器 耳 | 11.3 | — | 3.3 | — | 口縁完形 | に赤・橙色 良好 | 砂粒 小磯 黒母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナギ。体部ナギ。輪潤圧痕。底部ヘラケズリ。 内：口縁～体部ヨコナギ、底津ナギ。輪潤圧痕。 |
| 232 | 3区H-6 土器器 耳 | 土器器 耳 | 11.4 | — | 3.2 | — | 口縁完形 | 明褐色 良好 | 砂粒 玄母 角閃石 | 外：口縁部ヨコナギ。体部ナギ。輪潤圧痕。底部ヘラケズリ。 内：口縁～体部ヨコナギ、底津ナギ。輪潤圧痕。 |
| 233 | 3区H-8 頭部器 耳 | 土器器 耳 | 13.5 | 6.4 | 2.8 | — | 2/3 | 黒褐色 良好 | 砂粒 玄母 角閃石 | クロロ成形(右)。 外：底部円板系切り後高台貼り付け。 |



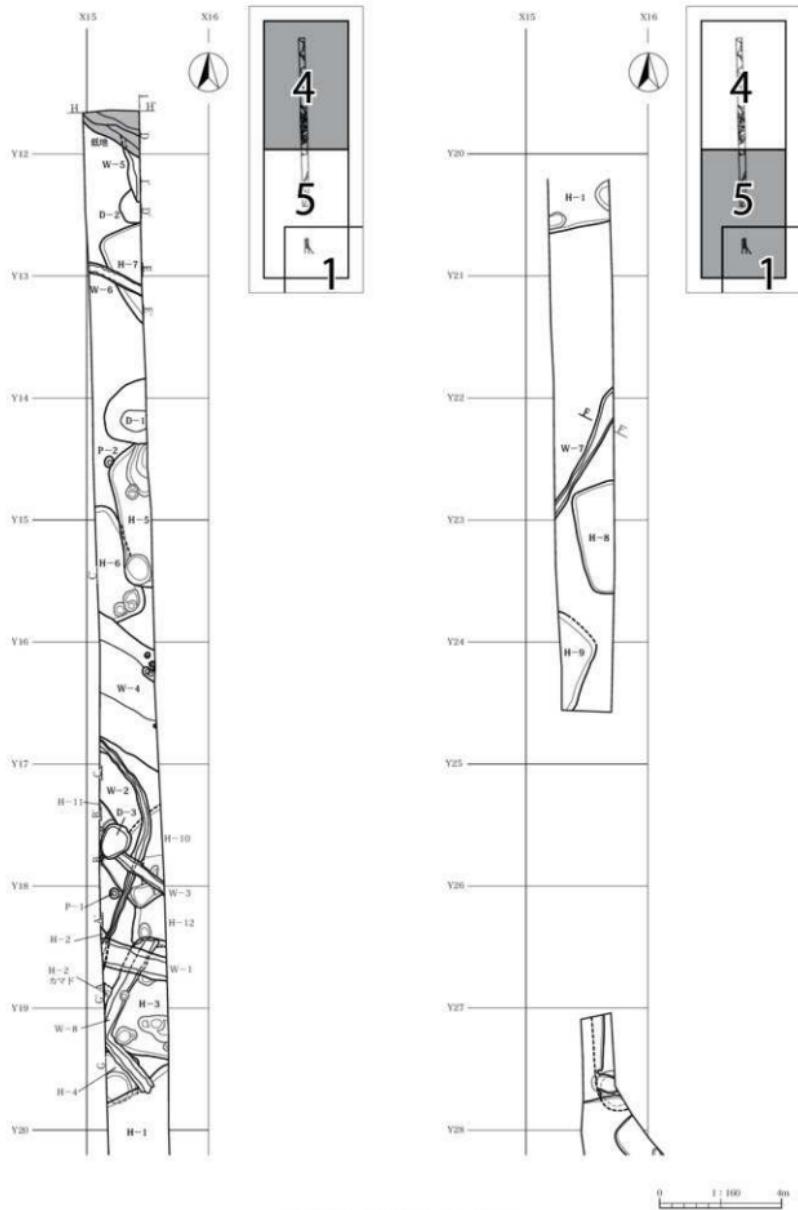
第9図 分割図1 (1区)



第10図 分割図2(1区)



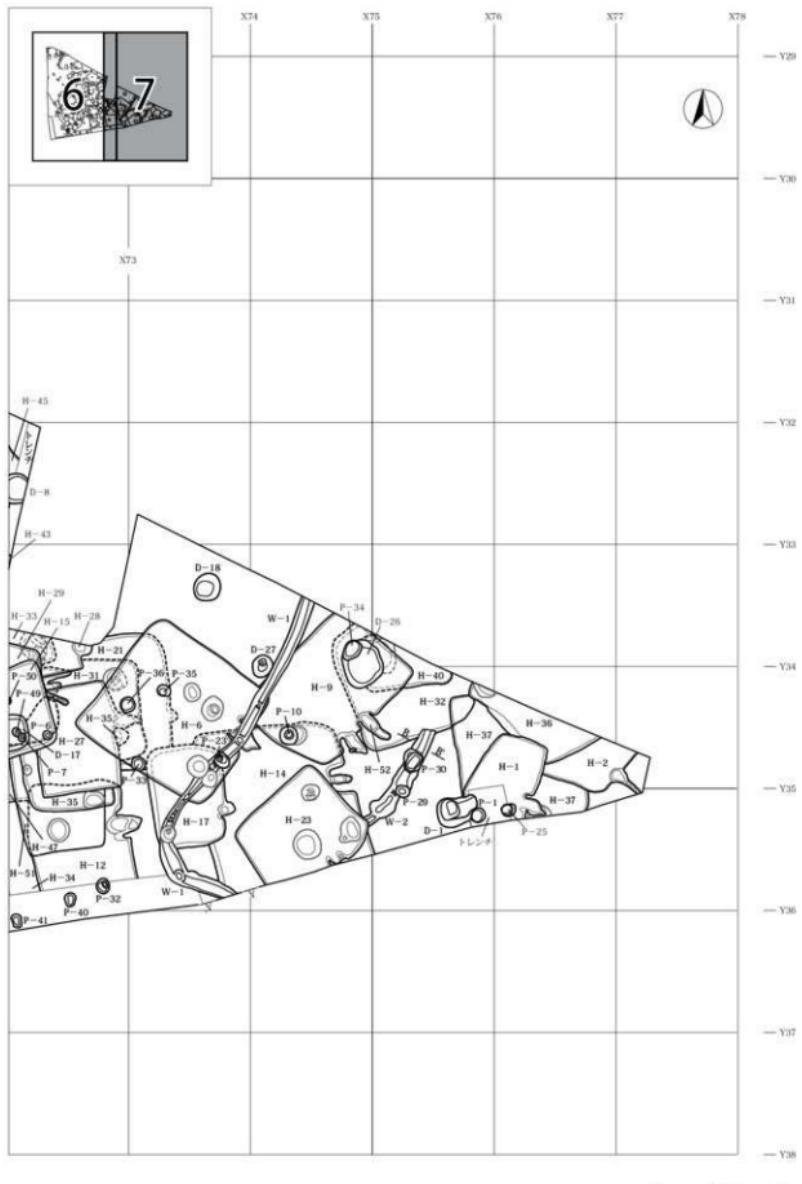
第11図 分割図3(1区)



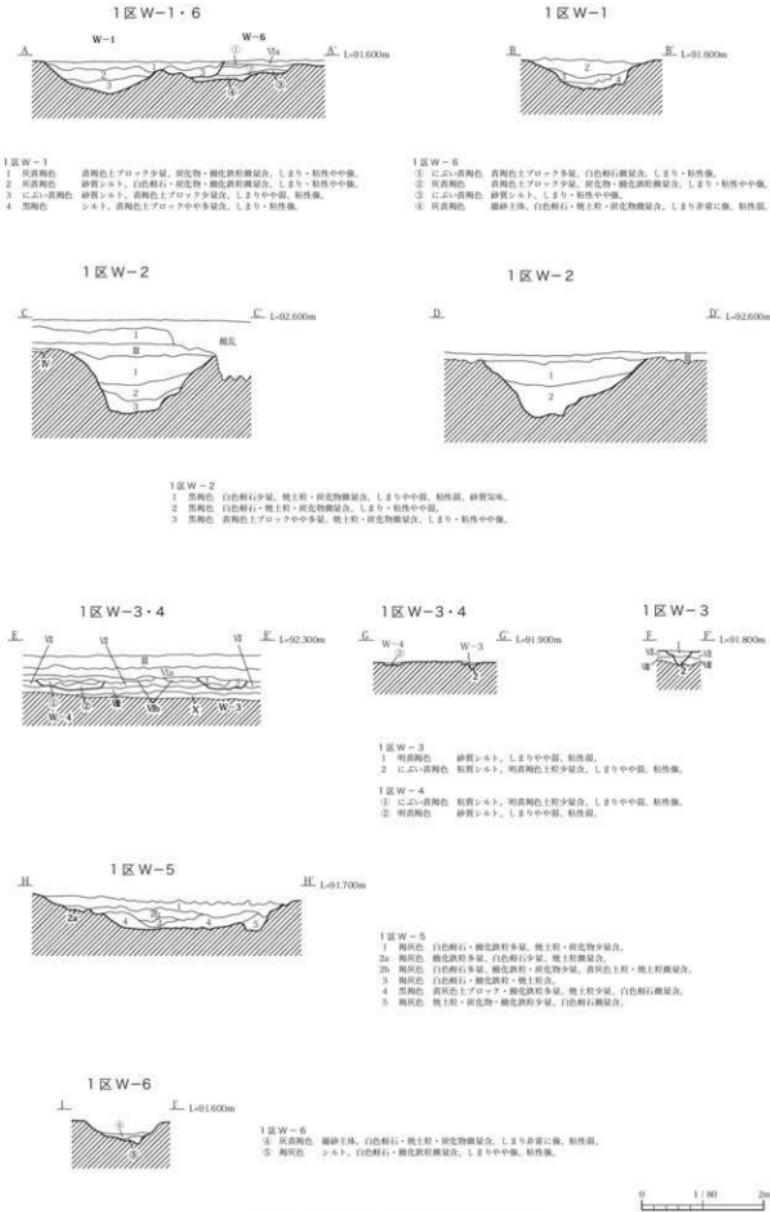
第12図 分割図4・5（3区）



第13図 分割図6(2区)

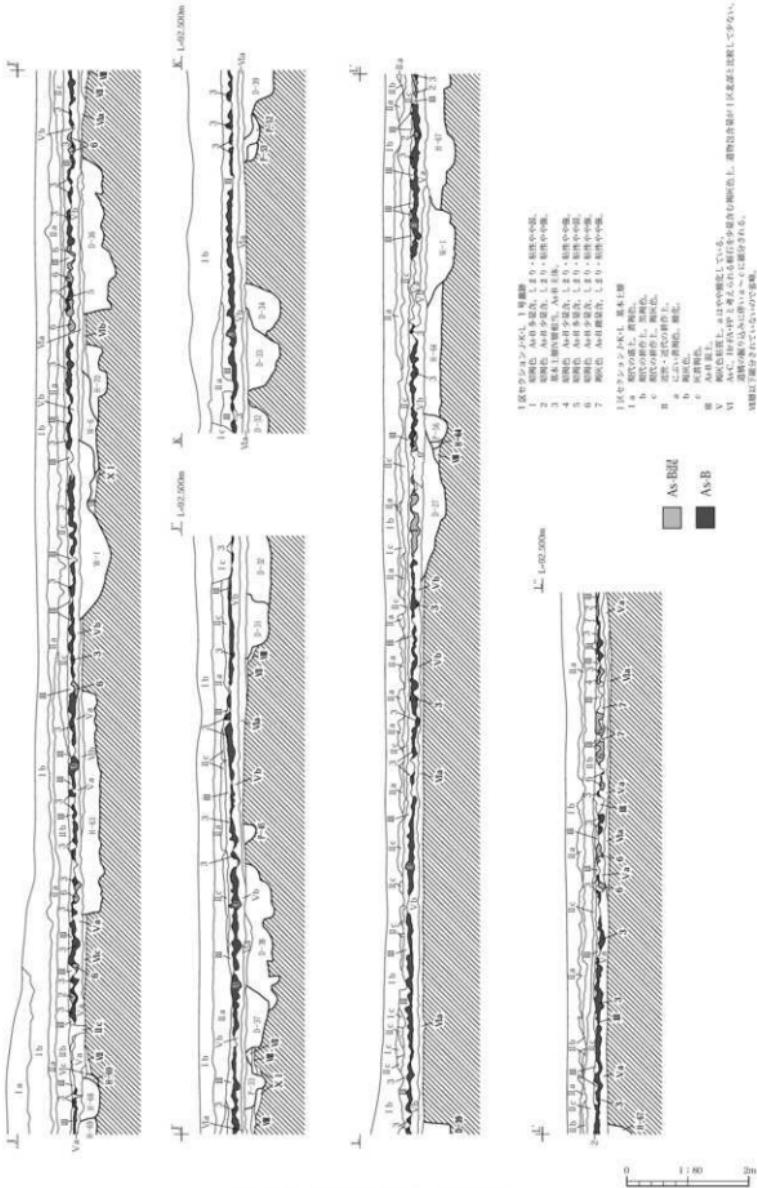


第14図 分割図7 (2区)

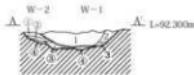


第15図 分割図1～3セクション(溝跡)

1区画跡



3区 W-1・2



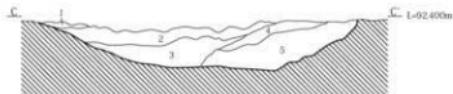
- 3区 W-1
 1 黑褐色 シルト主張、細胞色上ブロックや中多量、白色粗石微量含。
 2 黒褐色 しまり・粘性中下部。
 3 黒褐色 黄褐色シートトク質、白色粗石微量含。
 4 黑褐色 黑褐色。
- 3区 W-2
 1 黑褐色 黄褐色シートトク質、白色粗石微量含。
 2 にひ・黄褐色 シルト主張、黑褐色土圧、白色粗石微量含、タミナ状塊体、
 3 黑褐色 黒褐色シートトク質、白色粗石微量含。
 4 黑褐色 しまり・粘性中下部。
 5 黑褐色 砂質土と粘質土の混合層、しまりや中層、粘性中下部。

3区 W-3



- 3区 W-3
 1 黑褐色 黄褐色シートトク質中や多量、白色粗石少量。
 2 黑褐色 黒土圧・灰化物微量含、しまり・粘性中下部。
 3 黑褐色 シートトク質中や多量、白色粗石微量含。
 4 黑褐色 しまり・粘性中下部。

3区 W-4



- 3区 W-4
 1 黑褐色 シルト、細胞色沙質土ブロックや中多量、地土圧・灰化物少量含、しまり・粘性中下部。
 2 黑褐色 しまり・細胞色土を上面に分界、地土圧・灰化物微量含、しまり・粘性中下部。
 3 にひ・黄褐色 シルト。細胞色の瓦層、しまり・粘性中下部。
 4 にひ・黄褐色 シルト、細胞色シートトク質中や多量含、しまり・粘性中下部。
 5 にひ・黄褐色 シルト。細胞色シートトク質中や多量、地土圧少量含、L=92.400m。

3区 W-5



- 3区 W-5
 1 黑褐色 白色粗石少量、地土圧・灰化物微量含、
 2 黑褐色 しまり・粘性中下部。
 3 黑褐色 黑褐色土プロックや中多量、しまり・粘性中下部。

3区 W-6



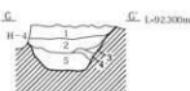
- 3区 W-6
 1 桃色 シルト主張、As-B中や多量含。
 2 黑褐色 黑褐色土主張、As-B中量含。
 3 粘赤褐色 粘質土主張、地質和砂質含、
 しまり・粘性。

3区 W-7



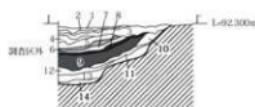
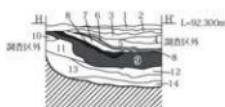
- 3区 W-7
 1 黑褐色 黄褐色土ブロック少量含、
 しまり・粘性。

3区 W-8



- 3区 W-8
 1 黑褐色 白色粗石・黃褐色土少量含、地土圧・灰化物微量含、
 2 黑褐色 黄褐色土少量、白色粗石・地土圧・灰化物微量含、
 3 黑褐色 しまり・粘性中下部。
 4 黑褐色 黄褐色土少量含、しまり・粘性中下部。
 5 黑褐色 黄褐色土プロック多量含、しまりや中層、粘性中下部。

3区低地

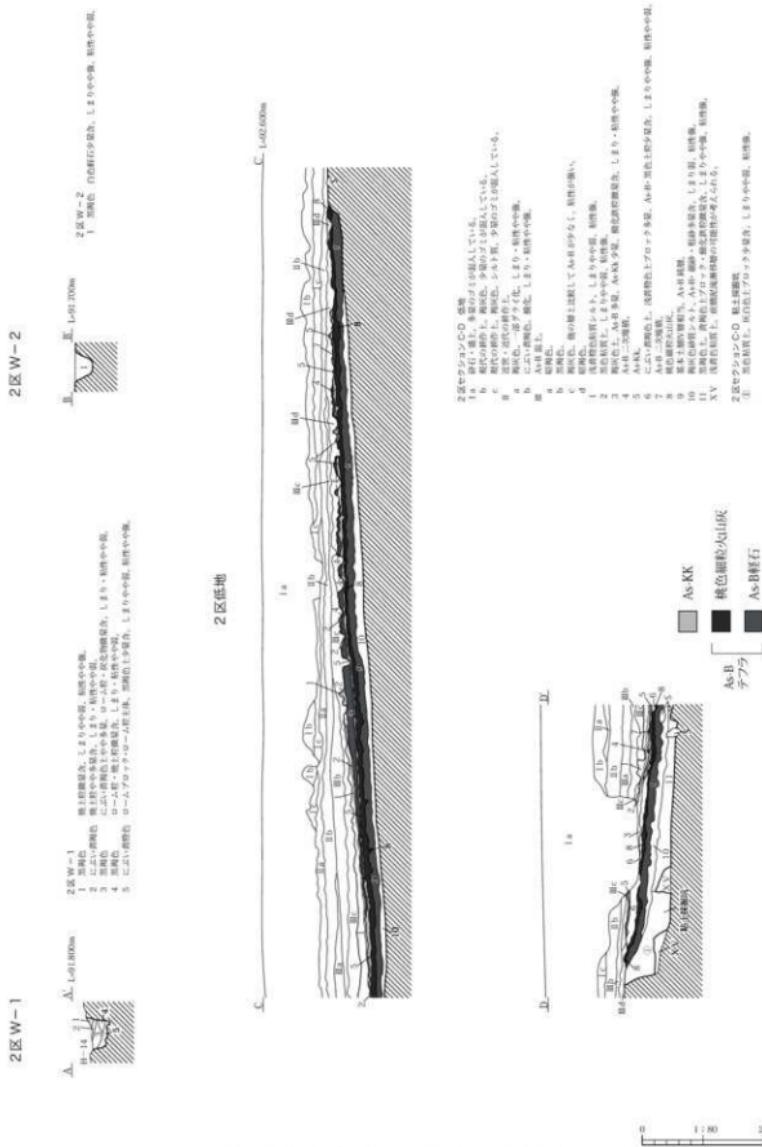


3区底地

- 1 通透、近代の耕作上、にひ・黄褐色。
 2 通透、近代の耕作上、明赤褐色、桃色。
 3 As-B 褐土。
 4 As-B 二重層。
 5 As-B 地表上、As-B 多量含。
 6 As-B 地表上。
 7 As-B 地表上、As-B 多量含。
 8 桃色細粒火山灰。
 9 第4・1層内相当、As-B地層。
 10 黄褐色粘土。上方中心に明赤褐色土少量含る。しまり・粘性強。
 11 黑褐色土。黑色土少量含。しまり・粘性中下部。
 12 黑褐色粘土。地表上、しまり・粘性弱。
 13 黑褐色粘土。地表上、しまり・粘性弱。
 14 黑褐色粘土。地表上、にひ・黄褐色シートプロック多量含。しまりや中層、粘性強。

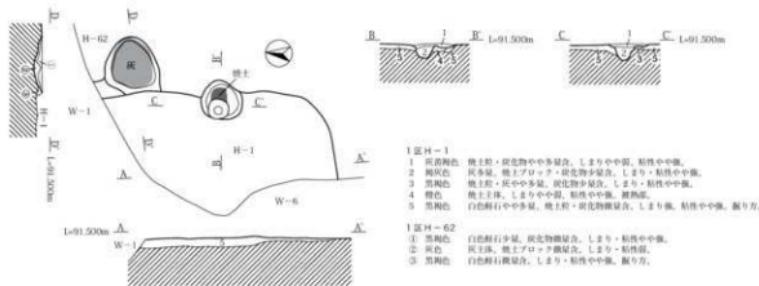
0 1:80 200

第17図 分割図4・5セクション(溝跡・低地)

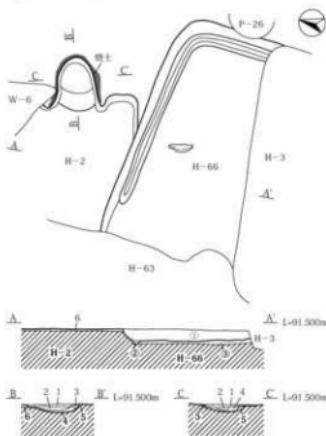


第18図 分割図6・7セクション（溝跡・低地）

1区H-1・62



1区H-2・66



1 区 H-2

- 1 灰青褐色 白色粘石や中量、粘化物微混含。しまり・粘性中強。
- 2 灰青褐色 灰白色、粘化物微混含。しまりや中弱、粘性や中強。
- 3 橙色 灰白色。しまり中弱。粘性中強。
- 4 黑褐色 灰白色。粘化物微混含。しまり中弱。粘性中強。
- 5 橙色 灰白色。しまり中強。粘性弱。被熱感。
- 6 黑褐色 白色粘石や中量、灰白色、粘化物混含。しまり強、粘性中強。腐り方。

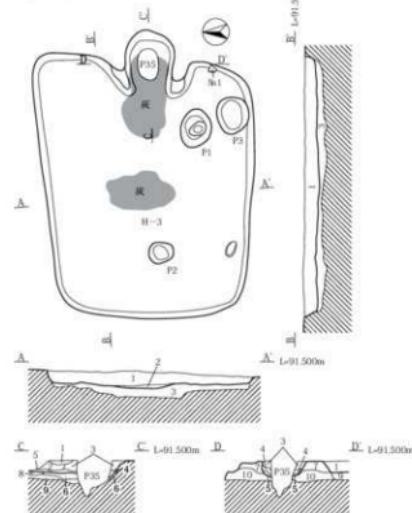
1區H-66

- ① 灰褐色 白色鉱石・灰化物少混合。床面直上に 3mm 程度の灰解部分的に塊状、
しまり。粘性や強。

② 黑褐色 白色鉱石・灰化物少混合。しまり。粘性中強。固溝。

③ 黑褐色 滴上ブロッケ、固化物混在。しまり。粘性や強。割り方。

1区H-3



| | |
|-----------|-------------------------------|
| 1 区 H-3 | |
| 1 黄褐色 | 白色断面や多量。地上部・根状物微量含。しまり、粘性や中強。 |
| 2 黑色 | 炭化物主体。しまり、粘性弱。 |
| 3 にせい 黄褐色 | 黄褐色上・ブロックや多量含。しまり強。粘性や中強。掘り方。 |
| 4 黄褐色 | |

二、作標

3. にい・青色 黄褐色の土にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。

4. 茶褐色 他土上にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。

5. にい・褐色 橙褐色の土にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。

6. 灰色 灰土上にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。

7. にい・黃褐色 黃褐色の土にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。しまり方。

8. 黄褐色 黄褐色の土にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。白粉有り。地盤肥厚を含み、しまり。粘性や柔軟。張力有り。

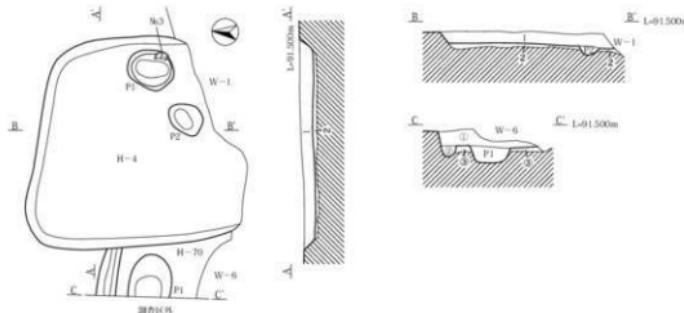
9. にい・褐色 黄褐色の土にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。白粉有り。地盤肥厚を含み、しまり。粘性や柔軟。張力有り。

10. 褐色 黄褐色の土にブックマーク状に含み、しまり。粘性や柔軟。



第19圖 1区 H=1 ≈ 3.62, 66 最佳回路

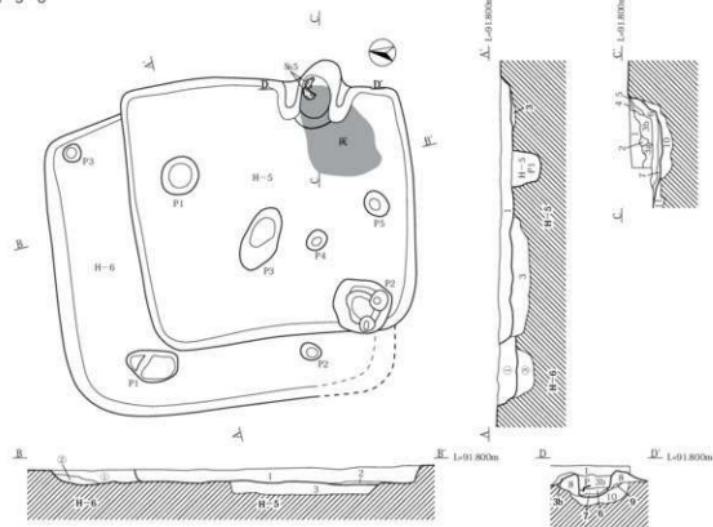
1区 H-4・70



1区 H-4

- 1 黒青褐色 白色粒石や多量。青褐色土ブロック少量。炭化物微量合。しまり・粘性や中強。
- 2 に赤い青褐色 青褐色土ブロックや中量合。しまり・中強・柔軟。

1区 H-5・6



1区 H-5

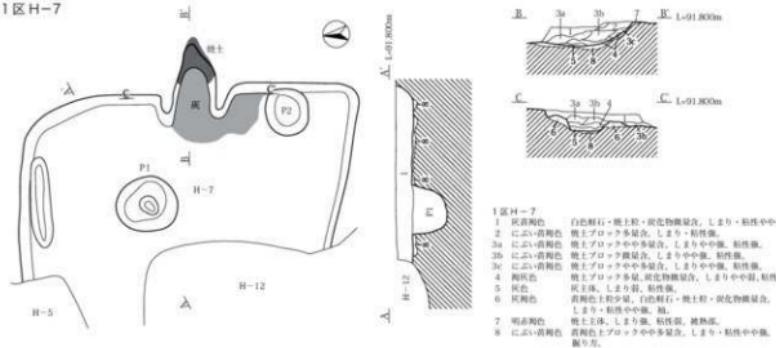
- 1 黒青褐色 壁土ブロックや中量合。白色粒石・炭化物微量合。しまり・粘性や中強。
- 2 赤色 土主張。しまり・柔軟。
- 3 黑褐色 青褐色土ブロック少量。炭化物微量合。しまり強・粘性や中強・柔軟。
- 4 ブラック 粘土和少量。白色粒石・炭化物微量合。しまり・粘性や中強。
- 5 明赤褐色 壁土主張。しまり強・粘性。
- 6 に赤い青褐色 壁土多量。青褐色土和中量合。しまり・粘性や中強。
- 7 土主張 土主張。しまりや中強・粘性や中強。
- 8 黑褐色 壁土主張。しまりや中強・粘性や中強。
- 9 赤白褐 壁土主張。しまりや中強・粘性や中強。
- 10 青褐色 壁土主張・青褐色土和少量合。しまり・粘性や中強・柔軟。
- 11 住居跡3脚と斜。

1区 H-70

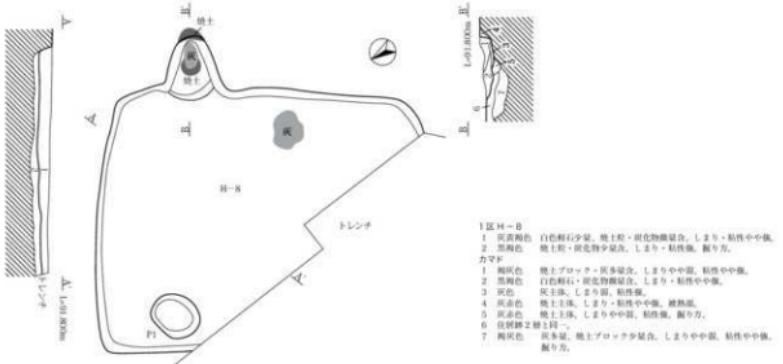
- ① 黒褐色 白色粒石・炭化物・陶化物微量合。黑色土ブロック・青褐色土上部分間に有。しまり・粘性や中強。
- ② 黑褐色 地主張・炭化物微量合。しまり・粘性や中強・剛柔。
- ③ 黑褐色 青褐色土微量合。しまり・粘性強・柔軟。

第20図 1区 H-4～6・70号住居跡

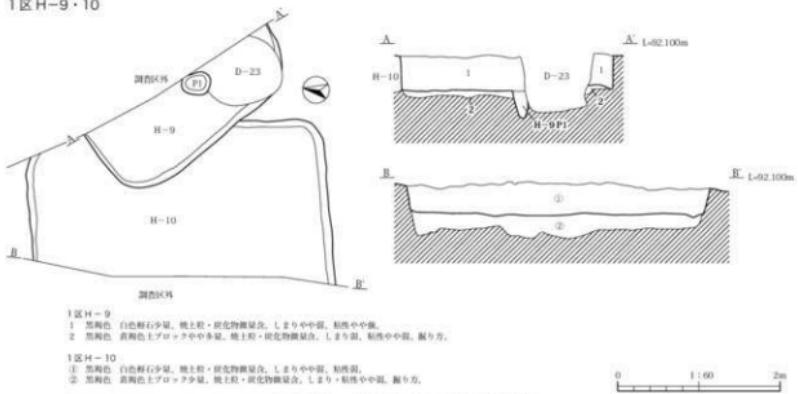
1区 H-7



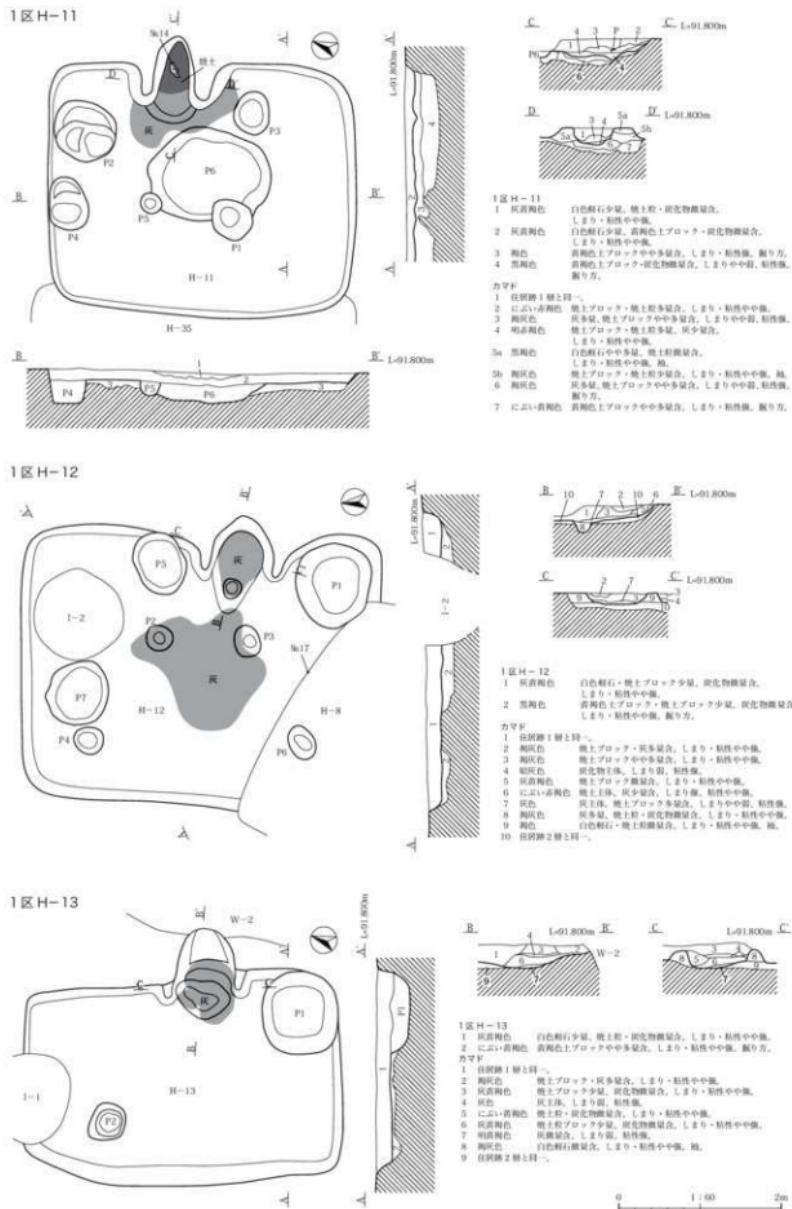
1区 H-8



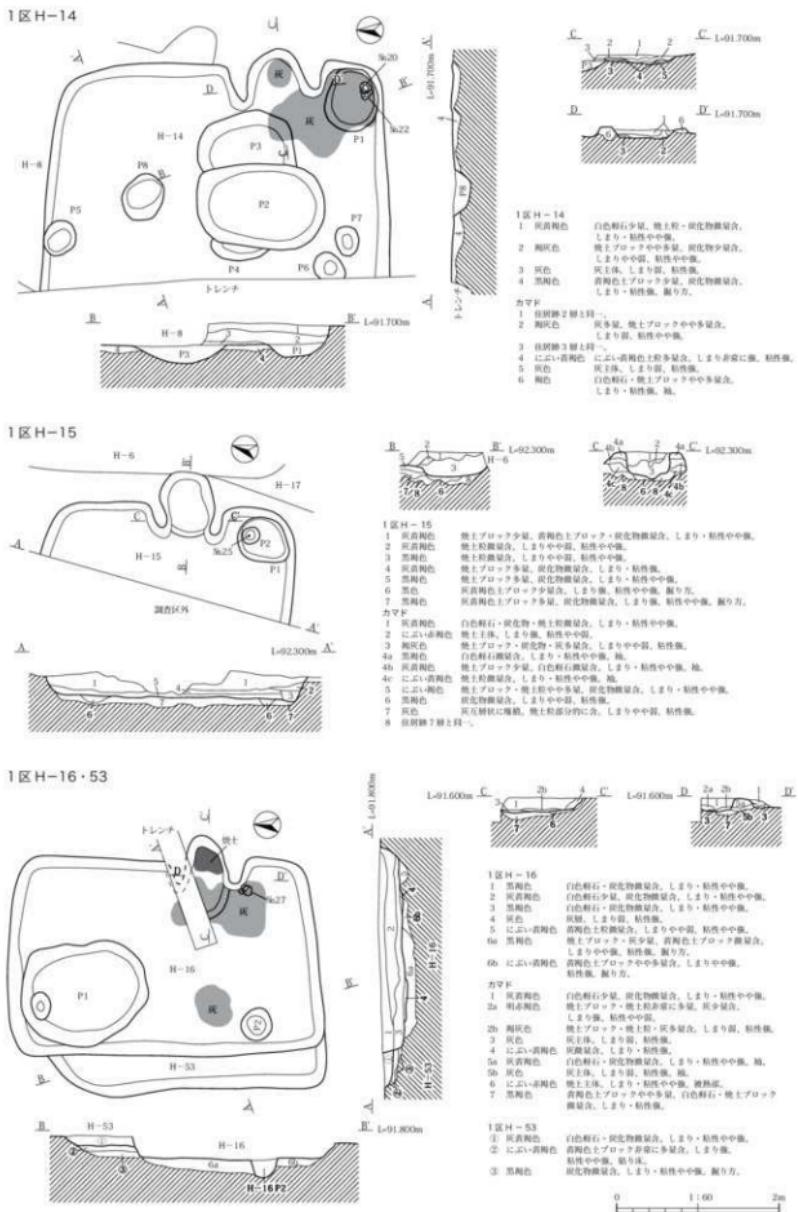
1区 H-9・10



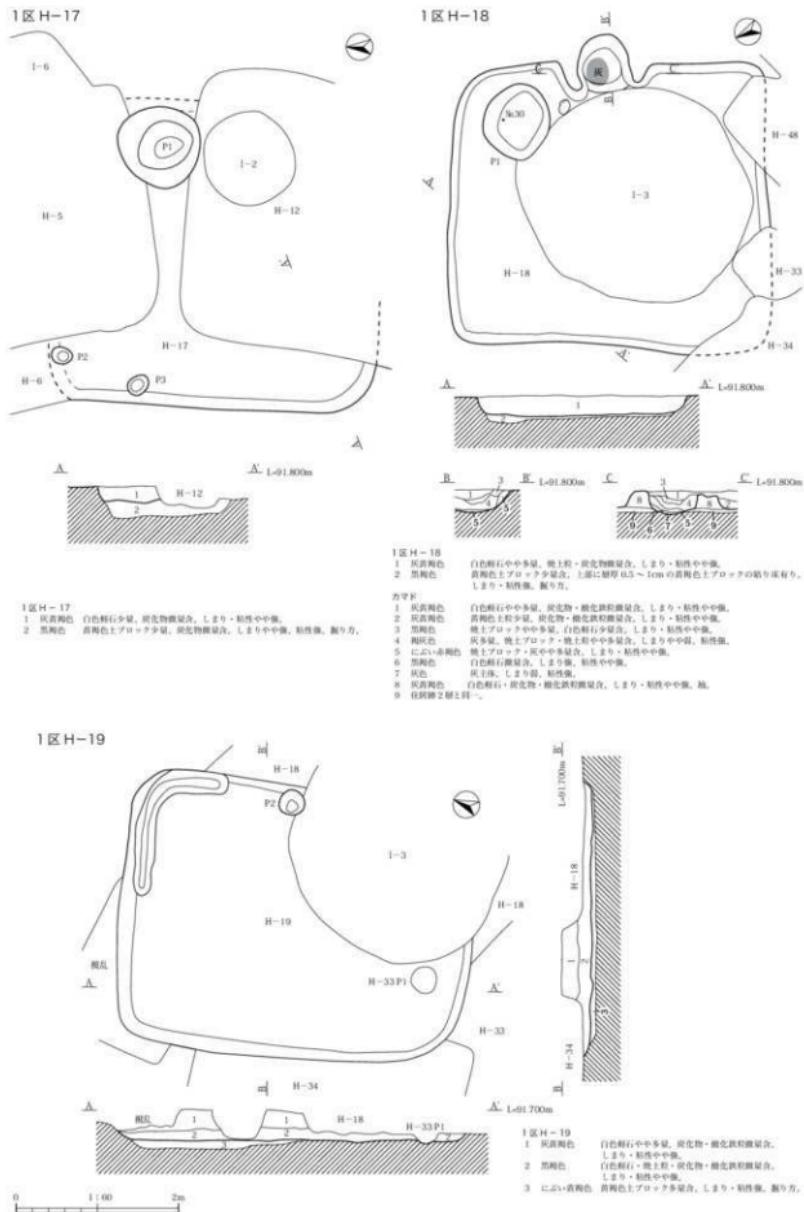
第21図 1区 H-7～10号住居跡



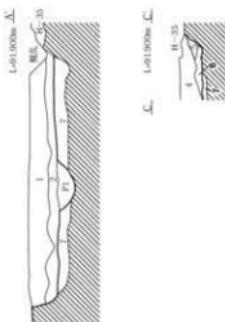
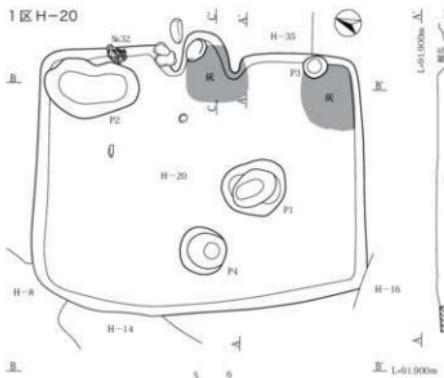
第22図 1区 H-11 ~ 13号住居跡



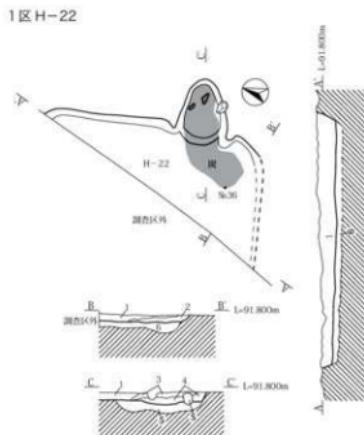
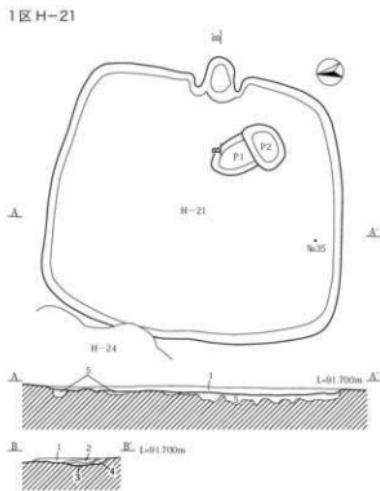
第23図 1区H-14~16・53号住居跡



第24図 1区 H-17~19号住居跡



- 1 蓝 H-20
2 黄褐色
3 黑褐色
4 白色砾石
5 にじみ、黄褐色
6 黑褐色
7 黑褐色
- 白色砾石や少量。壤土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
白色砾石・桃土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
白色砾石・桃土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
桃土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
桃土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
白褐色土層や少量混合。しまり・粘性や中強。
白褐色土層や多量混合。しまり・粘性や中強。炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
白褐色土層・桃土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。振り方。



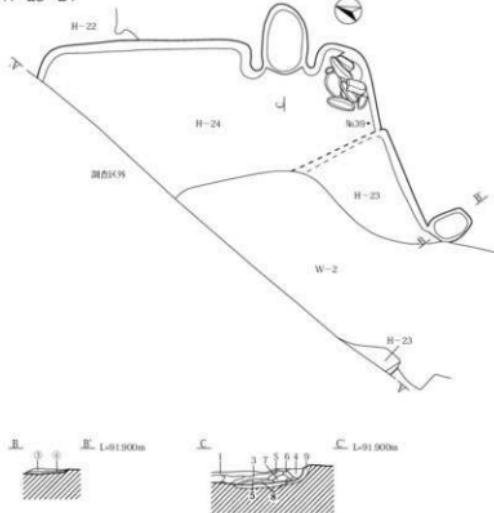
- 1 蓝 H-22
2 黑褐色
3 黄褐色
4 黑褐色
5 黑褐色
6 黑褐色
- 白色砾石・黄褐色土層微混合。しまり・粘性や中弱。
白色砾石・黄褐色土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
白色砾石・黄褐色土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。
桃土層・炭化物少量混合。しまり・粘性や中強。振り方。
黄褐色土層・炭化物少量混合。しまり・粘性や中強。振り方。
白褐色土層・炭化物微混合。しまり・粘性や中強。振り方。

- 1 蓝 H-21
2 黑褐色
3 黄褐色
4 黑褐色
5 黑褐色
- 白色砾石・桃土層・炭化物微混合。しまりや中弱。粘性や中強。
桃土層・炭化物微混合。しまりや中弱。粘性や中強。
白褐色土層・炭化物少量混合。しまりや中弱。粘性や中強。
桃土層・炭化物少量混合。しまりや中弱。粘性や中強。
白褐色土層の微混合。しまり・粘性や中強。振り方。

第25図 1区 H-20~22号住居跡

0 1:60 2m

1区 H-23・24



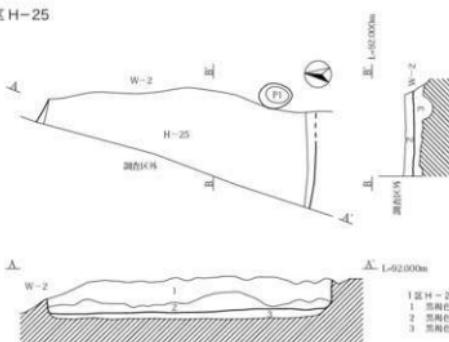
1区 H-23

- 1 黒褐色 地上部・泥化物微量含。しまり・粘性や中強。
- 2 にじみ赤褐色 軟質土・ブロック土層。しまり・粘性や中強。
- 3 黒褐色 地上部の中少量、泥化物多量含。しまりや中弱。粘性や中強。
- 4 にじみ赤褐色 地上部アロカ土層。硬中多量含。しまり弱。粘性や中弱。
- 5 灰褐色 地主体。しまり・粘性弱。
- 6 黑褐色 泥化物微量含。しまり・粘性や中弱。
- 7 黑褐色 硬中多量含。しまり・粘性や中強。
- 8 黑褐色 泥化物多量・地上的微量含。しまり・粘性や中強。
- 9 黑褐色 黒褐色土・ブロック土少量。白色軽石微量含。しまり・粘性や中強。掘り力。
- 10 黑褐色 黑褐色土・ブロック土少量。しまり・粘性や中強。掘り力。

1区 H-24

- 1 黑褐色 地上部・泥化物微量含。しまり・粘性や中弱。
- 2 にじみ赤褐色 地上部の中少量、泥化物多量含。しまりや中弱。粘性や中強。
- 3 黑褐色 地上部の中少量、泥化物微量含。しまりや中弱。粘性や中強。
- 4 にじみ赤褐色 地上部アロカ土層。硬中多量含。しまり弱。粘性や中弱。
- 5 灰褐色 地主体。しまり・粘性弱。
- 6 黑褐色 泥化物微量含。しまり・粘性や中弱。
- 7 黑褐色 硬中多量含。しまり・粘性や中強。
- 8 黑褐色 泥化物多量・地上的微量含。しまり・粘性や中強。
- 9 黑褐色 黑褐色土・ブロック土少量。白色軽石微量含。しまり・粘性や中強。掘り力。
- 10 黑褐色 黑褐色土・ブロック土少量。しまり・粘性や中強。掘り力。

1区 H-25

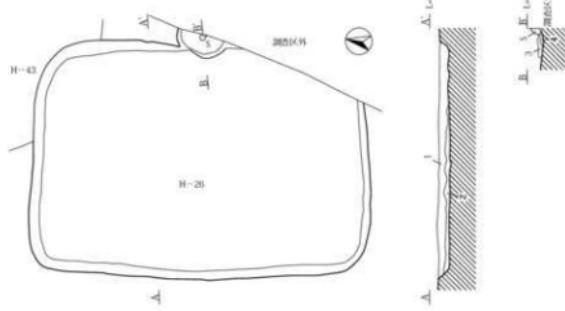


1区 H-25

- 1 黒褐色 白色軽石微量含。しまり・粘性や中強。
- 2 黑褐色 白色軽石・青褐色土・粘性含。しまり・粘性や中強。
- 3 黑褐色 黒褐色土・ブロック土少量。白色軽石微量含。しまり・粘性や中強。掘り力。

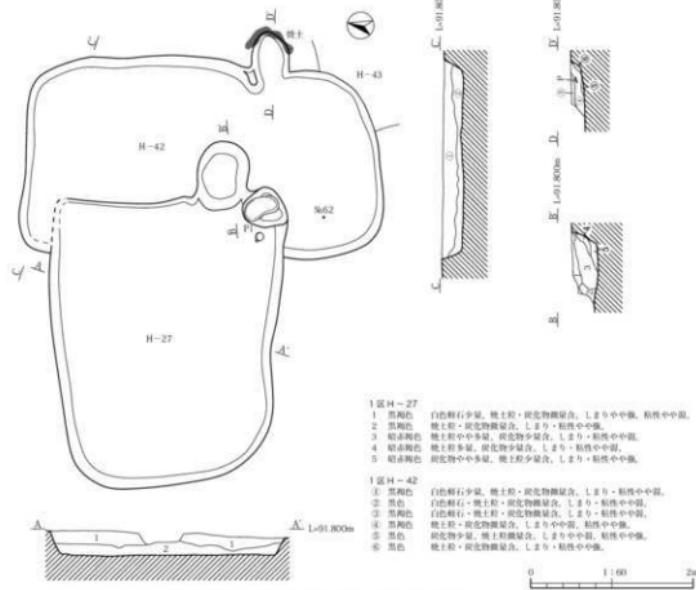
第26図 1区 H-23~25号住居跡

1区 H-26



1区 H-26
 1 黒褐色 白色軽石少量。地土灰・炭化物微量含。しまり小中幅。粘性や中弱。
 2 黒褐色 白色軽石・地土灰・炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。
 3 暗褐色 地土ブロック状・炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。
 4 暗褐色 地土灰・炭化物や中多量含。しまり・粘性弱。

1区 H-27・42

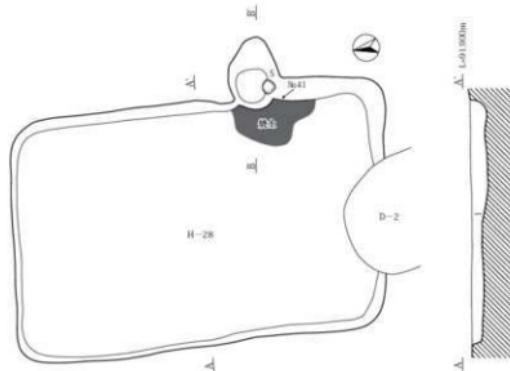


1区 H-27
 1 黒褐色 白色軽石少量。地土灰・炭化物微量含。しまり小中幅。粘性や中弱。
 2 黒褐色 地土灰・炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。
 3 前赤褐色 地土灰や中多量。炭化物少量含。しまり・粘性中中弱。
 4 暗褐色 地土灰や中多量。炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。
 5 初赤褐色 炭化物や中多量。地土灰少量含。しまり小中幅。

1区 H-42
 1 黒褐色 白色軽石少量。地土灰・炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。
 2 黒褐色 地土灰・地土粉・炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。
 3 黒褐色 地土灰・地土粉・炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。
 4 黒褐色 地土灰・炭化物微量含。しまり小中幅。粘性中中弱。
 5 黒色 炭化物少量。地土灰微量含。しまり小中幅。粘性中中弱。
 6 黒色 地土灰・炭化物微量含。しまり・粘性中中弱。

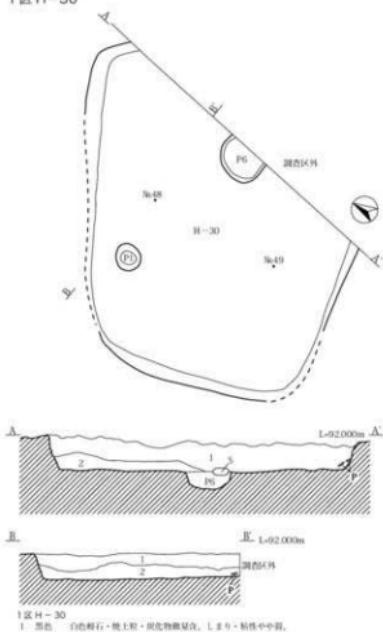
第27図 1区 H-26・27・42号住居跡

1区 H-28

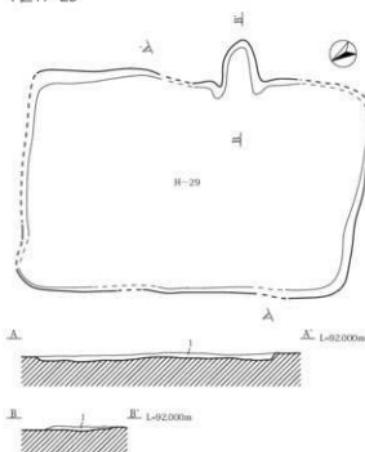


1区 H-28
1 黒褐色 白色軽石少量、純七種・炭化物微量含、しまり・粘性や中弱。
2 黒褐色 硫化物中多量、純土粒少量含、しまり・粘性の中弱。
3 黒褐色 硫化物少量、純土粒微量含、しまり・粘性や中弱。
4 黒褐色 純土粒や少量含、炭化物少量含、しまり・粘性や中弱。
5 黒褐色 白色軽石粒や中多量、純土粒・炭化物少量含、しまり・粘性や中弱。
6 黒褐色 純土粒少量含、しまり・粘性や中弱。無力方。

1区 H-30



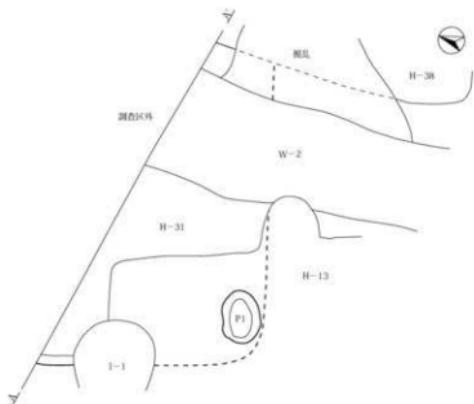
1区 H-29



1区 H-29
1 黒褐色 白色軽石微量含、しまり・粘性や中弱。
2 黑褐色 純土粒中や多量、炭化物微量含、しまり・粘性や中弱。

第28図 1区 H-28~30号住居跡

1区 H-31

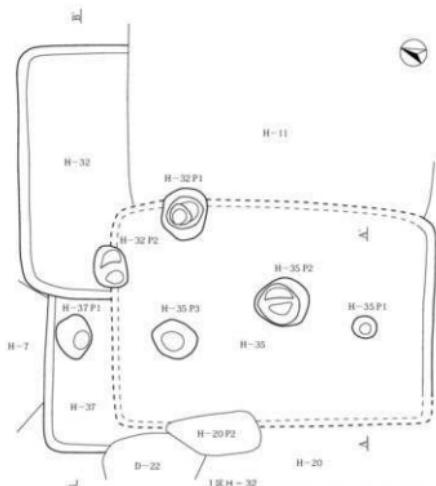


1区 H-31

- 1. 白色角褐色 白色角砾石や中多量。砂土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
- 2. 黒褐色 白色角石・青褐色土粒少量含。しまりや中弱。粘性や中強。硬り方。
- 3. にじ・青褐色 青褐色土プロックや中多量。砂土粒・炭化物微量含。しまり・粘性強。硬り方。



1区 H-32・35・37



1区 H-32

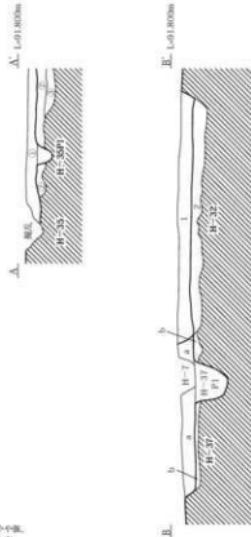
- 1. 白色角褐色 白色角砾石や中多量。砂土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
- 2. にじ・青褐色 青褐色土プロックや中多量含。しまり強。粘性や中強。硬り方。

1区 H-35

- 1. 白色角褐色 白色角砾石や中多量。砂土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
- 2. 黑褐色 白色角石少量。炭化物微量含。上面に厚さ0.5～1cmの青褐色土プロックの刷り面有り。しまり強。粘性や中強。硬り方。
- 3. にじ・青褐色 青褐色土粒多量含。しまりや中弱。粘性や中強。硬り方。

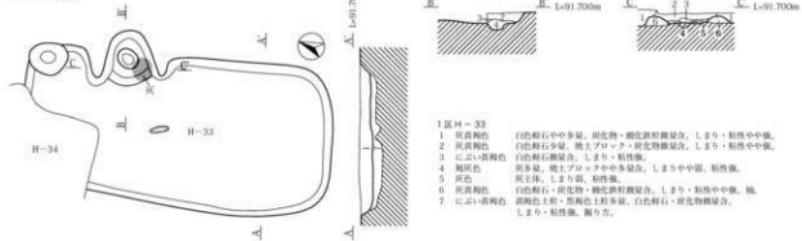
1区 H-37

- a. 白色角褐色 白色角砾石や中多量。砂土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
- b. にじ・青褐色 青褐色土プロックや中多量。白色角石・炭化物微量含。しまり強。粘性や中強。硬り方。

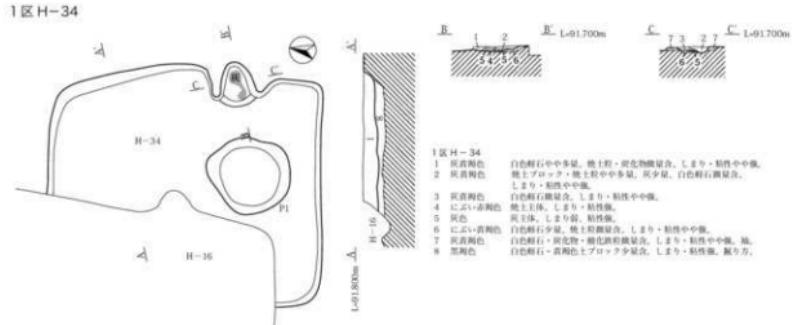


第29図 1区 H-31・32・35・37号住居跡

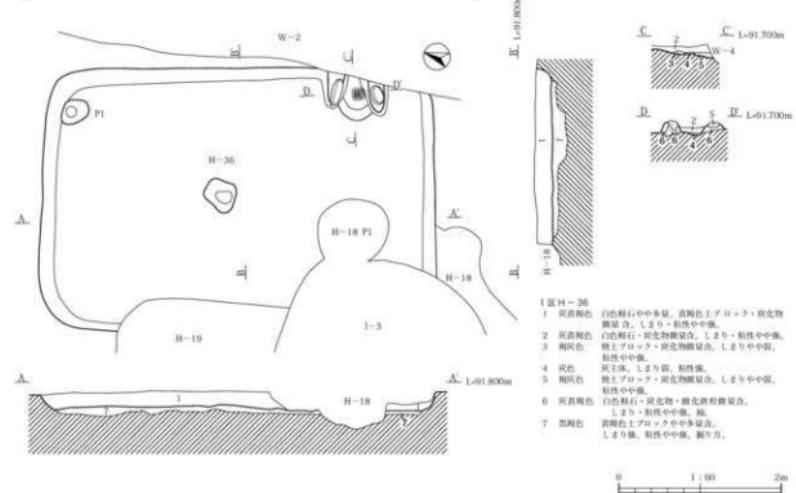
1区 H-33



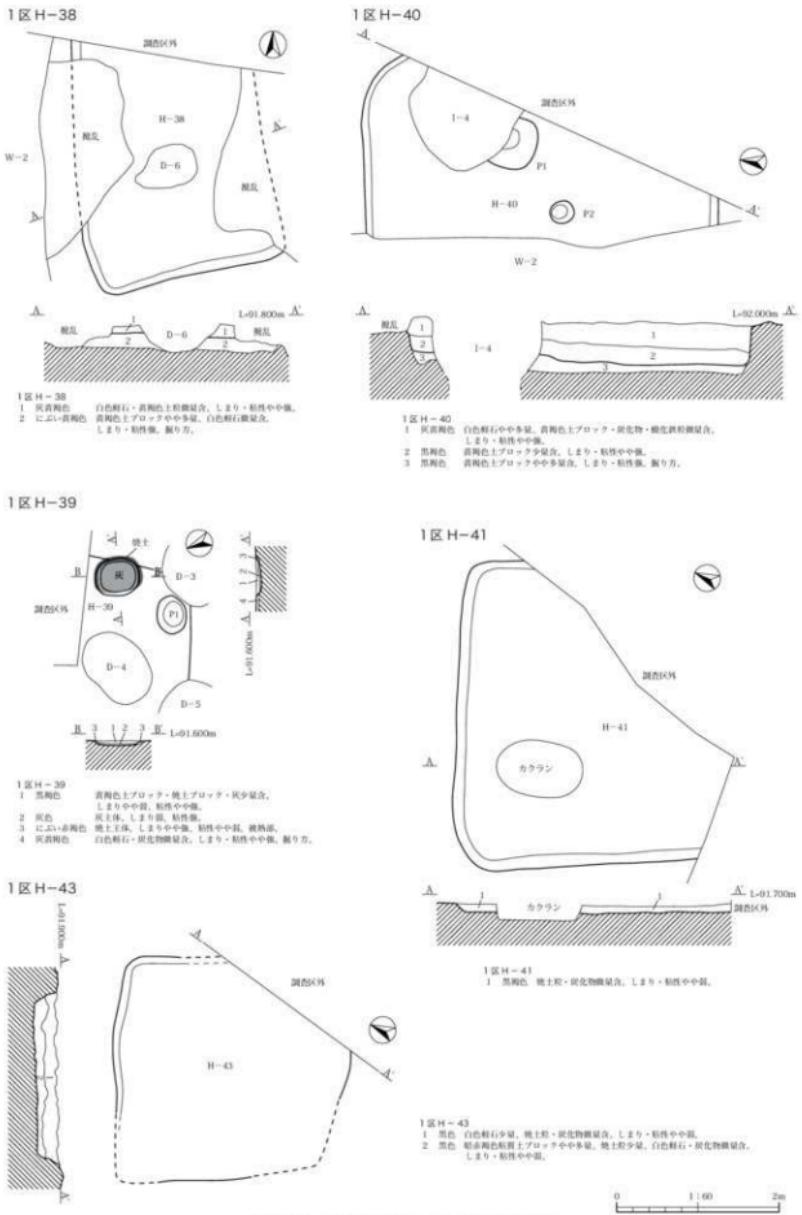
1区 H-34



1区 H-36

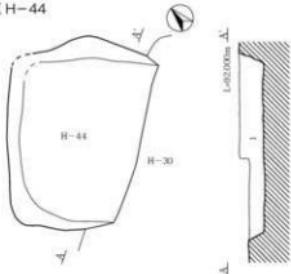


第30図 1区 H-33・34・36号住居跡



第31図 1区 H-38~41・43号住居跡

1区 H-44



1区 H-44

1 黒褐色 白色角石・青灰色土粒微細混合。しまり。粘性や中強。

2 海灰岩 地下水面付近に白色角石少量含む。しまり。粘性や中強。

3 海灰岩 青灰色土粒多量、白色角石少量含む。しまり。粘性や中強。

4 黒褐色 青灰色土粒トロッカ少量、炭化物微細混合。しまりや弱。粘性や中強。

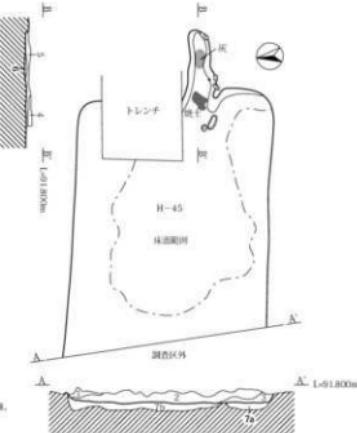
5 海灰岩 青灰色土粒トロッカ少量、炭化物微細混合。しまりや弱。粘性や中強。

6 黒褐色 土上部。炭化物微細混合。しまりや弱。粘性や中強。

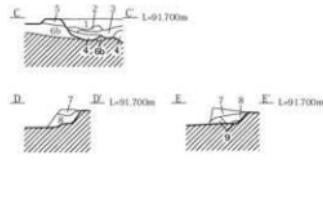
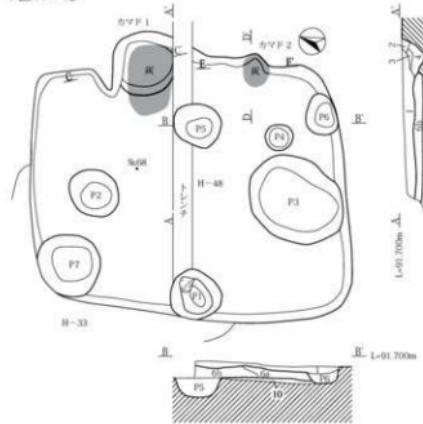
7 海灰岩 土上部。白色角石少量含む。しまりや弱。粘性や中強。

7a 海灰岩 白色角石・地主物・炭化物少足。しまり強。粘性や強。張り方。

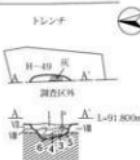
1区 H-45



1区 H-48



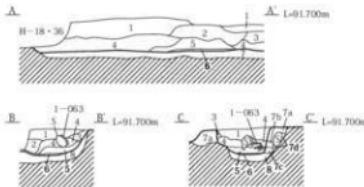
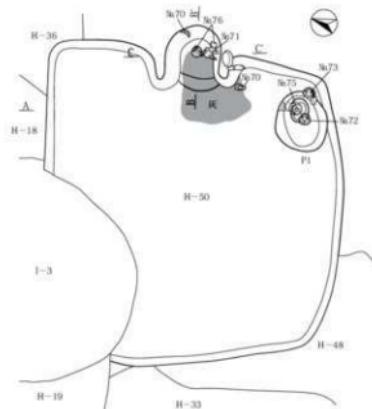
1区 H-49



1区 H-49

- 1 黄褐色
白色軽石、礫土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
2 褐褐色
地土ブロック少見。礫土粒。炭化物微量含。しまり。粘性弱。
3 黄褐色
地土ブロック少見。礫土粒。炭化物微量含。しまり。粘性弱。
4 黄褐色
地土ブロック少見。礫土粒。炭化物微量含。しまり。粘性弱。
5 灰青褐色
地土粒微量含。しまり。粘性中層。
6 黄褐色
地土粒微量含。しまり。粘性中層。

1区 H-50



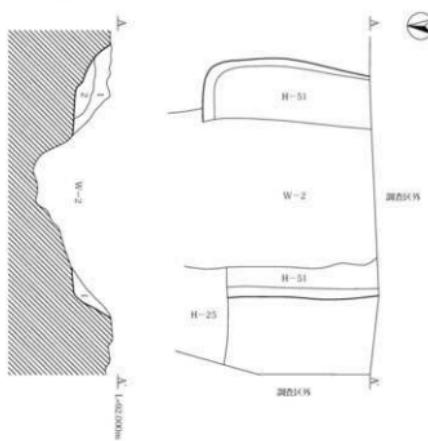
1区 H-50

- 1 黄褐色
白色軽石、地土粒微量含。しまり。粘性中層。
2 にじむ-黄褐色
白色軽石や中量。地土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
3 黄褐色
白色軽石や中量。地土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
4 にじむ-黄褐色
白色軽石、炭化物。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
5 黄褐色
地土ブロック・礫土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
6 黄褐色
地土ブロック。しまり。粘性弱。
7 褐褐色
白色軽石ブロックや中量含。しまり。粘性中層。振り方。
8 黄褐色
にじむ-黄褐色と灰青褐色の複合。白色軽石や中量。地土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
9 にじむ-黄褐色
白色軽石、地土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
10 にじむ-灰青褐色
地土ブロック。地土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。
11 にじむ-灰青褐色
地土ブロック。地土粒。炭化物微量含。しまり。粘性中層。

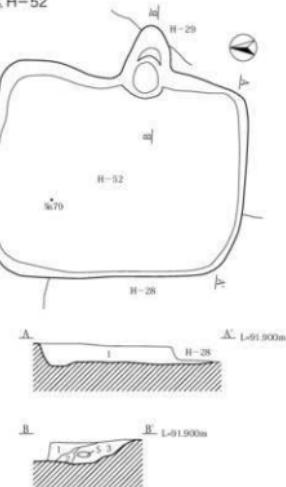
0 1:60 2m

第33図 1区 H-48~50号住居跡

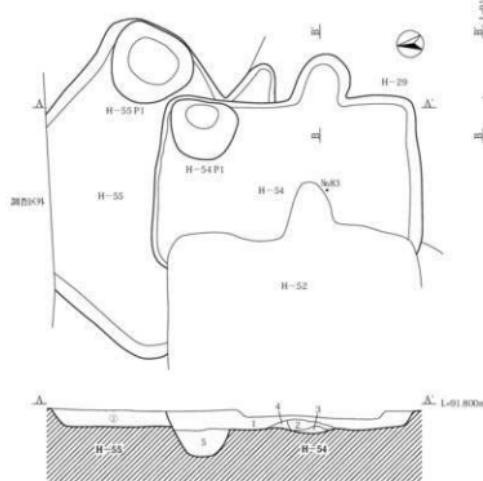
1区 H-51



1区 H-52



1区 H-54・55

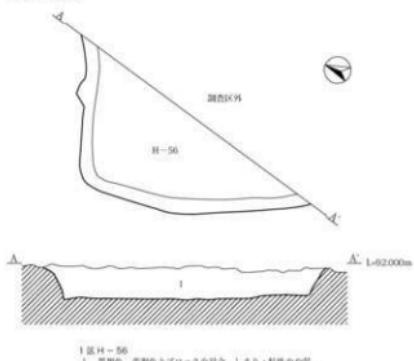


- 1区 H-54
- 1 黒色 白色軽石・地上粉多量、炭化物微量含。しまりや中強・粘性中少弱。
2 黑褐色 炭化物中や多量、白色軽石・地上粉少量含。しまりや中強・粘性中少弱。
3 黑褐色 地上粉中や多量、炭化物微量含。しまり・粘性中少弱。
4 黑褐色 黄褐色土質ロック中多量、白色軽石微量含。しまり・粘性中強。
5 黑褐色 地上粉中や多量、炭化物少量、白色軽石微量含。しまりや中弱・粘性中少弱。PI。
- 1区 H-55
- (1) 黒色 白色軽石微量含。しまり・粘性中少弱。

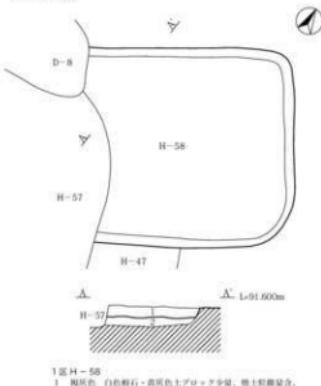
第34図 1区 H-51・52・54・55号住居跡

0 1 2m
1:60

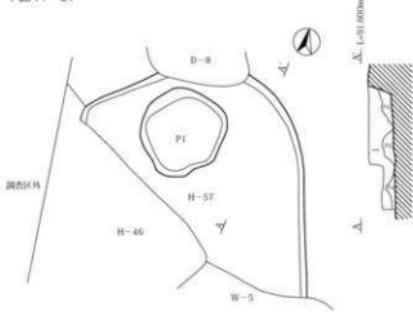
1区 H-56



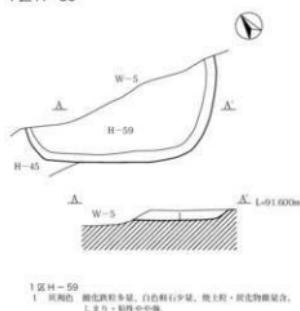
1区 H-58



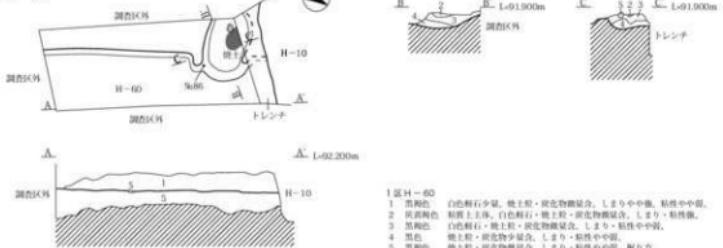
1区 H-57



1区 H-59

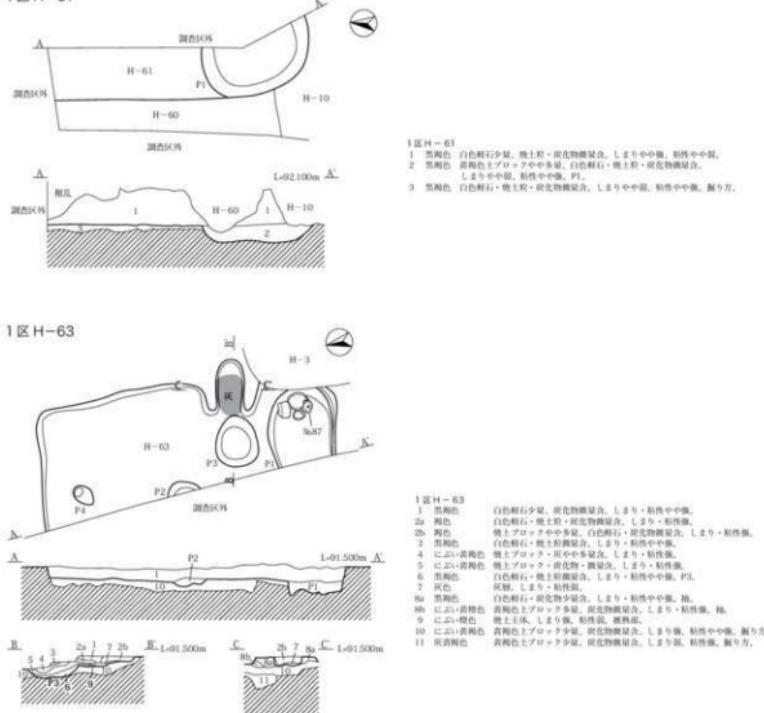


1区 H-60

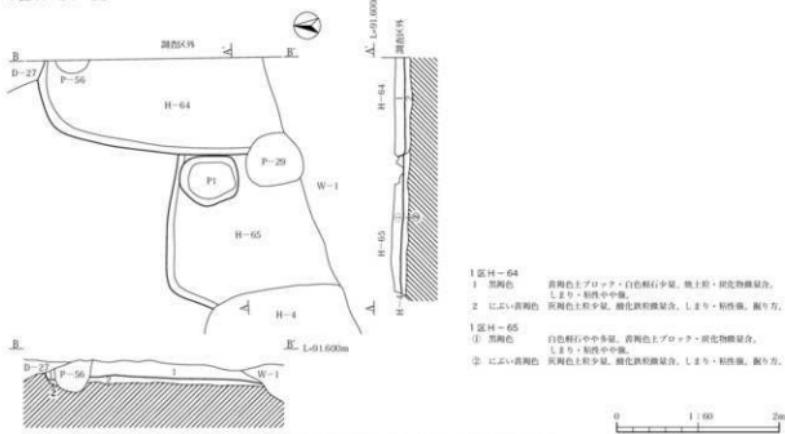


第35図 1区 H-56~60号住居跡

1区H-61

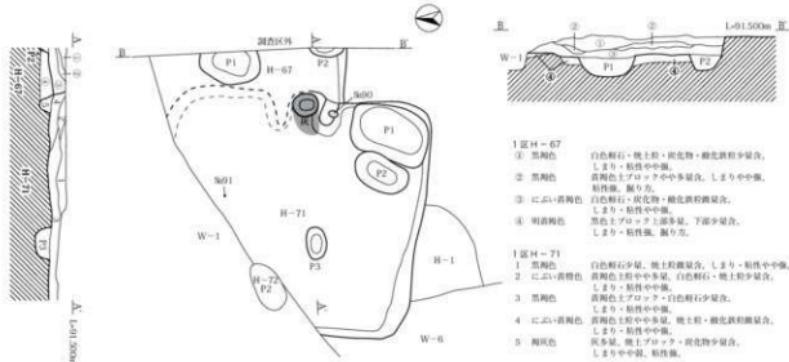


1区H-64·65



第36図 1区H-61・63～65号住居跡

1区H-67・71



1区H-68・69

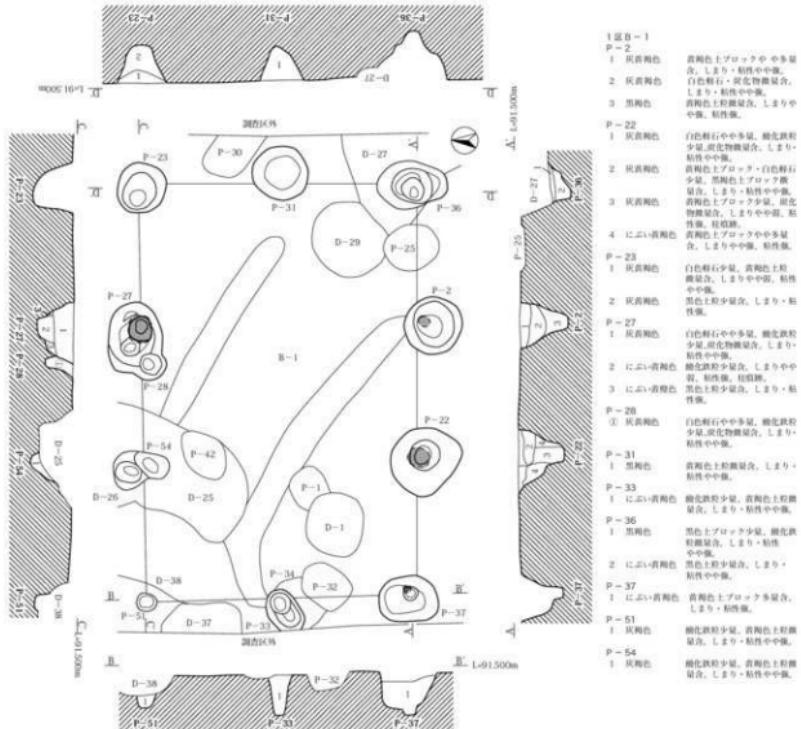


1区H-72

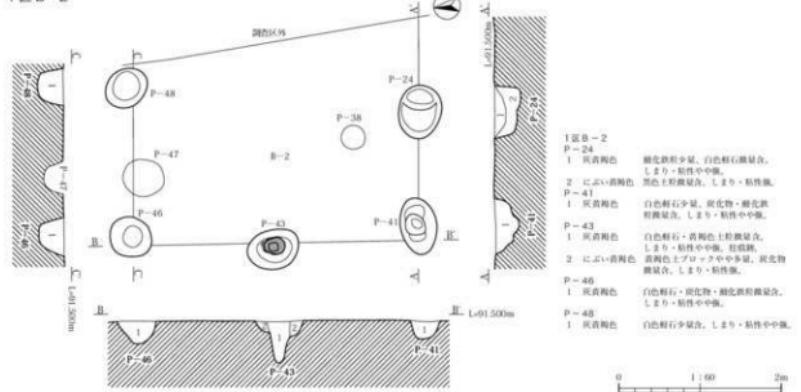


第37図 1区H-67~69・71・72号住居跡

1区B-1

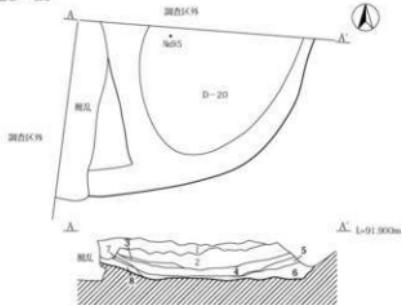


1区 B-2



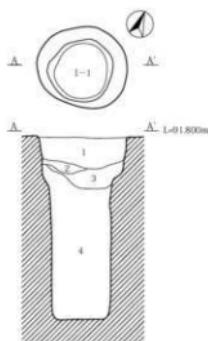
第38図 1区B-1・2号掘立柱建物跡

1区D-20

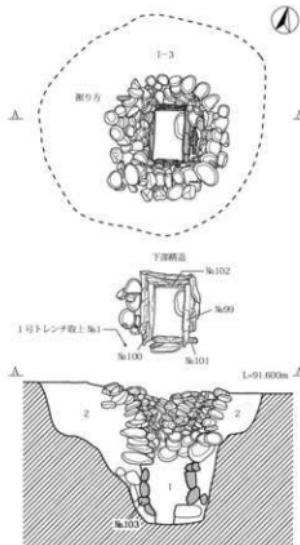


| | |
|---------|--|
| 1 鮎D-20 | 黄褐色上部黒テク多量、白色斜面・地土層・同化物層全 身。粘性中下層。 |
| 2 黒褐色 | 白色斑点少量。地土層・同化物層微量。しまり。粘性中下層。 |
| 3 前期青褐色 | 白色斑点少量。地土層・同化物層微量。しまり。粘性中下層。 |
| 4 黑褐色 | 地土層微量。しまり中下層。粘性中下層。 |
| 5 黒褐色 | 青褐色上部黒テク、黒色の混合層。地土層・同化物層微量 しまり。粘性中下層。 |
| 6 黒褐色 | 下層は黒色の粘土層・鉄錆層。しまり弱。粘性中下層。 |
| 7 暗色 | 下層は黒色の粘土層・鉄錆層。しまり弱。粘性中下層。 |
| 8 茶色 | 下層は黒色の粘土層・鉄錆層。しまり弱。粘性中下層。 |
| 9 茶色 | 下層は黒色の粘土層・鉄錆層。しまり弱。粘性中下層。 |
| 10 茶色 | 下層は黒色の粘土層・鉄錆層。しまり弱。粘性中下層。 |

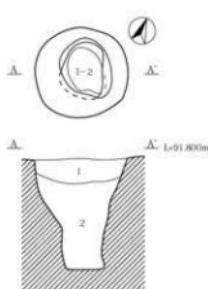
1区1-1



1区1-3



1区1-2



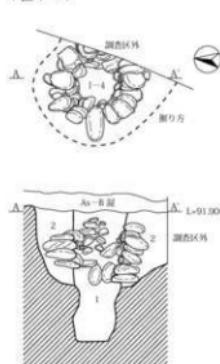
1区1-2
1 灰黄褐色 白色斜石や多量、炭化物微量含。しまり、粘性やや強。
2 黄褐色

1区1-3
1 黒褐色 地上ブロック・炭化物混見合。しまりやや弱。粘性強
2 に玉立褐色 黄褐色上ブロック多混合。しまり・粘性強。剛力大。



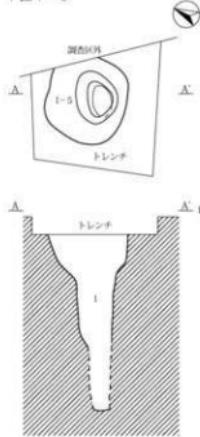
第39図 1区D-20号土坑、1-1~3号井戸跡

1区 I-4



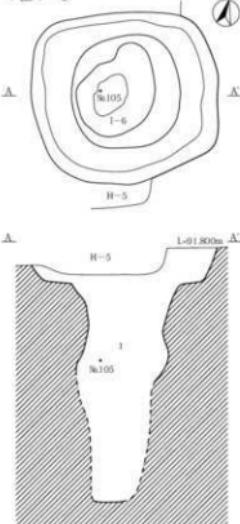
1区 I-4
1 黒褐色 残土ブロック・粘化物微量含。しまりやや粗、粘性強。
2 にぶい黄褐色 黄褐色土ブロック多量含。しまり・粘性強。振り方。

1区 I-5



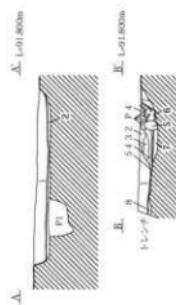
1区 I-5
1 黒褐色 白色軽石微量含。しまりやや細、粘性強。

1区 I-6



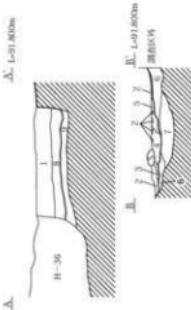
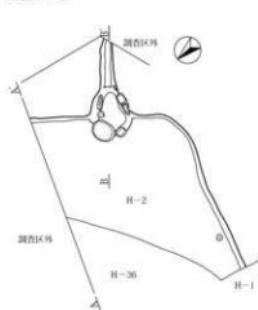
1区 I-6
1 黒褐色 黄褐色土ブロック少量、白色軽石微量含。しまりやや粗、粘性強。

2区 H-1



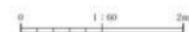
2区 H-1
1 白色軽石・粘化物微量含。しまり・粘性小中弱。
2 黒褐色 残土微量、粘化物微量含。しまり・粘性半中弱。
3 黑褐色 白色軽石・粘化物微量含。しまりやや粗。
4 黑褐色 黄褐色土ブロック少量含。しまり・粘性半中弱。
5 黑褐色 黄褐色土ブロック少量含。しまり・粘性小中弱。
6 黑褐色 残土ブロック・土砂・粘性半中弱、粘化物少量含。
7 黑褐色 地上ブロック・地表砂や多量、粘化物少量含。
8 住居跡1脚と同。

2区 H-2



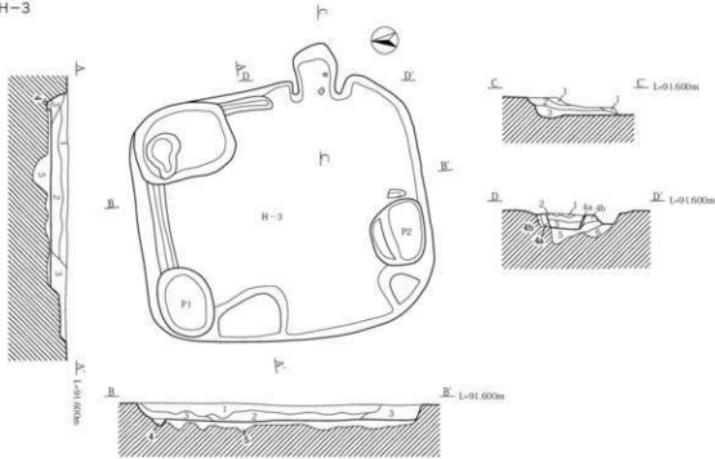
2区 H-2

1 黒褐色 白色軽石・地上の微量含。しまり・粘性弱。
2 黒褐色 残土ブロック少量含。しまり・粘性中弱。
3 黑褐色 黄褐色土ブロック少量含。しまり・粘性中強。
4 黑褐色 残土ブロック・粘化物微量含。しまり・粘性中強。
5 黑褐色 黄褐色土ブロック少量含。しまり・粘性中強。
6 黑褐色 残土の微量含。しまり・粘性中強、振り方。
7 黑褐色 しまり・粘性中強、振り方。
8 黑褐色 黄褐色土ブロック少量含。しまり・粘性弱。
9 黑褐色 ビームブロック・ローム粒少量、白色軽石・地上層・粘化物微量含。しまりやや粗、粘性中強、振り方。



第40図 1区 I-4~6号井戸跡、2区 H-1・2号住居跡

2区H-3

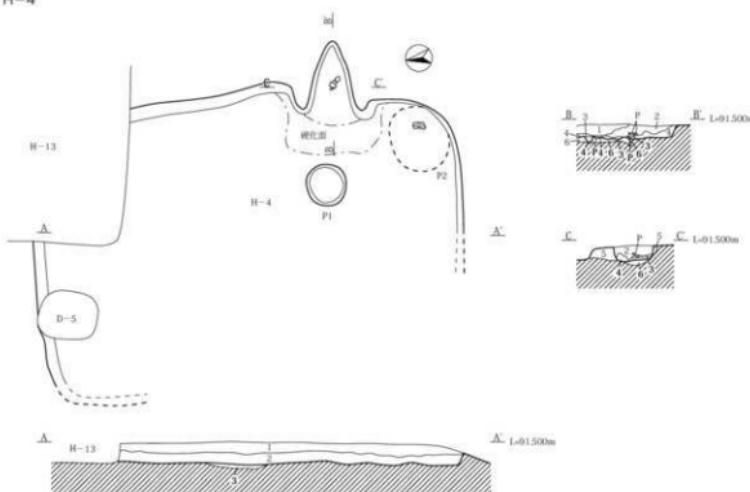


2区H-3

- 1 白色軽石や中多量。ロームブロック・鈍化鉄鉱少量合。しまり・粘性や中強。
- 2 黒褐色 白色軽石少量、ローム较少量、鈍化鉄鉱少量合。しまり・粘性や中強。
- 3 明褐色 ロームブロック・ローム較少量合。しまりや中弱、粘性や中強。
- 4 黑褐色 ローム较少量合。しまり・粘性や中強、脆り方。
- 5 黑褐色 ロームブロック多量合。しまり強、粘性や中強、振り方。

- | | | |
|-----|------------|--------------------------|
| ガマズ | 1 にぶい黄褐色 | ローム较多量合。しまりや中弱、粘性や中強。 |
| | 2 黒褐色 | 鈍化鉄鉱微量合。しまりや中弱、粘性や中強。 |
| | 3 黒褐色 | 壁上部・鈍化物少量合。しまりや中弱、粘性や中強。 |
| | 4a にぶい黄褐色 | 壁下部・鈍化物微量合。しまりや中弱、粘性や中強。 |
| | 4b にぶい黄褐色 | ローム主体。しまり・粘性や中強、強。 |
| | 5 黑褐色 | ロームブロック少量合。しまりや中弱、粘性や中強。 |
| | 6 住居跡5層と同。 | |

2区H-4



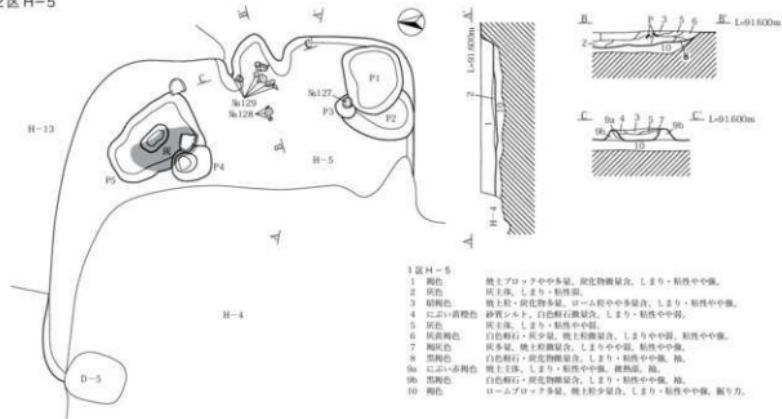
- 2区H-4
- 1 男褐色 白色軽石中多量、鈍化物・鈍化鉄鉱少量合。しまりや中強、粘性や中強。
 - 2 黒褐色 白色軽石・鈍化物微量合。しまり・粘性や中強。
 - 3 女褐色 白色軽石・鈍化鉄鉱微量合。しまり・粘性や中強、振り方。

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| ガマズ | 1 住居跡5層と同。 |
| | 2 淡黃褐色 鮎殻シート。しまり・粘性強。下部強熱。 |
| | 3 黄色 車輪体。しまり弱、粘性強。 |
| | 4 黄褐色 砂質軽石・鈍化物微量合。しまりや中弱、粘性や中強。 |
| | 5 黑褐色 白色軽石・鈍化物微量合。しまり・粘性や中強、強。 |
| | 6 黑褐色 白色軽石・鈍化鉄鉱微量合。しまり・粘性や中強、振り方。 |

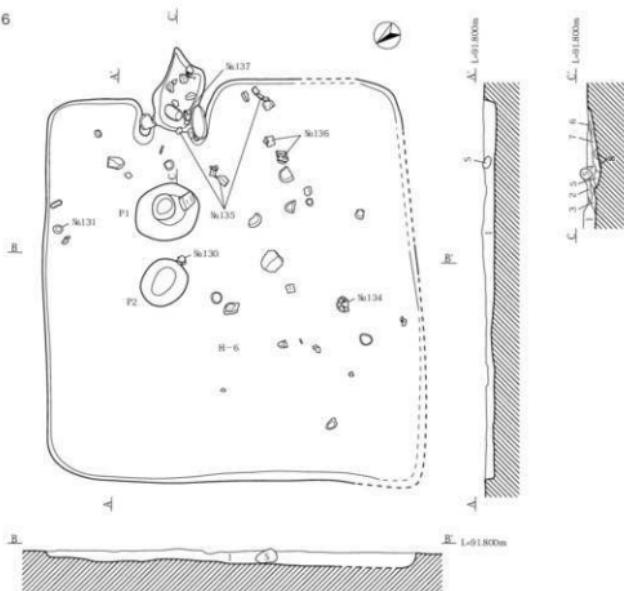
0 1:60 2m

第41図 2区H-3・4号住居跡

2区H-5

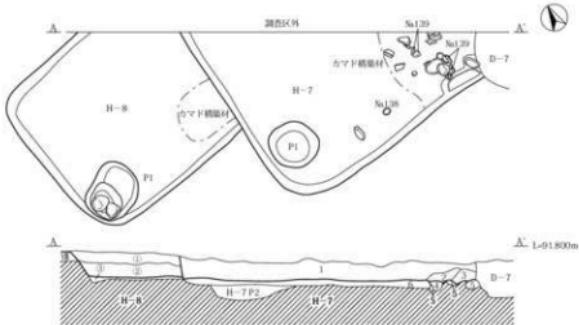


2区 H-6



第42図 2区 H-5・6号住居跡

2区 H-7~8



2区 H-7
1 黒褐色 ロームブロック・白色軽石や多量。塊土粒・炭化物微量含。しまりやや強。粘性や中弱。

2 にごい黄褐色 ローム土主体。黒色土粒・塊土粒微量含。しまりや中強。粘性や中弱。

3 黄褐色 植生下部付近を除。ローム粉少量含。しまり弱。粘性や中弱。

4 こげい黄褐色 ローム土主体。黒色土粒少量含。しまりや中弱。粘性や中弱。

5 黒褐色 ローム粉や中多量。黒色土粒少量。白色軽石微量含。しまり・粘性や中強。張り力。

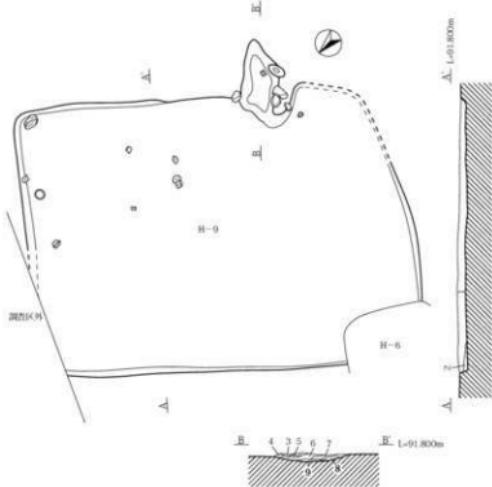
6 黑褐色 ローム粉や中多量。しまりやや強。粘性強。張り力。

2区 H-8
1 黒褐色 白色軽石や中多量。炭化物・無機鉱物微量含。しまりやや強。粘性や中弱。

2 黑褐色 白色軽石少量。ローム粉少量含。しまり・粘性やや強。張り力。

3 黑褐色 ローム粉少量。炭化物微量含。しまりやや強。粘性強。張り力。

2区 H-9



2区 H-9
1 黒褐色 白色軽石少量。塊土粒・炭化物微量含。しまりやや強。粘性や中弱。

2 黑褐色 無機鉱物微量含。しまりやや強。粘性や中弱。

3 黄褐色 塵土粒・炭化物微量含。しまりやや強。粘性や中弱。

4 黑褐色 ローム粉や中多量。塊土粒・炭化物少量含。しまりやや強。粘性や中弱。

5 細末陶色 ローム土主体。塊土粒少量含。しまり強。粘性や中弱。

6 黑褐色 塵・無機物少量含。しまり・粘性やや強。

7 黑褐色 塵土粒・無機物少量含。しまり・張り力・粘性やや強。

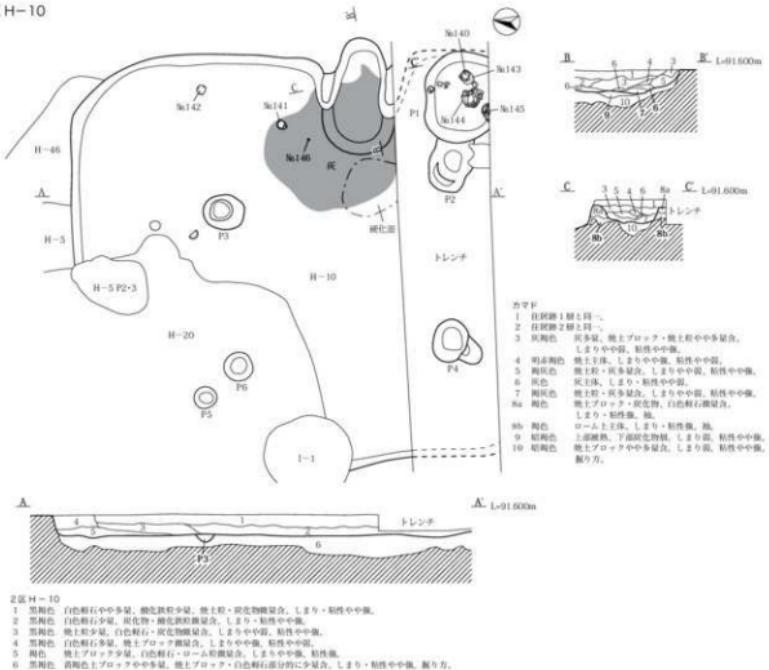
8 細末陶色 塵土粒や中多量。塊土粒少量含。しまり・粘性やや強。

9 黑褐色 炭化物やや多量。塊土粒少量含。しまり・粘性や中弱。

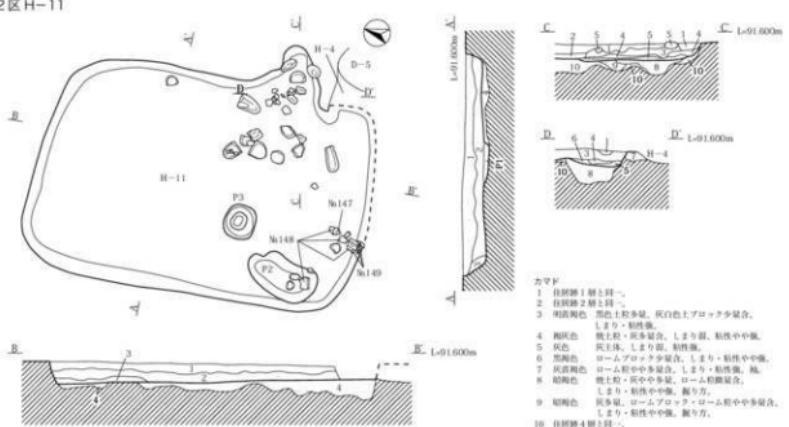


第43図 2区 H-7~9号住居跡

2区 H-10



2区 H-11

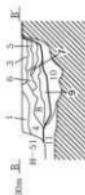


2区 H-11

- 1 黑褐色 白色鉱石中や多量。ローム鉱物少見。しまりや中強。粘性や中弱。
2 黑褐色 ロームブロック・ローム鉱物少見。地化鉱物。しまり・粘性や中強。
3 褐色 ロームブロック・ローム鉱物少見。しまり・粘性や中強。
4 に占比黒褐色 ロームブロック・ローム鉱物多量。しまり・粘性強。張り力。

第44図 2区 H-10・11号住居跡

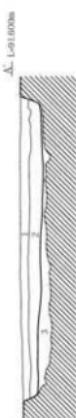
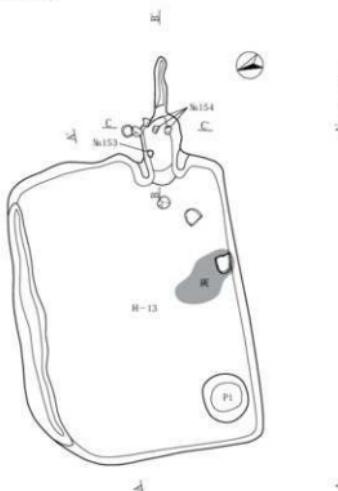
2区H-12



2区H-12

- 1 黒褐色 白色輝石・板状石・泥化物少量含。しまり・粘性中・弱。
- 2 黒褐色 板状石・白色輝石・泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
- 3 黒褐色 白色輝石・板状石・泥化物微量含。しまり・粘性や・強。
- 4 黒褐色 板状石・白色輝石・泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
- 5 黒褐色 板状石・白色輝石・泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
- 6 黒褐色 板状石・泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
- 7 黒褐色 板状石・泥化物微量含。しまり・粘性中・強。
- 8 和赤褐色 地上ブロックや多量。泥化物少量含。しまり・粘性中・弱。
- 9 和赤褐色 地上ブロックや多量。板状石・白色輝石微量含。しまり・粘性中・強。
- 10 黑色 ロームブロックや多量。板状石・白色輝石微量含。しまり・粘性中・弱。
- 11 黑褐色 ローム粒少量。白色輝石・板状石・泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。

2区H-13

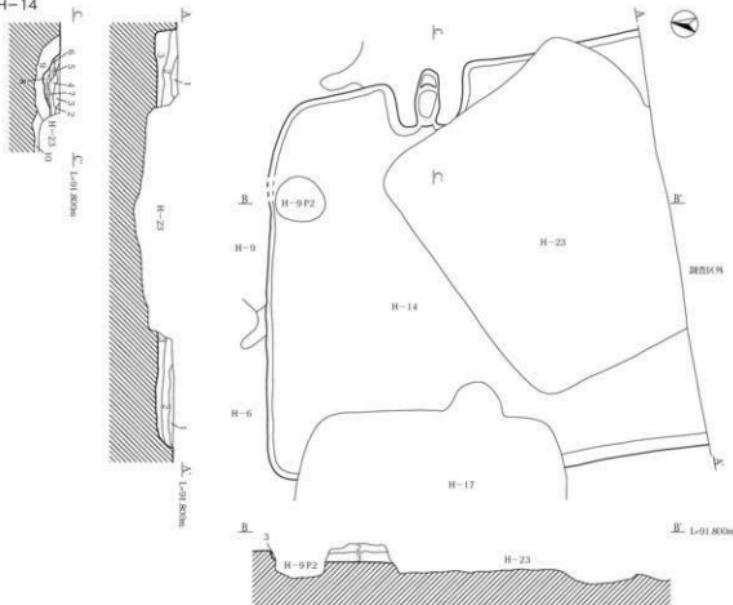


- 力マド
- 1 表面層 2 壁土層。
 - 2 明暗褐色 ローム土・土層。下部軟弱。しまりや・強。粘性弱。
 - 3 暗褐色 地上ブロックや多量。泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
 - 4 黑褐色 地上ブロックや多量。泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
 - 5 黑褐色 地上ブロックや多量。泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
 - 6 黑褐色 地上ブロックや多量。黑色地土・板状石微量含。しまり・粘性弱。
 - 7 黑褐色 地上ブロックや多量。板状石微量含。ロームブロックや多量含。
 - 8 黑褐色 地上ブロックや多量。泥化物微量含。しまり・粘性中・弱。
 - 9 黑褐色 地上ブロックや多量含。しまり・粘性中・弱。
 - 10 黑褐色 ロームブロックや多量。板状石微量含。地・板状石微量含。
 - 11 黑褐色 ロームブロックや多量。泥化物微量含。しまり・粘性強。上面被熱。
 - 11a 細粒 黏土層。しまり・粘性弱。地熱伝導。
 - 11b 黑褐色 ローム土・土層。しまり・粘性強。地。
 - 12 黑褐色 地上ブロックや多量。泥化物少量含。しまり・粘性強。上面被熱。
 - 13 黑青褐色 ロームブロックや多量含。しまり・粘性強。張り力。

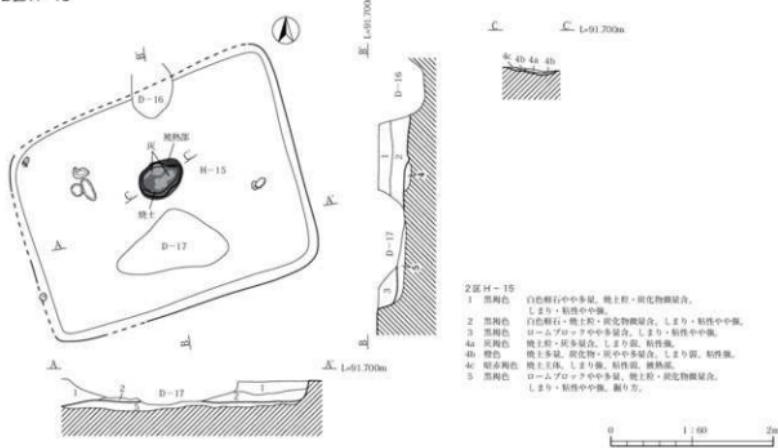
0 1' 60' 2' 80'

第45図 2区H-12・13号住居跡

2区 H-14

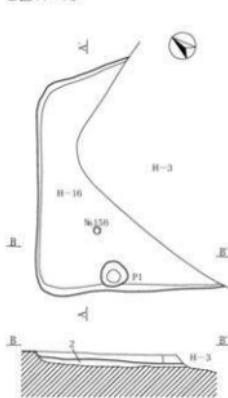


2区 H-15

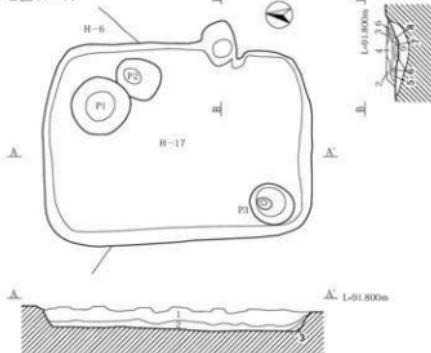


第46図 2区 H-14・15号住居跡

2区 H-16



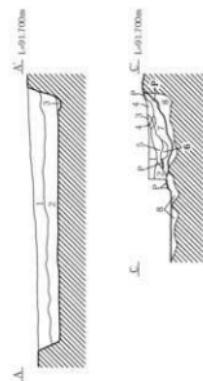
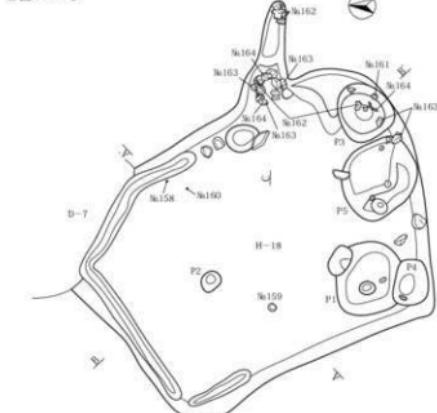
2区 H-17



2区 H-17

- 1 白色軽石や少量。固化物。粘化物微量含。しまり。粘性中層。
 2 黒褐色 ローム粒中多量含。しまりや中層。粘性層。厚り。
 3 黄褐色
 4 黑褐色
 5 黑褐色
 6 黑褐色
 7 黑褐色
 8 黄褐色
 9 黑褐色
- (白色軽石少量。地表。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 白色軽石。地表。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 黃土粒。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 黑土粒。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 黑土粒。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 黑土粒。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 黃土粒。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 黑褐色 ロームブロック中多量。底。固化物微量含。しまり。粘性中層。
 黑褐色 ロームブロック中多量。地表。固化物微量含。しまり。粘性中層。厚り。)

2区 H-18



柱状圖

- 1 灰褐色 土上部~
- 2 灰褐色 土上部~
- 3 黄褐色 地上土体。白色軽石・黒色土粒少量含。
- 4 黄褐色 地上土体。白色軽石・黒色土粒少量含。しまり。粘性中層。
- 5 黑褐色 ロームブロック・地表土粒少量含。下部薄熱。
- 6 黄褐色 地表土粒少量含。しまりや中層。粘性中層。
- 7 黄褐色 地表土粒多量含。しまりや中層。粘性中層。
- 8 黄褐色 ローム粒多量含。しまり。粘性中層。厚り。

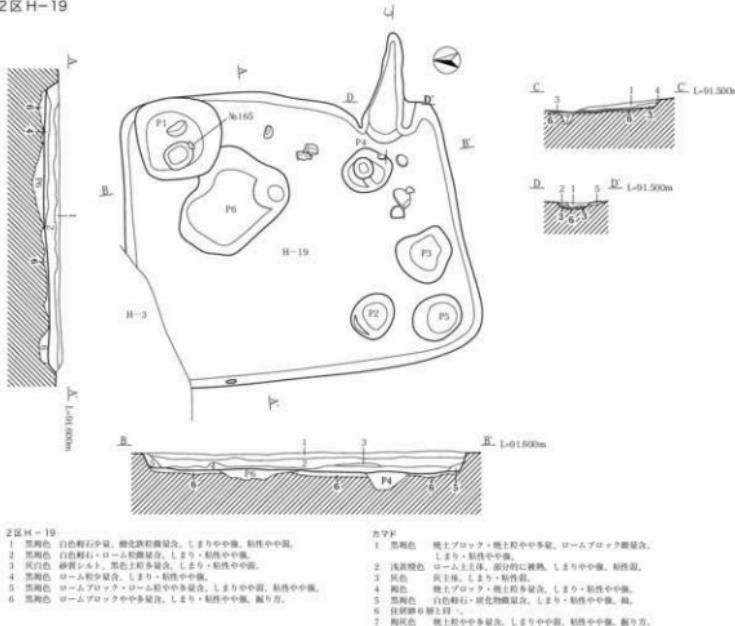
2区 H-18

- 1 白色軽石中多量。固化物。粘化物微量含。しまりや中層。粘性中層。
- 2 黑褐色 黄褐色土ローム少量含。しまり。粘性中層。
- 3 黑褐色 黄褐色土ローム少量含。しまり。粘性中層。厚さ。

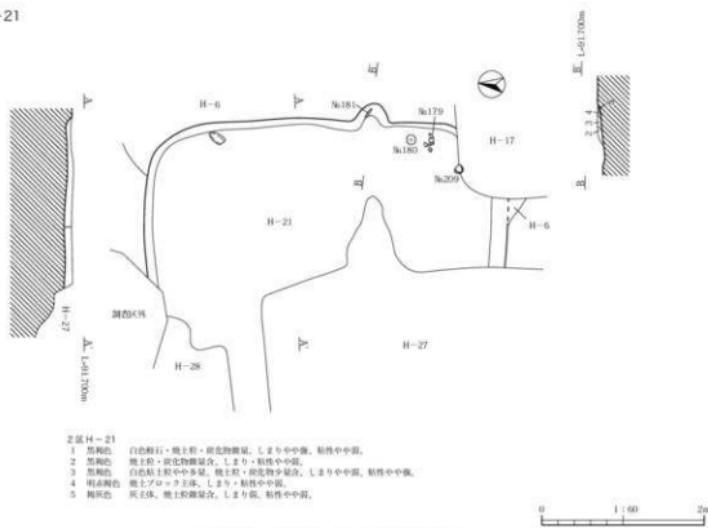
0 1:60 2m

第47図 2区 H-16~18号住居跡

2区 H-19

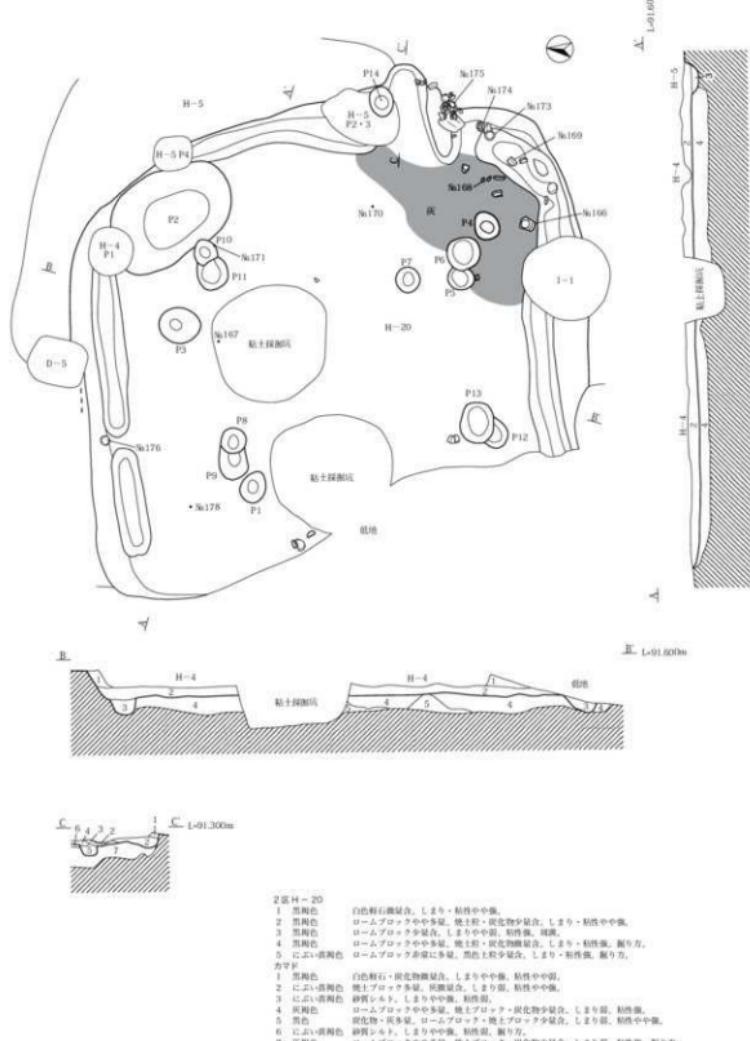


2区 H-21



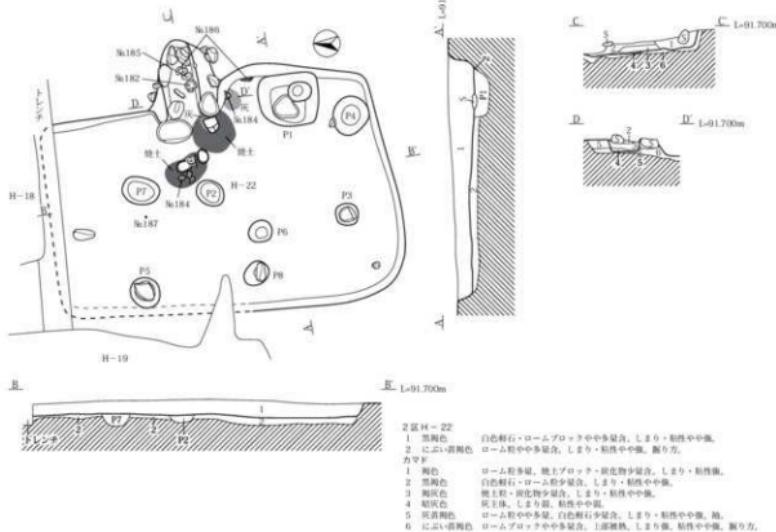
第48図 2区 H-19・21号住居跡

2区 H-20

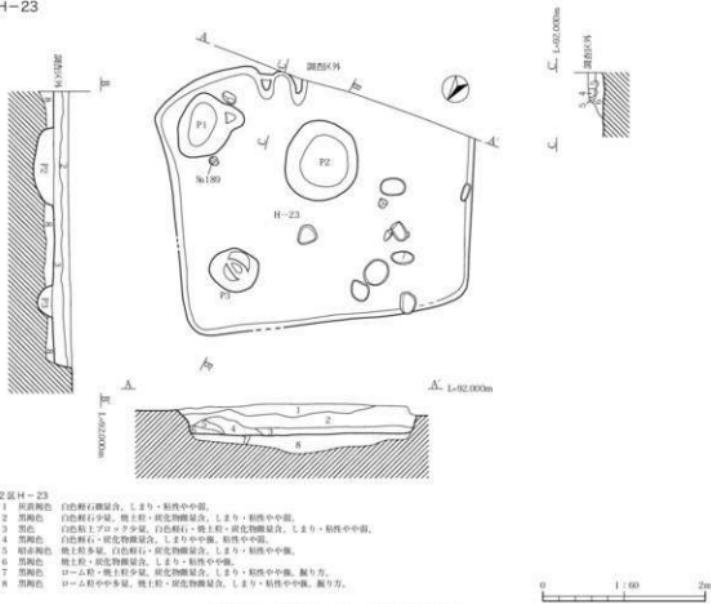


第49図 2区 H-20号住居跡

2区 H-22

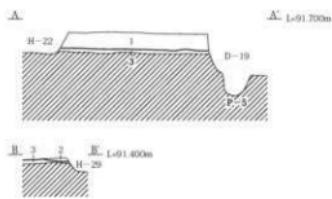
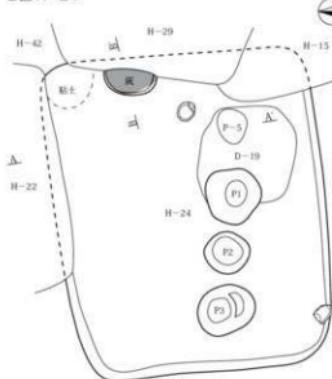


2区 H-23



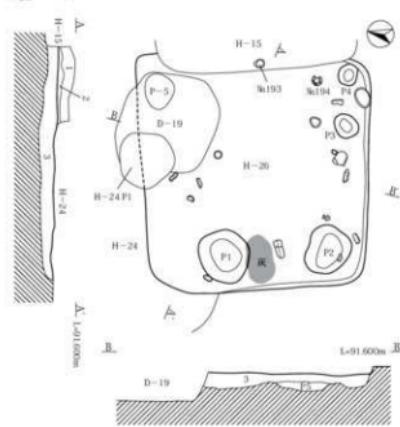
第50図 2区H-22・23号住居跡

2区 H-24

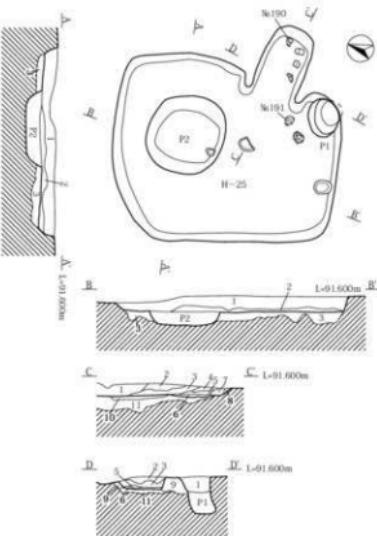


- 2区 H-24
- 1 黒褐色 白色軽石や中多量 ロームブロック・地土粒・炭化物微量含。
 - 2 黒褐色 地上粒・ローム粒・粘性少。
 - 3 黑褐色 地上粒・ローム粒・粘性少。
 - 4 黑褐色 ロームブロックや中多量 地上粒・炭化物微量含。しまり強、粘性や中強、張り力。

2区 H-26



2区 H-25



- 2区 H-25
- 1 黒褐色 白色軽石や中多量。ローム粒微量含。しまりや中強、粘性や中強。
 - 2 黒褐色 ローム粒少量含。Lつまり・粘性や中強。
 - 3 黒褐色 ローム粒・ローム粒部分に多量含。しまり・粘性や中強。張り力。
 - 4 に占比1割と弱。白色軽石や中多量。地上粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
 - 5 黒褐色 ローム粒・共多量。地上粒・ローム粒微量含。Lつまり・粘性や中強。
 - 6 黒褐色 炭化物・地中や中多量。しまりや中強、粘性や中強。下部被熱。
 - 7 黒褐色 砂質。
 - 8 黄褐色 地上粒・ローム・地上粒少量含。しまり・粘性や中強。
 - 9 に占比4割白色 路上部部分に多量。白色軽石・地土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。細。
 - 10 黒褐色 ロームブロック多量含。しまりお非常に強、粘性強、張り強。
 - 11 灰岩褐色 ロームブロック微量含。しまり・粘性や中強、張り力。

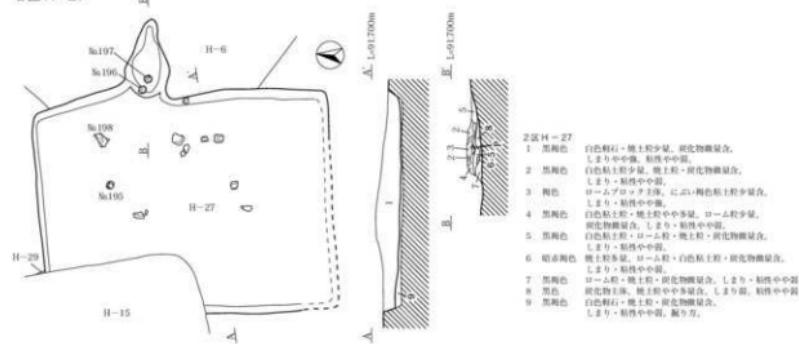
2区 H-26

- 1 黒褐色 白色軽石や中多量。地土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
- 2 黒褐色 白色軽石・ローム粒・地土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
- 3 黑褐色 白色軽石・ロームブロック・ローム粒部分に多量含。しまり・粘性や中強、張り力。

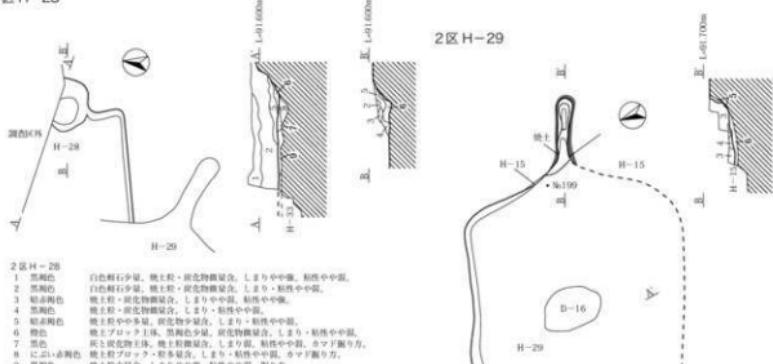
0 1' 60 2m

第51図 2区 H-24~26号住居跡

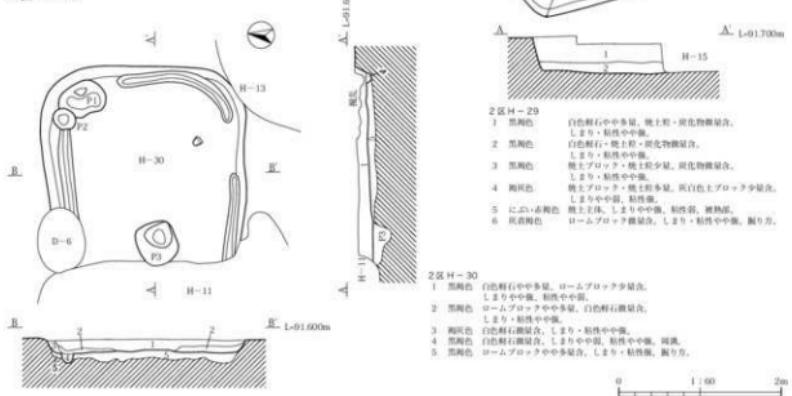
2区 H-27



2区 H-28

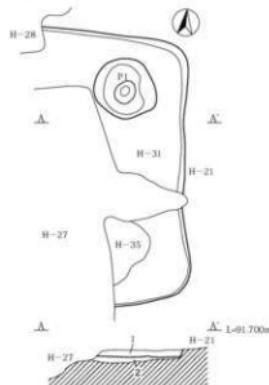


2区 H-30

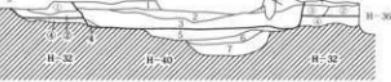
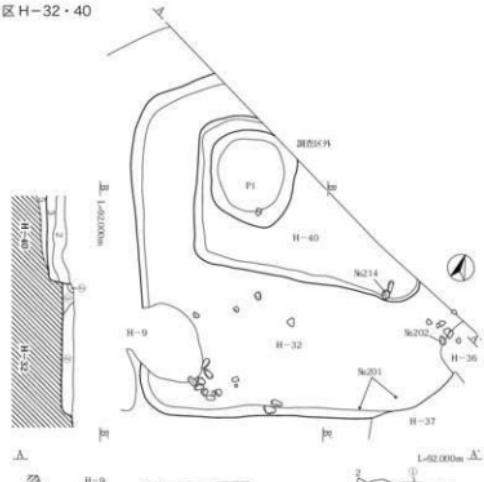


第52図 2区 H-27~30号住居跡

2区 H-31

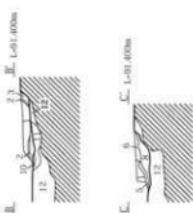
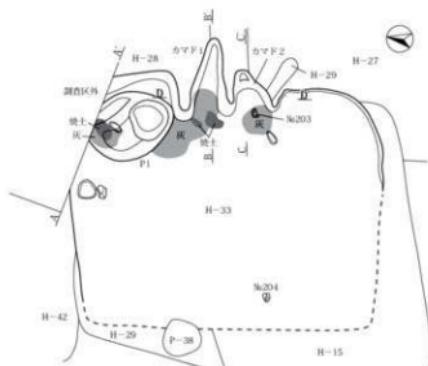


2区 H-32・40



2区 H-33
1 黒褐色 ローム程。樹化物多量。しまり・粘性中等。
2 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。割り方。

2区 H-33

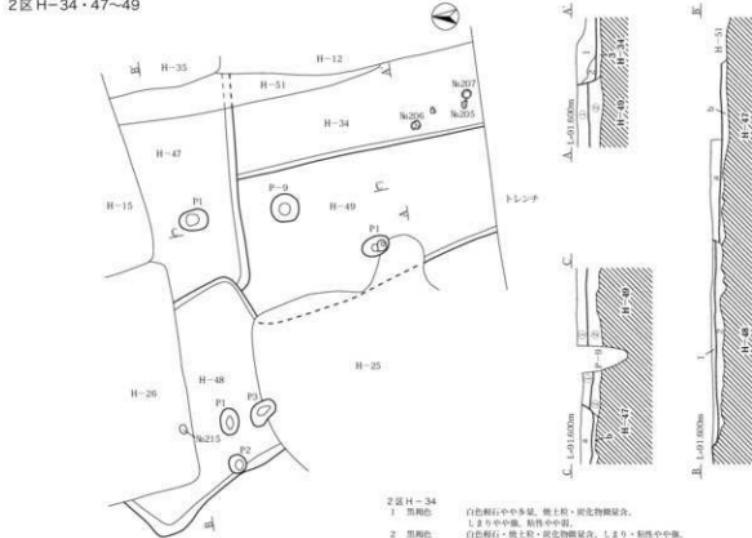


2区 H-33
1 黒褐色 ローム程。樹化物多量。しまり・粘性中等。
2 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。割り方。
3 黒褐色 ロームブロック多量。残土部分的に多量。残土上・樹化物混含。しまり・粘性中等。
4 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。
5 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。
6 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。
7 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。
8 黒褐色 ローム程。樹化物多量。しまり・粘性中等。
9 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。割り方。
10 黒褐色 残土上・樹化物多量。しまり・粘性中等。割り方。
11 黒褐色 樹化物多量。しまり・粘性中等。
12 佐賀縣 3種と鉄。

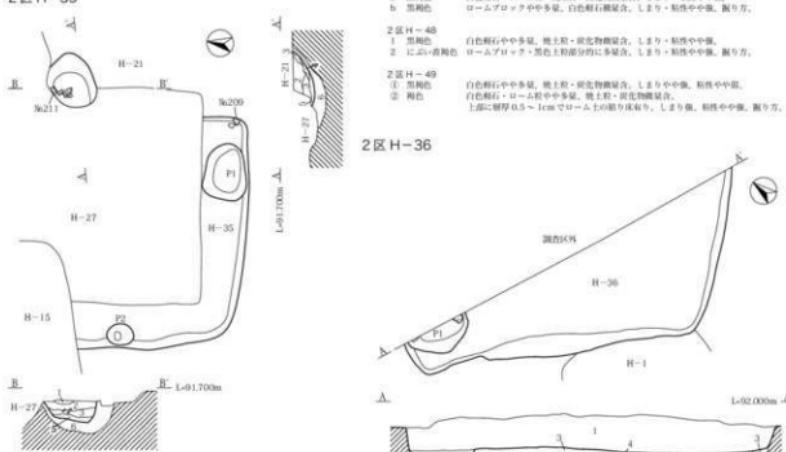
0 1:60 2m

第53図 2区 H-31~33・40号住居跡

2区 H-34~47~49



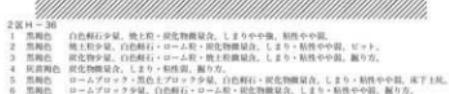
2区 H-35



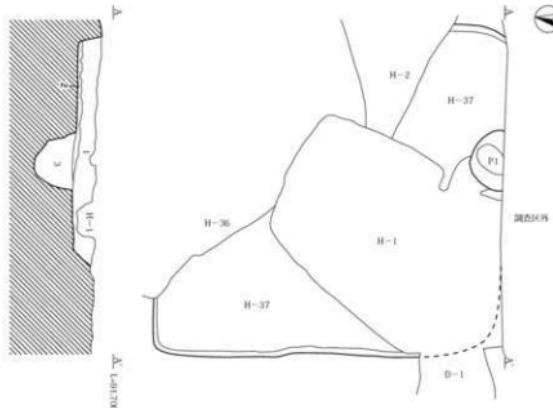
- 2区 H-35
 1 黒褐色 地上部や中多量含。しまり・粘性や中層。
 2 黒褐色 ローム層・地上部少量、白色粗石・炭化物微量含。
 3 黑褐色 地下部少量、白色粗石・炭化物微量含。
 4 黑褐色 地上部ローム層・炭化物少量含。しまり・粘性や中層。
 5 黑褐色 灰褐色、しまり・粘性。

0 1:60 2m

第54図 2区 H-34~36・47~49号住居跡

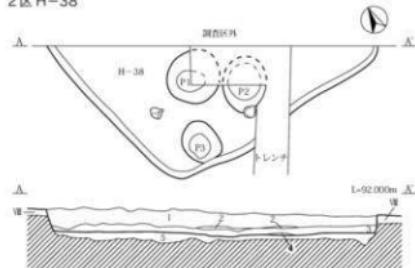


2区 H-37



2区 H-37
1 黒褐色 植上部、炭化物微量含。しまり・粘性弱。
2 黒褐色 白色軽石微量含。しまり・粘性や中強。
3 黄褐色 ローム粒や少量、礫土粒・炭化物微量含。しまりや中強、粘性や中強。PI。

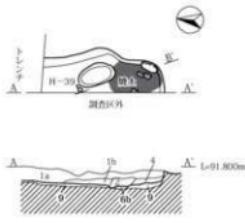
2区 H-38



2区 H-38

1 黒褐色 白色軽石や少量。ロームブロック・植土粒・炭化物微量含。しまりや中強、粘性や中強。
2 空色 植土上・炭化物の互破。しまり・粘性弱。
3 黑褐色 白色軽石・炭化物微量。ローム粒微量含。しまり・粘性や中強。
4 灰色 炭化物・灰土粒・植土粒微量含。しまり・粘性弱。
5 始端部 ローム粒や少量。白色軽石微量含。しまり強、粘性や中強、張り力。

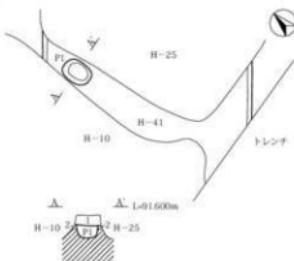
2区 H-39



2区 H-39

1a 黒褐色 白色軽石少量。地土ブロック微量含。
1b 黒褐色 しまりや中強、粘性や中強。
2 黑褐色 白色軽石・炭化物微量。白色軽石微量含。
3 黄褐色 しまり・粘性や中強、白色軽石微量含。
4 黑褐色 しまり・粘性や中強、植土粒少量含。しまり・粘性や中強。
5 黑褐色 しまり・粘性や中強、白色軽石微量含。
6a にごい赤褐色 黒土主体。しまりや中強、粘性や中強、被熟部。
6b にごい赤褐色 植土主体。底白色軽石ブロック・地土ブロック・灰少量含。しまり・粘性や中強。
7 灰色 植土主体。しまりや中強、粘性や中強。
8 にごい赤褐色 植土主体。しまりや中強、粘性や中強、地土粒少量、炭化物微量含。しまり・粘性や中強。
9 黑褐色 植土主体。しまりや中強、粘性や中強、底白色軽石ブロック多量、地土粒少量、炭化物微量含。しまり・粘性や中強。

2区 H-41

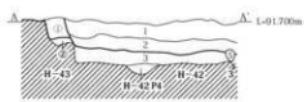
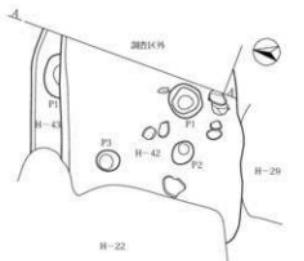


2区 H-41
1 黑褐色 白色軽石・ローム粒少量含。しまり・粘性や中強。
2 にごい赤褐色 ローム粒多量含。しまり・粘性や中強、張り力。

第55図 2区 H-37~39・41号住居跡

0 1:60 2m

2区 H-42・43



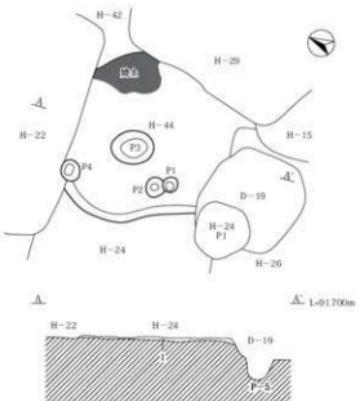
2区 H-42

- 1 白色軽石や中多量。ロームブロック・地土粒・鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。
- 2 黒褐色 ロームアッシュ少量。白色軽石・地土粒・鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。
- 3 海貝色 ロームアッシュや中多量。地土粒・鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。振り方。

2区 H-43

- ① 白色軽石や中多量。ローム粒。鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。
- ② 黒褐色 ロームアッシュや中多量。地土粒。鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。

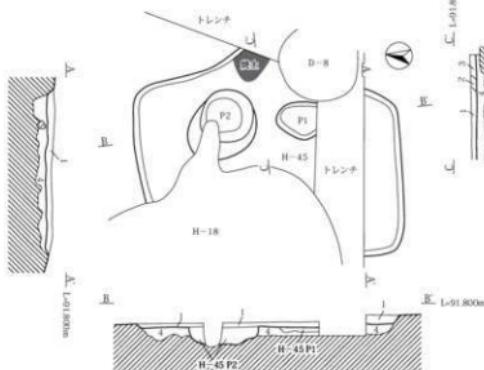
2区 H-44



2区 H-44

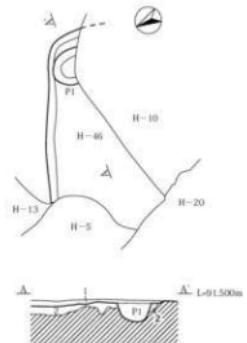
- 1 白色軽石 多量。地土粒上ローム少量合。しまり・粘性強。振り方。

2区 H-45



- 2区 H-45
- 1 ローム粒 少量。白色軽石・地土粒・鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。
 - 2 黒褐色 地土粒や中多量。白色軽石・地土粒・鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。
 - 3 黒褐色 地土粒や中多量。白色軽石・地土粒・鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。
 - 4 黒褐色 ロームブロック少量。白色軽石微量合。しまり・粘性や中強。振り方。

2区 H-46



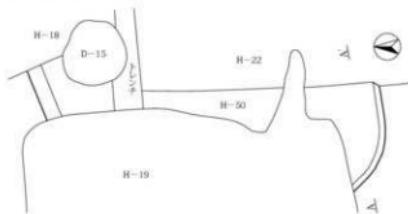
2区 H-46

- 1 黒褐色 地土粒・地土粒微量合。しまりや中強。地土粒や中強。
- 2 に古い青褐色 ローム粒部分的に多量。白色軽石少量。地土粒・鉱化物微量合。しまり・粘性や中強。振り方。

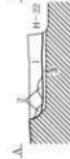
第56図 2区 H-42~46号住居跡

0 1:60 2m

2区 H-50



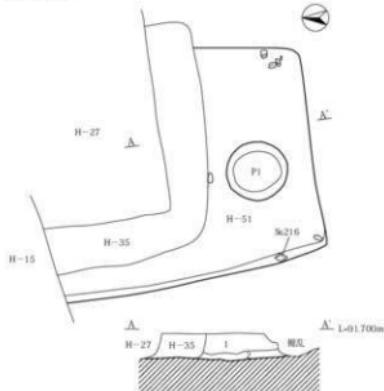
A-A'



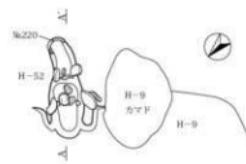
2区 H-50

- 1 黒褐色
 - 2 にごく黄褐色
 - 3 黒褐色
- ロームブロック少頃。白色砾石・礫土。
- 珪化物質混合。しまり・粘性や中堅。
- ローム程度混合。しまりや中堅。粘性や中堅。
- ロームブロックや中程度混合。しまり・粘性や中堅。弱り方。

2区 H-51



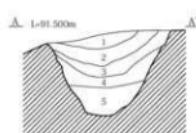
2区 H-52



2区 H-52

- 1 黒褐色
 - 2 黒褐色
 - 3 黄褐色
 - 4 黄褐色
 - 5 黑褐色
 - 6 黄褐色
 - 7 黑褐色
- 地土・炭化物質混合。しまり・粘性や中堅。
- 黒褐色の粘土粒・地土粒子混在。炭化物質混合。
- しまり・粘性や中堅。
- 灰解。しまり・粘性。
- 炭化物質・粘土粒子の混合。しまり・粘性や中堅。
- 地土粒子少量。炭化物質混合。しまり・粘性や中堅。
- 地土粒子混合。しまり・粘性や中堅。
- 地土粒子混合。しまり・粘性や中堅。

2区 I-1



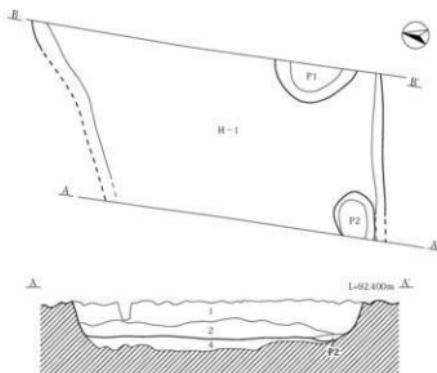
2区 I-1

- 1 黒褐色
 - 2 黒褐色
 - 3 黑褐色
 - 4 黑褐色
 - 5 黑褐色
- 砂質土。中央上部側厚4cm程度で網状流紋岩。しまり・粘性質。
- 砂質土と粘土質土の混合。上部側厚1~2cm程度で黑色粘土質。
- 地土粒子少頃。しまり質。粘性や中堅。
- 砂質土と粘土質土の混合上。西部上部に側厚1~6cm程度で黑色粘土質。
- 東部下部に側厚7cmでの砂質土。しまり質。粘性や中堅。
- 砂質土と粘土質土の混合上。西部上部に側厚1~5cmで黑色粘土質。
- 東部下部に側厚2cmでの砂質土。しまり質。粘性や中堅。
- 粘質土。しまり少頃。粘性質。

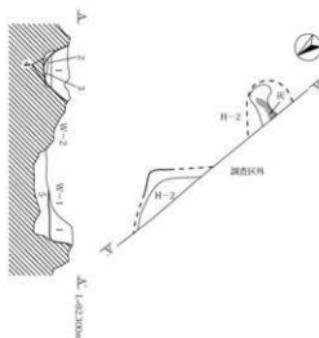


第 57 図 2区 H-50~52号住居跡、I-1号井戸跡

3区 H-1



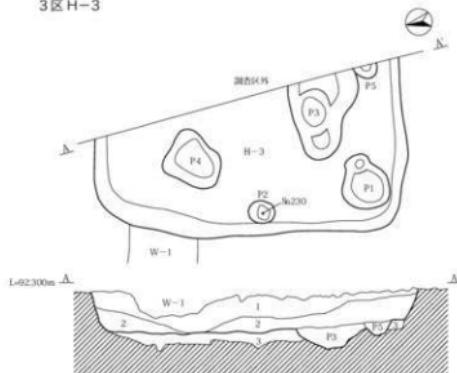
3区 H-2



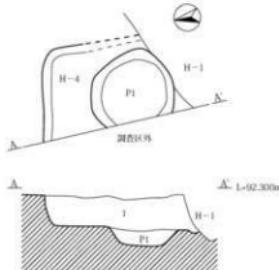
- 3区 H-1
- 1 黒褐色 白色軽石少量。塊上粒・炭化物微量含。しまり・粘性中弱。
 - 2 黒褐色 青褐色上部少量。白色軽石・塊上粒・炭化物微量含。しまり・粘性中弱。
 - 3 黒褐色 青褐色上部無量。L.さり中弱。相性中弱。
 - 4 黒褐色 にこい・青褐色上部微量含。しまり・粘性中弱。相性中弱。

- 3区 H-2
- 1 黒褐色 白色軽石微量含。しまりや中強。粘性中弱。
 - 2 黒褐色 青褐色上部少量。白色軽石・塊上粒・炭化物微量含。しまり・粘性中弱。
 - 3 黒褐色 黒褐色上部中多量含。しまり・粘性中中強。振り方。
 - 4 黒褐色 にこい・青褐色上部少量含。しまり・粘性中弱。振り方。

3区 H-3



3区 H-4



- 3区 H-4
- 1 黒褐色 白色軽石微量含。しまり・粘性中弱。

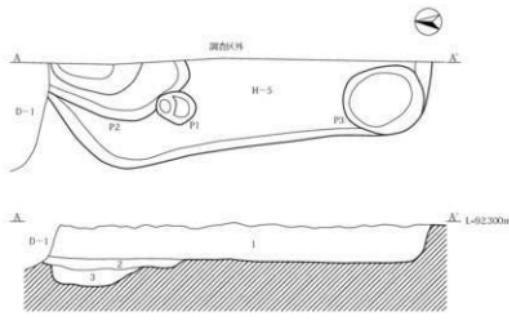
3区 H-3

- 1 黒褐色 白色軽石多量。塊上粒・炭化物微量含。しまり・粘性中弱。
- 2 青褐色 青褐色上部ブロック少量。白色軽石・塊上粒・炭化物微量含。しまり・粘性中弱。
- 3 黒褐色 青褐色上部ブロック多量含。L.さり・粘性中中強。振り方。



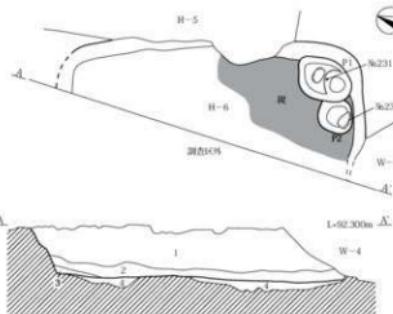
第 58 図 3区 H-1 ~ 4 号住居跡

3区 H-5



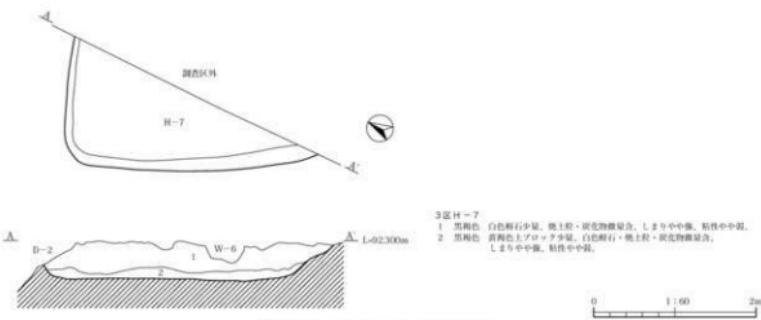
3区 H-5
1 黒褐色 白色粗粒少量。礫上部・鉱物混在含。しまりや少強。粘性中弱。
2 黒褐色 にい・青褐色上部。礫上部・鉱物少混合。しまりや中弱。粘性や中強。
P2
3 黒褐色 にい・青褐色上部。に云・青褐色土粒や多混含。しまりや弱。粘性中弱。P3

3区 H-6



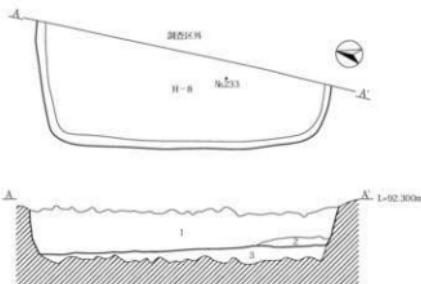
3区 H-6
1 黒褐色 白色粗粒少量含。しまり・粘性や中弱。
2 黒褐色 しまりや中弱。粘性や中強。
3 黒褐色 しまり・粘性や中強。
4 黒褐色 青褐色土ブロック少量含。しまり・粘性や中弱。割り方。

3区 H-7



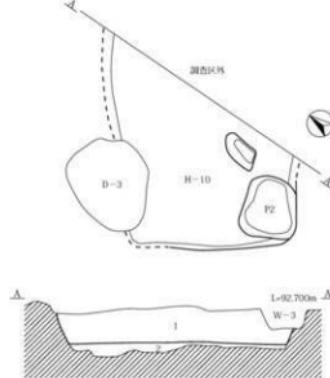
第59図 3区 H-5~7号住居跡

3区 H-8



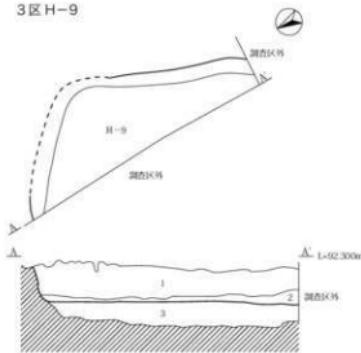
- 3区 H-8
 1 黒褐色 白色軽石少見。粘土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中弱。
 2 黒褐色 白色軽石・粘土粒・炭化物微量含。しまりや中弱。粘性や中強。
 3 黒褐色 黒褐色上プロック少見。しまり・粘性や中強。振り方。

3区 H-10



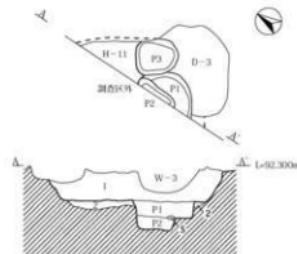
- 3区 H-10
 1 黒褐色 白色軽石少見。粘土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中弱。
 2 黒褐色 しまりや中弱。粘性や中強。振り方。

3区 H-9



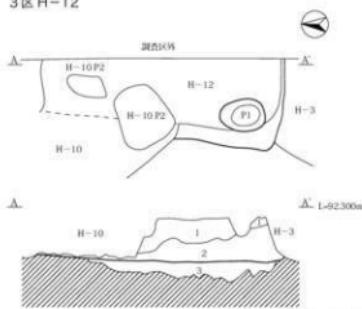
- 3区 H-9
 1 黒褐色 白色軽石少見。粘土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中弱。
 2 黒褐色 白色軽石・粘土粒・炭化物微量含。しまりや中弱。粘性や中強。
 3 黒褐色 黒褐色上プロック多量。白色軽石・粘土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。振り方。

3区 H-11



- 3区 H-11
 1 黒色 白色軽石少見。粘土粒・炭化物微量含。しまり・粘性や中弱。
 2 黒褐色 白色軽石・粘土粒・炭化物微量含。しまりや中強。粘性や中弱。振り方。

3区 H-12

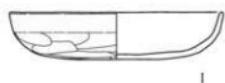


- 3区 H-12
 1 黒褐色 白色軽石・粘土粒・炭化物少量含。しまり・粘性や中弱。
 2 黒褐色 黒褐色上プロック少量。白色軽石・粘土粒・炭化物微量含。
 3 黒褐色 黒褐色上プロックや中量。白色軽石・炭化物微量含。しまり・粘性や中強。振り方。

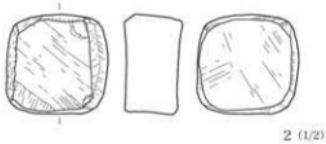
第60図 3区 H-8~12号住居跡

0 1:60 2m

1区H-3



1

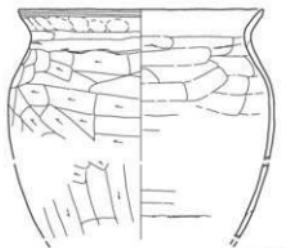


2 (1/2)

1区H-5



4



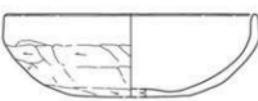
5 (1/4)



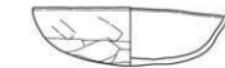
6

0

1区H-4



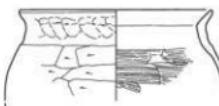
3



7



8



9 (1/4)

1区H-8

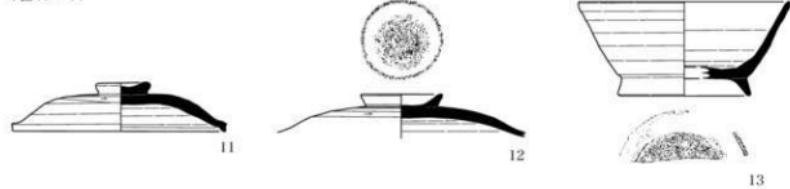


10



第61図 1区H-3~5・7・8号住居跡出土遺物

1区 H-11

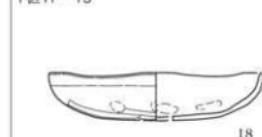


1区 H-12

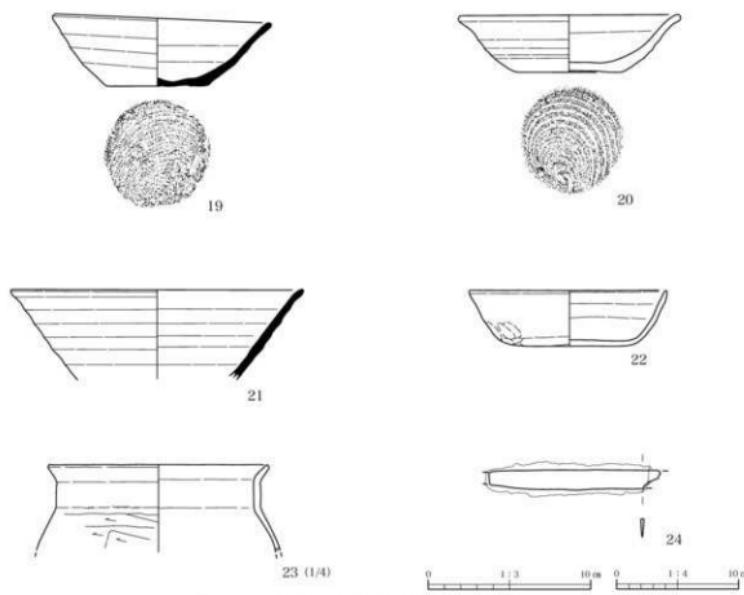


1区 H-13

1区 H-13

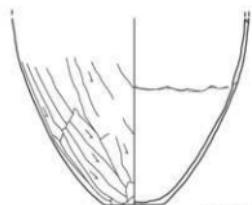


1区 H-14



第62図 1区 H-11~14号住居跡出土遺物

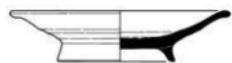
1区 H-15



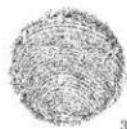
1区 H-17



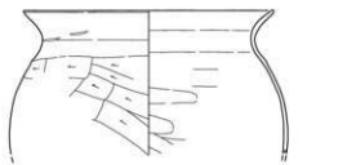
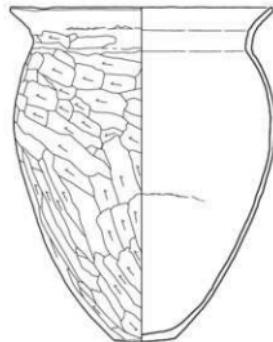
1区 H-16



1区 H-18

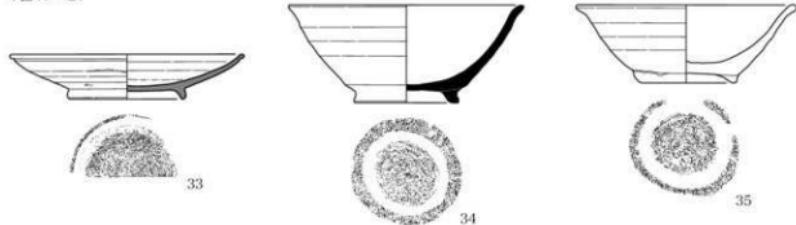


1区 H-20

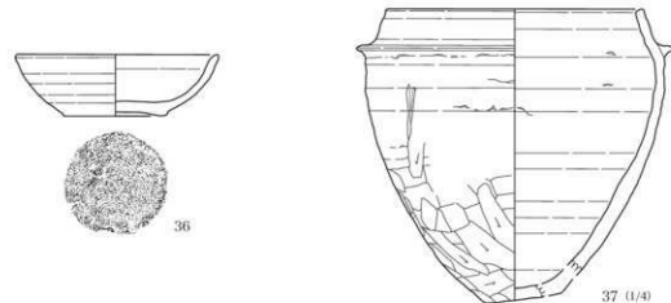


第63図 1区 H-15~18・20号住居跡出土遺物

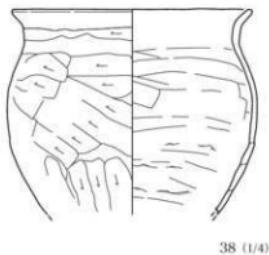
1区 H-21



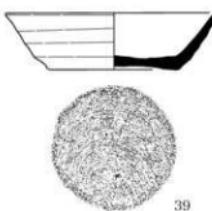
1区 H-22



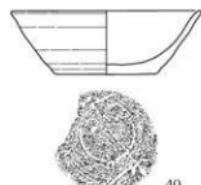
1区 H-23



1区 H-24

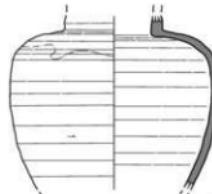


1区 H-27



第64図 1区 H-21~24・27号住居跡出土遺物

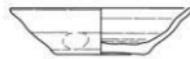
1区 H-28



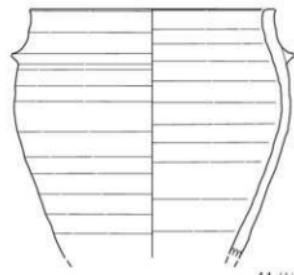
41 (1/4)



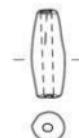
42



43

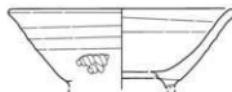


44 (1/4)

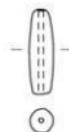


45 (1/2)

1区 H-29

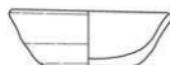
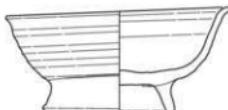


46



47 (1/2)

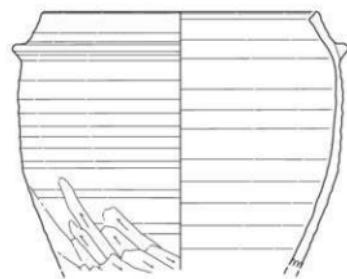
1区 H-30



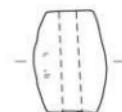
49



48



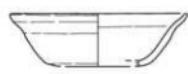
50 (1/4)



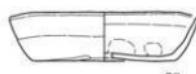
51 (1/2)

第65図 1区 H-28~30 住居跡出土遺物

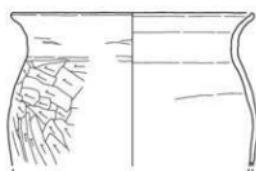
1区 H-33



52

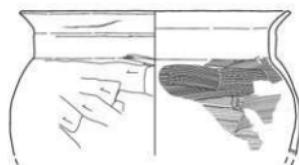


53

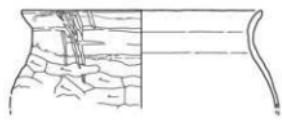


54 (1/4)

1区 H-35

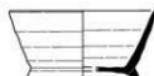


56 (1/4)



57 (1/4)

1区 H-36

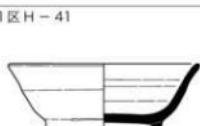


58



59

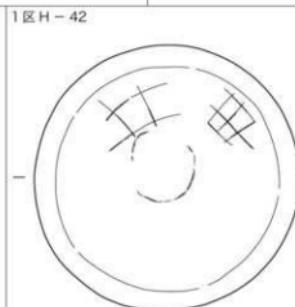
1区 H-40



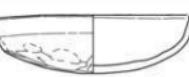
60



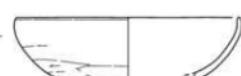
61



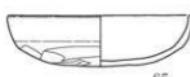
62



63



64

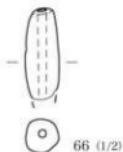


65



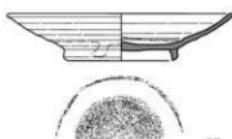
第66図 1区 H-33~36・40~42号住居跡出土遺物

1区 H-43



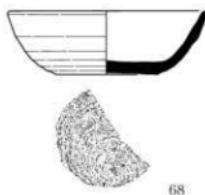
66 (1/2)

1区 H-47

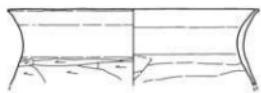


67

1区 H-48

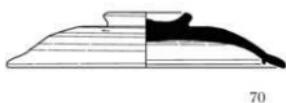


68



69 (1/4)

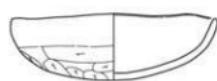
1区 H-50



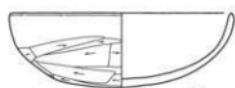
70



71



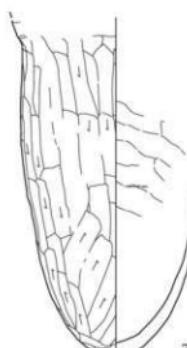
72



73



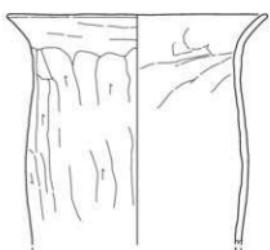
74



75 (1/4)



76 (1/4)

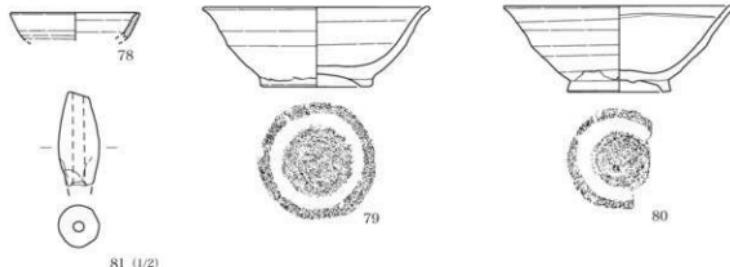


77 (1/4)

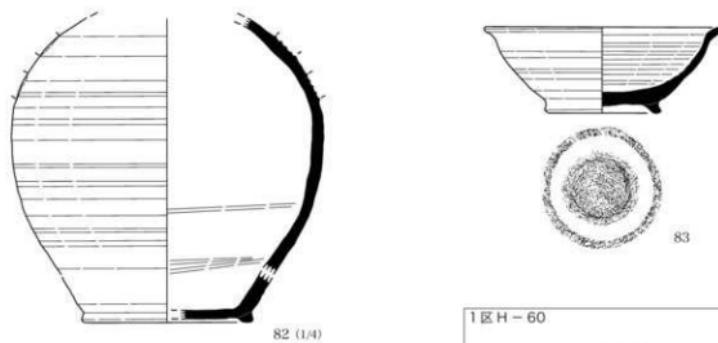


第67図 1区 H-43・47・48・50号住居跡出土遺物

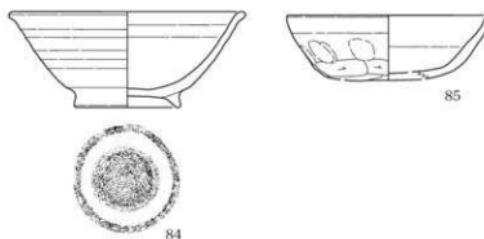
1区 H-52



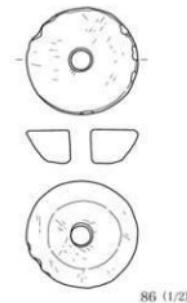
1区 H-54



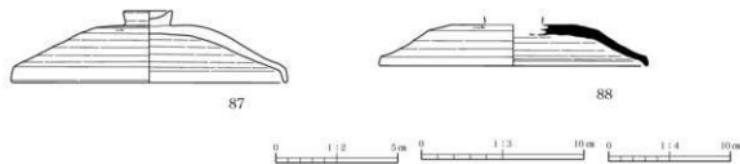
1区 H-55



1区 H-60

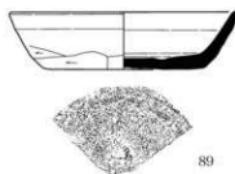


1区 H-63

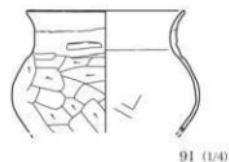
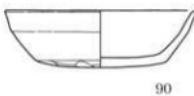


第68図 1区 H-52・54・55・60・63号住居跡出土遺物

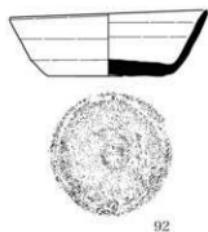
1区 H - 64か65



1区 H - 71



1区 H - 72



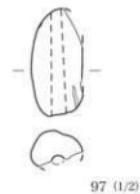
1区 D - 20



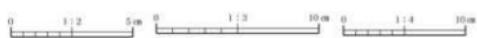
1区 D - 27



1区 P - 24

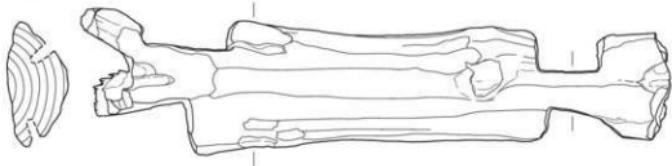


1区 I - 1

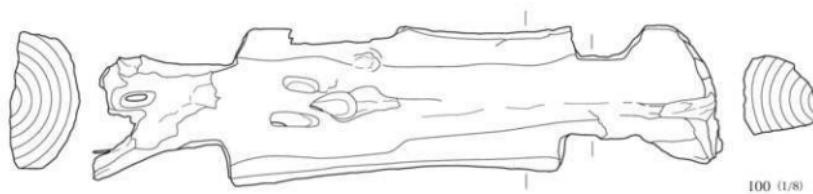


第69図 1区 H-64か65・71・72号住居跡、D-20・27号土坑、P-24号ピット、I-1号井戸跡出土遺物

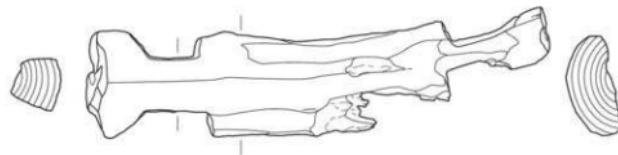
1区I-3



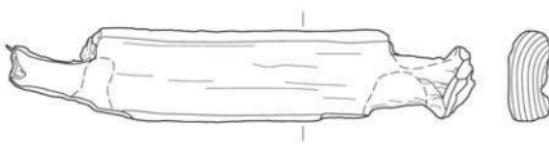
99 (1/8)



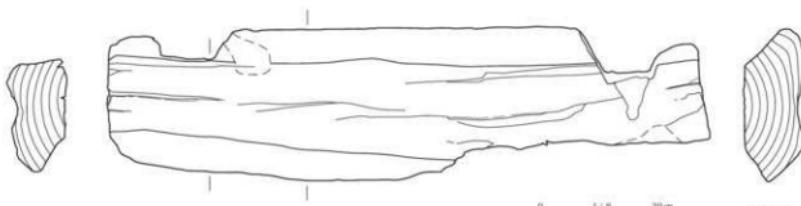
100 (1/8)



101 (1/8)



102 (1/8)

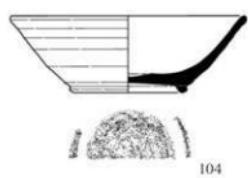


103 (1/8)

第70図 1区I-3号井戸跡出土遺物

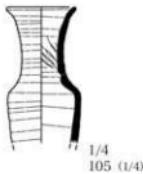
0 1 2 20cm

1区I-4

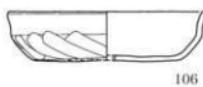


104

1区I-6

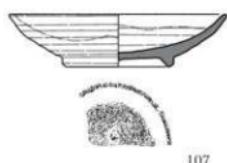


1/4
105 (1/4)

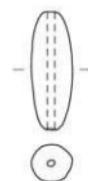


106

1区W-1

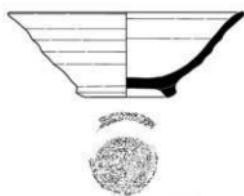


107

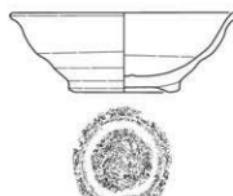


108 (1/2)

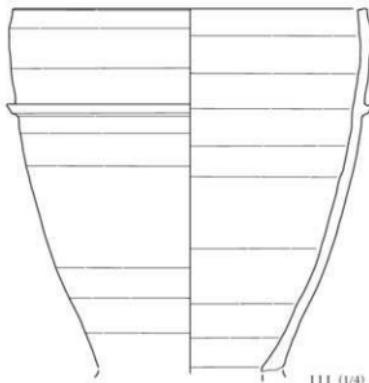
1区W-2



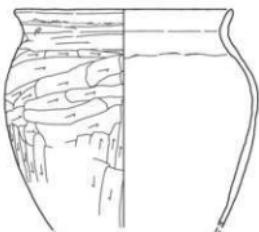
109



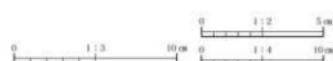
110



111 (1/4)

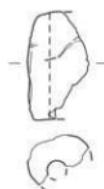
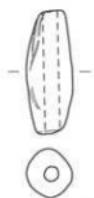
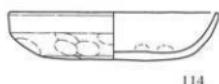
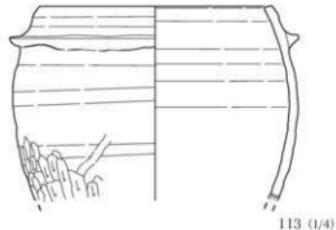


112 (1/4)

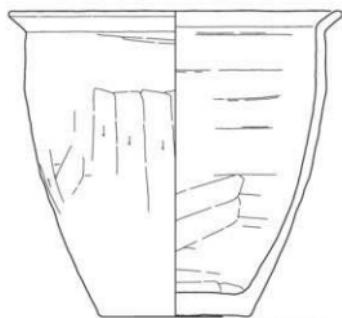
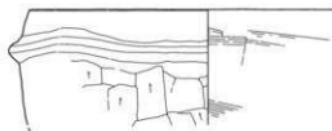
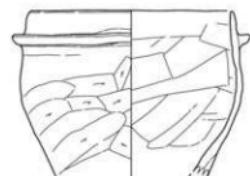


第71図 1区I-4・6号井戸跡、W-1・2号溝跡出土遺物

1区その他

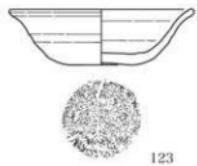


2区H-1



第72図 1区その他 2区H-1号住居跡出土遺物

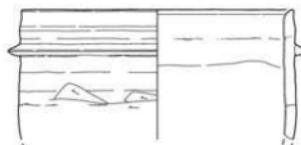
2区H-2



123

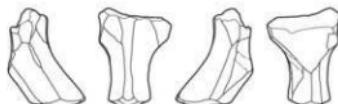


124 (1/4)



125 (1/4)

2区H-4

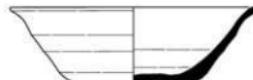


126 (1/2)

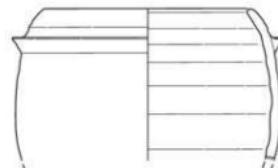
2区H-5



127



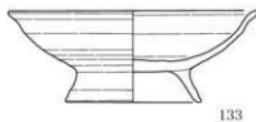
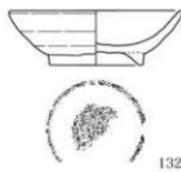
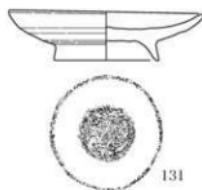
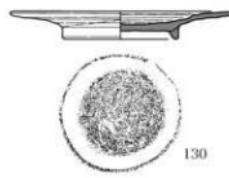
128



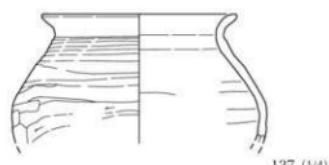
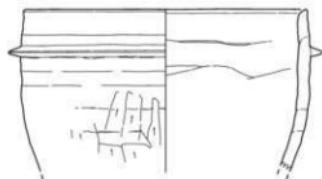
129 (1/4)



第73図 2区H-2・4・5号住居跡出土遺物

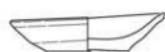


■ 黒色処理

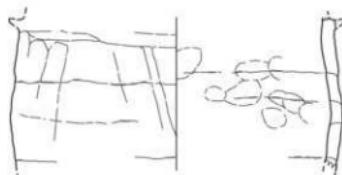


第74図 2区H-6号住居跡出土遺物

2区H-7



138



139 (1/4)

2区H-10



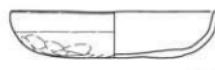
■ タール付着



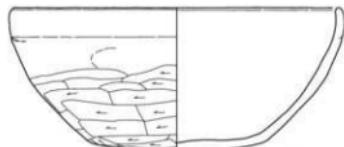
140



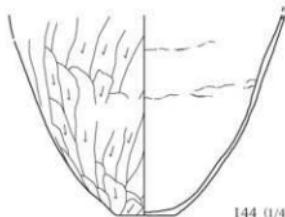
141



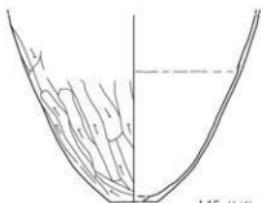
142



143



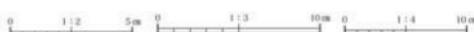
144 (1/4)



145 (1/4)

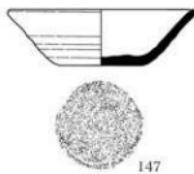


146 (1/2)

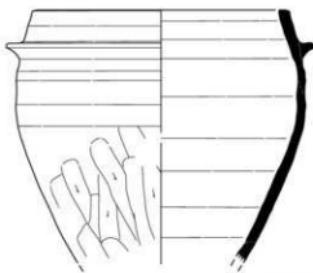


第75図 2区H-7・10号住居跡出土遺物

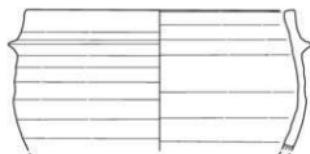
2区H-11



147



148 (1/4)



149 (1/4)

2区H-12



150

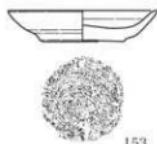


151

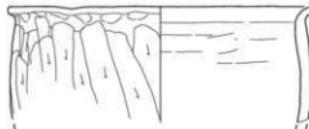


152

2区H-13

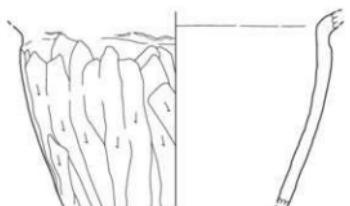


153



154 (1/4)

2区H-15



155 (1/4)



0 1:3 10cm 0 1:4 10cm

第76図 2区H-11~13・15号住居跡出土遺物

2区 H-16



156



157 (1/4)

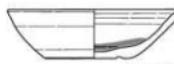
2区 H-18



158



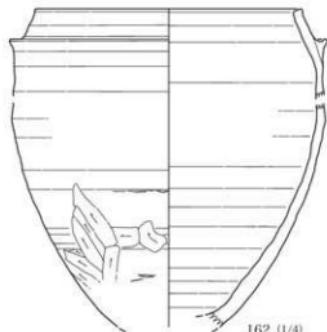
159



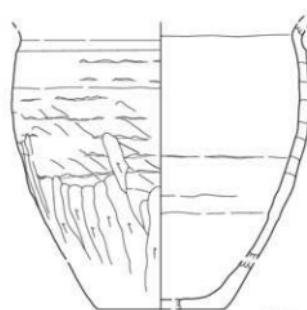
160



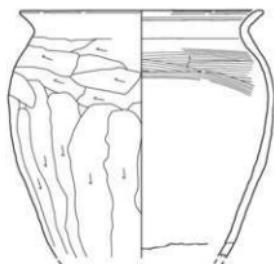
161



162 (1/4)

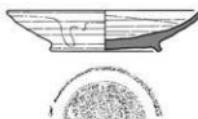


163 (1/4)



164 (1/4)

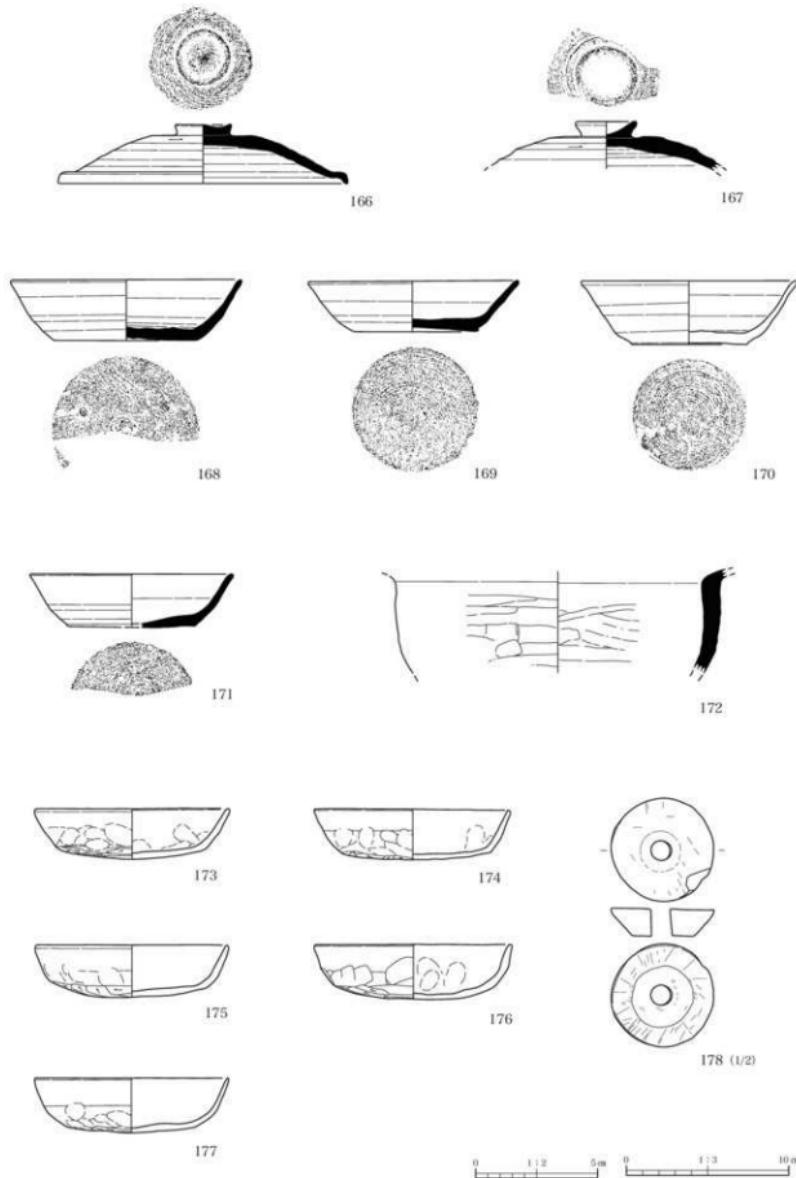
2区 H-19



165

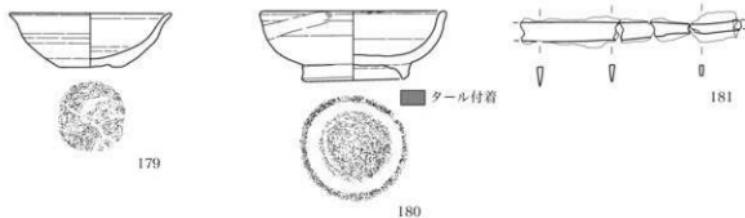


第77図 2区 H-16・18・19号住居跡出土遺物

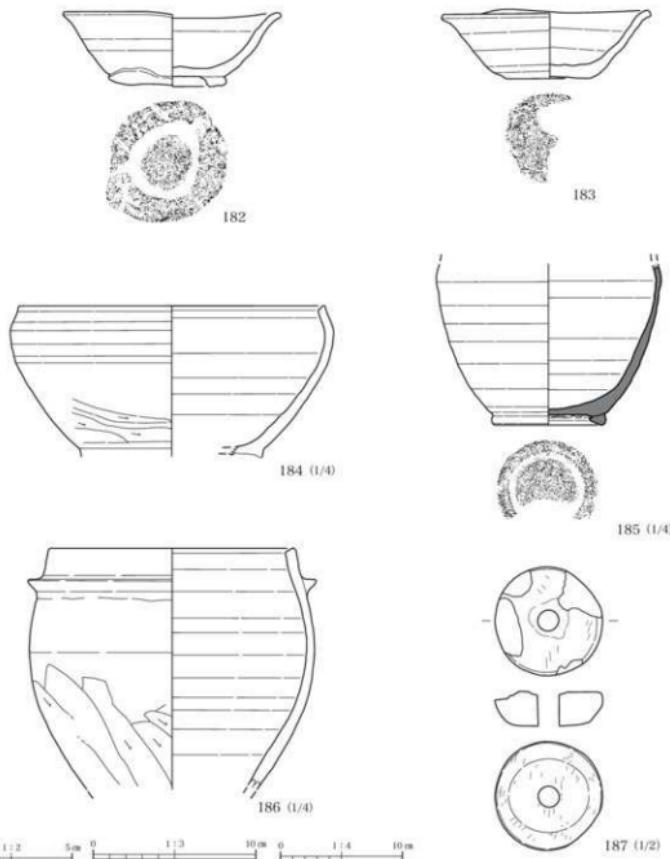


第78図 2区 H-20号住居跡出土遺物

2区H-21

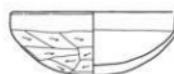
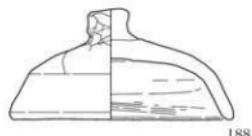


2区H-22



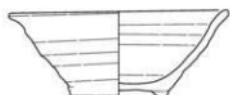
第79図 2区H-21・22号住居跡出土遺物

2区 H-23



189

2区 H-25



190

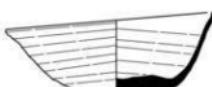


191

2区 H-26



192



193



194

2区 H-27



195

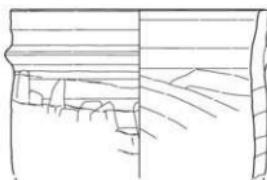


196

■ タール付着



197

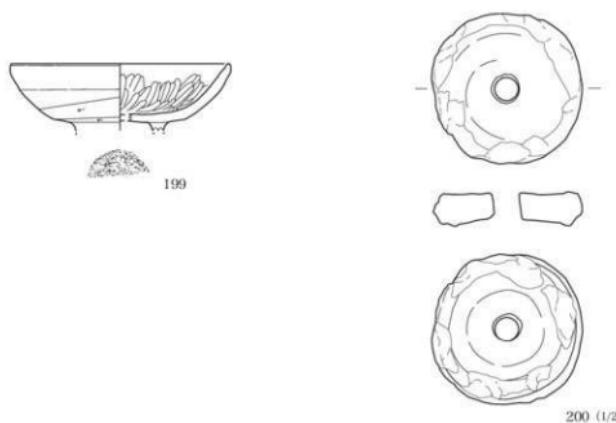


198 (1/4)



第 80 図 2 区 H-23・25~27 号住居跡出土遺物

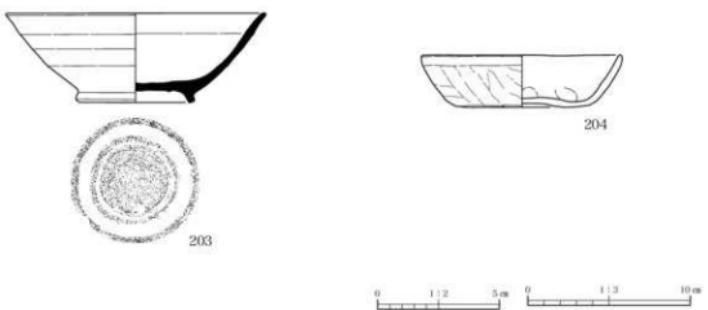
2区H-29



2区H-32

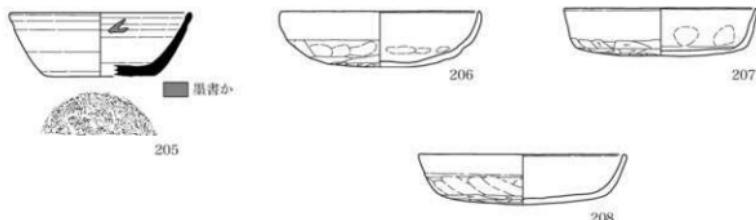


2区H-33

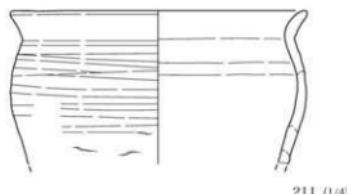
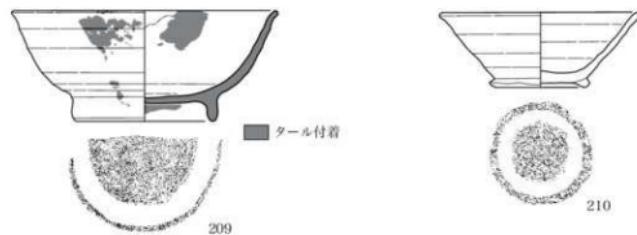


第81図 2区H-29・32・33号住居跡出土遺物

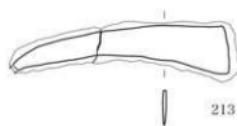
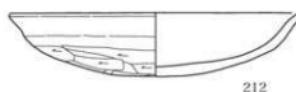
2区 H - 34



2区 H - 35



2区 H - 36



2区 H - 40



0 1:3 10cm 0 1:4 10cm

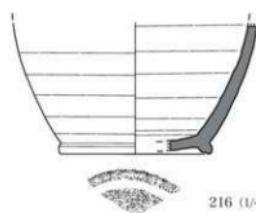
第 82 図 2区 H-34~36・40号住居跡出土遺物

2区 H - 48



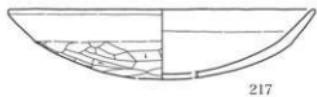
215

2区 H - 51

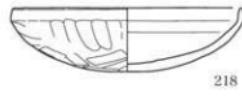


216 (1/4)

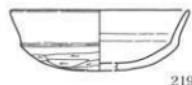
2区 H - 52



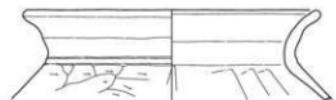
217



218

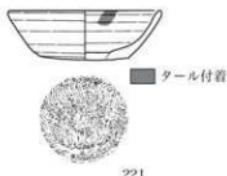


219



220 (1/4)

2区 D - 7



221



222



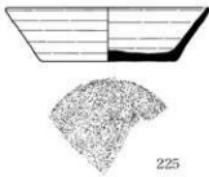
223

2区 P - 16



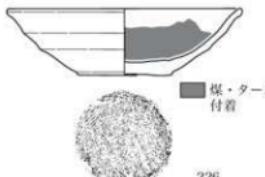
224 (1/2)

2区 P - 29



225

2区 P - 34

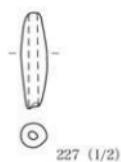


226



第83図 2区 H-48・51・52号住居跡、D-7号土坑、P-16・29・34号ピット出土遺物

2区低地



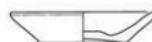
227 (1/2)

2区その他



228

3区H-1



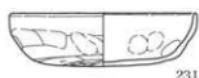
229

3区H-3



230 (1/2)

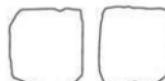
3区H-6



231



232



3区H-8



233



第84図 2区低地、その他 3区H-1・3・6・8号住居跡出土遺物

第VI章 自然科学分析

第1節 放射性炭素年代測定

(1)はじめに

群馬県前橋市朝倉町に位置する朝倉伊勢西 No.2 遺跡より検出された井戸跡と泥炭層の時期を明らかにするために、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。なお、試料とした木材について、樹種同定も行っている（樹種同定の報告参照）。

(2) 試料と方法

測定試料の情報、調製データは第 22・23 表のとおりである。試料は、井戸跡である I-3 号井戸跡と I-3 号井戸跡を断ち割るために掘削した 1 号トレチの泥炭層から採取された。

井戸跡である I-3 号井戸跡の試料は、井戸枠材（遺物取上 No.3:PLD-20562・20563）、同じく井戸枠材（遺物 No.9 :PLD-20560・20561）、井戸内最下層のヒヨウタン果皮（PLD-20722）の 3 点である。なお、井戸枠材 2 点についてはそれぞれ 1 本につき 2 カ所から試料を採取し、ウィグルマッチングを行った。

1 号トレチではテフラの下位に泥炭層が堆積しており、泥炭層中から材（PLD-20723）が採取された。

試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS : NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた 14C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、14C 年代、曆年代を算出した。

(3) 結果

第 24・25 表に同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 (δ 13C)、同位体分別効果の補正を行って曆年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した 14C 年代、ウィグルマッチング結果を、第 26 表に単体試料の曆年較正結果を、第 85 図にウィグルマッチング結果と単体

第 22 表 ウィグルマッチング測定試料および処理

| 調定番号 | 遺跡・試料データ | 採取データ | 処理データ |
|-----------|---|----------------|---|
| PLD-20562 | 遺物取上 No.3 調査区:23671-J-A/K 遺跡名:3号井戸跡 種別:井戸枠材 種類:生材(アラゴン) 形状:半径8.5cm、ミカン剥材、109年輪、芯無 性状:最終成年輪に近い? | 採取位置:1-5年輪 | 超音波洗浄 熱・アルカリ・熱洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 鹽酸:1.2N) |
| PLD-20563 | 同上 | 採取位置:101-105年輪 | 超音波洗浄 熱・アルカリ・熱洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 鹽酸:1.2N) |
| PLD-20560 | 遺物取上 No.9 調査区:23671-J-A/K 遺跡名:3号井戸跡 種別:井戸枠材 種類:生材(アラゴン) 形状:半径12.5cm、ミカン剥材、146年輪、芯無 性状:最終成年輪に近い? | 採取位置:1-5年輪 | 超音波洗浄 熱・アルカリ・熱洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 鹽酸:1.2N) 処理時の注意:sulfite 使用 |
| PLD-20561 | 同上 | 採取位置:141-145年輪 | 超音波洗浄 熱・アルカリ・熱洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 鹽酸:1.2N) |

第 23 表 単体測定試料および処理

| 調定番号 | 遺跡データ | 試料データ | 処理 |
|-----------|--|---|--|
| PLD-20722 | 遺物取上 No.~ 調査区:23671-J-A/K 遺跡名:1号トレチ 層位:井戸内最下層 | 試料の種類:生材(ヒヨウタン果皮) 状態:wet | 超音波洗浄 熱・アルカリ・熱洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 鹽酸:1.2N) |
| PLD-20723 | 遺物取上 No.1 調査区:2371-J-A/K 位置:1号トレチ 層位:テフラ下位の泥炭 | 試料の種類:生材(カラマツ) 状態:wet 形状:3.0×4.5×5.0cm 性状:複数年輪 | 超音波洗浄 熱・アルカリ・熱洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 鹽酸:1.2N) |

試料の暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下1桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

14C年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。14C年代(yrBP)の算出には、14Cの半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また、付記した14C年代誤差($\pm 1\sigma$)は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の14C年代がその14C年代誤差内に入る確率が68.2%であることを示す。

なお、暦年較正、ウイグルマッチング法の詳細は以下のとおりである。

[暦年較正]

暦年較正とは、大気中の14C濃度が一定で半減期が5568年として算出された14C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の14C濃度の変動、および半減期の違い(14Cの半減期 5730 ± 40 年)を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

14C年代の暦年較正にはOxCal4.1(較正曲線データ:IntCal09)を使用した。なお、 1σ 暦年年代範囲は、OxCalの確率法を使用して算出された14C年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年年代範囲であり、同様に 2σ 暦年年代範囲は95.4%信頼限界の暦年年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は14C年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

[ウイグルマッチング法]

ウイグルマッチング法とは、複数の試料を測定し、それぞれの試料間の年代差の情報を用いて試料の年代パターンと較正曲線のパターンが最も一致する年代値を算出することによって、高精度で年代値を求める方法である。測定では、得られた年輪数が確認できる木材について、1年毎あるいは数年分をまとめた年輪を数点用意し、それぞれ年代測定を行う。個々の測定値から暦年較正を行い、得られた確率分布を最外試料と当該試料の中心値の差だけずらしてすべてを掛け合わせることにより最外試料の確率分布を算出し、年代範囲を求める。なお、得られた最外試料の年代範囲は、まとめた試料の中心の年代を表している。そのため試料となった木材の最外年輪年

第24表 遺物取上No.3の分析結果

遺物取上No.3の放射性炭素年代測定、暦年較正、ウイグルマッチングの結果

| 測定番号 | $\delta^{13}C$ (‰) | 暦年較正年代 (yrBP $\pm 1\sigma$) | 14C年代 (yrBP $\pm 1\sigma$) | 14C年代を暦年年代に較正した年代範囲 | |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|--|--|
| | | | | 1σ 暦年年代範囲 | 2σ 暦年年代範囲 |
| PLD-20562 (遺物取上No.3) | -27.11 \pm 0.12 | 1207 \pm 21 | 1205 \pm 20 | 778AD(4.3%829AD) 838AD(24.8%867AD) | 725AD(2.9%739AD) 771AD(92.5%888AD) |
| PLD-20563 (遺物取上No.3) | -28.10 \pm 0.12 | 1238 \pm 21 | 1240 \pm 20 | 694AD(11.3%748AD) 765AD(14.4%782AD) 1(2.5%809AD) | 688AD(45.4%754AD) 760AD(50.0%870AD) |
| | | | 最外試料年代 | 810AD(5.2%847AD) 867AD(15.7%879AD) | 788AD(73.7%854AD) 860AD(21.7%883AD) |

第25表 遺物取上No.9の分析結果

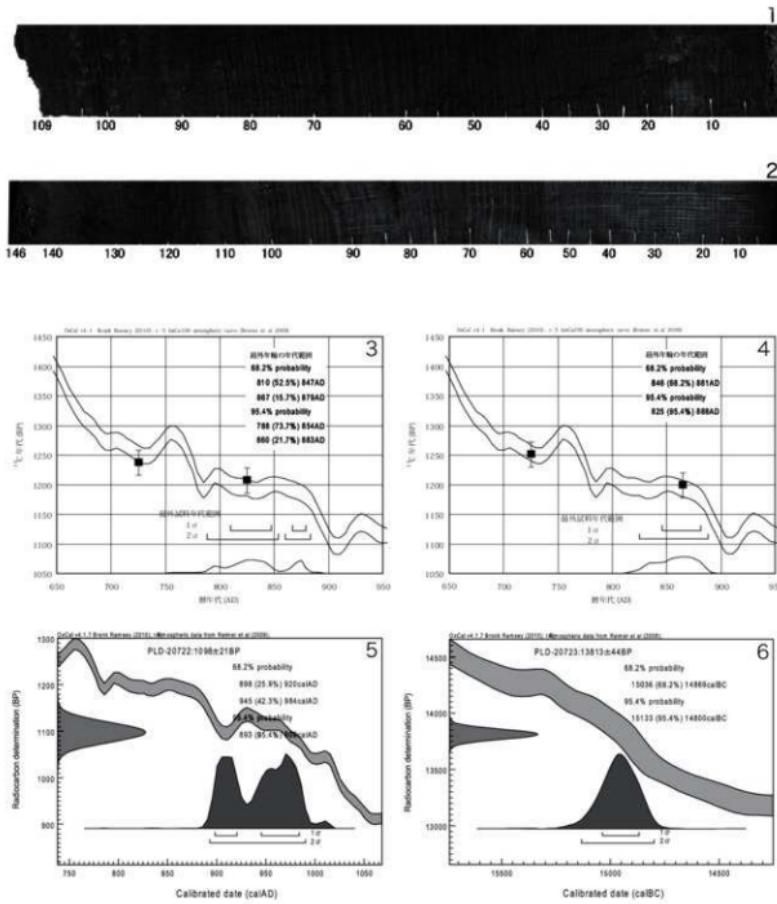
遺物取上No.9の放射性炭素年代測定、暦年較正、ウイグルマッチングの結果

| 測定番号 | $\delta^{13}C$ (‰) | 暦年較正年代 (yrBP $\pm 1\sigma$) | 14C年代 (yrBP $\pm 1\sigma$) | 14C年代を暦年年代に較正した年代範囲 | |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|--|---------------------------------------|
| | | | | 1σ 暦年年代範囲 | 2σ 暦年年代範囲 |
| PLD-20569 (遺物取上No.9) | -27.29 \pm 0.12 | 1199 \pm 21 | 1200 \pm 20 | 780AD(10.7%792AD) 804AD(57.5%870AD) | 772AD(95.4%890AD) |
| PLD-20561 (遺物取上No.9) | -28.09 \pm 0.14 | 1251 \pm 21 | 1250 \pm 20 | 694AD(65.6%748AD) 765AD(12.2%777AD) | 679AD(93.1%820AD) 843AD(2.3%859AD) |
| | | | 最外試料年代 | 846AD(68.2%881AD) | 825AD(95.4%888AD) |

第26表 単体試料の分析結果

単体試料の放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

| 測定番号 | $\delta^{13}C$ (‰) | 暦年較正年代 (yrBP $\pm 1\sigma$) | 14C年代 (yrBP $\pm 1\sigma$) | 14C年代を暦年年代に較正した年代範囲 | |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|--|-----------------------|
| | | | | 1σ 暦年年代範囲 | 2σ 暦年年代範囲 |
| PLD-20722 (ヒョウタン) | -29.46 \pm 0.19 | 1099 \pm 21 | 1190 \pm 20 | 808AD(25.9%920AD) 945AD(42.3%984AD) | 893AD(95.4%990AD) |
| PLD-20723 (遺物取上No.1) | -27.55 \pm 0.11 | 13813 \pm 44 | 13815 \pm 45 | 15036BC(68.2%14869BC) | 15133BC(95.4%14800BC) |



1. 井戸枠材（遺物取上 No.3）の年輪計測結果（数字は年輪数を示す）
2. 井戸枠材（遺物取上 No.9）の年輪計測結果（数字は年輪数を示す）
3. 井戸枠材（遺物取上 No.3）のウィグルマッチング結果
4. 井戸枠材（遺物取上 No.9）のウィグルマッチング結果
5. ヒョウタン果皮（井戸最下層中）の暦年較正結果
6. 泥炭出土木材（遺物取上 No.1）の暦年較正結果

第85図 ウィグルマッチング試料の年輪計測結果と各試料の暦年較正図

代を得るために、最外試料としてまとめた年輪数と、さらにその外側にある年輪数を考慮する必要がある。

(4) 考察

遺物取上 No.3 の井戸枠材は、外側 1-5 年目 (PLD-20562) と内側 101-105 年目 (PLD-20563) を用いて ウィグルマッチングを行った結果、最外試料の 2σ 历年代範囲が 788-854 cal AD(73.7%) および 860-883 cal AD(21.7%) であった。遺物取上 No.3 は最終形成年輪が確認できなかつたため、最外試料のさらに外側にも年輪が存在した可能性がある。したがつて、遺物取上 No.3 の材が伐採されたのは、8 世紀後半～9 世紀後半あるいはそれより幾分新しいと考えられる。

遺物取上 No.9 の井戸枠材は、外側 1-5 年目 (PLD-20560) と内側 141-145 年目 (PLD-20561) を用いて ウィグルマッチングを行った結果、最外試料の 2σ 历年代範囲が 825-888 cal AD(95.4%) であった。遺物取上 No.9 も最終形成年輪が確認できなかつたため、最外試料のさらに外側にも年輪が存在した可能性がある。したがつて、遺物取上 No.9 の材が伐採されたのは、9 世紀あるいはそれより幾分新しいと考えられる。

井戸内最下層のヒヨウタン果皮 (PLD-20722) は、 2σ 历年代範囲が 893-990 cal AD(95.4%) であった。ヒヨウタンが結実した年代は、9 世紀末～10 世紀末と考えられる。

井戸枠材の年代については、より外側に年輪があった可能性や材の転用を考慮する必要があるが、井戸の構築年代は井戸枠材が示した年代よりは新しいと考えられる。また、井戸内最下層のヒヨウタンは井戸が使用された年代を示していると考えられ、また井戸の構築年代はヒヨウタンの年代より古いと考えられる。したがつて、井戸の構築年代は 9 ～ 10 世紀と考えられる。

1 号トレンチの泥炭層から採取された材 (PLD-20723) は、14C 年代が 13815 ± 45 14C BP、 2σ 历年代範囲が 15133-14800 cal BC(95.4%) であった。cal BC 単位の歴年代範囲を cal BP 単位に直すと、17082-16749 cal BP(95.4%) である。つまり泥炭層の堆積年代は約 17000 年前である。年代に基づくと、材が採取された泥炭層は前橋泥炭層、上位のテフラは浅間板鼻黄色軽石 As-YP に相当する。前橋泥炭層上部には As-YP が挟在し、As-YP やや下位において 13130 ± 230 14C BP、歴年代範囲にして約 16500 ～ 15000 年前の年代が得られている（新井、1964；町田・新井、2003；辻、1996）。

引用・参考文献

- 新井房夫 (1964) 前橋泥炭層の絶対年代と旧石器包含層の年代、地球科学、70, 37-38.
- Bronk Ramsey, C., van der Plicht, J., and Weninger, B. (2001) 'Wiggle matching' radiocarbon dates. Radiocarbon, 43(2A), 381-389.
- Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51, 337-360.
- 町田洋・新井房夫 (2003) 新編火山灰アトラス、336p、東京大学出版社。
- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎、日本先史時代の 14C 年代編集委員会編「日本先史時代の 14C 年代」: 3-20、日本第四紀学会。
- Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, F.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer C.E. (2009) IntCal09 and Marine09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, 1111-1150.
- 辻誠一郎 (1996) 前橋台地における前橋泥炭層、日本第四紀学会第四紀露頭集編集委員会編「第四紀露頭集」: 184-185、日本第四紀学会。

バレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

伊藤茂・安昭炫・廣田正史・山形秀樹・小林純一

Zaur Lomtatidze・Inez Jorjoliani・中村賢太郎・藤根久・黒沼保子

第2節 朝倉伊勢西 No.2 遺跡出土木材の樹種同定

(1) はじめに

朝倉伊勢西 No.2 遺跡は前橋市朝倉町に所在する遺跡である。古墳時代、平安時代、中近世の竪穴住居跡、堀立柱建物跡、土坑、井戸枠などが検出されている。井戸枠と泥炭層から出土した材の樹種同定を行った。なお、同試料の一部を用いて放射性炭素年代測定も行われている（放射性炭素年代測定の報告参照）。

(2) 試料と方法

試料は、井戸枠 I-3 から 8 点と、I-3 号井戸跡を断ち割るために掘削した 1 号トレンチの泥炭層から出土した自然木と考えられる木材 1 点の計 9 点である。放射性炭素年代測定の結果、I-3 号井戸跡の時期は 9 ~ 10 世紀と考えられる。また、1 号トレンチから出土した自然木は、約 17000 年前の値が得られている。

これらの試料から、剃刀を用いて 3 断面（横断面・接線断面・放射断面）の切片を採取し、ガムクロラールで封入してプレパラートを作製した。これを光学顕微鏡で観察・同定し、写真撮影を行った。

(3) 結果

針葉樹はカラマツ、広葉樹はブナ属とクリの 2 分類群、計 3 分類群が確認された。結果の一覧を第 27 表に示す。以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を示し、光学顕微鏡写真を図版に示す。

第27表 樹種同定結果

| 取上番 | 地区 | グリッド | 位置 | 樹種 | 年代測定番号 | 報告番号 |
|-----|-------|-------|---------|------|-----------------|------|
| 1 | I-AlC | 23G71 | 1号トレンチ | カラマツ | PLD-20723 | - |
| 3 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | ブナ属 | PLD-20562-20563 | - |
| 4 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | クリ | - | - |
| 5 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | クリ | - | 99 |
| 6 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | クリ | - | 100 |
| 7 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | クリ | - | 101 |
| 8 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | クリ | - | 102 |
| 9 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | ブナ属 | PLD-20560-20561 | - |
| 10 | I-AlC | 23G71 | I-3号井戸跡 | ブナ属 | - | 103 |

[カラマツ] *Larix kaempferi* (Lamb.) Carrière マツ科 第 86 図 1a-1c(No.1)

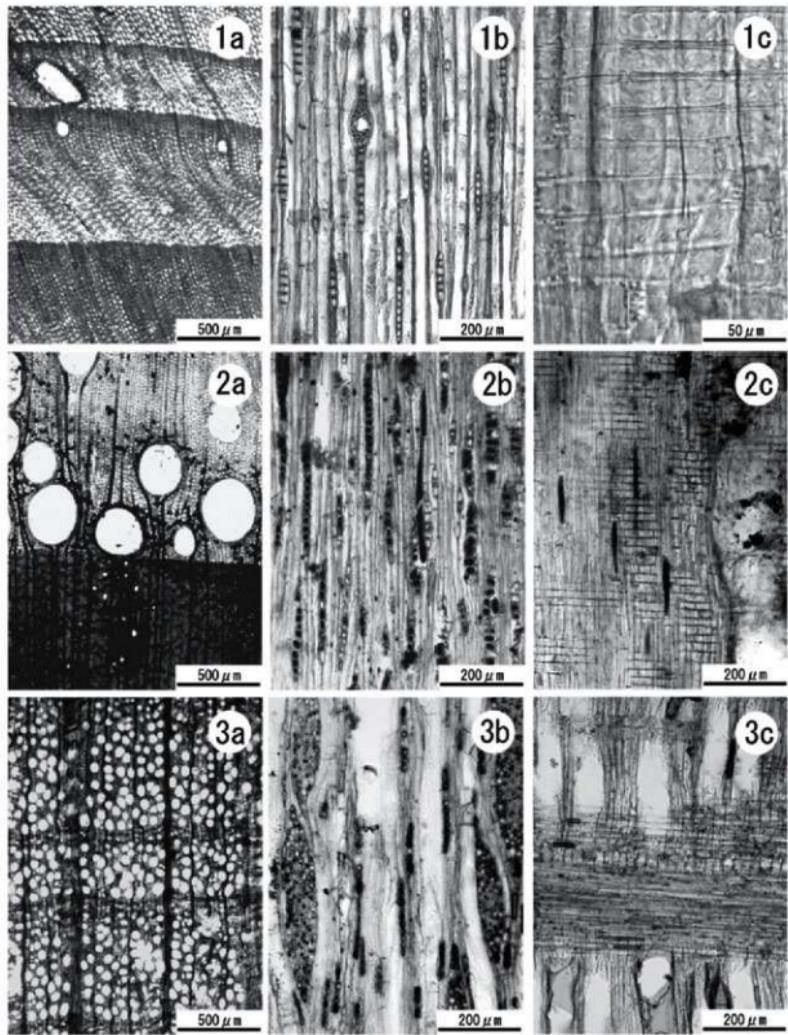
仮道管、垂直・水平樹脂道、放射組織、放射仮道管からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は比較的緩やかで、晩材部は広い。大型の樹脂道を薄壁のエビセリウム細胞が囲んでいる。分野壁孔はヒノキ型で、放射組織の上下に放射仮道管がある。

カラマツは温帯に分布する落葉高木で、自生では宮城県・新潟県以南から中部山岳地帯に生育する。材は、重硬で水湿に強い。

[クリ] *Castanea crenata* Siebold et Zucc. ブナ科 第 86 図 2a-2c(No.4)

大型の道管が年輪のはじめに数列並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は單一である。放射組織は同性で主に単列である。

クリは温帯下部から暖帶に分布する落葉高木で、材は、耐朽性・耐湿性に優れ、保存性が高い。



1a-1c. カラマツ (No.1)、2a-2c. クリ (No.4)、3a-3c. ブナ属 (No.3)
a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面

【ブナ属】 *Fagus* ブナ科 第86図 3a-3c(No.3)

単独の道管が密に分布し、晩材部ではやや径を減ずる散孔材である。道管の穿孔は單一のものと階段状の2種類がある。放射組織はほぼ同性で、單列のもの、2~数列のもの、広放射組織の3種類がある。

ブナ属は温帯に分布する落葉高木で、ブナとイヌブナがある。材は、堅硬・緻密・韧性があるが保存性は低い。

(4) まとめ

1号トレンチの泥炭層から出土した自然木と考えられる木材は、カラマツであった。カラマツは落葉性の針葉樹で、温帯上部の日当たりの良い山地に生育する。本試料は年代測定の結果から、As-YP以前と考えられる。As-YP以前の前橋泥炭層の植物化石群集は、辻ほか(1985)によって詳しく検討されている。これによると、チョウセンゴヨウ、トウヒ属バラモミ節、カラマツ属の針葉樹を主として、カバノキ・ハンノキ属をともなう森林植生であり、今回の分析結果も当時の周辺植生と一致する。

I-3井戸枠は、広葉樹のクリとブナ属が確認された。クリの材は重硬で加工困難であるが、耐朽性・耐湿性に優れ、保存性が高い。ブナ属の材も比較的重硬ではあるが、耐久性や保存性は低い。ブナ属は温帯の山地に生育する樹種であり、本遺跡周辺には分布していないため、近隣の山に生育していたものであろう。また、クリは半割、ブナ属は芯よりのみかん割りで利用されており、1つの木を分割利用したと考えられる。一般的に、井戸枠には製材しやすく耐水性に優れているスギやヒノキなどの針葉樹を用いることが多い(島地・伊東, 1988)。本遺跡の井戸枠では、クリやブナ属といった重厚な材を用いていることから、加工性よりも強度を重視した選択である可能性がある。

引用・参考文献

島地謙、伊東隆夫(1988)日本の遺跡出土木製品総覧、259p、雄山閣出版。

辻誠一郎・吉川昌伸・吉川純子・能城修一(1985)前橋台地における更新世末期から完新世初期の植物化石群集と植生、第四紀研究。

23:263-269.

黒沼保子(バレオ・ラボ)

第VII章 まとめ

今回調査された朝倉伊勢西 No.2 遺跡は、昨年度調査された朝倉伊勢西 No.1 遺跡（福田・山田 2011）を挟んで西部に 1・3 区、東部に 2 区が離れて位置する。1～3 区は概ね微高地に立地し、3 区の北端及び、2 区の南西部に朝倉伊勢西 No.1 遺跡に連続するものと考えられる低地が検出されている。今回検出された遺構は、竪穴住居跡 136 軒、掘立柱建物跡 2 棟、土坑 70 基、ピット 93 基、井戸跡 7 基、溝跡 16 条、畠跡 1 面、粘土採掘坑群である。

集落の様相

朝倉伊勢西遺跡における集落は、遺跡中央部に北西から南東にかけて広がる低地を挟んで両側に形成されている微高地上に展開している（第 87・88 図）。No.1 遺跡及び No.2 遺跡 1・3 区で調査された低地西方の微高地上に展開する集落を西部集落、No.2 遺跡 2 区で調査された低地東方の微高地上に展開する集落を東部集落とし、個別に概観する。

西部集落（第 89～92 図）は 7 世紀末から 8 世紀初頭に営まれ始め、8 世紀前半から中葉にかけて小規模に存続する。8 世紀末から 9 世紀初頭に規模を拡張し、竪穴住居跡だけでなく掘立柱建物跡も構築される。その後安定的に展開し、9 世紀末に最盛期を迎えた後、10 世紀初頭に規模を縮小し 11 世紀まで存続する。集落造営が開始された当初は、西部集落の主体は南西部（No.2 遺跡 1 区南部及び中央部）にあるが、徐々に北東部（No.1 遺跡及び No.2 遺跡 1 区、北東部・3 区）に移動し、低地に接近する。特に No.2 遺跡 1 区南部は 10 世紀以降完全に集落域から逸脱しており、用水路と考えられる W-1・6 号溝が構築され、As-B が降下する段階では畠となっている。また、1 区から古代の井戸跡が 5 基検出されており、下部構造が相欠き仕口横板組³¹であるものや、覆土から須恵器の壺 G が出土するなど特筆される調査成果が得られている。

東部集落（第 93～95 図）は 7 世紀第 3 四半期に営まれ始め、8 世紀代にかけて小規模に存続する。9 世紀代になるとやや規模を拡張し 10 世紀前半まで安定的に集落を展開し、10 世紀後半に最も盛んした後、縮小しながらも 11 世紀前半まで継続する。ただし、表採や覆土に混入して出土する古墳時代前期・後期の土器小片から調査区外における遺構の存在が示唆され、集落開始期が 4 世紀まで先行する可能性はあるだろう。

現段階までに得られた調査成果から両集落を比較すると、東部集落がやや先行するものの、集落の造営開始はほぼ同時期であり、8 世紀中葉までは小規模に存続する点は共通する。西部集落は 8 世紀第 4 四半期段階に規模が拡張はじめ 9 世紀代に盛んしており、東部集落においても 9 世紀代は安定的に集落が展開する。西部集落が 10 世紀初頭には規模を縮小するのに対し、東部集落は規模を維持し 10 世紀後半に最も拡充する。両集落とともに 11 世紀代までは存続しており、少なくとも As-B が降下する段階には廃絶していると考えられる。

1 区 W-1・6 号溝について

用水路であると考えられる 1 区 W-1 は北東から南西に走行しており、配置から朝倉伊勢西 No.1 遺跡 1 区 W-11・12 何れかの同一遺構である可能性が高い。1 区 W-1 の底面標高の最低値は 90.67 m であり No.1 遺跡 1 区 W-11・12 の底面標高から 0.20～0.30 m 程度低いことを考慮すると、北東方向に広がる低地³²から取水されていた可能性が高く、遺跡の地形からも齧鉢がないと考える。

1 区 W-1 の年代については、重複する住居跡の年代から 9 世紀後半以降に構築されたと考えられる。廃絶時期については、As-B が降下後に耕作された畠跡の耕作土に被覆されていることと、壁面付近の覆土から虎渓山段階と考えられる灰釉陶器皿（107）が出土していることから、10 世紀後半以降 As-B が降下以前と考えられる。

1 区 W-1 には 1 区 W-6 が直交して位置しており、両者は重複関係及び堆積状況から併存していた可能性が高い。1 区 W-6 は、水成堆積であるが下部に非常にしまりの強い細砂主体の層が堆積しており、底面からはピットが 11 基検出されている。注目したいのは 1 区 W-1 における底面の最低位が 1 区 W-6 交差部東方に

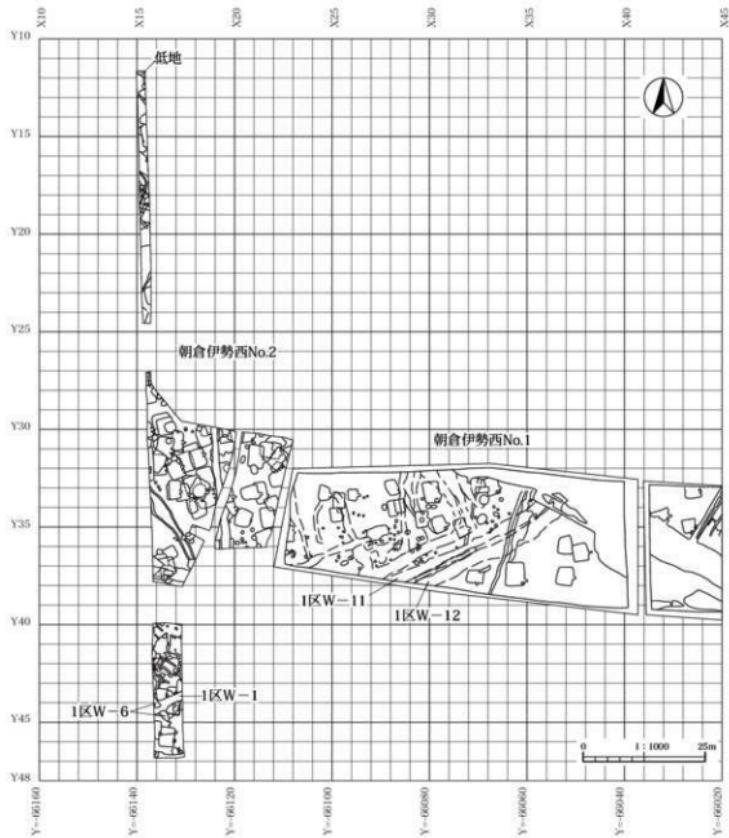
あり、西方において 0.30 m 程度高くなっていることである。この状態で北東から南西へ流水するためには交差部で水を溜める必要があり、1 区 W-6 は 1 区 W-1 の堰である可能性があると考える。堰として考えられる同事例が、前橋市大屋敷遺跡、伊勢崎市（旧境町）矢ノ原遺跡¹³、太田市（旧新田町）北宿・觀音前遺跡において調査されている（大山・坂口 1995）。

用水路の水源であると考えられる低地については、前橋台地の灌漑用水として注目される端氣川及び「女溝」（梅澤 1987、前原・秋池・飯島 2001）、特に As-B 降下以前に放棄されている 1 号女溝との関連を検討する必要があると思われる。

遺物について

主な出土遺物は古墳時代後期から平安時代の土器であり、縄軸陶器・灰軸陶器・須恵器・土師器・羽釜・土釜が出土している。

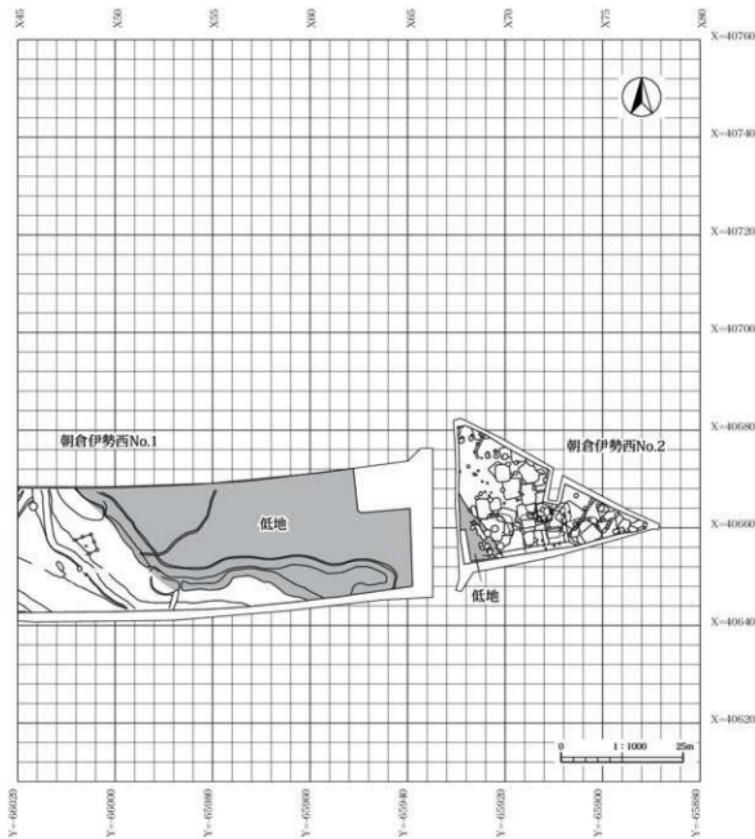
縄軸陶器は小挽の破片（78）が 1 区 H-52 から 1 点のみ出土しているが、遺構重複が激しいためこの住居跡に帰属するかは不明である。灰軸陶器は小片を含めると一定量出土しており、比較的残存率の高いものを図示した。

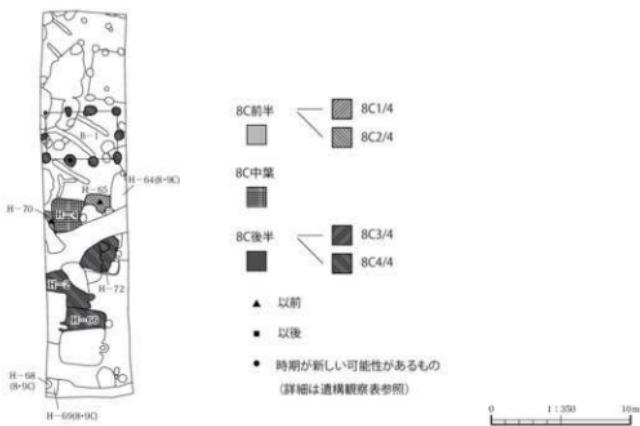
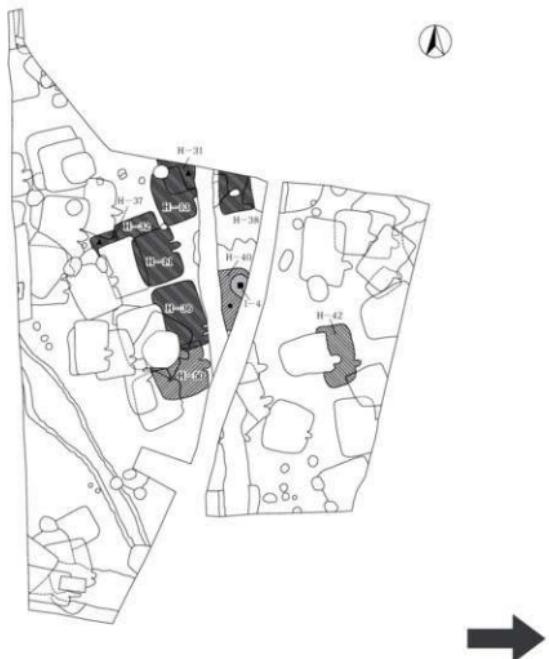


第 87 図 朝倉伊勢西遺跡全体図（1）

10(皿、1区H-8出土)・67(段皿、1区H-47出土)は光ヶ丘段階、185(壺、2区H-22)は推定大原段階、209(椀、2区H-35)・107(皿、1区W-1)、130(段皿、2区H-6)、41(壺、1区H-28)は虎渓山段階、216(壺、2区H-51)は10世紀代と考えられる。

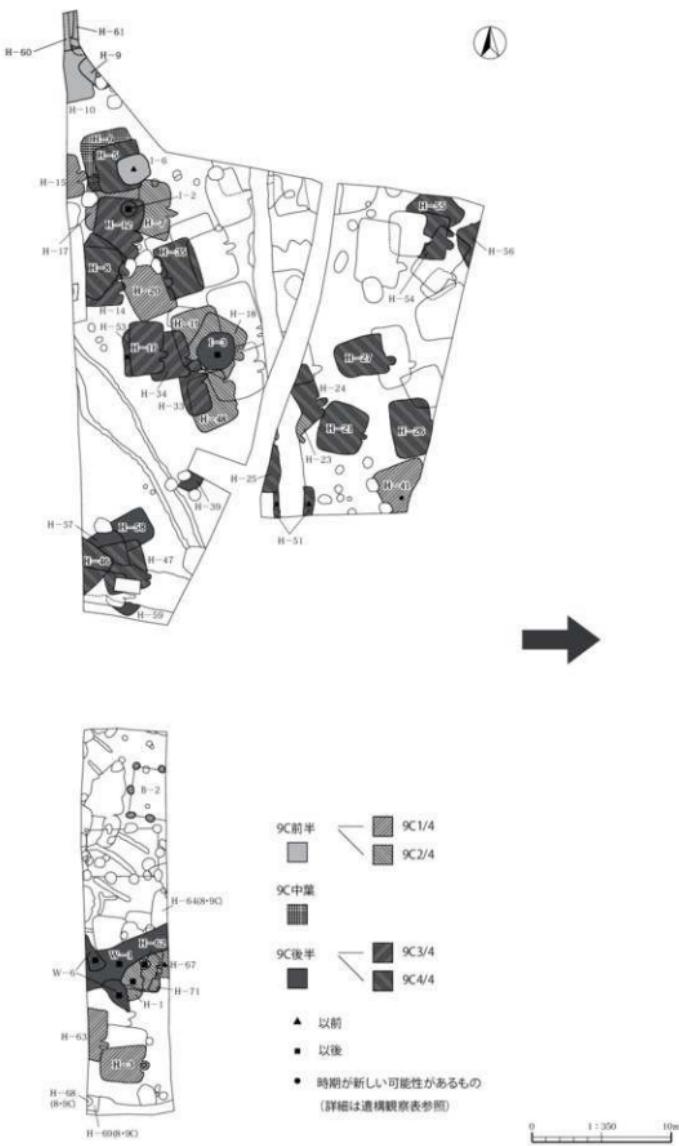
須恵器は壺G(156)、壺G(105)、脚付盤(14、1区H-11)が注目できる。壺Gはほぼ完形であり、逆位の状態で2区H-16床面直上から出土している。壺Hが破片資料も含め確認できることから、本遺跡で出土した最も古い壺であるといえる。壺Gは1区I-6の覆土中から出土しているが、重複する9世紀第1四半期と考えられる1区H-17に伴う可能性もある。脚付盤は、1区H-11のカマドから出土している。土師器は、壺の内面に「井中」と刻まれた刻書土器が1区H-42から、内面全体に漆が付着した土師器壺(94)が1区H-72から出土している。武藏型甕においては明瞭な「く」の字状の口縁をもつ個体が確認できなかつたことが特筆される。その前後の段階のものは出土しており、「コ」の字口縁への移行期のものが比較的多い。羽釜は大半が酸化焼成であるが、僅かに還元焼成の個体もある(148他)。吉井型が多いが、2区において東毛型(119)や月夜野型(120・139・198他)も出土している(桜岡2003)。土釜は特に2区において多く出土し、羽釜との共伴





第89図 1区住居跡時期別分布図(8世紀)

1区 9世紀

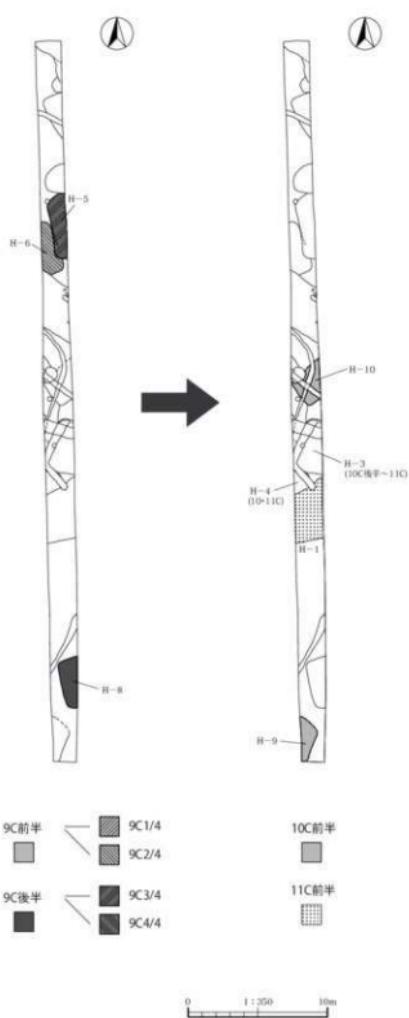


第90図 1区住居跡時期別分布図(9世紀)

I区 10世紀



第91図 I区住居跡時期別分布図(10世紀)



第92図 3区住居跡時期別分布図(9~11世紀)

例が多い。2区H-18においては、カマドから羽釜・土釜・土師器甕が共伴し、床面から酸化焰焼成の須恵器壺が出土していることから良好な一括資料を得られたといえる(158~164)。

このほか縄文・古墳時代前期の土器小片、石器、埴輪が僅かに出土しており、今回の調査では当該期の遺構は検出されなかったが本遺跡の周辺に遺構が存在する可能性が考えられるだろう。

まとめ

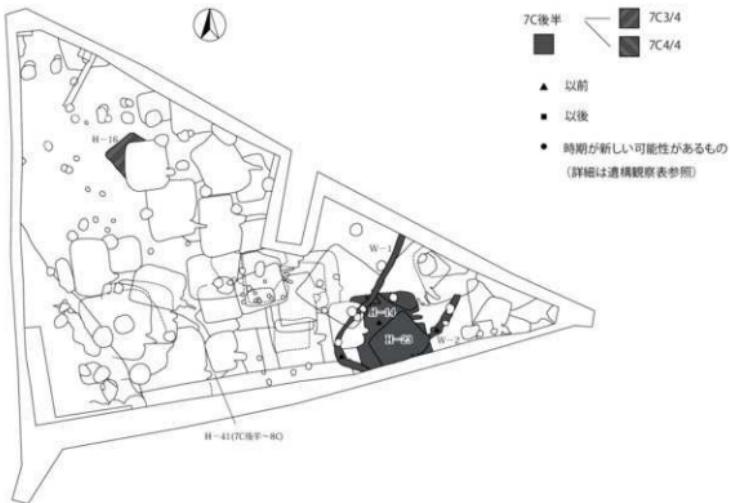
今回の調査では、低地を挟んで両側の微高地上にまとまった古代の集落が形成されていたことが判明した。本集落では竪穴住居跡が激しく重複して検出されたほか、綠釉陶器小破片や刻畫土器、須恵器壺Gなど特筆される遺物が出土し、下部構造が相欠き仕口横板組である井戸跡が検出された。これらは戦後早い段階で宅地化が進んだ本地域において貴重な成果であり、本地域周辺に推定されている那波郡朝倉郷の様相を解明する一助となるといえるだろう。また1区南部は9世紀前半までは集落であったが、集落廃絶後用水路が構築され、As-B降下段階までには完全に埋没し畠が耕作されており、居住域から生産域に変化している。これは、平安時代における周辺の土地利用を考える上で興味深い成果である。さらに低地から取水したと考えられる堰を作り用水路が検出されたことは、「女溝」や端氣川の存在する本地域において古代の灌漑を検討する重要な調査成果を得られたと考える。最後に今回の整理作業にあたり、住居跡の時期判断において多大な助言をくださった坂口一氏、三浦京子氏に記して感謝を申し上げます。

註1：本組の井戸構造の一つで、横材板の両端近くを上下から切り込んで作った仕口を交互に組み合わせて積み上げるもの。井戸組の一種に分類されることもある(黒崎1995、兵庫県教育委員会2006)。省内で調査された平安時代の井戸において下部構造に木棒を使用している事例が、太田市(旧尼島町)小角田下遺跡(酒水1988)や、佐波郡玉村町一方田遺跡(中島・笠置2003)、福島稲荷木IV遺跡(中島・三浦2011)等で報告されている。

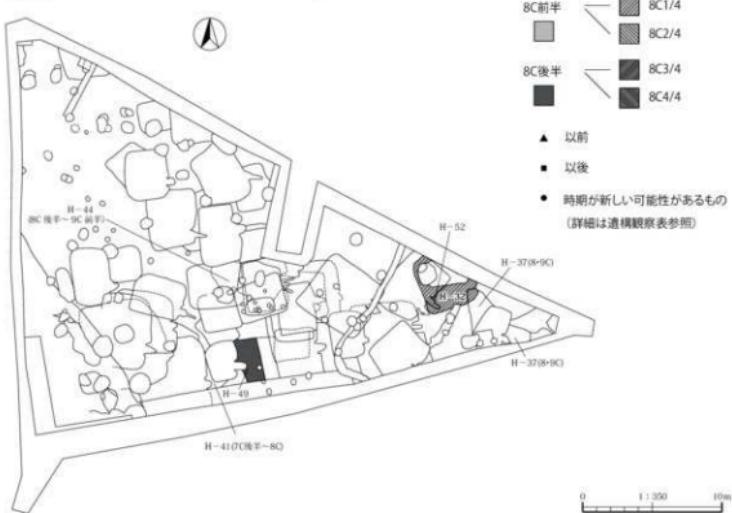
註2：低地の土地環境は、朝倉伊勢西No.1遺跡において実施された自然科学分析の結果により、沼沢地等であったと推定されている(福田・山田2011)。土質にAs-Bが堆積していることから降下段階では沼地か水量が少なかったと考えられる。

註3：坂久原氏のご教授による。

2区 7世紀

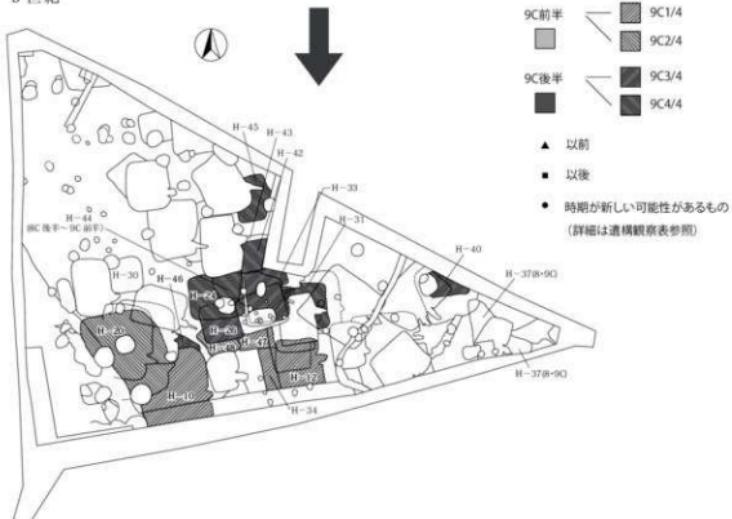


2区 8世紀

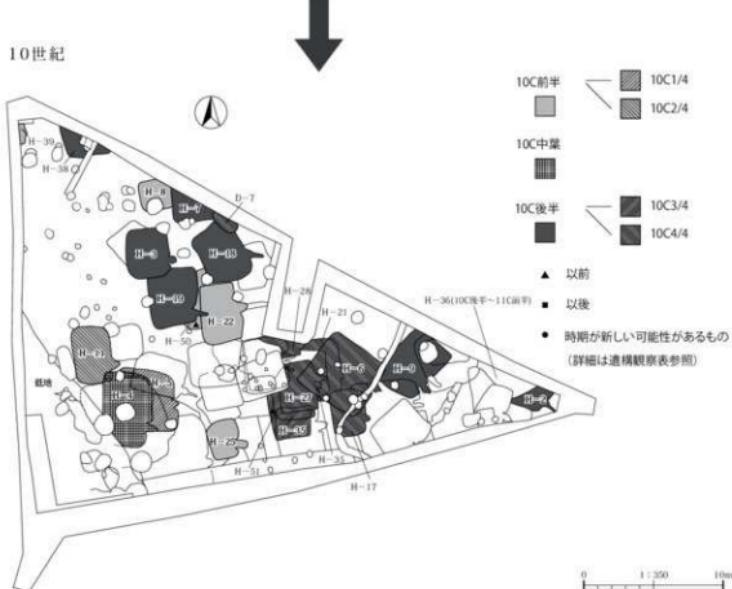


第93図 2区住居跡時期別分布図(7・8世紀)

2区 9世紀

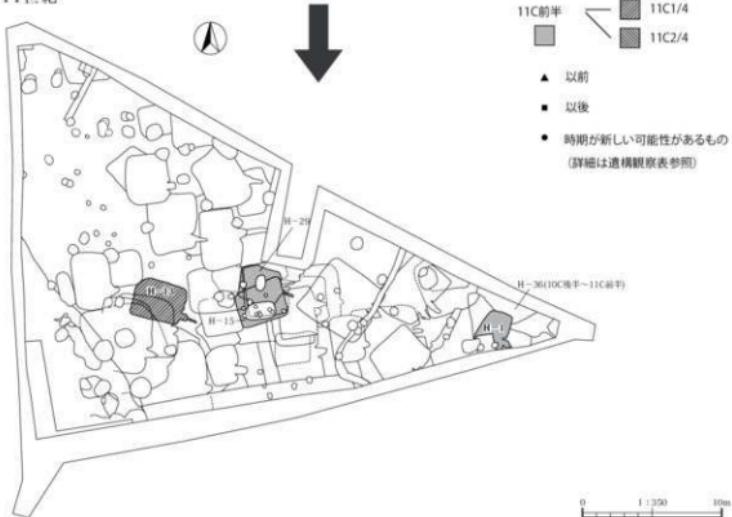


2区 10世紀



第94図 2区住居跡時期別分布図(9・10世紀)

2区 11世紀



第95図 2区住居跡時期別分布図(11世紀)

引用・参考文献

- 阿久澤真一・清水亮介・神宮聰・小田哲生・池田史人・福賀綾子『元總社蒼海遺跡群(20)』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
荒川隆史・加藤学 1999 新潟県埋蔵文化財調査報告書第93集 上信越自動車道関係発掘調査報告書Ⅴ
『和泉A遺跡』新潟県教育委員会・財團法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
梅澤重昭 1987「前橋台地」『日本の古代道路16 群馬東部』株式会社保育社
大山知久・坂口好孝『大屋敷遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
木津博明 他 財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第271集『中里見跡群』財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
黒崎直道 1995「藤原宮の井戸」奈良国立文化財研究所創立40周年記念論文集『文化財論叢Ⅱ』同朋舎
坂口一・三浦京子 1980「奈良・平安時代の土器の編年―住居の重複と共作關係による土器型式組列の検討―」
『群馬県史研究』24 群馬県史編さん委員会
桜岡正信 1996「ロクロ使用酸化焰焼成窯について一群馬県内の実態把握を目的として」『研究紀要』7
財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
桜岡正信 1991「7世紀以降の土師器窯の出現とその要因について」『群馬考古学手帳』2
桜岡正信 2003「月夜野型羽釜の生産と流通―地域限定流通の背景―」『研究紀要』21(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
桜岡正信 2009「古代東北と上野―捉えていく地域間交流―」『古代社会と地域間交流』国士館大学考古学会
須永光 1988「角田下遺跡」群馬県新田郡尾島町教育委員会
永井尚寿 2010「下高田上原遺跡及び丹生地区遺跡群における奈良・平安時代の土器編年と下高田上原遺跡の変遷」
『下高田上原遺跡・下高田原IV遺跡発掘調査報告書』富岡市教育委員会
中島直樹・笠原仁史『一万田遺跡』玉村町教育委員会 玉村町遺跡調査会
中島直樹・三浦京子 2011「福島桶木IV遺跡・福島桶木IV遺跡(第2次調査)」群馬県佐波郡玉村町教育委員会
兵庫県教育委員会 2006「古代(奈良時代)の井戸」兵庫県埋蔵文化財情報『ひょうごの遺跡』61号
福田貢之・小林朋恵 2011「前橋城(三の丸東地点)」前橋市教育委員会
福田貢之・山田誠司 2011「朝倉伊勢西No.1遺跡」前橋市教育委員会
前原豊・秋池武・飯島義雄 2001「利根川からの引水道構である「女溝」の意義」『群馬文化』266 群馬県地域文化研究協議会
三浦京子 1988「群馬県における平安時代後期の土器様相―灰釉陶器を中心にして―」『群馬の考古学』財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
鷹賀邦男・神谷佳明・桜岡正信 1992「群馬県における灰釉陶器の様相について(1)―消費地からのアプローチ―」
『研究紀要』9 財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

写 真 図 版



1区 北西部 全景 南東から



1区 北東部 全景 南東から



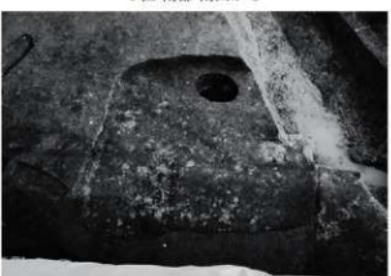
1区 南部 北から



1区 南部 南西から



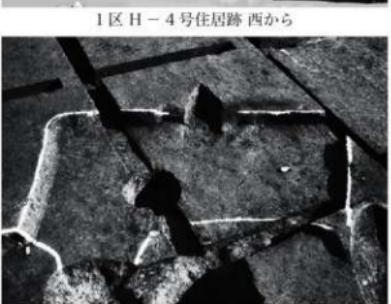
1区 H-3号住居跡 西から



1区 H-4号住居跡 西から



1区 H-5・6号住居跡 西から



1区 H-7号住居跡 西から



1区 H - 8号住居跡 北西から



1区 H - 11号住居跡 南西から



1区 H - 12号住居跡 西から



1区 H - 13号住居跡 南西から



1区 H - 14号住居跡 西から



1区 H - 15号住居跡 西から



1区 H - 16号住居跡 西から



1区 H - 18号住居跡 北西から



1区 H - 19号住居跡 西から



1区 H - 21号住居跡 北西から



1区 H - 22号住居跡 南西から



1区 H - 24号住居跡 南西から



1区 H - 27・42号住居跡 南西から



1区 H - 28・52号住居跡 西から



1区 H - 29号住居跡 北西から



1区 H - 33号住居跡 南西から



1区H-47号住居跡 西から



1区H-48号住居跡 南西から



1区H-50号住居跡 南西から



1区H-52・54号住居跡 西から



1区H-63号住居跡 北西から



1区H-67・71号住居跡 西から



1区B-1号掘立柱建物跡 東から



1区B-2号掘立柱建物跡 東から



1区 D - 20号土坑 セクション 南から



1区 I - 3号井戸跡 西から



1区 I - 3号井戸跡 断割り 南から



1区 I - 3号井戸跡 木枠検出状況 南から



1区 I - 4号井戸跡 西から



1区 I - 4号井戸跡 断割り 西から



1区 W - 1・6号溝跡 南西から



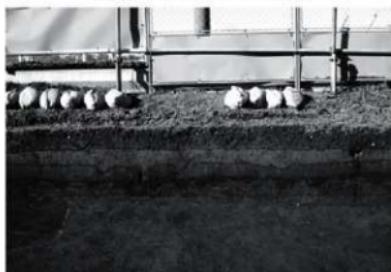
1区 W - 2号溝跡 南から



1区 W - 3・4号溝跡 南東から



1区 W - 5号溝跡 西から



1区 南部 調査区西壁セクション 東から



2区 H - 1号住居跡 北西から



2区 H - 2号住居跡 北西から



2区 H - 3号住居跡 西から



2区 H - 4号住居跡 西から



2区 H - 6号住居跡 北西から



2区 H - 7・8号住居跡 西から



2区 H - 9号住居跡 北西から



2区 H - 10号住居跡 西から



2区 H - 11号住居跡 西から



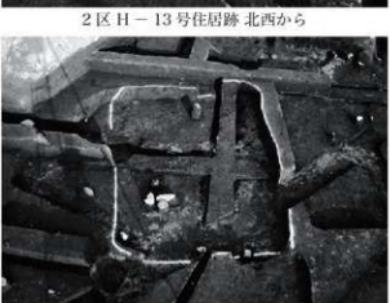
2区 H - 12号住居跡 西から



2区 H - 13号住居跡 北西から



2区 H - 14号住居跡 西から



2区 H - 15号住居跡 西から



2区H-17号住居跡 西から



2区H-18号住居跡 南西から



2区H-19号住居跡 西から



2区H-20号住居跡 西から



2区H-22号住居跡 西から



2区H-23号住居跡 北西から



2区H-24号住居跡 西から



2区H-25号住居跡 西から



2区 H - 26号住居跡 西から



2区 H - 27号住居跡 西から



2区 H - 28号住居跡 西から



2区 H - 29号住居跡 北西から



2区 H - 32・40号住居跡 西から



2区 H - 33号住居跡 西から



2区 H - 38号住居跡 南から



2区 H - 42号住居跡 西から



2区 I-1号井戸跡 セクション 南から



2区 粘土探掘坑 南から



2区 低地 南東から



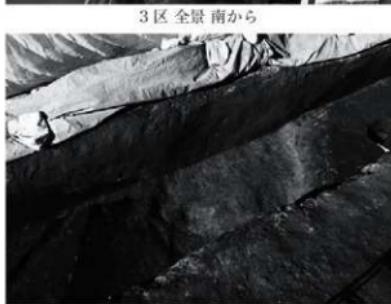
2区 調査風景 西から



3区 全景 南から



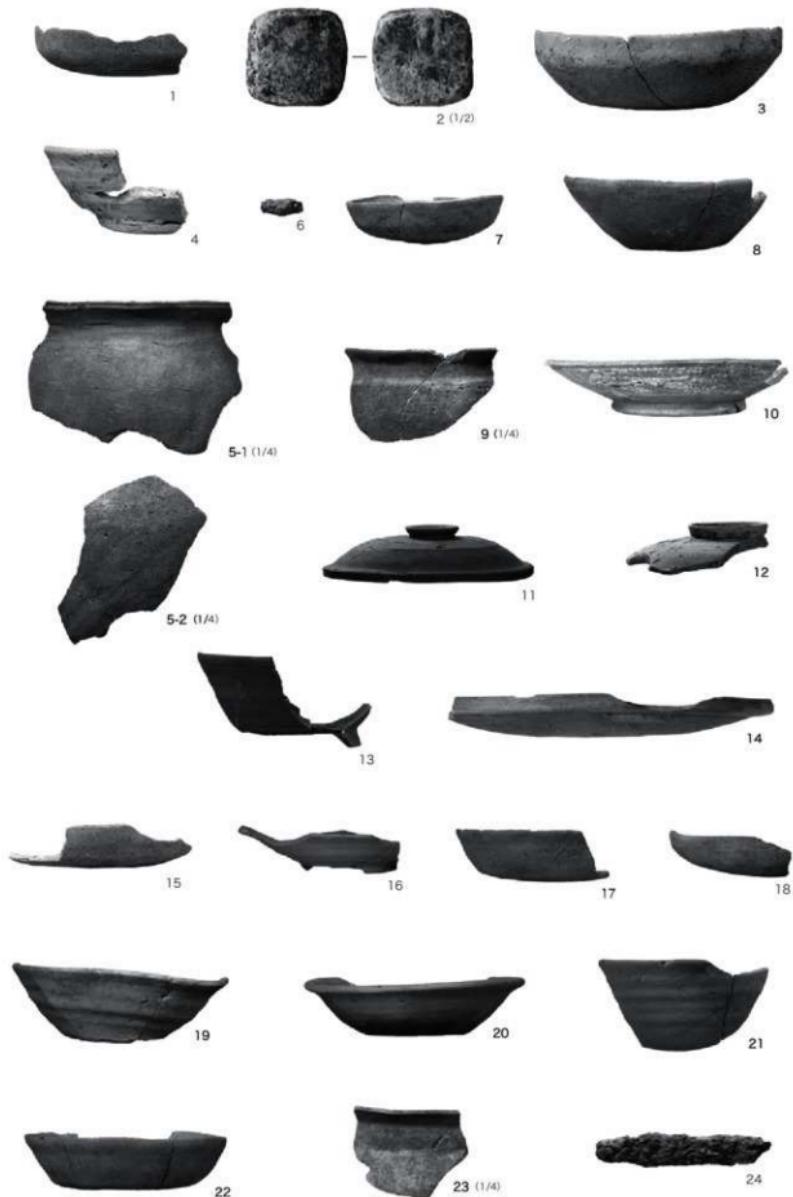
3区 H-6号住居跡 北東から



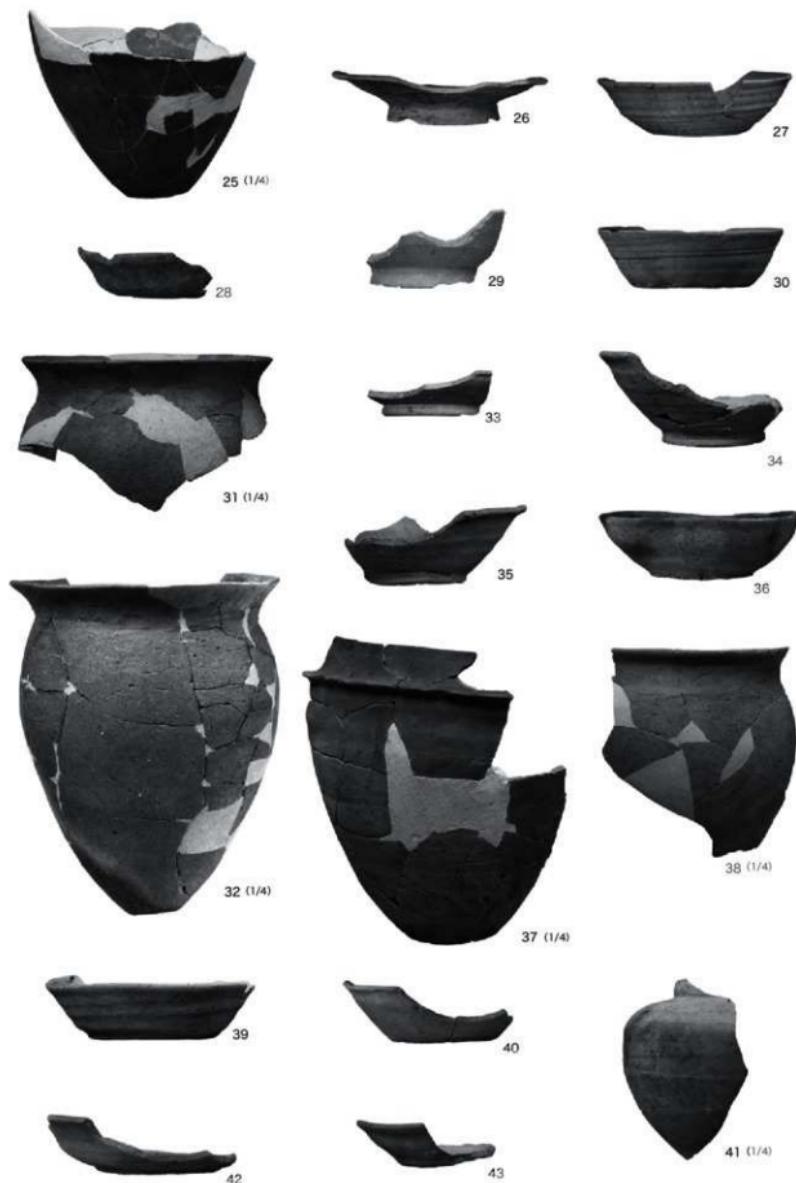
3区 W-4号溝 南東から



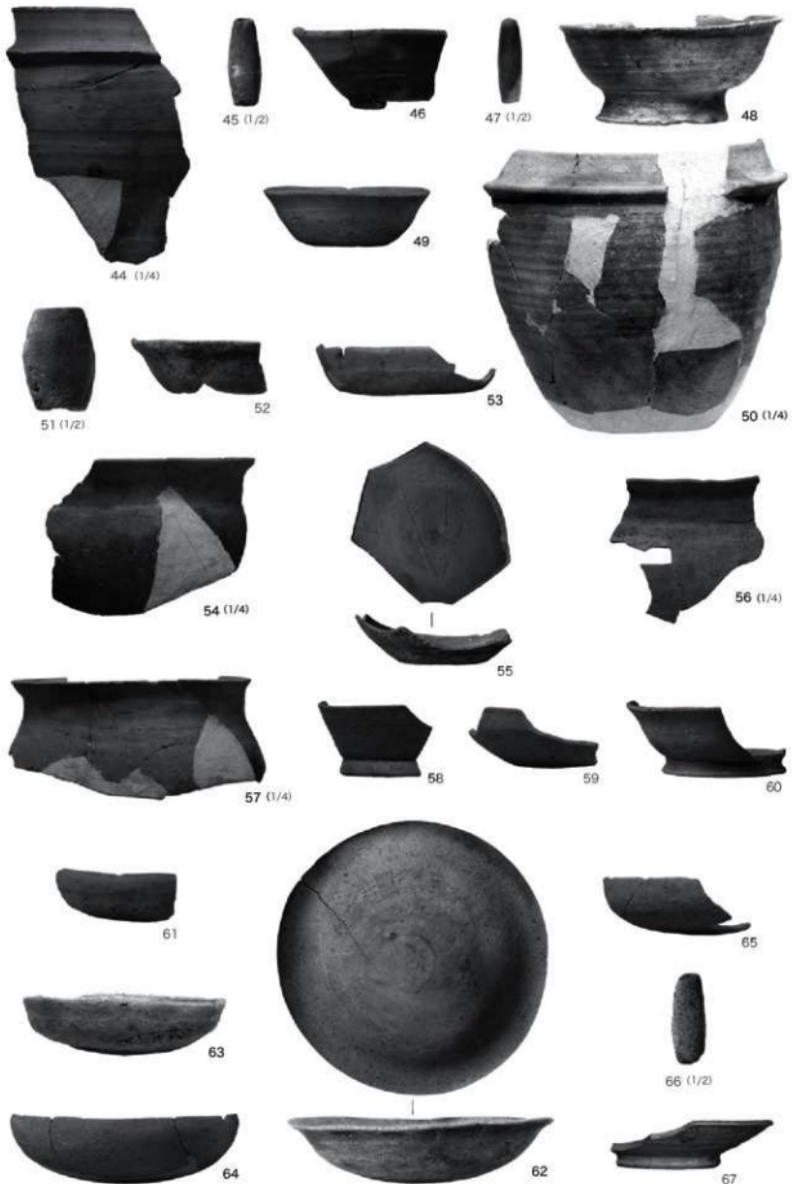
3区 低地 セクション 西から



出土遺物（1）



出土遺物（2）



出土遺物（2）



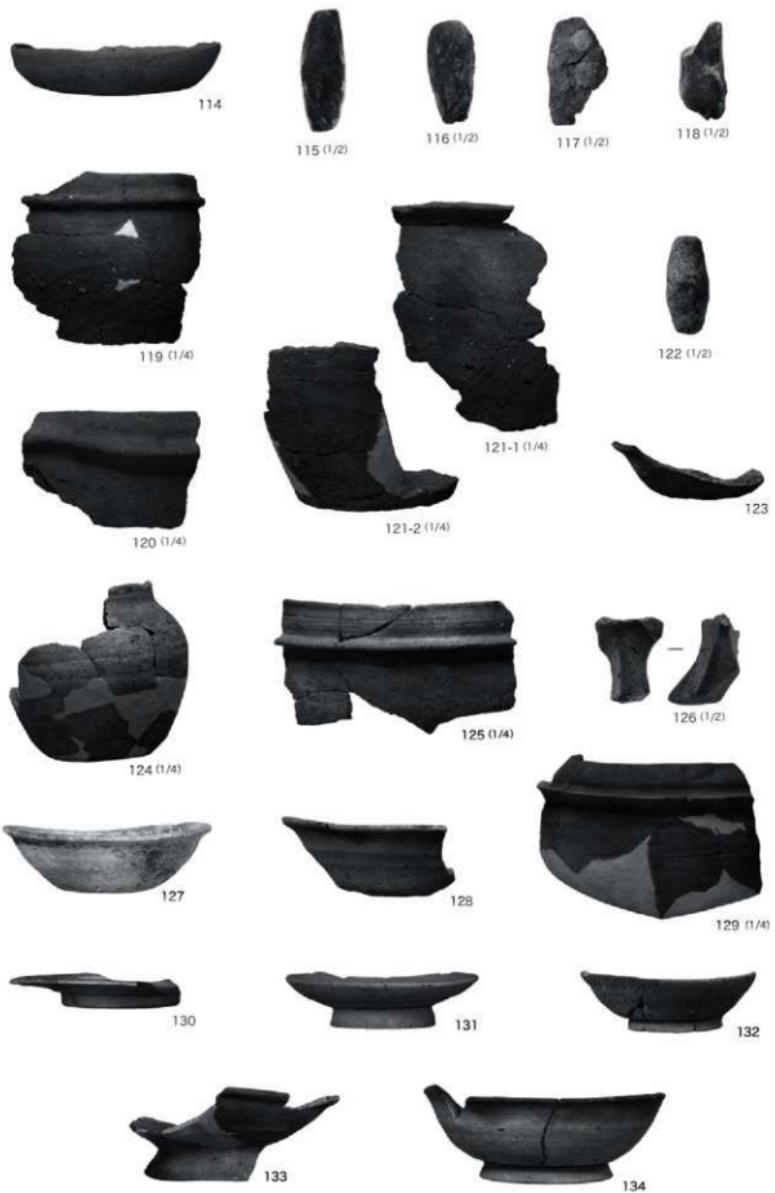
出土遺物（3）



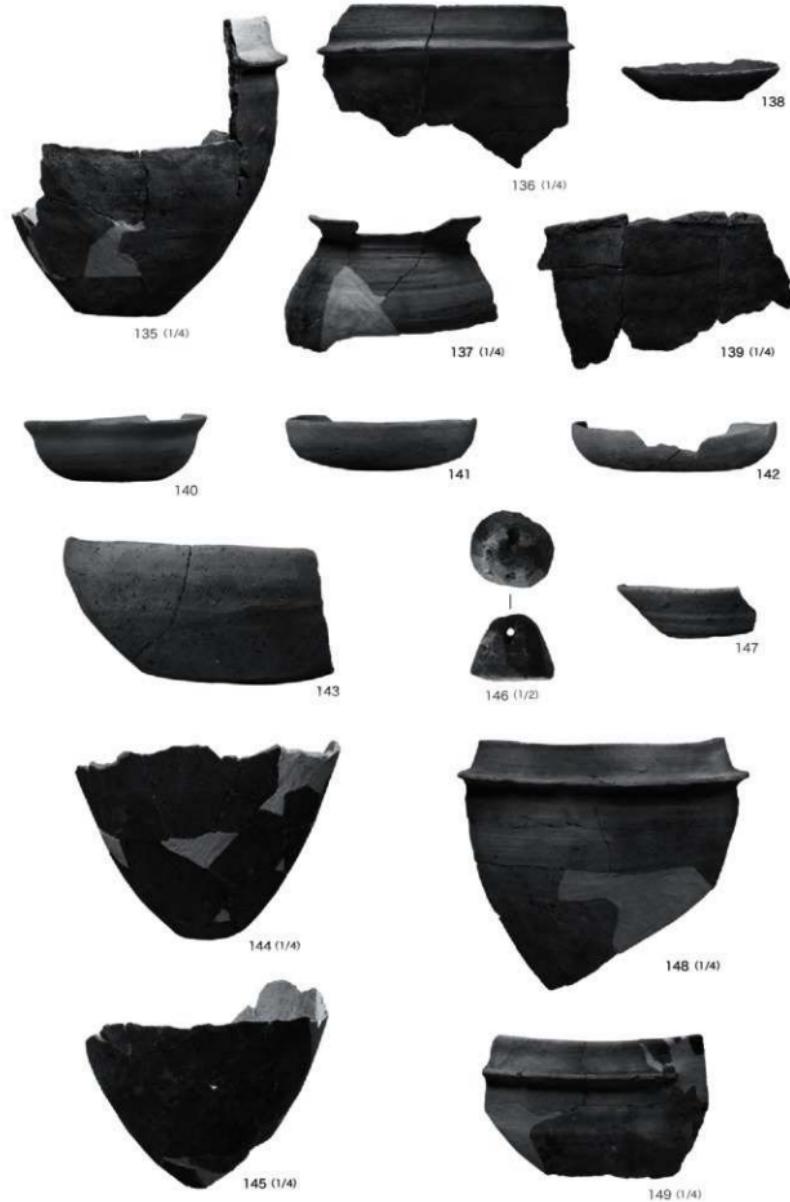
出土遺物 (4)



出土遺物（5）



出土遺物（6）



出土遺物（7）



出土遺物（8）



出土遺物 (9)



出土遺物 (10)



報告書抄録

| | |
|--------|---|
| フリガナ | アサ克拉イセニシナンバー2イセキ |
| 書名 | 朝倉伊勢西 No.2 遺跡 |
| 図書名 | (都) 江田天川大島線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次 | — |
| シリーズ名 | — |
| シリーズ番号 | — |
| 編著者名 | 福田賀之 小林朋恵 |
| 編集機関 | 前橋市教育委員会 |
| 所在地 | 〒371-0018 群馬県前橋市三保町二丁目10-2 TEL 027-231-9531 |
| 発行年月日 | 2012年3月27日 |

| フリガナ 所収遺跡名 | フリガナ 所在地 | コード | | 日本測地系 | | 世界測地系 | | 調査 期間 | 調査 面積 | 調査 原因 |
|--|--|-------|-----------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------------------|---------------------|---------------------------|
| | | 市町村 | 遺跡 | 北緯 | 東経 | 北緯 | 東経 | | | |
| アサクライセニシ 朝倉伊勢西 ナンバー2イセキ No.2 遺跡 | 群馬県前橋市朝倉町 143-1、144、145、 146-1～4、148-1・ 5、163-1・2・4 | 10201 | 23 G71 | 36° 21' 51" | 139° 05' 47" | 36° 22' 03" | 139° 05' 39" | 2011.10.21 ～ 2012.1.23 | 1,684m ² | (都) 江田 天川大島線 道路改良工事 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | | 主な遺物 | 要約 |
|------------------|------------------|------------|---------------------------|------------------------|----------------------------|--|
| | | | 绳文時代 | — | | |
| 朝倉伊勢西 No.2 遺跡 | 包蔵地 集落・ 生産 | 平安時代 以前 | 堅穴住居跡 | 136軒 | 縄文土器 縄釉陶器 | 今回の調査で、朝倉伊勢西遺跡は遺跡中央部に北西から南東にかけて位置する低地を挟んで、両側の微高地に集落が展開していることが判明した。集落は7世紀後半に造営が開始され、平安時代に盛んに造営される。遺跡南東部では、平安時代において集落から生産域に変化していることが確認できた。 |
| | | | 掘立柱建物跡 | 2棟 | 灰釉陶器 | |
| | | | 土坑 | 70基 | 須恵器 | |
| | | 中世 | ピット | 93基 | 土師器 | 1区で井戸跡1基、3区で溝跡2条が検出された。 |
| | | | 井戸跡 溝跡 島跡 粘土採掘坑群 | 6基 14条 1面 1ヶ所 | 羽釜・土釜 石製品 金属製品 埴輪 | |
| | | 中世 | 井戸跡 溝跡 | 1基 2条 | 近世土器 近世瓦 | |

朝倉伊勢西 No.2 遺跡

(都) 江田天川大島線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

印刷 平成24年3月21日
発行 平成24年3月27日

発行 前橋市教育委員会
群馬県前橋市三保町2-10-2
電話 027-231-9531

印刷 細谷印刷有限会社
群馬県伊勢崎市今泉町2-939-5
電話 0270-25-0193

